

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 8 月 26 日現在

機関番号：63905

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05871

研究課題名（和文）非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解

研究課題名（英文）Understanding human nature based on non-linear neuronal oscillation

研究代表者

南部 篤（Nambu, Atsushi）

生理学研究所・システム脳科学研究領域・教授

研究者番号：80180553

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 48,200,000 円

研究成果の概要（和文）：脳は様々な発振現象、とくに非線形発振現象に満ちている。本領域はそのような発振現象により、ヒトの人たる所以（ヒューマンネイチャー）や、精神神経疾患の病態、さらには治療法まで探ろうとしている。そのために（1）新たな発振現象を探索する班、（2）数理モデルを構築し解析する班、（3）介入することにより発振現象を制御する班、の3グループに分かれて活動を行なった。総括班は、これらの活動を支え、各グループの情報交換を円滑に進め、成果を広くに発信するために、年2回の領域会議、国際シンポジウム（2回）、共同研究推進ワークショップの開催、シンポジウム・会議の協賛、共同研究のサポート、データベースの構築等を行なった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

脳が発振現象に満ちていることは周知の事実であるが、本領域により、非線形発振現象から神経活動を見直してみようという機運が新たに高まったと思う。また、精神、神経疾患の病態も神経情報の異常な流れから解釈しようというネットワーク病という考えも、根付いてきたように思う。本領域で、てんかんの病態メカニズムの詳細が明らかにされたこと、静磁場、交流電場などによるヒト脳活動への介入や、その原理、それによるリハビリ効果などが示されることなど、実際の臨床応用が期待できる。

研究成果の概要（英文）：“Oscillology” aims to understand the functions and dysfunctions of the brain based on spontaneous nonlinear oscillation and synchronization in the neural system. The brain, including our human brain, is filled with a variety of oscillatory activity. This knowledge will also help us to understand our human nature. This group is composed of researchers on neuroscience, computational neuroscience, and clinical neuroscience, and uses the following three strategies to study oscillology: (1) Exploring and finding oscillatory phenomena; (2) Elucidating the mechanism of oscillation by mathematical models; and (3) Regulating oscillatory activity. To accomplish these objects, we performed conferences of all members (twice per year), international symposium (twice), workshops to promote cooperative researches, symposiums and meetings, promotion of cooperative researches, and constructing database.

研究分野：神経生理学

キーワード：脳・神経 ソフトコンピューティング 複雑系数理 脳神経疾患 生理学

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

ヒトの精神神経疾患を考えた場合、例えば遺伝子に原因があり、神経活動に変化を及ぼし、最終的に症状として現れるという従来の還元論的な考え方は限界に来ていると思われる。例えば統合失調症を考えた場合、多くの関連遺伝子が報告されているが、オッズ比はわずかで何も決定的な原因遺伝子とは言えない状況である。そこで、このような神経・精神疾患は、ある程度、共通な神経活動の異常があり、それが症状を引き起こしているのではないかと、発想の転換を行いたい。広く言えば、我が国での重要な健康課題である認知症、てんかん、パーキンソン病、統合失調症などの神経精神疾患を、自律的脳ネットワークの動的な機能不全すなわち「ネットワーク病」として理解しようというものである(N・ウィナー『サイバネティクス』)。また、動的な機能不全と捉えることができれば、全く新しい治療法が可能になるかもしれない。また、このような考えは、ヒトが人たる所以「人間本性(Human Nature)」の理解につながる可能性もある。

### 2. 研究の目的

脳は様々な発振現象、とくに非線形発振現象に満ちている。本領域はそのような発振現象により、ヒトの人たる所以(ヒューマンネイチャー)や、精神・神経疾患の病態、さらには治療法まで探ることを目的としている。これらを通して、オシロロジーという学問領域を打ち立てることを目的としている。

具体的な目標としては

- (1) 新規の集団発振現象を探索する。
  - (2) データ対話的な数理モデルを構築し、解析を行う。
  - (3) 介入による発振制御と臨床応用を行う。
- これらは不可分に関わり合っており、互いに情報を交換しながら遂行する。

### 3. 研究の方法

本学術領域研究の総括班として、これらの活動を支えるため、以下の活動を行う。

- (1) 成果を発信するための国内むけシンポジウム
- (2) 成果を発信、議論するための国際シンポジウム
- (3) 各グループの情報交換を円滑に進めるための領域会議
- (4) 共同研究を支援するためのワークショップの開催、協賛
- (5) 研究会、シンポジウム支援・協賛
- (6) 一般向けアウトリーチ活動
- (7) 情報交換、情報発信のための、ニュースレター、メールマガジンの発行、web site の充実
- (8) データベースの構築
- (9) 成果発表のための雑誌発行(Neuroscience Research 雑誌 Oscillology 特集号)
- (10) 共同研究のサポート
- (11) 活動を支える事務局会議(データベース委員会、若手育成・交流委員会など)の開催。

### 4. 研究成果

オシロロジー領域の研究活動が円滑に進展するように、総括班として以下のことを行った。

#### (1) シンポジウムなど

キックオフシンポジウム・公募説明会：2015年9月24日東京大学福武ラーニングシアターで開催。100名以上が参加。

ゲオルク・ノルトフ博士講演会「自己と意識のカギとなる脳活動とは？－健康な心と病んでいる脳から学ぶ」：2017年6月16日に福武ラーニングシアター(東京大学)において、一般向けに開催し、133名の参加を得た。

#### (2) 国際シンポジウム

「Problems of Consciousness and Neuropsychiatric Disorders as Network Diseases」：2017年6月17日～18日に鉄門記念ホール(東京大学)において開催。12題の講演を行い103名の参加者を得た。

国際シンポジウム「神経オシレーションカンファレンス2019」：2019年11月17～19日を京都大学で開催し、国内外から著名な講演者を招聘し大脳基底核、脳の数理モデル、心身ダイナミクス、てんかん、運動野、イメージングなどのテーマについて、約100名の参加を得て議論を行った。

#### (3) 領域会議

第1回領域会議(2015年度)：2016年1月14日～15日に福岡市ルイガンズホテル会議場で開催。計画班68名が参加し、研究進捗報告および融合ワークショップ2件を実施した。

第2回領域会議(2016年度)：2016年6月27日～28日にガトーキングダム札幌において開催。計画班から約70名と、今回の会議が初めての参加になる公募班員約20名が一堂に会し、公

募班員の研究紹介とワークショップ、40件のポスター発表が行われた。

- 第3回領域会議(2016年度):2017年1月6日~7日に立命館大学大阪いばらぎキャンパスにおいて開催。計画班員および関係者が多数参加し、活発な議論や共同研究のための打ち合わせなどが行われた。
- 第4回領域会議(2017年度):2017年8月10日にニューウェルシティ湯河原(熱海市)で開催。57名が参加。
- 第5回領域会議(2017年度):2017年12月23日に学術情報センター(東京)で開催。78名が参加、計画班、公募班の研究成果や領域内の共同研究について話し合った。
- 第6回領域会議(2018年度):2018年6月10日(土)~11日(日)、函館にて開催。82名の参加者が集まり、各計画班の研究成果報告、新公募班の研究紹介、ポスター発表(39演題)を行った。
- 第7回領域会議(2018年度):2018年12月15日(土)、一橋大学千代田キャンパス(東京)にて開催。90名の参加者が集まり、各計画班の活動報告、公募班(2期連続)の活動報告、ポスター発表(35演題)を行った。
- 第8回領域会議(2019年度):2019年6月17~19日、沖縄にて開催。81名の参加者が集まり、津田一郎教授・行木孝夫准教授による教育講演、銅谷賢治教授(沖縄科学技術大学院大学)による講演、計画班・公募班の活動報告、ポスター発表(26演題)、小グループによるディスカッションを行った。
- 第9回領域会議(2019年度):2019年12月20~21日、一橋大学一橋講堂(東京)にて開催、85名の参加者が集まり、各計画班による5年間の研究成果報告、公募班の活動報告、ポスター発表(18演題)を行い、5年間の成果のとりまとめとした。

#### (4) ワークショップの開催

- 「やってみよう!実データを用いたハンズオン」:第3回領域会議に引き続き2017年1月7日に開催。データ解析のための演習を含むハンズオンセミナーで好評を博した。
- 「Oscillology トレーニングコース」:ハンズオンセミナー動物実験編として2018年11月16日(金)-17日(土)に生理学研究所(岡崎)にて開催し、7名の参加を得た。
- 「第1回国際静磁場刺激ワークショップ」:(2018年6月17日(日)、立命館大学朱雀キャンパス(京都)にて開催。
- 国際ワークショップ「遺伝子導入技術の利用による霊長類脳機能操作とイメージング」:2018年7月31日(火)~8月1日(水)、量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所にて開催。

#### (5) 研究会、シンポジウム支援・協賛

- 「神経データ解析ワークショップ」:2016年2月22日(月)に京都大学附属病院第二臨床講堂で開催。
- 「ネットワーク病としての神経・精神疾患」:2016年3月22日~24日に札幌コンベンションセンターで行われた第93回日本生理学会におけるシンポジウム。
- 「オシロロジーからみた神経疾患の病態と治療」:2016年5月18日~21日に神戸コンベンションセンターで行われた第57回日本神経学会におけるシンポジウム。
- 「大脳基底核の機能と疾患:基礎と臨床」:2016年7月19日で開催。第39回日本神経科学学会のサテライトシンポジウム(パシフィコ横浜で開催)。
- 「ドーパミン機能の新たな理解:正常と疾患」:2016年7月21日で開催。第39回日本神経科学学会のシンポジウム(パシフィコ横浜で開催)。
- 「第10回モーターコントロール研究会」:2016年9月1日~3日慶応義塾大学日吉キャンパスで開催。
- 「オシロロジー」「こころの時間学」公開シンポジウム:2016年12月21日に包括脳全体集会の中で開催。
- 「てんかん病態の基礎と臨床の translatability:オシロロジーからのアプローチ」,「パーキンソン病の生理と臨床」,「非線形・振動現象の新展開」:2017年3月28日~30日にアクトシティ浜松で開催された第94回日本生理学大会におけるシンポジウム。
- 「第32回日本大脳基底核研究会」:2017年7月1~2日、愛知県で開催。100名の基礎医学研究者、臨床研究者が集まり大脳基底核に関して議論した。
- 「4領域合同若手シンポジウム」:2017年12月20日開催。次世代脳プロジェクト冬のシンポジウムとして。
- 「第5回教育研修プログラム 脳磁図 What's new! MNE とオシレーション」:2017年8月26~27日、九州大学で開催。
- 「第9回光操作研究会」:2017年10月21~22日、東北大学で開催。
- 「NIX-odML Global Workshop & Hackathon 2017 in Japan」:2017年9月25~28日九州工大で開催。
- 「日本神経回路学会オータムスクール ASCONE2017」:2017年11月3~6日、からくら諏訪湖ホテルで開催。
- 「第51回日本てんかん学会学術集会 ポストコングレスシンポジウム」:2017年11月5日、京

都国際会議場で開催。

「神経ダイナミクスの多様性と脳機能」シンポジウム：2018年7月27日（金）第41回日本神経科学学会のシンポジウムとして神戸コンベンションセンターにて開催。

「第1回 Advanced ECoG/EEG Analysis in Epilepsy(AEEE)研究会」：2018年10月24日（水）、パシフィコ横浜にて開催。

「Young brains tick different - Development of neocortical circuits」：2019年5月29日、浜松にて開催。

「第34回日本大脳基底核研究会」：2019年8月24-25日、米子にて開催。

「Basal Ganglia in Health and Disease」：Neuro2019のサテライトシンポジウムとして、2019年7月24日新潟にて開催。

「New understanding of functions of basal ganglia in health and disease」：Neuro2019のシンポジウムとして、2019年7月24日新潟にて開催。

「第26回日本時間生物学会学術大会」：2019年10月12-13日、金沢にて開催。

生理研研究会「力学系の視点からの脳・神経回路の理解」：2019年11月28-29日、岡崎にて開催。

「神経ダイナミクスワークショップ」：2019年10月15日、京都にて開催。

(6) 一般向けアウトリーチ活動

「オシレーションカフェ」：2017年11月1日、京都大学で開催。

(7) ニュースレター、メールマガジンの発行、web site の充実。

ニュースレターの発行（vol. 1-5）。メールマガジンの発行（vol. 1-48）、オシロロジーWeb site の充実（<http://www.nips.ac.jp/oscillology>）/。

(8) データベース構築

国立情報学研究所の協力を得て、データベースを構築、試用を行なっている。

(9) 雑誌発行。

日本神経科学学会のオフィシャルジャーナルである Neuroscience Research 誌に、Oscillology 特集号を編集、発行。

(10) 共同研究のサポート

本領域内の共同研究を推進するため、共同研究、打ち合わせなどを積極的に奨励した。

(11) 活動を支える事務局会議

上記の活動を支えるため、データベース委員会、若手育成・交流委員会などの委員会、事務局会議などを開催した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計655件（うち査読付論文 564件 / うち国際共著 102件 / うちオープンアクセス 229件）

1. 著者名 Watanabe M, Zhang J, Mansuri MS, Duan J, Karimy JK, Delpire E, Alper SL, Lifton RP, Fukuda A, Kahle KT.	4. 巻 12
2. 論文標題 Developmentally regulated KCC2 phosphorylation is essential for dynamic GABA-mediated inhibition and survival.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Science Signaling	6. 最初と最後の頁 eaaw9315
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1126/scisignal.aaw9315	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Ishibashi M, Egawa K, Fukuda A.	4. 巻 20
2. 論文標題 Diverse Actions of Astrocytes in GABAergic Signaling.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 2964
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijms20122964	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Ono D, Honma KI, Yanagawa Y, Yamanaka A, Honma S.	4. 巻 2
2. 論文標題 GABA in the suprachiasmatic nucleus refines circadian output rhythms in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Commun Biol.	6. 最初と最後の頁 232
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s42003-019-0483-6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Miyata S, Kumagaya R, Kakizaki T, Fujihara K, Wakamatsu K, Yanagawa Y.	4. 巻 13
2. 論文標題 Loss of glutamate decarboxylase 67 in somatostatin-expressing neurons leads to anxiety-like behavior and alteration in the Akt/GSK3b signaling.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Behavioral Neuroscience	6. 最初と最後の頁 131
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fnbeh.2019.00131.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi S, Kim J, Yanagawa Y, Suzuki N, Saito H, Takayama C.	4. 巻 426
2. 論文標題 Hyper-formation of GABA and glycine co-releasing terminals in the mouse cerebellar nuclei after deprivation of GABAergic inputs from Purkinje cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 88-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2019.11.030.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikuta S, Iguchi Y, Kakizaki T, Kobayashi K, Yanagawa Y, Takada M, Osanai M.	4. 巻 13
2. 論文標題 Store-Operated Calcium Channels Are Involved in Spontaneous Slow Calcium Oscillations in Striatal Neurons.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Cell Neurosci.	6. 最初と最後の頁 547
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2019.00547	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawano O, Egawa K, Shiraishi H.	4. 巻 42
2. 論文標題 Perampanel for nonepileptic myoclonus in Angelman syndrome.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Dev.	6. 最初と最後の頁 389-392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2020.02.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sano H, Nambu A	4. 巻 124
2. 論文標題 The effect of zonisamide on L-DOPA-induced dyskinesia in Parkinson's disease model mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurochem Int	6. 最初と最後の頁 171-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2019.01.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami J, Tachibana Y, Akiyama S, Kato T, Taniguchi A, Nakajima Y, Shimoda M, Wake H, Kano Y, Takada M, Nambu A, Yoshida Y	4. 巻 34
2. 論文標題 Oral splint ameliorates tic symptoms in patients with tourette syndrome.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mov Disord	6. 最初と最後の頁 1577-1578.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.27819	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ebina T, Obara K, Watakabe A, Masamizu Y, Terada S-I, Matoba R, Takaji M, Hatanaka N, Nambu A, Mizukami H, Yamamori T, Matsuzak M	4. 巻 116
2. 論文標題 Arm movements induced by noninvasive optogenetic stimulation of the motor cortex in the common marmoset.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PNAS	6. 最初と最後の頁 22844-22850.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) org/10.1073/pnas.1903445116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Darbin O, Hatanaka N, Takara S, Kaneko N, Chiken S, Naritoku D, Martino A, Nambu A	4. 巻 30
2. 論文標題 Parkinsonism differently affects the single neuronal activity in the primary and supplementary motor areas in monkeys: An investigation in linear and non-linear domains.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Neural Systems,	6. 最初と最後の頁 2050010
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0129065720500100	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Darbin O, Hatanaka N, Takara S, Kaneko M, Chiken S, Naritoku D, Martino A, Nambu A	4. 巻 -
2. 論文標題 Local field potential dynamics in the primate cortex in relation to parkinsonism revealed by machine learning: A comparison between the primary motor cortex and the supplementary area.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosc Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masahiro Nagano, Katsuya Kobayashi, Mayumi Yamada-Otani, Akira Kuzuya, Riki Matsumoto, Jiro Oita, Makoto Yoneda, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi	4. 巻 58
2. 論文標題 Hashimoto's Encephalopathy Presenting with Smoldering Limbic Encephalitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1167-1172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.1289-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kiyohide Usami, Anna Korzeniewska, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Nobuhiro Mikuni, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Nathan E Crone	4. 巻 42
2. 論文標題 The neural tides of sleep and consciousness revealed by single-pulse electrical brain stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsz050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Hirofumi Maruyama, Akio Ikeda	4. 巻 60
2. 論文標題 A rational, multispectral mapping algorithm for primary motorcortex: A primary step before cortical stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 547-559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14669	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Inoue, Morito Inouchi, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Takefumi Hitomi, Masako Daifu-Kobayashi, Katsuya Kobayashi, Mitsuyoshi Nakatani, Kyoko Kanazawa, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 36
2. 論文標題 Interictal Slow and High-Frequency Oscillations: Is it an Epileptic Slow or Red Slow?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 166-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000527	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Shuichiro Neshige, Riki Matsumoto, Morito Inouchi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 58
2. 論文標題 Absence of an Autonomic Sign Assists in the Diagnosis of Extratemporal Lobe Epilepsy Manifesting Generalized Convulsion with Retained Awareness	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1151-1155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.1740-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jing-Jane Tsai, Akio Ikeda, Seung Bong Hong, Surachai Likasitwattanukul, Amitabh Dash	4. 巻 60 suppl1
2. 論文標題 Efficacy, safety, and tolerability of perampanel in Asian and non Asian patients with epilepsy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 37-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14642	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiyohide Usami, Griffin W Milsap, Anna Korzeniewska, Maxwell J Collard, Yujing Wang, Ronald P Lesser, William S Anderson, Nathan E Crone	4. 巻 29
2. 論文標題 Cortical Responses to Input From Distant Areas are Modulated by Local Spontaneous Alpha/Beta Oscillations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 777-787
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masaya Togo, Masako Kinoshita	4. 巻 130
2. 論文標題 Hepatic encephalopathy revisited: Beyond the triphasic waves	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 408-409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masato Kinboshi, Saki Shimizu, Tomoji Mashimo, Tadao Serikawa, Hidefumi Ito, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi, Yukihiro Ohno	4. 巻 20
2. 論文標題 Down-Regulation of Astrocytic Kir4.1 Channels during the Audiogenic Epileptogenesis in Leucine-Rich Glioma-Inactivated 1 (Lgi1) Mutant Rats	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20051013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田邊 康人, 平 拓実, 下竹 昭寛, 井上 岳司, 粟屋 智就, 加藤 竹雄, 葛谷 聡, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 59
2. 論文標題 思春期以降もてんかん発作と発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼが併存したPRRT2 (proline-rich transmembrane protein 2) 遺伝子変異の一例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 144-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001228	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fangzhou Li, Naohiro Egawa, Shunsuke Yoshimoto, Haruo Mizutani, Katsuya Kobayashi, Naoko Tachibana, Ryosuke Takahashi	4. 巻 1
2. 論文標題 Potential clinical applications and future prospect of wireless and mobile electroencephalography on the assessment of cognitive impairment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioelectricity	6. 最初と最後の頁 105-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/bioe.2019.0001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 中谷 光良, 井内 盛遠, 大封 昌子, 十川 純平, 村井 智彦, 橋本 聡華, 稲次 基希, 白水 洋史, 金澤 恭子, 渡辺 裕貴, 岩崎 真樹, 臼井 直敬, 井上 有史, 前原 健寿, 池田 昭夫	4. 巻 37
2. 論文標題 難治部分てんかん患者の焦点検索における、発作時DC電位・発作時HF0の記録および解析の手引きに向けて (多施設合同による解析手法)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 てんかん研究	6. 最初と最後の頁 38-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/jjes.37.38	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉村 元, 松本 理器, 池田 昭夫, 幸原 伸夫	4. 巻 47
2. 論文標題 高齢者の意識障害の脳波: 特集テーマ: 脳波が主役: 意識障害・神経救急の診断学	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 47-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.47.47	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 下竹 昭寛, 松本 理器, 人見 健文, 池田 昭夫	4. 巻 47
2. 論文標題 代謝性・中毒性脳症の脳波、特集テーマ: 脳波が主役: 意識障害・神経救急の診断学	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 40-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11170/jjsnecc.31.2_9	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠見 名見子, 音成 秀一郎, 下竹 昭寛, 大石 明生, 滝 和郎, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 59
2. 論文標題 難治左内側側頭葉てんかんに対する左側側頭葉切除術後に瞳孔異常と発汗障害の側方性が逆転したRoss症候群の1例: 脳内ネットワークを介した影響	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 646-651
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001315	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuki Oi, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Masao Matsushashi, Akihiro Shimotake, Daiki Fujii, Riki Matsumoto, Shuhei Kasama, Masutaro Kanda, Yoshiaki Wada, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 130
2. 論文標題 Low-dose perampanel improves refractory cortical myoclonus by the dispersed and suppressed paroxysmal depolarization shifts in the sensorimotor cortex	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1804-1812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Nagano, Takashi Ayaki, Natsuko Koita, Toshiyuki Kitano, Momoko Nishikori, Naoki Goda, Sachiko Minamiguchi, Akio Ikeda, Akifumi Takaori-Kondo, Ryosuke Takahashi	4. 巻 58
2. 論文標題 Recurrent primary central nervous system lymphoma (PCNSL) in a patient with clinical features of chronic lymphocytic inflammation with pontine perivascular enhancement responsive to steroids (CLIPPERS)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 849-854
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.1246-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsushashi, Masaya Togo, Mitsuhiro Sakamoto, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Akio Ikeda	4. 巻 60
2. 論文標題 A score to map the lateral non-primary motor area: multi-spectrum intrinsic brain activity vs. cortical stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 2294-2305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.16367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ritsu Akatani, Norio Chihara, Hisatsugu Tachibana, Shunsuke Koto, Hisatomo Kowa, Fumio Kanda, Riki Matsumoto, Tatsushi Toda	4. 巻 35
2. 論文標題 Validation of the Guy's Neurological Disability Scale as a screening tool for cognitive impairment in multiple sclerosis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Multiple Sclerosis and Related Disorders	6. 最初と最後の頁 272-275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.msard.2019.08.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hans Luders, Guadalupe Fernandez-Beca Vaca, Naoki Akamatsu, Shahram Amina et al. and Riki Matsumoto	4. 巻 21
2. 論文標題 Classification of paroxysmal events and the four-dimensional epilepsy classification system	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 1-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2019.1033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hans Luders, Naoki Akamatsu, Shahram Amina, Christoph Baumgartner, Selim Benbadis et al. and Riki Matsumoto	4. 巻 60
2. 論文標題 Critique of the 2017 epileptic seizure and epilepsy classifications	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1032-1039
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14699	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takakuni Maki, Riki Matsumoto, Nobuo Kohara, Ryosuke Takahashi	4. 巻 7
2. 論文標題 Images of a case with rippling muscle disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 99-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12261	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Norio Chihara, Riki Matsumoto, Takashi Yamamura	4. 巻 29
2. 論文標題 Plasmablasts and neuroimmunological disorders	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Immunological Medicine	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/25785826.2019.1659476	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuji Ohuchi, Tomoyuki Akiyama, Masao Matsuhashi, Katsuhiko Kobayashi	4. 巻 139
2. 論文標題 High-frequency oscillations in a spectrum of pediatric epilepsies characterized by sleep-activated spikes in scalp EEG	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1971-1989
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.08.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirofumi Takeyama, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Takuro Nakae, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 9
2. 論文標題 Human entorhinal cortex electrical stimulation evoked short-latency potentials in the broad neocortical regions: Evidence from cortico-cortical evoked potential recordings	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 e01366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.1366. Epub 2019 Jul 30	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomohiko Murai, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Yuki Kawamura, Masutaro Kanda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 37
2. 論文標題 Scalp-EEG could record both ictal DC shift and HFO together even with time constant 2 sec	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 191-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000670	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Ikeda, Hirofumi Takeyama, Christophe Bernard, Mitsuyoshi Nakatani, Akihiro Shimotake, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Tamaki Kobayashi, Kazuaki Sato	4. 巻 -
2. 論文標題 Active direct current (DC) shifts and "Red slow": two new concepts for seizure mechanisms and identification of the epileptogenic zone	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.01.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiyohide Usami, Masako Kinoshita	4. 巻 130
2. 論文標題 Mental Activation to Overcome Electrically Induced Cortical Hyperexcitability	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2164-2165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.08.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyohide Usami	4. 巻 131
2. 論文標題 Does Single Stimulus Elucidate the Complex Mystery of Sleep?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 463-464
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.11.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚本 剛士, 梶川 駿介, 人見 健文, 舟木 健史, 漆谷 真, 高橋 良輔, 池田 昭夫	4. 巻 -
2. 論文標題 急性外傷性脳損傷後に時定数2秒の頭皮上脳波で皮質拡散脱分極 (Cortical spreading depolarizations; CSD) が記録された一例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Katsuhiko Kobayashi, Fumika Endoh, Iori Ohmori, Tomoyuki Akiyama	4. 巻 42
2. 論文標題 Action of antiepileptic drugs on neurons	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 2-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2019.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 十河 正弥, 井内 盛遠, 松本 理器, 澤本 伸克, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 60
2. 論文標題 橋病変が脱力発作と半側顔面けいれん発作に関与したと診断した難治てんかん発作の一例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 362-366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneurool.cn-001368	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuki Fukuma, Katsufumi Kajimoto, Tomotaka Tanaka, Shigetoshi Takaya, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Kazunori Toyoda, Masfumi Ihara	4. 巻 -
2. 論文標題 Visualizing prolonged hyperperfusion in post-stroke epilepsy using postictal subtraction SPECT	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0271678X20902742	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuyoshi Nakatani, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Morito Inouchi, Masao Matsuhashi, Masako Kinoshita, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda	4. 巻 -
2. 論文標題 Electrical Cortical Stimulations Modulate Spike and Post-Spike Slow-Related High-Frequency Activities in Human Epileptic Foci	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takuro Nakae, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Yoshiki Arakawa, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Toshihiko Aso, Masao Matsuhashi, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi, Matthew A Lambon Ralph, Susumu Miyamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Connectivity Gradient in the Human Left Inferior Frontal Gyrus: Intraoperative Cortico-Cortical Evoked Potential Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhaa065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeshi Inoue, Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Morito Inouchi, Masaya Togo, Junpei Togawa, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Hisashi Kawawaki, Nobukatsu Sawamoto N, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 -
2. 論文標題 Engagement of cortico-cortical and cortico-subcortical networks in a patient with epileptic spasms: An integrated neurophysiological study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Maria Luisa Saggio, Dakota Crisp, Jared Scott, Phillippa J. Karoly, Levin Kuhlmann, Mitsuyoshi Nakatani, Tomohiko Murai, Matthias Dumpelmann, Andreas Schulze-Bonhage, Akio Ikeda, Mark Cook, Jack Lin, Stephen V Gliske, Christophe Bernard, Viktor Jirsa, William Stacey	4. 巻 -
2. 論文標題 Epidynamics characterize and navigating the map of seizure dynamics	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.02.08.940072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masaya Togo, Hajime Yoshimura, Junichiro Ohira, Yusuke Funakoshi, Shoichi Tani, Shigeo Hara, Nobuyuki Sakai, Nobuo Kohara	4. 巻 7
2. 論文標題 Cavernous sinus meningioma with the involvement of the medial sphenoidal wing mimicking hypertrophic pachymeningitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 365-366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12324	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenichi Todo, Masaya Togo, Yasutaka Murakami, Tomoyuki Kono, Hajime Yoshimura, Taku Hoshi, Michi Kawamoto, Nobuo Kohara	4. 巻 397
2. 論文標題 Ischemic stroke in a young woman with anti-phosphatidylserine/prothrombin (aPS/PT) complex antibody: a case report	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences	6. 最初と最後の頁 77-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2018.12.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukako Nakagami, Genichi Sugihara, Nakashima N, Hazama M, Son S, Ma S, Riki Matsumoto, Murai T, Akio Ikeda, Murakami K	4. 巻 -
2. 論文標題 Anti-PDHA1 antibody is detected in a subset of patients with schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-63776-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jong-Hyeon Seo, Ichiro Tsuda, Young Ju Lee, Akio Ikeda, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Takayuki Kikuchi, Hunseok Kang	4. 巻 8
2. 論文標題 Pattern Recognition in Epileptic EEG Signals via Dynamic Mode Decomposition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mathematics	6. 最初と最後の頁 481
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/math8040481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sumiya Shibata, Yukihiro Yamao, Takeharu Kunieda, Rika Inano, Takuro Nakae, Sei Nishida, Taku Inada, Yuki Takahashi, Takayuki Kikuchi, Yoshiki Arakawa, Kazumichi Yoshida, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Tatsuya Mima, Susumu Miyamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Intraoperative electrophysiological mapping of medial frontal motor areas and functional outcomes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2020.02.129.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Andre Palmini, Naoki Akamatsu, Thomas Bast, Sebastian Bauer, Christoph Baumgartner, Selim Benbadis, Adriana Bermeo Ovalle, Stefan Beyenburg, Andrew Bleasel, Alireza Bozorgi et al., and Riki Matsumoto	4. 巻 61
2. 論文標題 Commentary: From theory to practice: Critical points in the 2017 ILAE classification of epileptic seizures and epilepsies	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 350-353
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.16426.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 松本 理器, 下竹 昭寛, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 國枝 武治, 池田 昭夫	4. 巻 -
2. 論文標題 言語と意味記憶: Cognitive Neurophysiologyの立場から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高次脳機能研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武中 優, 関口 兼司, 関谷 博顕, 大野 欽司, 杉江 秀夫, 松本 理器	4. 巻 60
2. 論文標題 神経筋接合部異常が示唆されたPhosphoglucomutase 1欠損症の一例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 152-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001375	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤谷 律, 千原 典夫, 刀坂 公崇, 上田 健博, 関口 兼司, 松本 理器	4. 巻 59
2. 論文標題 フィンゴリモドからナタリズマブへ疾患修飾薬変更後に疾患活動性が上昇した多発性硬化症の1例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 536-540
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001307	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Felix Rosenow, Naoki Akamatsu, Thomas Bast, Sebastian Bauer, Christoph Baumgartner et al., and Riki Matsumoto	4. 巻 78
2. 論文標題 Could the 2017 ILAE and the four-dimensional epilepsy classifications be merged to a new "Integrated Epilepsy Classification" ?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 31-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2020.02.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fuminari Kaneko, Eriko Shibata, Megumi Okawada, Takashi Nagamine	4. 巻 13
2. 論文標題 Region-dependent bidirectional plasticity in M1 following quadripulse transcranial magnetic stimulation in the inferior parietal cortex.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Stimul	6. 最初と最後の頁 310-317
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2019.10.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masanori Ishiguro, Suguru Kobayashi, Kiyoji Matsuyama, Takashi Nagamine	4. 巻 143
2. 論文標題 Effects of propofol on IPSCs in CA1 and dentate gyrus cells of rat hippocampus: Propofol effects on hippocampal cells' IPSCs.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 13-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2018.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koike T, Tanabe HC, Adachi-Abe S, Okazaki S, Nakagawa E, Sasaki AT, Shimada K, Sugawara SK, Takahashi HK, Yoshihara K, Sadato N	4. 巻 14(10)
2. 論文標題 Role of the right anterior insular cortex in joint attention-related identification with a partner	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Social Cognitive and Affective Neuroscience	6. 最初と最後の頁 131-1145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/scan/nsz087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sumiya M, Okamoto Y, Koike T, Tanigawa T, Okazawa H, Kosaka H, Sadato N	4. 巻 -
2. 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroimage: Clinical	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小池耕彦	4. 巻 43(3)
2. 論文標題 ハイパースキャニング脳機能イメージング	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 バイオメカニズム学会誌	6. 最初と最後の頁 179-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishida S, Aso T, Takaya S, Takahashi Y, Kikuchi T, Funaki T, Yoshida K, Okada T, Kunieda T, Togashi K, Fukuyama H, Miyamoto S	4. 巻 85(5)
2. 論文標題 Resting-state Functional Magnetic Resonance Imaging Identifies Cerebrovascular Reactivity Impairment in Patients With Arterial Occlusive Diseases: A Pilot Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 680-688
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuros/nyy434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aso T, Urayama S, Fukuyama H, Murai T	4. 巻 14(9)
2. 論文標題 Axial variation of deoxyhemoglobin density as a source of the low-frequency time lag structure in blood oxygenation level-dependent signals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0222787	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki T, Aso A, Kaseda Y, Mimor Y, Doi H, Matsuoka N, Takamiya N, Torii T, Takahashi T, Ohshita T, Yamashita H, Doi H, Inamizu S, Chatani H, Tobimatsu S	4. 巻 711
2. 論文標題 Decreased stimulus-driven connectivity of the primary visual cortex during visual motion stimulation in amnesic mild cognitive impairment: An fMRI study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 134402
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2019.134402	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsurumi K, Aso T, Kawada R, Murai T, Takahashi H	4. 巻 295
2. 論文標題 A positive shift in resting-state functional connectivity between the insula and default mode network regions reflects the duration of illness in gambling disorder patients without lifetime substance abuse	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychiatry Research. Neuroimaging	6. 最初と最後の頁 11018
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychres.2019.111018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aso T, Sugihara G, Murai T, Ubukata S, Urayama S-I, Ueno T, Fujimoto, Dinh Ha Duy Thuy, Fukuyama H, Ueda K	4. 巻 -
2. 論文標題 A venous mechanism of ventriculomegaly shared between traumatic brain injury and normal aging.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/brain/awaa125	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara T, Ogata K, Hironaga N, Uehara T, Mitsudo T, Shigeto H, Maekawa T, Tobimatsu S	4. 巻 130(3)
2. 論文標題 Monaural 40-Hz auditory steady-state magnetic responses can be useful for identifying epileptic focus in mesial temporal lobe epilepsy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 341-351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.11.026	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Barcelon EA, Mukaino T, Yokoyama Y, Uehara T, Ogata K, Kira J-I, Tobimatsu S	4. 巻 -
2. 論文標題 Grand total Grand total EEG score can differentiate Parkinson's disease from Parkinson-related disorders	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2019.00398	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayashi R, Ogata K, Nakazono H, Tobimatsu S	4. 巻 597(13)
2. 論文標題 Modified ischemic nerve block of the forearm: use for the induction of cortical plasticity in distal hand muscles	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Physiology	6. 最初と最後の頁 3249-3503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP277639	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogata K, Nakazono H, Uehara T, Tobimatsu S	4. 巻 12 (6)
2. 論文標題 Prestimulus cortical EEG oscillations can predict the excitability of the primary motor cortex	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 1508-1516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2019.06.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsudo H, Hironaga N, Ogata K, Tobimatsu S	4. 巻 164 (1)
2. 論文標題 Vertical size disparity induces enhanced neural responses in good stereo observers	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Vision Research	6. 最初と最後の頁 24-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.visres.2019.08.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤和彦、杉 剛直、池田拓郎、山崎貴男、飛松省三、後藤純信	4. 巻 47(6)
2. 論文標題 運動知覚への両眼視差刺激の影響：視覚誘発電位を用いた検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 509-518
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松省三	4. 巻 63(2)
2. 論文標題 てんかんup to date 脳波判読のピットフォール	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床検査	6. 最初と最後の頁 124-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松省三	4. 巻 148(9)
2. 論文標題 てんかんと脳波	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 1712-1716
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松省三	4. 巻 21(3・4)
2. 論文標題 脳を診る：並列的視覚情報処理の基礎と疾患への応用	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 認知神経科学	6. 最初と最後の頁 179-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu S, Yamada E, Ogata K, Horie S, Hakoda Y, Tobimatsu S	4. 巻 725
2. 論文標題 Facial identity influences facial expression recognition: A high-density ERP study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 134911
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2020.134911	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara T, Hironaga N, Uehara T, Chatani H, Tobimatsu S, Kishida K	4. 巻 131(3)
2. 論文標題 A novel method for extracting interictal epileptiform discharges in multi-channel MEG: Use of fractional type of blind source separation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 425-436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.11.032	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Nakazono H, Ogata K, Takeda A, Yamada E, Takahiro Kimura T, Tobimatsu S	4. 巻 13(2)
2. 論文標題 Transcranial alternating current stimulation of but not frequency sharpens multiple visual functions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Stimultion	6. 最初と最後の頁 343-352
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2019.10.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inamizu S, Yamada E, Ogata K, Uehara T, Kira J-I, Tobimatsu S	4. 巻 -
2. 論文標題 Neuromagnetic correlates of hemispheric specialization for face and word recognition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takamiya N, Maekawa T, Yamasaki T, Ogata K, Yamada E, Tanaka M, Tobimatsu S	4. 巻 -
2. 論文標題 Different hemispheric specialization for face/word recognition: A high-density ERP study with hemifield visual stimulation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.1649	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tobimatsu S	4. 巻 -
2. 論文標題 Neuromagnetic oscillations in the human sensory systems: A mini review of our series and literature	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosic Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tobimatsu S	4. 巻 -
2. 論文標題 Understanding cortical pain perception in humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12378	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda, A., Takeyama, H., Bernard, C., Nakatani, M., Shimotake, A., Daifu, M., Matsuhashi, M., Kikuchi, T., Kunieda, T., Matsumoto, R., Kobayashi, T., Sato, K	4. 巻 -
2. 論文標題 Active direct current (DC) shifts and "Red slow": two new concepts for seizure mechanisms and identification of the epileptogenic zone	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.01.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kitatani, R., Koganemaru, S., Maeda, A., Mikami, Y., Matsuhashi, M., Mima, T., Yamada, S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Gait-synchronized oscillatory brain stimulation modulates common neural drives to ankle muscles in patients after stroke: A pilot study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru, S., Kitatani, R., Fukushima-Maeda, A., Mikami, Y., Okita, Y., Matsuhashi, M., Ohata, K., Kansaku, K., Mima, T.	4. 巻 50
2. 論文標題 Gait-Synchronized Rhythmic Brain Stimulation Improves Poststroke Gait Disturbance: A Pilot Study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Stroke	6. 最初と最後の頁 3205-3212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/STROKEAHA.119.025354	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru, S., Mikami, Y., Matsuhashi, M., Truong, D. Q., Bikson, M., Kansaku, K., Mima, T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Cerebellar transcranial alternating current stimulation modulates human gait rhythm.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Maezawa, H., Koganemaru, S., Matsuhashi, M., Hirata, M., Funahashi, M., Mima, T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Entrainment of chewing rhythm by gait speed during treadmill walking in humans.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murai, T., Hitomi, T., Matsuhashi, M., Matsumoto, R., Kawamura, Y., Kanda, M., Takahashi, R., Ikeda, A.	4. 巻 37
2. 論文標題 Scalp EEG Could Record Both Ictal Direct Current Shift and High-Frequency Oscillation Together Even With a Time Constant of 2 Seconds.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 191-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000670	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakae, T., Matsumoto, R., Kunieda, T., Arakawa, Y., Kobayashi, K., Shimotake, A., Yamao, Y., Kikuchi, T., Aso, T., Matsuhashi, M., Yoshida, K., Ikeda, A., Takahashi, R., Lambon Ralph, M. A., Miyamoto, S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Connectivity Gradient in the Human Left Inferior Frontal Gyrus: Intraoperative Cortico-Cortical Evoked Potential Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cereb Cortex	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhaa065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Namiki, T., Tsuda, I., Tadokoro, S., Kajikawa, S., Kunieda, T., Matsumoto, R., Matsuhashi, M., Ikeda, A.	4. 巻 -
2. 論文標題 Mathematical structures for epilepsy: High-frequency oscillation and interictal epileptic slow (red slow).	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Neshige, S., Kobayashi, K., Matsuhashi, M., Togo, M., Sakamoto, M., Shimotake, A., Hitomi, T., Kikuchi, T., Yoshida, K., Kunieda, T., Matsumoto, R., Maruyama, H., Takahashi, R., Miyamoto, S., Ikeda, A.	4. 巻 60
2. 論文標題 A score to map the lateral nonprimary motor area: Multispectrum intrinsic brain activity versus cortical stimulation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 2294-2305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.16367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohuchi, Y., Akiyama, T., Matsuhashi, M., Kobayashi, K.	4. 巻 130
2. 論文標題 High-frequency oscillations in a spectrum of pediatric epilepsies characterized by sleep-activated spikes in scalp EEG.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1971-1980
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.08.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oi, K., Neshige, S., Hitomi, T., Kobayashi, K., Tojima, M., Matsuhashi, M., Shimotake, A., Fujii, D., Matsumoto, R., Kasama, S., Kanda, M., Wada, Y., Maruyama, H., Takahashi, R., Ikeda, A.	4. 巻 130
2. 論文標題 Low-dose perampanel improves refractory cortical myoclonus by the dispersed and suppressed paroxysmal depolarization shifts in the sensorimotor cortex.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1804-1812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Morita, Sanghun Im, Yasuo Kawaguchi	4. 巻 13
2. 論文標題 Differential Striatal Axonal Arborizations of the Intratelencephalic and Pyramidal-Tract Neurons: Analysis of the Data in the MouseLight Database	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neural Circuits	6. 最初と最後の頁 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncir.2019.00071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KenjiMorita, Asako MitsutoNagase	4. 巻 -
2. 論文標題 Caution in exploring the effects of distant past outcomes on sequential choices	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jerome Clifford Foo, Valentina Vengeliene, Hamid Reza Noori, Ikuhiro Yamaguchi, Kenji Morita, Toru Nakamura, Yoshiharu Yamamoto, Rainer Spanagel	4. 巻 10
2. 論文標題 Drinking Levels and Profiles of Alcohol Addicted Rats Predict Response to Nalmefene	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 471
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2019.00471	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 永瀬麻子, 森田賢治	4. 巻 37
2. 論文標題 頭を使うのを嫌がる脳のしくみ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience (月刊 臨床神経科学)	6. 最初と最後の頁 480-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Kobayashi, W. Piao, T. Takamura, H. Kori, H. Miyachi, S. Kitano, Y. Iwamoto, M. Yamada, I. Imayoshi, S. Shioda, A. Ballabio, R. Kageyama	4. 巻 10
2. 論文標題 Enhanced lysosomal degradation maintains the quiescent state of neural stem cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-13203-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Yoshioka-Kobayashi, M. Matsumiya, Y. Niino, A. Isomura, H. Kori, A. Miyawaki, R. Kageyama	4. 巻 580
2. 論文標題 Coupling delay controls synchronized oscillation in the segmentation clock	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 119-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-019-1882-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masuda A, Sano C, Zhang Q, Goto H, McHugh TJ, Fujisawa S, Itohara S.	4. 巻 -
2. 論文標題 The hippocampus encodes delay and value information during delay-discounting decision making.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Elife	6. 最初と最後の頁 e52466
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.52466	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kato TM, Fujimori-Tonou N, Mizukami H, Ozawa K., Fujisawa S, Kato T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Presynaptic dysregulation of the paraventricular thalamic nucleus causes depression-like behavior.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 16506
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-52984-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tesshu Hori, ..., Katsunori Kitano, Kenta Kobayashi, Satoru Moritoh, Chieko Koike*	4. 巻 515
2. 論文標題 Gene delivery to cone photoreceptors by subretinal injection of rAAV2/6 in the mouse retina	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 222-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.05.117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryota Kobayashi, Shuhei Kurita, Anno Kurth, Katsunori Kitano, Kenji Mizuseki, Markus Diesmann, Barry J. Richmond, Shigeru Shinomoto	4. 巻 10
2. 論文標題 Reconstructing Neuronal Circuitry from Parallel Spike Trains	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 4468
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-12225-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Song Ye, Keiichi Kitajo, Katsunori Kitano	4. 巻 4307
2. 論文標題 Information-theoretic approach to detect directional information flow in EEG signals induced by TMS	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.09.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiromichi Suetani, Keiichi Kitajo	4. 巻 4373
2. 論文標題 A manifold learning approach to mapping individuality of human brain oscillations through beta-divergence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.004,	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kei-ichi Ueda, Yasumasa Nishiura, Keiichi Kitajo	4. 巻 4387
2. 論文標題 Mathematical mechanism of state-dependent phase resetting properties of alpha rhythm in the human brain	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.03.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuka O. Okazaki, Yuji Mizuno, Keiichi Kitajo	4. 巻 10
2. 論文標題 Probing dynamical cortical gating of attention with concurrent TMS-EEG	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-61590-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ota Kaiichiro, Aihara Ikkyu and Aoyagi Toshio	4. 巻 7
2. 論文標題 Interaction Mechanisms Quantified from Dynamical Features of Frog Choruses	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Royal Society Open Science	6. 最初と最後の頁 191693
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1098/rsos.191693	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takuma Tanaka, Kohei Nakajima and Toshio Aoyagi	4. 巻 -
2. 論文標題 Effect of recurrent infomax on the information processing capability of input-driven recurrent neural networks	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Nara Shigetoshi, Fjii Hiroshi, Tsukada Hiromishi, Tsuda Ichiro	4. 巻 -
2. 論文標題 A Three-modules Scenario in An Interpretation of Visual Hallucination in Dementia With Lewy Bodies and Preliminary Results of Computer Experiments	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of International Joint Conference on Neural Networks,2019	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/IJCNN.2019.8851916	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Namiki Takao, Tsuda Ichiro, Tadokoro Satoru, Kajikawa Shunsuke, Kunieda Takeharu, Matsumoto Riki, Matsuhashi Masao, Ikeda Akio	4. 巻 -
2. 論文標題 Mathematical structures for epilepsy: High-frequency oscillation and interictal epileptic slow (red slow)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nara Shigetoshi, Soma Ken-ichiro, Yamaguchi Yutaka, Tsuda Ichiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Constrained chaos in three-module neural network enables to execute multiple tasks	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Hiroshi, Ito Takao, Tsuda Ichiro	4. 巻 -
2. 論文標題 A mathematical model for neuronal differentiation in terms of an evolved dynamical system	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 津田一郎	4. 巻 74
2. 論文標題 複雑系 物理学の新しい地平	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本物理学会誌	6. 最初と最後の頁 384-385
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11316/butsuri.74.6_384	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 H.Ito, S.Fujiki, Y.Mori, K.Kansaku	4. 巻 -
2. 論文標題 Self-reorganization of neuronal activation patterns in the cortex under brain-machine interface and neural operant conditioning	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.03.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 物部太夢、伊藤浩之	4. 巻 NC2019-83
2. 論文標題 認知課題における視線情報がミラーニューロンシステムに及ぼす影響	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 電子情報通信学会信学技報 IEICE Technical Report	6. 最初と最後の頁 11-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) -	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto K, Saito N, Yoshida S, Mushiake H	4. 巻 1
2. 論文標題 Dynamic axis-tuned cells in the monkey lateral prefrontal cortex during a path-planning task.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of neuroscience	6. 最初と最後の頁 203-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.2526-18.2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Northoff G, Mushiake H	4. 巻 19
2. 論文標題 Why context matters? Divisive normalization and canonical microcircuits in psychiatric disorders.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.10.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liu Y, Ohshiro T, Sakuragi S, Koizumi K, Mushiake H, Ishizuka T, Yawo H	4. 巻 1
2. 論文標題 Optogenetic study of the response interaction among multi-afferent inputs in the barrel cortex of rats.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific reports	6. 最初と最後の頁 3917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-40688-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saito K, Abe N, Toyama H, Ejima Y, Yamauchi M, Mushiake H, Kazama I	4. 巻 2019
2. 論文標題 Second-Generation Histamine H1 Receptor Antagonists Suppress Delayed Rectifier K+-Channel Currents in Murine Thymocytes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BioMed research international	6. 最初と最後の頁 6261951
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2019/6261951	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagai Y; Nishitani N; Yasuda M; Ueda Y; Fukui Y; Andoh C; Shirakawa H; Nakagawa T; Inoue K; Nagayasu K; Kasparov S; Nakamura K; Kaneko S	4. 巻 518
2. 論文標題 Identification of neuron-type specific promoters in monkey genome and their functional validation in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 619-624
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.08.101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kubota S; Sidikejiang W; Kudo M; Inoue K; Umeda T; Takada M; Seki K	4. 巻 597(19)
2. 論文標題 Optogenetic recruitment of spinal reflex pathways from 1 large-diameter primary afferents in non-transgenic rats transduced with AAV9/Channelrhodopsin 2.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Physiol	6. 最初と最後の頁 5025-5040
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP278292	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ninomiya T; Inoue K; Hoshi E; Takada M	4. 巻 9
2. 論文標題 Layer specificity of inputs from supplementary motor area and dorsal premotor cortex to primary motor cortex in macaque monkeys.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 18230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-54220-z	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lu X; Inoue KI; Ohmae S; Uchida Y	4. 巻 -
2. 論文標題 New Cerebello-Cortical Pathway Involved in Higher-Order Oculomotor Control	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cerebellum	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12311-020-01108-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Amita H; Kim H; Inoue K; Takada M; Hikosaka O	4. 巻 11
2. 論文標題 Optogenetic manipulation of a value-coding pathway from the primate caudate tail facilitates saccadic gaze shift.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 1876
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-15802-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagai Y; Miyakawa N; Takuwa H; Hori Y; Oyama K; Ji B; Takahashi M; Huang X-P; Slocum ST; DiBerto JF; Xiong Y; Urushihata T; Hirabayashi T; Fujimoto A; Mimura K; English JG; Liu J; Inoue K; Kumata K; Seki C; Ono M; Shimojo M; Zhang M-R; Tomita Y; Suhara T; Takada M; Higuchi M; Jin J; Roth BL; Minamimoto T	4. 巻 -
2. 論文標題 Deschloroclozapine: a potent and selective chemogenetic actuator enables rapid neuronal and behavioral modulations in mice and monkeys.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Neurosci	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/854513	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koganemaru S, Kitatani R, Fukushima-Maeda A, Mikami Y, Okita Y, Matsuhashi M, Ohata K, Kansaku K, Mima T	4. 巻 50
2. 論文標題 Gait-Synchronized Rhythmic Brain Stimulation Improves Poststroke Gait Disturbance	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Stroke	6. 最初と最後の頁 3205-3212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/STROKEAHA.119.025354	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ippei Nojima, Yuki Suwa, Hideshi Sugiura, Taiji Noguchi, ShigeovTanabe, Tatsuya Mima, Tatsunori Watanabe	4. 巻 71
2. 論文標題 Smaller muscle mass is associated with increase in EMG-EMG coherence of the leg muscle during unipedal stance in elderly adults	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Human Movement Science	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humov.2020.102614	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hitoshi Maezawa, Carmelo Mario Vicario, Min-Fang Kuo, Masayuki Hirata, Tatsuya Mima, Michael A. Nitsche	4. 巻 13
2. 論文標題 Effects of bilateral anodal transcranial direct current stimulation over the tongue primary motor cortex on cortical excitability of the tongue and tongue motor functions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 270-272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2019.10.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ryosuke Kitatani, Satoko Koganemaru, Ayaka Maeda, Yusuke Mikami, Masao Matsuhashi, Tatsuya Mima, Shigehito Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Gait-synchronized oscillatory brain stimulation modulates common neural drives to ankle muscles in patients after stroke: A pilot study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sumiya Shibata, Yukihiro Yamao, Takeharu Kunieda, Rika Inano, Takuro Nakae, Sei Nishida, Taku Inada, Yuki Takahash, Takayuki Kikuchi, Yoshiki Arakawa, Kazumichi Yoshida, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Tatsuya Mima, Susumu Miyamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Intraoperative Electrophysiologic Mapping of Medial Frontal Motor Areas and Functional Outcomes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2020.02.129	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hitoshi Maezawa, Satoko Koganemaru, Masao Matsuhashi, Masayuki Hirata, Makoto Funahashi, Tatsuya Mima	4. 巻 -
2. 論文標題 Entrainment of chewing rhythm by gait speed during treadmill walking in humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sumiya Shibata, Tatsunori Watanabe, Yoshihiro Yukawa, Masatoshi Minakuchi, Ryota Shimomura, Tatsuya Mima	4. 巻 723
2. 論文標題 Effect of transcranial static magnetic stimulation on intracortical excitability in the contralateral primary motor cortex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2020.134871	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Koganemaru, Yusuke Mikami, Masao Matsushashi, Dennis Q. Truong, Marom Bikson, Kenji Kansaku, Tatsuya Mima	4. 巻 -
2. 論文標題 Cerebellar transcranial alternating current stimulation modulates human gait rhythm	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeshi Satow, Taro Komuro, Takuya Yamaguchi, Nobuhiko Tanabe, Tatsuya Mima	4. 巻 13
2. 論文標題 Transcranial direct current stimulation for a patient with locked-in syndrome	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 375-377
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2019.11.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daisuke Tsuru, Tatsunori Watanabea, Xiaoxiao Chen, Nami Kubo, Toru Sunagawa, Tatsuya Mima, Hikari Kirimoto	4. 巻 723
2. 論文標題 The effects of transcranial static magnetic fields stimulation over the supplementary motor area on anticipatory postural adjustments	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2020.134863	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ippei NOJIMA, Antonio OLIVIERO, Tatsuya MIMA	4. 巻 -
2. 論文標題 Transcranial static magnetic stimulation from bench to bedside and beyond	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito H, Fujiki S, Mori Y, Kansaku K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Self-reorganization of neuronal activation patterns in the cortex under brain-machine interface and neural operant conditioning.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.03.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡原陽二、高野弘二、小瀧勝、神作憲司	4. 巻 57
2. 論文標題 意識障害慢性期の無反応覚醒症候群患者に向けたBMI応用	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/jjrmc.57.23	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rossini PM, Di Iorio R, Bentivoglio M, Bertini G, Ferreri F, Gerloff C, Ilmoniemi RJ, Miraglia F, Nitsche, Pestilli, Rosanovam, M, Shirota y, Tesoriero C, Ugawa Y, Vecchio F, Ziemann F, Hallett M	4. 巻 130
2. 論文標題 Methods for analysis of brain connectivity: An IFCN-sponsored review.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1833-1858
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanaka N, Tsutsumi R, Shirota Y, Shimizu T, Ohminami S, Terao Y, Ugawa Y, Tsuji S, Hanajima R	4. 巻 -
2. 論文標題 Effects of L-DOPA on quadripulse magnetic stimulation-induced long-term potentiation in older adults.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurobiology of Aging	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Shimizu T, Hanajima R, Shirota Y, Tsutsumi R, Tanaka N, Terao Y, Hamada M, Ugawa Y	4. 巻 13
2. 論文標題 Plasticity induction in the pre-supplementary motor area (pre-SMA) and SMA-proper differentially affects visuomotor sequence learning. Brain Stimul	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Stimul	6. 最初と最後の頁 229-238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1016/j.brs.2019.08.001">https://doi.org/10.1016/j.brs.2019.08.001</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shirota Y, Ohminami S, Tsutsumi R, Terao Y, Ugawa Y, Tsuji S, Hanajima R	4. 巻 -
2. 論文標題 Increased facilitation of the primary motor cortex in de novo Parkinson's disease.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Parkinsonism & Related Disorders	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hanajima R, Tanaka N, Tsutsumi R, Shirota Y, Shimizu T, Terao Y, Ugawa Y	4. 巻 237(3)
2. 論文標題 Effect of caffeine on long-term potentiation-like effects induced by quadripulse transcranial magnetic stimulation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Exp Brain Res.	6. 最初と最後の頁 647-651
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-018-5450-9. Epub 2018 Dec 10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shirota Y, Hanajima R, Ohminami S, Tsutsumi R, Ugawa Y, Terao Y	4. 巻 12(4)
2. 論文標題 Supplementary motor area plays a causal role in automatic inhibition of motor responses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Stimul	6. 最初と最後の頁 1020-1026
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2019.03.002. Epub 2019 Mar 6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ugawa Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Voluntary and Involuntary Movements: a proposal from a clinician.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.10.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ugawa Y, Rothwell JC, Paulus W	4. 巻 -
2. 論文標題 Possible role of backpropagating action potentials in corticospinal neurons in I-wave periodicity following a TMS pulse.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.10.005.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Murakami T, Nakatani-Enomoto S, Enomoto H, Takahashi Y, Ugawa Y	4. 巻 -
2. 論文標題 A unique shape of the brainstem lesion causing orthostatic hypotension in anti-NMDAR encephalitis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Med	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.2805-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuya Yokota, Toyohiro Maki, Tatsuya Nagata, Takenobu Murakami, Yoshikazu Ugawa, Iikka Laakso, Akimasa Hirata, Hidekata Hontani	4. 巻 -
2. 論文標題 Real-Time Estimation of Electric Fields Induced by Transcranial Magnetic Stimulation with Deep Neural Networks	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Stimul	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu T, Hanajima R, Shirota Y, Tsutsumi R, Tanaka N, Terao Y, Hamada M, Ugawa Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Plasticity induction in the pre-supplementary motor area (pre-SMA) and SMA-proper differentially affects visuomotor sequence learning.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Stimul	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka N, Tsutsumi R, Shirota Y, Shimizu T, Ohminami S, Terao Y, Ugawa Y, Tsuji S, Hanajima R	4. 巻 -
2. 論文標題 Effects of L-DOPA on quadripulse magnetic stimulation-induced long-term potentiation in older adults.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurobiology of Aging	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamura K, Osada T, Ogawa A, Tanaka M, Suda A, Shimo Y, Hattori N, Kamagata K, Hori M, Aoki S, Shimizu T, Enomoto H, Hanajima R, Ugawa Y, Konishi S	4. 巻 -
2. 論文標題 MRI-based visualization of rTMS-induced cortical plasticity in the primary motor cortex	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Plos One	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hanajima R, Ugawa Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Triad TMS of the human motor cortex.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ugawa Y, Shimo Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Future of TMS in movement disorders: introduction of novel methods	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Mov Disord	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakatani-Enomoto S, Yamazaki M, Nishiura K, Enomoto H, Ugawa Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Effects of electromagnetic fields from long-term evolution on awake electroencephalogram in healthy humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto H, Ugawa Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Quadripulse stimulation (QPS).	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Exp Brain Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukda A, Watanabe M.	4. 巻 1710
2. 論文標題 Pathogenic potential of human SLC12A5 variants causing KCC2 dysfunction.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Research	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brainres.2018.12.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang T, Sinha AS, Akita T, Yanagawa Y, Fukuda A.	4. 巻 12
2. 論文標題 Alterations of GABAergic neuron-associated extracellular matrix and synaptic responses in Gad1-heterozygous mice subjected to prenatal stress.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Cellular Neuroscience	6. 最初と最後の頁 284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2018.00284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi H, Ikeda K, Onimaru H, Kaneko R, Koizumi K, Beppu K, Nishizawa K, Takahashi Y, Kato F, Matsui K, Kobayashi K, Yanagawa Y, Muramatsu S, Ishizuka T, Yawo H.	4. 巻 8
2. 論文標題 Targeted expression of step-function opsins in transgenic rats for optogenetic studies.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 5435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-23810-8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirono M, Watanabe S, Karube F, Fujiyama F, Kawahara S, Nagao S, Yanagawa Y, Misonou H.	4. 巻 38
2. 論文標題 Perineuronal Nets in the Deep Cerebellar Nuclei Regulate GABAergic Transmission and Delay Eyeblink Conditioning.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neurosci.	6. 最初と最後の頁 6130-6144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3238-17.2018.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Y, Yanagawa Y, Saito Y.	4. 巻 120
2. 論文標題 Firing responses mediated via distinct nicotinic acetylcholine receptor subtypes in rat prepositus hypoglossi nuclei neurons.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neurophysiol.	6. 最初と最後の頁 1525-1533
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00168.2018.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamagata Y, Yanagawa Y, Imoto K.	4. 巻 5
2. 論文標題 Differential Involvement of Kinase Activity of Ca <sup>2+</sup> /Calmodulin-Dependent Protein Kinase II in Hippocampus- and Amygdala-Dependent Memory Revealed by Kinase-Dead Knock-In Mouse.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 0133-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0133-18.2018.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashizume M, Ito R, Hojo Y, Yanagawa Y, Murakoshi T.	4. 巻 401
2. 論文標題 Acute sleep deprivation reduces oscillatory network inhibition in the young rat basolateral amygdala.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 73-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2019.01.001.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito T, Narugami M, Egawa K, Yamamoto H, Asahina N, Kohsaka S, Ishii A, Hirose S, Shiraishi H.	4. 巻 40(3):
2. 論文標題 Long-term follow up of an adult with alternating hemiplegia of childhood and a p.Gly755Ser mutation in the ATP1A3 gene.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain Dev.	6. 最初と最後の頁 226-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2017.11.007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wakabayashi M, Koketsu D, Kondo H, Sato S, Ohara K, Polyakova Z, Chiken S, Hatanaka N, Nambu A	4. 巻 135
2. 論文標題 Development of stereotaxic recording system for awake marmosets ( <i>Callithrix jacchus</i> )	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 37-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2018.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ebina T, Masamizu Y, Tanaka YR, Watakabe A, Hirakawa R, Hirayama Y, Hira R, Terada S, Koketsu D, Hikosaka K, Mizukami H, Nambu A, Sasaki E, Yamamori Y, Matsuzaki M	4. 巻 9
2. 論文標題 Two-photon imaging of neuronal activity in motor cortex of marmosets during upper-limb movement tasks	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 1879
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-04286-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue K, Miyachi S, Nishi K, Okado H, Nagai Y, Minamimoto T, Nambu A, Takada M	4. 巻 34
2. 論文標題 Recruitment of calbindin into nigral dopamine neurons protects against drug-induced parkinsonism. Mov Disord [Epub ahead of print] doi: 10.1002/mds.107	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mov Disord	6. 最初と最後の頁 200-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.107	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nonomura S, Nishizawa K, Sakai Y, Kawaguchi Y, Kato S, Uchigashima M, Watanabe M, Yamanaka K, Enomoto K, Chiken S, Sano H, Soma S, Yoshida J, Samejima K, Ogawa M, Kobayashi K, Nambu A, Isomura Y, Kimura M	4. 巻 99(6)
2. 論文標題 Monitoring and updating of action selection for goal-directed behavior through the striatal direct and indirect pathways	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 1302-1314.e5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuron.2018.08.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osanai Y, Shimizu T, Mori T, Hatanaka N, Kimori Y, Kobayashi K, Yoshimura Y, Nambu A, Ikenaka K	4. 巻 66
2. 論文標題 Length of myelin internodes of individual oligodendrocytes are controlled by microenvironment influenced by normal and input-deprived axonal activities in sensory deprived mouse models	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Glia	6. 最初と最後の頁 2514-2525
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.23502	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada Y, Sumioka T, Ichikawa K, Sano H, Nambu A, Kobayashi K, Uchida K, Suzuki Y, Tominaga M, Reinach PS, Hirai SI, Jester JV, Miyajima M, Shirai K, Iwanishi H, Kao WW, Liu CY, and Saika S	4. 巻 99
2. 論文標題 Sensory nerve supports epithelial stem cell function in healing of corneal epithelium in mice: the role of trigeminal nerve transient receptor potential vanilloid 4	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Lab Invest	6. 最初と最後の頁 210-230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41374-018-0118-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaneko N, Herranz-Perez V, Otsuka T, Sano H, Ohno N, Omata T, Nguyen HB, Thai TQ, Nambu A, Kawaguchi Y, Garcia-Verdugo JM, Sawamoto K	4. 巻 4(12)
2. 論文標題 New neurons use Slit-Robo signaling to migrate through the glial meshwork and approach the lesion for functional regeneration	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Adv	6. 最初と最後の頁 eaav0618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.aav0618.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sano H, Nambu A	4. 巻 124
2. 論文標題 The effect of zonisamide on L-DOPA-induced dyskinesia in Parkinson's disease model mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurochem Int	6. 最初と最後の頁 171-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuint.2019.01.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Nagano, Katsuya Kobayashi, Mayumi Yamada-Otani, Akira Kuzuya, Riki Matsumoto, Jiro Oita, Makoto Yoneda, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi	4. 巻 58
2. 論文標題 Hashimoto's Encephalopathy Presenting with Smoldering Limbic Encephalitis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1167-1172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.1289-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Kiyohide Usami, Anna Korzeniewska, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Nobuhiro Mikuni, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Nathan E. Crone	4. 巻 42
2. 論文標題 The neural tides of sleep and consciousness revealed by single-pulse electrical brain stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 zsz050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsz050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Hirofumi Maruyama, Akio Ikeda	4. 巻 60
2. 論文標題 A rational, multispectral mapping algorithm for primary motorcortex: A primary step before cortical stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 547?559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14669	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takefumi Hitomi, Morito Inouchi, Hirofumi Takeyama, Katsuya Kobayashi, Shamima Sultana, Takeshi Inoue, Yuko Nakayama, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Kazuo Chin, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 11
2. 論文標題 Sleep is associated with reduction of epileptiform discharges in benign adult familial myoclonus epilepsy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsy & Behavior Case Reports	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebcr.2018.09.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Inoue, Morito Inouchi, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Takefumi Hitomi, Masako Daifu-Kobayashi, Katsuya Kobayashi, Mitsuyoshi Nakatani, Kyoko Kanazawa, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 36
2. 論文標題 Interictal Slow and High-Frequency Oscillations: Is it an Epileptic Slow or Red Slow?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 166-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000527	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Riki Matsumoto, Morito Inouchi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 58
2. 論文標題 Absence of an Autonomic Sign Assists in the Diagnosis of Extratemporal Lobe Epilepsy Manifesting Generalized Convulsion with Retained Awareness	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1151-1155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.1740-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Riki Matsumoto, Masako Watanabe, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 61
2. 論文標題 Nationwide survey in Japan endorsed diagnostic criteria of benign adultfamilial myoclonus epilepsy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 14-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2018.07.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Takeyo Sakurai, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Hirofumi Maruyama, Masayasu Matsumoto, Akio Ikeda	4. 巻 129
2. 論文標題 Multi-component intrinsic brain activities as a safe alternative to cortical stimulation for sensori-motor mapping in neurosurgery	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2038-2048
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.06.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jing-Jane Tsai, Akio Ikeda, Seung Bong Hong, Surachai Likasitwattanakul, Amitabh Dash	4. 巻 60 suppl1
2. 論文標題 Efficacy, safety, and tolerability of perampanel in Asian andnon Asian patients with epilepsy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 37-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14642	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hajime Yoshimura, Riki Matsumoto, Hiroyuki Ueda, Koichi Ariyoshi, Akiokeda, Ryosuke Takahashi, Nobuo Kohara	4. 巻 61
2. 論文標題 Status epilepticus in the elderly: Comparison with younger adults in a comprehensive community hospital	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 23-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2018.07.013.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masaya Togo, Takefumi Hitomi, Tomohiko Murai, Hajime Yoshimura, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Michi Kawamoto, Nobuo Kohara, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 35
2. 論文標題 Short "Infraslow" Activity (SISA) With Burst Suppression in Acute Anoxic Encephalopathy: A Rare, Specific Ominous Sign With Acute Posthypoxic Myoclonus or Acute Symptomatic Seizures	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 496-503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000507	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Mukai, Masato Kinboshi, Yuki Nagao, Saki Shimizu, Asuka Ono, Yoshihisa Sakagami, Aoi Okuda, Megumi Fujimoto, Hideo Ito, Akio Ikeda, Yukihiko Ohno	4. 巻 9
2. 論文標題 Antiepileptic Drugs Elevate Astrocytic Kir4.1 Expression in the Rat Limbic Region.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 845
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2018.00845	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Byungin Lee for the Asian Status Epilepticus Survey Group	4. 巻 59 suppl2
2. 論文標題 Treatment gap for convulsive status epilepticus in resource poor countries	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 135-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14484	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinako Inaida, Kousuke Kanemoto, Shiro Tanaka, Yoko Gouji, Tomohiro Oshima, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Koji Kawakami	4. 巻 10
2. 論文標題 Psychogenic non-epileptic seizures in Japan: Trends in prevalence, delay in diagnosis, and frequency of hospital visits	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsy & Seizure	6. 最初と最後の頁 73-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/eands.10.73	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomoyuki Fumuro, Masao Matsushashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takeharu Kunieda, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Akio Ikeda	4. 巻 129
2. 論文標題 Do scalp-recorded slow potentials during neuro-feedback training reflect the cortical activity?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1884-1890
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chris G. Dulla, Damir Janigro, Premysl Jiruska, Joseph V. Raimondo, Akio Ikeda, Chou-Ching K. Lin, Howard P. Goodkin, Aristeia S. Galanopoulou, Christophe Bernard, Marco de Curtis	4. 巻 3
2. 論文標題 How do we use in vitro models to understand epileptiform and ictal activity? A report of the TASK1-WG4 group of the ILAE/AES Joint Translational Task Force	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 460-473
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ozlem Akman, Yogendra H. Raol, Stephane Auvin, Miguel A. Cortez, Hana Kubova, Marco de Curtis, Akio Ikeda, F. Edward Dudek, Aristeia S. Galanopoulou	4. 巻 3
2. 論文標題 Methodologic recommendations and possible interpretations of video-EEG recordings in immature rodents used as experimental controls: A TASK1-WG2 report of the ILAE/AES Joint Translational Task Force	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 437-459
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aya Kanno, Rei Enatsu, Satoshi Ookawa, Shouhei Noshiro, Shunya Ohtaki, Kengo Suzuki, Yuto Suzuki, Rintaro Yokoyama, Satoko Ochi, Yukinori Akiyama, Takeshi Mikami, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Riki Matsumoto, Nobuhiro Mikuni	4. 巻 120
2. 論文標題 Interhemispheric Asymmetry of Network Connecting Between Frontal and Temporoparietal Cortices: A Corticocortical-Evoked Potential Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 e628-e636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2018.08.137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyohide Usami, Griffin W Milsap, Anna Korzeniewska, Maxwell J Collard, Yujing Wang, Ronald P Lesser, William S Anderson, Nathan E Crone	4. 巻 29
2. 論文標題 Cortical Responses to Input From Distant Areas are Modulated by Local Spontaneous Alpha/Beta Oscillations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 777-787
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hidemasa Matsuo, Tomohiro Handa, Michiko Tsuchiya, Takeshi Kubo, Akihiko Yoshizawa, Yuko Nakayama, Shuichi Shiga, Takefumi Hitomi, Souichi Adachi, Hiroshi Date, Toyohiro Hirai, Satoshi Ichiyama	4. 巻 57
2. 論文標題 Progressive Restrictive Ventilatory Impairment in Idiopathic Diffuse Pulmonary Ossification	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1631-1636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.9433-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masaya Togo, Masako Kinoshita	4. 巻 130
2. 論文標題 Hepatic encephalopathy revisited: Beyond the triphasic waves	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 408-409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishiura H, Doi K, Mitsui J, Yoshimura J, Matsukawa MK, Fujiyama A, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Suzuki Y, Sugano S, Qu W, Ichikawa K, ....., Tsuji S	4. 巻 50
2. 論文標題 Expansions of intronic TTCA and TTTA repeats in benign adult familial myoclonic epilepsy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat Genet	6. 最初と最後の頁 581-590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41588-018-0067-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masato Kinboshi, Saki Shimizu, Tomoji Mashimo, Tadao Serikawa, Hidefumi Ito, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi, Yukihiro Ohno	4. 巻 20
2. 論文標題 Down-Regulation of Astrocytic Kir4.1 Channels during the Audiogenic Epileptogenesis in Leucine-Rich Glioma-Inactivated 1 (Lgi1) Mutant Rats.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 001-015
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20051013.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki Kikuchi, Yu Abekura, Daisuke Arai, Hiroyuki Ikeda, Takeshi Funaki, Akira Ishii, Kazumichi Yoshida, Yasushi Takagi, Susumu Miyamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 A Treatment Strategy for Basilar Bifurcation Aneurysm Associated with Moyamoya Disease: A Case Successfully Treated by Combined STA-MCA Anastomosis and Stent-assisted Coil Embolization.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Neuroendovascular Therapy	6. 最初と最後の頁 001-006
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5797/jnet.cr.2017-0092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲田拓, 菊池隆幸, 小林勝哉, 中江卓郎, 西田誠, 高橋由紀, 小林環, 永井靖識, 松本直樹, 下竹昭寛, 山尾幸広, 吉田和道, 國枝武治, 松本理器, 池田昭夫, 宮本享	4. 巻 46
2. 論文標題 アンカーボルトを用いた定位的深部電極挿入術 (stereotactic EEG insertion) の初期経験-課題の抽出と挿入精度向上の検討.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 脳神経外科	6. 最初と最後の頁 917-924
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1436203839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梶川駿介, 小林勝哉, 宇佐美清英, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔,	4. 巻 58
2. 論文標題 前知謬 (promnesia) を呈した部分てんかん患者 4 例の特徴と特異度.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 513-516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本光弘, 松本理器, 十川純平, 端祐一郎, 武山博文, 小林勝哉, 下竹昭寛, 近藤誉之, 高橋良輔, 池田昭夫,	4. 巻 58
2. 論文標題 自己免疫性てんかんにおける診断アルゴリズムの提唱とその有用性の予備的検討.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 609-616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001180	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大井由貴, 小林勝哉, 人見健文, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔,	4. 巻 58
2. 論文標題 皮質ミオクローヌスと歩行恐怖症に低容量ペランパネルが著効したUnverricht-Lundborg 病の 1 例.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 622-625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田邊 康人, 平 拓実, 下竹 昭寛, 井上岳司, 粟屋 智就, 加藤 竹雄, 葛谷 聡, 池田昭夫, 高橋良輔	4. 巻 59
2. 論文標題 思春期以降もてんかん発作と発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼが併存したPRRT2 (proline-rich transmembrane protein 2) 遺伝子変異の一例,	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 144-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001228	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷岡洸介, 人見健文, 佐藤和明, 音成秀一郎, 塚田剛史, 藤井大樹, 井上岳司, 吉村元, 小林勝哉, 下竹昭寛, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫,	4. 巻 35
2. 論文標題 てんかん病診連携システムから見えるてんかん診療のニーズ～大学病院てんかん専門外来でのサンプル調査～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 てんかん研究	6. 最初と最後の頁 684-692
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/jjes.35.684	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本理器, 下竹昭寛, 山尾幸広, 菊池隆幸, 國枝武治.	4. 巻 34
2. 論文標題 てんかんの治療戦略: てんかん外科における言語機能温存へ向けた試み.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 神経心理学	6. 最初と最後の頁 124-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20584/neuropsychology.17027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Ohuchi Y, Shibata T, Hanaoka Y, Akiyama M, Oka M, Endoh F, Akiyama T	4. 巻 40
2. 論文標題 Detection of fast (40-150 Hz) oscillations from the ictal scalp EEG data of myoclonic seizures in pediatric patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain Dev	6. 最初と最後の頁 397-405
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2018.01.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue T, Akiyama T, Hanaoka Y, Oka M, Kobayashi K	4. 巻 10
2. 論文標題 A case of vitamin B6-responsive West syndrome caused by severe traumatic brain injury	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsy & Seizure	6. 最初と最後の頁 114-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1882-5567	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 山田絵美, 田中睦英, 山崎貴男, 藤田貴子, 飛松省三.	4. 巻 32
2. 論文標題 自閉スペクトラム症におけるヒト情動視覚路のサブリミナル・ブライミング効果: 曖昧恐怖顔を用いた事象関連電位研究.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発達研究	6. 最初と最後の頁 189-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara T, Ogata K, Hironaga N, Kikuchi Y, Uehara T, Chatani H, Mitsudo T, Shigeto H, Tobimatsu S	4. 巻 88
2. 論文標題 Altered neural synchronization to pure tone stimulation in patients with mesial temporal lobe epilepsy: An MEG study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsy Behav	6. 最初と最後の頁 96-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yebeh.2018.08.036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oishi A, Yamasaki T, Tsuru A, Minohara M, Tobimatsu S	4. 巻 14
2. 論文標題 Decreased gray matter volume of right inferior parietal lobule is associated with severity of mental disorientation in patients with mild cognitive impairment.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Neurol	6. 最初と最後の頁 1086
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2018.01086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara T, Ogata K, Hironaga N, Uehara T, Mitsudo T, Shigeto H, Maekawa T, Tobimatsu S	4. 巻 130
2. 論文標題 Monaural 40-Hz auditory steady-state magnetic responses can be useful for identifying epileptic focus in mesial temporal lobe epilepsy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 341-351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.11.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田絵美, 田中睦英, 山崎貴男, 藤田貴子, 中庭洋一, 飛松省三	4. 巻 -
2. 論文標題 自閉スペクトラム症におけるヒト情動視覚路のサブリミナル・ブライミング効果: 曖昧恐怖顔を用いた事象関連電位研究.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 発達研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Barcelon EA, Mukaino T, Yokoyama Y, Uehara T, Ogata K, Kira J-I, Tobimatsu S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Grand total EEG score can differentiate Parkinson's disease from Parkinson-related disorders.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Neurol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2019.00398	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 飛松省三	4. 巻 18
2. 論文標題 認知症の電気生理学的早期診断バイオマーカー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 分子精神医学	6. 最初と最後の頁 185-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki T, Tobimatsu S	4. 巻 9
2. 論文標題 Driving Ability in Alzheimer Disease Spectrum: Neural Basis, Assessment, and Potential Use of Optic Flow Event-Related Potentials.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Neurol	6. 最初と最後の頁 750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2018.00750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 飛松省三	4. 巻 63
2. 論文標題 てんかんup to date 脳波判読のピットフォール	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床検査	6. 最初と最後の頁 124-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita KI, Uehara T, Prawiroharjo P, Yamashita K, Togao O, Hiwatashi A, Taniwaki Y, Utsunomiya H, Matsushita T, Yamasaki R, Kira JI.	4. 巻 13
2. 論文標題 Functional connectivity change between posterior cingulate cortex and ventral attention network relates to the impairment of orientation for time in Alzheimer's disease patients.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Imaging Behav.	6. 最初と最後の頁 154-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11682-018-9860-x.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田絵美, 田中睦英, 山崎貴男, 藤田貴子, 中庭洋一, 飛松省三	4. 巻 33
2. 論文標題 自閉スペクトラム症におけるヒト情動視覚路異常の神経基盤：曖昧恐怖顔を用いたサブリミナル・ブライミング手法による検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 発達研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上原 平	4. 巻 37
2. 論文標題 てんかんとdefault mode network	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 201-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita KI, Uehara T, Prawiroharjo P, Yamashita K, Togao O, Hiwatashi A, Taniwaki Y, Utsunomiya H, Matsushita T, Yamasaki R, Kira JI	4. 巻 13
2. 論文標題 Functional connectivity change between posterior cingulate cortex and ventral attention network relates to the impairment of orientation for time in Alzheimer's disease patients.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Imaging Behav	6. 最初と最後の頁 154-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11682-018-9860-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi Y, Umezaki T, Uehara T, Yamaguchi H, Yamashita K, Hiwatashi A, Sawatsubashi M, Adachi K, Yamaguchi Y, Murakami D, Kira JI, Nakagawa T	4. 巻 57
2. 論文標題 A case of multiple system atrophy-parkinsonian type with stuttering- and palilalia-like dysfluencies and putaminal atrophy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Fluency Disord	6. 最初と最後の頁 51-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jfludis.2017.11.002.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahiko Koike, Motofumi Sumiya, Eri Nakagawa, Shuntaro Okazaki and Norihiro Sadato	4. 巻 6(1)
2. 論文標題 What Makes Eye Contact Special? Neural Substrates of On-Line Mutual Eye-Gaze: A Hyperscanning fMRI Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0284-18.2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masaki Abe, Takahiko Koike, Shuntaro Okazaki, Sho Sugawara, Kohske Takahashi, Katsumi Watanabe, Norihiro Sadato	4. 巻 191(1)
2. 論文標題 Neural correlates of online cooperation during joint force production	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 150-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.02.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishida, S., Aso, T., Takaya, S., Takahashi, Y., Kikuchi, T., Funaki, T., ... Miyamoto, S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Resting-state Functional Magnetic Resonance Imaging Identifies Cerebrovascular Reactivity Impairment in Patients with Arterial Occlusive Diseases: A Pilot Study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuros/nyy434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ubukata, S., Oishi, N., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Murai, T., & Ueda, K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Transcallosal Fiber Disruption and its Relationship with Corresponding Gray Matter Alteration in Patients with Diffuse Axonal Injury.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Neurotrauma	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/neu.2018.5823	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hitomi, T., Inouchi, M., Takeyama, H., Kobayashi, K., Sultana, S., Inoue, T., Nakayama, Y., Shimotake, A., Matsushashi, M., Matsumoto, R., Chin, K., Takahashi, R., Ikeda, A.	4. 巻 11
2. 論文標題 Sleep is associated with reduction of epileptiform discharges in benign adult familial myoclonus epilepsy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsy Behav Case Rep	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebcr.2018.09.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru, S., Mikami, Y., Maezawa, H., Matsushashi, M., Ikeda, S., Ikoma, K., Mima, T.	4. 巻 13
2. 論文標題 Anodal transcranial patterned stimulation of the motor cortex during gait can induce activity-dependent corticospinal plasticity to alter human gait	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0208691
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0208691	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Togo, M., Hitomi, T., Murai, T., Yoshimura, H., Matsuhashi, M., Matsumoto, R., Kawamoto, M., Kohara, N., Takahashi, R., Ikeda, A.	4. 巻 35
2. 論文標題 Short "Infraslow" Activity (SISA) With Burst Suppression in Acute Anoxic Encephalopathy: A Rare, Specific Ominous Sign With Acute Posthypoxic Myoclonus or Acute Symptomatic Seizures	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 496-503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000507	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumuro, T., Matsuhashi, M., Matsumoto, R., Usami, K., Shimotake, A., Kunieda, T., Kikuchi, T., Yoshida, K., Takahashi, R., Miyamoto, S., Ikeda, A.	4. 巻 129
2. 論文標題 Do scalp-recorded slow potentials during neuro-feedback training reflect the cortical activity?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1884-1890
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.05.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Neshige, S., Matsuhashi, M., Kobayashi, K., Sakurai, T., Shimotake, A., Hitomi, T., Kikuchi, T., Yoshida, K., Kunieda, T., Matsumoto, R., Takahashi, R., Miyamoto, S., Maruyama, H., Matsumoto, M., Ikeda, A.	4. 巻 129
2. 論文標題 Multi-component intrinsic brain activities as a safe alternative to cortical stimulation for sensori-motor mapping in neurosurgery	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 2038-2048
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.06.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai, K., Yazawa, S., Sugimoto, A., Nakao, K., Tsuruta, K., Ochiai, E., Suzuki, Y., Matsuhashi, M.	4. 巻 20
2. 論文標題 Electroclinical and radiological observation of dysfunctional zones in a patient with neurosyphilis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 164-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2018.0967	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, T., Kawawaki, H., Fukuoka, M., Kim, K., Nukui, M., Kuki, I., Okazaki, S., Koh, S., Kunihiro, N., Uda, T., Matsusaka, Y., atsuhashi, M., Iimura, Y., Otsubo, H.	4. 巻 129
2. 論文標題 Intraoperative cortico-cortical evoked potentials show disconnection of the motor cortex from the epileptogenic network during subtotal hemispherotomy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 455-457
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.11.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Usami, K., Korzeniewska, A., Matsumoto, R., Kobayashi, K., Hitomi, T., Matsuhashi, M., Kunieda, T., Mikuni, N., Kikuchi, T., Yoshida, K., Miyamoto, S., Takahashi, R., Ikeda, A., Crone, N. E.	4. 巻 -
2. 論文標題 The neural tides of sleep and consciousness revealed by single-pulse electrical brain stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsz050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Neshige, S., Kobayashi, K., Matsuhashi, M., Hitomi, T., Shimotake, A., Kikuchi, T., Yoshida, K., Kunieda, T., Matsumoto, R., Miyamoto, S., Takahashi, R., Maruyama, H., Ikeda, A.	4. 巻 60
2. 論文標題 A rational, multispectral mapping algorithm for primary motor cortex: A primary step before cortical stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 547-559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14669	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, T., Inouchi, M., Matsuhashi, M., Matsumoto, R., Hitomi, T., Daifu-Kobayashi, M., Kobayashi, K., Nakatani, M., Kanazawa, K., Shimotake, A., Kikuchi, T., Yoshida, K., Kunieda, T., Miyamoto, S., Takahashi, R., Ikeda, A.	4. 巻 36
2. 論文標題 Interictal Slow and High-Frequency Oscillations: Is it an Epileptic Slow or Red Slow?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 166-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000527	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Morita, Yasuo Kawaguchi	4. 巻 12
2. 論文標題 A Dual Role Hypothesis of the Cortico-Basal-Ganglia Pathways: Opponency and Temporal Difference Through Dopamine and Adenosine	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neural Circuits	6. 最初と最後の頁 111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncir.2018.00111	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryota Nomura, Ying-Zong Liang, Kenji Morita, Kantaro Fujiwara, Tohru Ikeguchi	4. 巻 13
2. 論文標題 Threshold-varying integrate-and-fire model reproduces distributions of spontaneous blink intervals	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0206528
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0206528	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 H. Kori, I.Z. Kiss, S. Jain, J.L. Hudson	4. 巻 28
2. 論文標題 Partial synchronization of relaxation oscillators with repulsive coupling in autocatalytic integrate-and-fire model and electrochemical experiments	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chaos	6. 最初と最後の頁 45111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5022497	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sarah Glim, Yuka Okazaki, Yumi Nakagawa, Yuji Mizuno, Takashi Hanakawa, Keiichi Kitajo	4. 巻 2019
2. 論文標題 Phase-amplitude coupling of neural oscillations can be effectively probed with concurrent TMS-EEG	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neural Plasticity	6. 最初と最後の頁 6263907-1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1155/2019/6263907">https://doi.org/10.1155/2019/6263907</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Kei-Ichi Ueda, Keiichi Kitajo, Yoko Yamaguchi, and Yasumasa Nishiura	4. 巻 99
2. 論文標題 Neural network model for path-finding problems with the self-recovery property	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Physical Review E	6. 最初と最後の頁 032207-1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1103/PhysRevE.99.032207">https://doi.org/10.1103/PhysRevE.99.032207</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeuchi H, Horie S, Moritoh S, Matsushima H, Hori T, Kimori Y, Kitano K, Tsubo Y, Tachibana M & Koike C	4. 巻 2018
2. 論文標題 Different activity patterns in retinal ganglion cells of TRPM1 and mGluR6 knockout mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BioMed Research International	6. 最初と最後の頁 2963232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1155/2018/2963232">doi.org/10.1155/2018/2963232</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤 浩之, 青柳 富誌生	4. 巻 33(4)
2. 論文標題 非線形物理学から見たニューラルネットワークの学習 (特集 物理学とAI)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人工知能 : 人工知能学会誌	6. 最初と最後の頁 403-411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中嶋 浩平, 田中 琢真, 青柳 富誌生	4. 巻 Vol. 74, No. 5
2. 論文標題 ダイナミクスによる情報処理 レザパー計算の最近の発展 (シリーズ「人工知能と物理学」)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本物理学会誌	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Takahashi, Y. Maruyama, H. Ito, and K. Miura	4. 巻 6 (1)
2. 論文標題 Assessing the impacts of correlated variability with dissociated timescales	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 0395-18.2019
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0395-18.2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤浩之、青柳富誌生	4. 巻 第33巻第4号
2. 論文標題 非線形物理学からみたニューラルネットワークの学習	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 学会誌「人工知能」	6. 最初と最後の頁 403-411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 幸野怜歩、森 理也、伊藤浩之	4. 巻 NC2018-76
2. 論文標題 ネコ視覚皮質での多細胞活動を用いた刺激方位推定 - 発火数相関の効果 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 電子情報通信学会信学技報 IEICE Technical Report	6. 最初と最後の頁 175-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tadashi Nakashima, Hajime Mushiake, Kazuhiro Sakamoto	4. 巻 Volume 15
2. 論文標題 Earthworm individualities when facing a conflict between turn alternation and aversive learning	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biophysics and Physicobiology	6. 最初と最後の頁 159-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.2142/biophysico.15.0_159">https://doi.org/10.2142/biophysico.15.0_159</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nobuaki KON, Nozomu ABE, Masahiro MIYAZAKI, Hajime MUSHIAKE, Itsuro KAZAMA	4. 巻 Volume 80
2. 論文標題 Partial exposure of frog heart to high-potassium solution: an easily reproducible model mimicking ST segment changes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Veterinary Medical Science	6. 最初と最後の頁 578-582
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1292/jvms.18-0010">https://doi.org/10.1292/jvms.18-0010</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liu Y, Ohshiro T, Sakuragi S, Koizumi K, Mushiake H, Ishizuka T, Yawo H	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Optogenetic study of the response interaction among multi-afferent inputs in the barrel cortex of rats	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific reports	6. 最初と最後の頁 3917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru S, Mikami Y, Maezawa H, Matsuhashi M, Ikeda S, Ikoma K, Mima T	4. 巻 13
2. 論文標題 Anodal transcranial patterned stimulation of the motor cortex during gait can induce activity-dependent corticospinal plasticity to alter human gait.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0208691
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1371/journal.pone.0208691">doi.org/10.1371/journal.pone.0208691</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru S, Mikami Y, Maezawa H, Ikeda S, Ikoma K, Mima T	4. 巻 380
2. 論文標題 Neurofeedback Control of the Human GABAergic System Using Non-invasive Brain Stimulation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience.	6. 最初と最後の頁 38-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2018.03.051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi T, Satow T, Komuro T, Mima T.	4. 巻 11
2. 論文標題 Transcranial Direct Current Stimulation Improves Pusher Phenomenon	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Case Rep Neurol	6. 最初と最後の頁 61-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000497284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima I, Watanabe T, Goyda T, Sugata H, Ikeda T, Mima T.	4. 巻 696
2. 論文標題 Transcranial static magnetic stimulation over the primary motor cortex alters sequential implicit motor learning	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Lett	6. 最初と最後の頁 33-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2018.12.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kirimoto H, Tamaki H, Otsulu N, Yamashiro K, Onishi H, Nojima I, Oliviero A	4. 巻 12
2. 論文標題 Transcranial static magnetic field stimulation over the primary motor cortex induces plastic changes in cortical nociceptive processing	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.3389/fnhum.2018.00063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nomura T and Kirimoto H	4. 巻 12
2. 論文標題 Anodal Transcranial Direct Current Stimulation over the Supplementary Motor Area Improves Anticipatory Postural Adjustments In Older Adults	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 317
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.3389/fnhum.2018.00317	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kojima S, Onishi H, Miyaguchi S, Kotan S, Sasaki R, Nakagawa M, Kirimoto H, Tamaki H	4. 巻 2018
2. 論文標題 Modulation of Corticospinal Excitability Depends on the Pattern of Mechanical Tactile Stimulation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neural Plasticity	6. 最初と最後の頁 5383514
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1155/2018/5383514	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小金丸聡子	4. 巻 56
2. 論文標題 非侵襲的小脳刺激による運動失調治療の可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Jpn. J. Rehabil. Med.	6. 最初と最後の頁 122-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/jjrmc.56.122	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi K, Kato K, Mizuguchi N, Ushiba J	4. 巻 15(93)
2. 論文標題 Precise estimation of human corticospinal excitability associated with the levels of motor imagery-related EEG desynchronization extracted by a locked-in amplifier algorithm.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neuroeng Rehabil.	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12984-018-0440-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokochi F, Kato K, Iwamuro H, Kamiyama T, Kimura K, Yugeta A, Okiyama R, Taniguchi M, Kumada S, Ushiba J.	4. 巻 9(375)
2. 論文標題 Resting-State Pallidal-Cortical Oscillatory Couplings in Patients With Predominant Phasic and Tonic Dystonia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Neurol	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.3389/fneur.2018.00375	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okahara, Y., Takano, K., Nagao, M., Kondo, K., Iwadate, Y., Birbaumer, N., Kansaku, K.	4. 巻 8
2. 論文標題 Long-term use of a neural prosthesis in progressive paralysis.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 16787
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-35211-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Halder, S., Takano, T., Kansaku, K.	4. 巻 12
2. 論文標題 Comparison of four control methods for a five-choice assistive technology	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2018.00228	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato, Y., Kawase, T., Takano, K., Spence, C., Kansaku, K.	4. 巻 5(5)
2. 論文標題 Body ownership and agency altered by an electromyographically-controlled robotic arm.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Royal Society Open Science,	6. 最初と最後の頁 172170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1098/rsos.172170	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe T, Nojima I, Sugiura H, Yacoubi B, Christou EA	4. 巻 68
2. 論文標題 Voluntary control of forward leaning posture relates to low-frequency neural inputs to the medial gastrocnemius muscle	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gait & Posture	6. 最初と最後の頁 187-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gaitpost.2018.11.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe T, Saito K, Ishida K, Tanabe S, Nojima I	4. 巻 686
2. 論文標題 Fatigue-induced decline in low-frequency common input to bilateral and unilateral plantar flexors during quiet standing	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosci Lett	6. 最初と最後の頁 193-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2018.09.019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Saito K, Ishida K, Tanabe S, Nojima I	4. 巻 12
2. 論文標題 Age-Related Declines in the Ability to Modulate Common Input to Bilateral and Unilateral Plantar Flexors During Forward Postural Lean	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.3389/fnhum.2018.00254.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Saito K, Ishida K, Tanabe S, Horiba M, Itamoto S, Ueki Y, Wada I, Nojima I	4. 巻 674
2. 論文標題 Effect of auditory stimulus on executive function and execution time during cognitively demanding stepping task in patients with Parkinson's disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosci Lett	6. 最初と最後の頁 101-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2018.03.032.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hanajima R, Tanaka N, Tsutsumi R, Shirota Y, Shimizu T, Terao Y, Ugawa Y	4. 巻 237(3)
2. 論文標題 Effect of caffeine on long-term potentiation-like effects induced by quadripulse transcranial magnetic stimulation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Exp Brain Res.	6. 最初と最後の頁 647-651
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1007/s00221-018-5450-9. Epub 2018 Dec 10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Winnugroho Wiratman, Shunsuke Kobayashi, Fang-Yu Chang, Kohei Asano, Yoshikazu Ugawa	4. 巻 10
2. 論文標題 Assessment of Cognitive and Motor Skills in Parkinson's Disease by A Robotic Object Hitting Game&quot; as per author request.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurology	6. 最初と最後の頁 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.3389/fneur.2019.00019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi S, Asano K, Matuda N, Ugawa Y	4. 巻 19
2. 論文標題 Dopaminergic influences on risk preferences of Parkinson's disease patients.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cogn Affect Behav Neurosci.	6. 最初と最後の頁 88-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.3758/s13415-018-00646-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami T, Abe M, Wiratman W, Fujiwara J, Okamoto M, Mizuochi-Endo T, Iwabuchi T, Makuuchi M, Yamashita A, Tiksnadi A, Chang F, Kubo H, Matsuda N, Kobayashi S, Eifuku S, Ugawa Y	4. 巻 24
2. 論文標題 The motor network reduces multisensory illusory perception.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 3650-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1523/JNEUROSCI.3650-17.2018">https://doi.org/10.1523/JNEUROSCI.3650-17.2018</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tokushige S, Matsuda S, Oyama G, Shimo Y, Umemura A, Sasaki T, Inomata-Terada S, Yugeta A, Hamada M, Ugawa Y, Tsuji S, Hattori N, Terao Y	4. 巻 129
2. 論文標題 Effect of subthalamic nucleus deep brain stimulation on visual scanning.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 2421-2432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.clinph.2018.08.003. Epub 2018 Aug 30.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Murakami G, Edamura M, Furukawa T, Kawasaki H, Kosugi I, Fukuda A, Iwashita T and Nakahara D.	4. 巻 4
2. 論文標題 MHC class I in dopaminergic neurons suppresses relapse to reward seeking.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 eaap7388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1126/sciadv.aap7388	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohkuma M, Kaneda M, Yoshida S, Fukuda A and Miyachi E.	4. 巻 137
2. 論文標題 Optical measurement of glutamate in slice preparations of the mouse retina.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 23-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.neures.2018.03.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mutoh H, Kato M, Akita T, Shibata T, Wakamoto H, Ikeda H, Kitaura H, Aoto K, Nakashima M, Wang T, Ohba C, Miyatake S, Miyake N, Kakita A, Miyake K, Fukuda A, Matsumoto N, Saitsu H.	4. 巻 102
2. 論文標題 Biallelic Variants in CNPY3, Encoding an Endoplasmic Reticulum Chaperone, Cause Early-Onset Epileptic Encephalopathy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The American Journal of Human Genetics	6. 最初と最後の頁 321-329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.ajhg.2018.01.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akita T, Aoto K, Kato M, Shiina M, Mutoh H, Nakashima M, Kuki I, Okazaki S, Magara S, Shiihara T, Yokochi K, Aiba K, Tohyama J, Ohba C, Miyatake S, Miyake N, Ogata K, Fukuda A, Matsumoto N. and Saitsu H.	4. 巻 5
2. 論文標題 De novo variants in CAMK2A and CAMK2B cause neurodevelopmental disorders.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Annals of Clinical and Translational Neurology	6. 最初と最後の頁 280-296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1002/acn3.528	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kilb, W., Fukuda, A.	4. 巻 11
2. 論文標題 Taurine as an essential neuromodulator during perinatal cortical development.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Cellular Neuroscience	6. 最初と最後の頁 328
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.3389/fncel.2017.00328	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito Y, Yanagawa Y.	4. 巻 121
2. 論文標題 Distinct response properties of rat prepositus hypoglossi nucleus neurons classified on the basis of firing patterns.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 18-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2017.03.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchida T, Lossin C, Ihara Y, Deshimaru M, Yanagawa Y, Koyama S, Hirose S.	4. 巻 58
2. 論文標題 Abnormal gamma-aminobutyric acid neurotransmission in a Kcnq2 model of early-onset epilepsy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1430-1439
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13807.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saito Y, Sugimura T, Yanagawa Y.	4. 巻 4(5)
2. 論文標題 Comparisons of neuronal and excitatory network properties between the rat brainstem nuclei that participate in vertical and horizontal gaze holding.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 e0180-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0180-17.2017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakizaki T, Sakagami H, Sakimura K, Yanagawa Y.	4. 巻 3
2. 論文標題 A glycine transporter 2-Cre knock-in mouse line for glycinergic neuron-specific gene manipulation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 IBRO Reports	6. 最初と最後の頁 9-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ibror.2017.07.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hideaki Shiraishi, Kiyoshi Egawa, Tomoshiro Ito, Osamu Kawano, Naoko Asahina, Shinobu Kohsaka.	4. 巻 8
2. 論文標題 Efficacy of perampanel for controlling seizures and improving neurological dysfunction in a patient with dentatorubral-pallidoluysian atrophy (DRPLA)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsy & Behavior Case Reports	6. 最初と最後の頁 44-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebcr.2017.05.004. eCollection 2017.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Joseph Glykys, Volodymyr Dzhala, Kiyoshi Egawa, Kristopher T. Kahle, Eric Delpire, Kevin Staley	4. 巻 40
2. 論文標題 Chloride Dysregulation, Seizures, and Cerebral Edema: A Relationship with Therapeutic Potential	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Trends in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 276-294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: <a href="http://dx.doi.org/10.1016/j.tins.2017.03.006">http://dx.doi.org/10.1016/j.tins.2017.03.006</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Osanai Y, Shimizu T, Mori T, Yoshimura Y, Hatanaka N, Nambu A, Kimori Y, Koyama S, Kobayashi K, Ikenaka K	4. 巻 65
2. 論文標題 Rabies virus-mediated oligodendrocyte labeling reveals a single oligodendrocyte myelinates axons from distinct brain regions.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Glia	6. 最初と最後の頁 93-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1002/glia.23076	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taruno A, Kashio M, Sun H, Kobayashi K, Sano H, Nambu A, Marunaka Y	4. 巻 42
2. 論文標題 Adeno-associated virus-mediated gene transfer into taste cells in vivo.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Chemical Senses	6. 最初と最後の頁 69-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1093/chemse/bjw10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shouno O, Tachibana Y, Nambu A, Doya K	4. 巻 11
2. 論文標題 Computational Model of Recurrent Subthalamic-Pallidal Circuit for Generation of Parkinsonian Oscillations.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front. Neuroanat	6. 最初と最後の頁 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.3389/fnana.2017.00021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Endo K, Ishigaki S, Masamizu Y, Fujioka Y, Watakabe A, Yamamori T, Hatanaka N, Nambu A, Okado H, Katsuno M, Watanabe H, Matsuzaki M, Sobue G	4. 巻 130
2. 論文標題 Silencing of FUS in the common marmoset ( <i>Callithrix jacchus</i> ) brain via stereotaxic injection of an adeno-associated virus encoding shRNA.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 56-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.neures.2017.08.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Baladron J, Nambu A, Hamker F	4. 巻 49
2. 論文標題 The subthalamic nucleus-external globus pallidus loop biases exploratory decisions towards known alternatives: a neuro-computational study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Eur J Neurosci	6. 最初と最後の頁 754-767
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: 10.1111/ejn.13666	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ozaki M, Sano H, Sato S, Ogura M, Mushiake H, Chiken S, Nakao N, Nambu A	4. 巻 27
2. 論文標題 Optogenetic activation of the sensorimotor cortex reveals “ local inhibitory and global excitatory ” inputs to the basal ganglia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 5716-5726
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1093/cercor/bhx234	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwamuro H, Tachibana Y, Ugawa Y, Saito N, Nambu A	4. 巻 46
2. 論文標題 Information processing from the motor cortices to the subthalamic nucleus and globus pallidus and their somatotopic organizations revealed electrophysiologically in monkeys.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Eur J Neurosci	6. 最初と最後の頁 2684-2701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: 10.1111/ejn.13738	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wakabayashi M, Koketsu D, Kondo H, Sato S, Ohara K, Polyakova Z, Chiken S, Hatanaka N, Nambu A	4. 巻 135
2. 論文標題 Development of stereotaxic recording system for awake marmosets (Callithrix jacchus).	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 37-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.neures.2018.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bouchekioua Y, Tsutsui-Kimura I, Sano H, Koizumi M, Tanaka KF, Yoshida K, Kosaki Y, Watanabe S, Mimura M.	4. 巻 132
2. 論文標題 Striatonigral direct pathway activation is sufficient to induce repetitive behaviors.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 53-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.neures.2017.09.007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsutsui-Kimura I, Takiue H, Yoshida K, Xu M, Yano R, Ohta H, Nishida H, Bouchekioua Y, Okano H, Uchigashima M, Watanabe M, Takata N, Drew MR, Sano H, Mimura M, Tanaka KF.	4. 巻 8
2. 論文標題 Dysfunction of ventrolateral striatal dopamine receptor type 2-expressing medium spiny neurons impairs instrumental motivation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 14304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/ncomms14304.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三村 直哉、井上 岳司、下竹 昭寛、松本 理器、池田 昭夫、高橋 良輔	4. 巻 57
2. 論文標題 摂食以外に視覚刺激でも発作が誘発されたeating epilepsyの1例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 430-435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林 勝哉、松本 理器、松橋 眞生、中江 卓郎、宇佐美 清英、山尾 幸宏、菊池 隆幸、吉田 和道、國枝 武治、池田 昭夫	4. 巻 45
2. 論文標題 CCEPのオフライン解析と解釈 特集「CCEPのskills workshop : clinical practice parameter (臨床実践指標) を目指して」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 91-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.45.91	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 月田 和人、下竹 昭寛、中谷 光良、高橋 幸利、池田 昭夫、高橋 良輔	4. 巻 57
2. 論文標題 辺縁系脳炎で発症した神経梅毒の1例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 37-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000936	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷岡 洸介、人見 健文、松本 理器、高橋 良輔、飛松 省三、犬塚 貴、吉良 潤一、楠 進、池田 昭夫	4. 巻 57
2. 論文標題 日本神経学会における脳波判読セミナー受講者のアンケート調査：脳波教育の過去5年間の実態，ニーズおよびその変遷	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 110-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000990	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三橋 賢大、人見 健文、山見 博、海道 利実、池田 昭夫、高橋 良輔	4. 巻 57
2. 論文標題 深昏睡患者における脳波検査での光刺激による網膜電位と脳幹反射との鑑別の重要性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 457-460
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷光良、井内盛遠、大封昌子、十川純平、村井智彦、橋本聡華、稲次基希、白水洋史、金澤恭子、渡辺裕貴、臼井直敬、井上有史、前原健寿、池田昭夫	4. 巻 35(1)
2. 論文標題 難治部分てんかん患者の焦点検索における、発作時DC電位・HF0の記録および解析の標準化案	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 てんかん研究	6. 最初と最後の頁 3-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/jjes.35.3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井内盛遠、中谷光良、池田昭夫	4. 巻 45
2. 論文標題 Wide band EEGの有用性 (slow)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 520-524
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.45.520	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷岡洸介、人見健文、佐藤和明、音成秀一郎、塚田剛史、藤井大樹、井上岳司、吉村元、小林勝哉、下竹昭寛、松本理器、高橋良輔、池田昭夫	4. 巻 35
2. 論文標題 てんかん病診連携システムから見えるてんかん診療のニーズ～大学病院てんかん専門外来でのサンプル調査～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 てんかん研究	6. 最初と最後の頁 684-692
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/jjes.35.684	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本理器, 下竹昭寛, 山尾幸広, 菊池隆幸, 國枝武治 .	4. 巻 34
2. 論文標題 てんかんの治療戦略：てんかん外科における言語機能温存へ向けた試み .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 神経心理学	6. 最初と最後の頁 124-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村井智彦, 人見健文、竹島多賀夫、池田昭夫	4. 巻 46(1)
2. 論文標題 てんかん発作と片頭痛の共通点と相違点・臨床神経生理学の新しい視点から .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 25-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.46.25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bayasgalan B, Matsuhashi M, Fumuro T, Nohira H, Nakano N, Iida K, Katagiri M, Shimotake A, Matsumoto R, Kikuchi T, Kunieda T, Kato A, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 128
2. 論文標題 We could predict good responders to vagus nerve stimulation: A surrogate marker by slow cortical potential shift.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1583-1589
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Kinoshita H, Maki T, Hata M, Nakayama Y, Yamashita H, Sawamoto N, Ikeda A, Takahashi R	4. 巻 375
2. 論文標題 Convergence paralysis caused by a localized cerebral infarction affecting the white matter underlying the right frontal eye field.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences	6. 最初と最後の頁 94-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2017.01.054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Matsumoto R, Matsuhashi M, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Kikuchi T, Yoshida K, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 128
2. 論文標題 High frequency activity overriding cortico-cortical evoked potentials reflects altered excitability in the human epileptic focus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1673-1681
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.06.249.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ookawa S, Enatsu R, Kanno A, Ochi S, Akiyama Y, Kobayashi T, Yamao Y, Kikuchi T, Matsumoto R, Kunieda T, Mikuni N	4. 巻 107
2. 論文標題 Frontal Fibers Connecting the Superior Frontal Gyrus to Broca Area: A Corticocortical Evoked Potential Study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 239-248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2017.07.166.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata S, Matsuhashi M, Kunieda T, Yamao Y, Inano R, Kikuchi T, Imamura H, Takaya S, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R, Mima T, Fukuyama H, Mikuni N, Miyamoto S	4. 巻 128
2. 論文標題 Magnetoencephalography with temporal spread imaging to visualize propagation of epileptic activity.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 734-743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.01.010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi M, Yano I, Ito S, Sugimoto M, Yamamoto S, Yonezawa A, Ikeda A, Matsubara K	4. 巻 39
2. 論文標題 Population Pharmacokinetics of Topiramate in Japanese Pediatric and Adult Patients With Epilepsy Using Routinely Monitored Data.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Therapeutic Drug Monitoring.	6. 最初と最後の頁 124-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/FTD.0000000000000383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tan G, Kondo T, Murakami N, Imamura K, Enami T, Tsukita K, Shibukawa R, Funayama M, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R	4. 巻 24
2. 論文標題 Induced pluripotent stem cells derived from an autosomal dominant lateral temporal epilepsy (ADLTE) patient carrying S473L mutation in leucine-rich glioma inactivated 1 (LGI1).	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cell Research.	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scr.2017.07.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Usami K, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Matsuhashi M, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 40 (8)
2. 論文標題 Phasic REM Transiently Approaches Wakefulness in the Human Cortex-A Single-Pulse Electrical Stimulation Study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 zsx077
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsx077.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Suzuki K, Kunieda T, Matsumoto R, Arakawa Y, Nakae T, Nishida S, Inano R, Shibata S, Shimotake A, Kikuchi T, Sawamoto N, Mikuni N, Ikeda A, Fukuyama H, Miyamoto S	4. 巻 38
2. 論文標題 Clinical impact of intraoperative CCEP monitoring in evaluating the dorsal language white matter pathway.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping.	6. 最初と最後の頁 1977-1991
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1002/hbm.23498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi K, Endoh F, Agari T, Akiyama T, Akiyama M, Hayashi H, Shibata T, Hanaoka Y, Oka M, Yoshinaga H, Date I	4. 巻 2(2)
2. 論文標題 Complex observation of scalp fast (40?150 Hz) oscillations in West syndrome and related disorders with structural brain pathology	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 260-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Frauscher B, Bartolomei F, Kobayashi K, Cimbalk J, vant Klooster MA, Rampp S, Otsubo H, Holler Y, Wu JY, Asano E, Engel J, Jr. Kahane P, Jacobs J, Gotman J	4. 巻 58(8)
2. 論文標題 High-frequency oscillations (HFOs): the state of clinical research	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1316-1329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13829	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueda J, Kawamoto M, Hikiami R, Ishii J, Yoshimura H, Matsumoto R, Kohara N	4. 巻 19
2. 論文標題 Serial EEG findings in anti-NMDA receptor 1 encephalitis: 2 correlation between clinical course and EEG	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 465-470
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2017.0942.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Y, Matsumoto R, Nakae T, Usami K, Matsunashi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Mima T, Ikeda A, Osu R.	4. 巻 147
2. 論文標題 Neural pattern similarity between contra- and ipsilateral movements in high-frequency band of human electrocorticograms.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 302-313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.neuroimage.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawai K, Tanaka T, Baba H, Bunker M, Ikeda A, Inoue Y, Kameyama S, Kaneko S, Kato A, Nozawa T, Maruoka, Osawa M, Otsuki T, Tsuji S, Watanabe E, Yamamoto T	4. 巻 9(3)
2. 論文標題 Japanese registry and outcome of vagus nerve stimulation for drug-resistant epilepsy: A prospective, observational, all-comers registry of first three years.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 327-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2017.0929.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Enatsu R, Kanno A, Ookawa S, Ochi S, Ishiai S, Nagamine T, Mikuni N.	4. 巻 106
2. 論文標題 Distribution and Network of Basal Temporal Language Areas: A Study of the Combination of Electric Cortical Stimulation and Diffusion Tensor Imaging.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2017.06.116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, A. Ohnishi, T. Kohno, S. Ohue, S. Iwata, S. Matsumoto, S. Nishikawa, M, Ozaki, S. Nakamura, Y. Mizuno, Y. Kitazawa, R. Kunieda, T.	4. 巻 41(2)
2. 論文標題 Significance of human chorionic gonadotropin as a predictor of resistance to standard chemotherapy for pure germinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosurgical Review	6. 最初と最後の頁 557-565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10143-017-0891-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T, Nair D.	4. 巻 44
2. 論文標題 Single pulse electrical stimulation to probe functional and pathological connectivity in epilepsy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 27-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2016.11.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Iha HA, Kunisawa N, Shimizu S, Tokudome K, Mukai T, Kinboshi M, Ikeda A, Ito H, Serikawa T, Ohno Y	4. 巻 8
2. 論文標題 Nicotine elicits convulsive seizures by activating amygdala neurons via 7 nicotinic acetylcholine receptors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2017.00057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moyer JT, Gnatkovsky V, Ono T, Ot?hal J, Wagenaar J, William C. Stacey W, Noebels J, Ikeda A, Staley K, de Curtis M, Litt B, Galanopoulou AS	4. 巻 58
2. 論文標題 Standards for data acquisition and software-based analysis of in vivo electroencephalography recordings from animals: report from the ILAE-AES joint translational task force	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 53-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13909	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zijlmans M, Worrell G, Duempelmann M, Stieglitz T, Barborica A, Heers M, Ikeda A, Usui N, Le Van Quyen M	4. 巻 58
2. 論文標題 How to record high frequency oscillations in epilepsy: a practical guideline	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1305-1315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1111/epi.13814	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadam SD, D'Ambrosio R, Duveau V, Roucard, Corinne R, Garcia-Cairasco N, Ikeda A, de Curtis M, Galanopoulou A, Kelly K	4. 巻 58
2. 論文標題 Methodological standards and interpretation of video-EEG in adult control rodents. A TASK1-WG1 report of the AES/ILAE Translational Task Force of the ILAE	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 10-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13903.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 A. E. Hernan, C. A. Schevon, G. A. Worrell, A. S. Galanopoulou, P. Kahane, M. de Curtis, A. Ikeda, P. Quilichini, A. Williamson, N. Garcia-Cairasco, R. C. Scott, and I. Timofeev	4. 巻 58
2. 論文標題 Methodological Standards and Functional Correlates of Depth in Vivo Electrophysiological Recordings in Control Rodents. A Task1-Wg3 Report of the AES/ILAE Translational Task Force of the ILAE	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 28-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13905.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Raimondo JV, Heinemann U, de Curtis M, Goodkin HP, Dulla CG, Janigro D, Ikeda A, Lin CCK, Jiruska P, Galanopoulou AS, Bernard C	4. 巻 58
2. 論文標題 TASK1-WG4 group of the AES/ILAE Translational Task Force of the Neurobiology Commission of the ILAE: Methodological standards for in vitro models of epilepsy and epileptic seizures	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 40-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13901	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaneko M, Hitomi T, Takekawa T, Tsuji T, Kishimoto Y, Hirano S.	4. 巻 32
2. 論文標題 Effects of Voice Therapy on Laryngeal Motor Units During Phonation in Chronic Superior Laryngeal Nerve Paresis Dysphonia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Voice	6. 最初と最後の頁 729-733
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jvoice.2017.08.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo H, Handa T, Tsuchiya M, Kubo T, Yoshizawa A, Nakayama Y, Shiga S, Hitomi T, Adachi S, Date H, Hirai T, Ichiyama S.	4. 巻 57
2. 論文標題 Progressive Restrictive Ventilatory Impairment in Idiopathic Diffuse Pulmonary Ossification.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1631-1636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.9433-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishiura H,..... Ugawa Y,..... Tsuji S.	4. 巻 50
2. 論文標題 Expansions of intronic TTCA and TTTA repeats in benign adult familial myoclonic epilepsy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 581-590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41588-018- 0067-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Kinboshi T. Mukai Y. Nagao Y. Matsuba Y. Tsuji S. Tanaka K. Tokudome S. Shimizu H. Ito, A, Ikeda A. Inanobe Y. Kurachi S. Inoue Y. Ohno:	4. 巻 10
2. 論文標題 Inhibition of inwardly rectifying potassium (Kir) 4.1 channels facilitates brain-derived neurotrophic factor (BDNF) expression in astrocytes.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Molecular Neuroscience	6. 最初と最後の頁 408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnmol.2017.00408	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumoto, N, Matsumoto, R, Kawamata, J, Koyasu, S, Kondo, T, Kitamura, A, Koshiba, Y, Kinoshita, M, Kawasaki, J, Yamashita, H, Takahashi, R, Ikeda, A	4. 巻 5
2. 論文標題 Novel LGI1 mutation in a Japanese autosomal dominant lateral temporal lobe epilepsy family	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 44 - 45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 S. Beniczky, et al (A. Ikeda 35番目)	4. 巻 128
2. 論文標題 Standardized Computer-Based Organized Reporting of Eeg: Score - Second Version	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2334-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.07.418	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi K, Endoh F, Agari T, Akiyama T, Akiyama M, Hayashi H, Shibata T, Hanaoka Y, Oka M, Yoshinaga H, Date I	4. 巻 2
2. 論文標題 Complex observation of scalp fast (40-150 Hz) oscillations in West syndrome and related disorders with structural brain pathology	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 260-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Ohuchi Y, Shibata T, Hanaoka Y, Akiyama M, Oka M, Endoh F, Akiyama T	4. 巻 40
2. 論文標題 Detection of fast (40-150 Hz) oscillations from the ictal scalp EEG data of myoclonic seizures in pediatric patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain & Development	6. 最初と最後の頁 397-405
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2018.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Akiyama T, Agari T, Sasaki T, Shibata T, Hanaoka H, Akiyama M, Endoh F, Oka M, Date I	4. 巻 71
2. 論文標題 Significance of high-frequency electrical brain activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Acta Medica Okayama	6. 最初と最後の頁 191-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18926/AMO/55201	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Frauscher B, Bartolomei F, Kobayashi K, Cimbalnik J, vant Klooster MA, Rampp S, Otsubo H, Holler Y, Wu JY, Asano E, Engel J, Jr. Kahane P, Jacobs J, Gotman J	4. 巻 58
2. 論文標題 High-frequency oscillations (HFOs): the state of clinical research	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1316-1329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1111/epi.13829	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Kikuchi T, Ishii A, Chihara H, Arai D, Ando M, Takenobu Y, Okada T, Takagi Y, Miyamoto S	4. 巻 107
2. 論文標題 Occlusion Status on Magnetic Resonance Angiography Is Associated with Risk of Delayed Ischemic Events in Cerebral Aneurysms Treated with Stent-Assisted Coiling.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 226-232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2017.07.161.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi T, Abekura Y, Arai D, Ikeda H, Funaki T, Ishii A, Yoshida K, Takagi Y, Miyamoto S	4. 巻 12
2. 論文標題 A Treatment Strategy for Basilar Bifurcation Aneurysm Associated with Moyamoya Disease: A Case Successfully Treated by Combined STA-MCA Anastomosis and Stent-assisted Coil Embolization	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Neuroendovascular Therapy	6. 最初と最後の頁 362-367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5797/jnet.cr.2017-0092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi Y, Okamoto T, Ogata K, Hagiwara K, Umezaki T, Kenjo M, Nakagawa T, Tobimatsu S	4. 巻 334
2. 論文標題 Abnormal auditory synchronization in stuttering: A magnetoencephalographic study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hearing Research	6. 最初と最後の頁 82-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heares.2016.10.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki T, Maekawa T, Miyanaga Y, Takahashi K, Takamiya N, Ogata K, Tobimatsu S	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 Enhanced fine-form perception does not contribute to gestalt face perception in autism spectrum disorder.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0170239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0170239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷岡洸介, 人見健文, 松本理器, 高橋良輔, 飛松省三, 犬塚 貴, 吉良潤一, 楠 進, 池田昭夫	4. 巻 57
2. 論文標題 日本神経学会における脳波判読セミナー受講謝のアンケート調査: 脳波教育の過去5年間の実態, ニースおよびその変遷.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 110 - 117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Motoyama Y, Ogata K, Hoka S, Tobimatsu S	4. 巻 29
2. 論文標題 Frequency-dependent changes in sensorimotor and pain affective systems induced by empathy for pain.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal Pain Research	6. 最初と最後の頁 10:1317-1326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/JPR.S129791	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hironaga N, Mitsudo T, Hayamizu M, Nakajima Y, Takeichi H, Tobimatsu S	4. 巻 7
2. 論文標題 Spatiotemporal brain dynamics of auditory temporal assimilation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-11631-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Goto Y, Yamasaki T, Tobimatsu S	4. 巻 2(4)
2. 論文標題 Auditory hemispheric specialization depends on temporal and spectral frequencies.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BOAJ Psychology	6. 最初と最後の頁 35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 飛松省三、宮内 哲	4. 巻 35(6)
2. 論文標題 脳波・網様体-古くて新しいシステム.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 701-706
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上原平, 飛松省三	4. 巻 35(7)
2. 論文標題 てんかんの分類.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 792-796
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松原鉄平, 飛松省三	4. 巻 105(7)
2. 論文標題 脳波判読の基礎知識とピットフォール.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 診断と治療	6. 最初と最後の頁 843-850
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki T, Maekawa T, Fujita T, Tobimatsu S	4. 巻 11
2. 論文標題 Connectopathy in autism spectrum disorders: A review of evidence from visual evoked potentials and diffusion magnetic resonance imaging.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 627
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.3389/fnins.2017.00627.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 緒方勝也, 中園寿人, 飛松省三	4. 巻 108(7)
2. 論文標題 非侵襲的脳刺激法のトピックス.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 福岡医誌	6. 最初と最後の頁 183-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satow T, Aso T, Nishida S, Komuro T, Ueno T, Oishi N, Nakagami Y, Odagiri M, Kikuchi T, Yoshida K, Ueda K, Kunieda T, Murai T, Miyamoto S, Fukuyama H	4. 巻 9
2. 論文標題 Alteration of Venous Drainage Route in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus and Normal Aging	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2017.00387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi H, Tsurumi K, Murao T, Takemura A, Kawada R, Urayama S, Aso T, Sugihara G, Miyata J, Murai T, Takahashi H	4. 巻 69
2. 論文標題 Common and differential brain abnormalities in gambling disorder subtypes based on risk attitude.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Addictive behaviors	6. 最初と最後の頁 48-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.addbeh.2017.01.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Son S, Miyata J, Mori Y, Isobe M, Urayama S, Aso T, Fukuyama H, Murai T, Takahashi H	4. 巻 260
2. 論文標題 Lateralization of intrinsic frontoparietal network connectivity and symptoms in schizophrenia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry research	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychresns.2016.12.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanazawa Y, Nakamura K, Ishii T, Aso T, Yamazaki H, Omori K	4. 巻 12:09
2. 論文標題 Phonological memory in sign language relies on the visuomotor neural system outside the left hemisphere language network	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0177599
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0177599	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamawaki R, Nakamura K, Aso T, Shigemune Y, Fukuyama H, Tsukiura T	4. 巻 38:08
2. 論文標題 Remembering my friends: Medial prefrontal and hippocampal contributions to the self-reference effect on face memories in a social context	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping	6. 最初と最後の頁 4256-4269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.23662	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bayasgalan B, Matsuhashi M, Fumuro T, Nohira H, Nakano N, Iida K, Katagiri M, Shimotake A, Matsumoto R, Kikuchi T, Kunieda T, Kato A, Takahashi R, and Ikeda A	4. 巻 128
2. 論文標題 We could predict good responders to vagus nerve stimulation: A surrogate marker by slow cortical potential shift	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1583-1589
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue T, Kawawaki H, Fukuoka M, Kim K, Nukui M, Kuki I, Okazaki S, Koh S, Kunihiro N, Uda T, Matsusaka Y, Matsuhashi M, Imura Y, and Otsubo H,	4. 巻 129
2. 論文標題 Intraoperative cortico-cortical evoked potentials show disconnection of the motor cortex from the epileptogenic network during subtotal hemispherotomy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 455-457
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.11.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi K, Matsumoto R, Matsuhashi M, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Kikuchi T, Yoshida K, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, and Ikeda A	4. 巻 128
2. 論文標題 High frequency activity overriding cortico-cortical evoked potentials reflects altered excitability in the human epileptic focus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1673-1681
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.06.249	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usami K, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Matsuhashi M, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Takahashi R, and Ikeda A	4. 巻 40
2. 論文標題 Phasic REM Transiently Approaches Wakefulness in the Human Cortex-A Single-Pulse Electrical Stimulation Study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 zsx077
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsx077	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Asako Mitsuto Nagase, Keiichi Onoda, Jerome Clifford Foo, Tomoki Haji, Rei Akaishi, Shuhei Yamaguchi, Katsuyuki Sakai, and Kenji Morita	4. 巻 38
2. 論文標題 Neural Mechanisms for Adaptive Learned Avoidance of Mental Effort	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 2631-2651
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1523/JNEUROSCI.1995-17.2018">https://doi.org/10.1523/JNEUROSCI.1995-17.2018</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Morita and Ayaka Kato	4. 巻 eNeuro 2018
2. 論文標題 A Neural Circuit Mechanism for the Involvements of Dopamine in Effort-Related Choices: Decay of Learned Values, Secondary Effects of Depletion, and Calculation of Temporal Difference Error	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 ENEURO.0021-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1523/ENEURO.0021-18.2018">https://doi.org/10.1523/ENEURO.0021-18.2018</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaori Sugimura, H. Kori	4. 巻 7
2. 論文標題 A reduced cell-based phase model for tissue polarity alignment through global anisotropic cues	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 17466
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-17611-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 A. Isomura, H. Kori, R. Kageyama	4. 巻 43(2)
2. 論文標題 Segmentation Genes Enter an Excited State	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Developmental cell	6. 最初と最後の頁 pp.121-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.devcel.2017.10.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 S. Koinuma, H. Kori, I.T. Tokuda, K. Yagita, Y. Shigeyoshi	4. 巻 12(7)
2. 論文標題 Transition of phase response properties and singularity in the circadian limit cycle of cultured cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS one	6. 最初と最後の頁 e0181223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0181223	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Murayama, H. Kori, C. Oshima, T. Kondo, H. Iwasaki, H. Ito	4. 巻 114
2. 論文標題 Low temperature nullifies the circadian clock in cyanobacteria through Hopf bifurcation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PNAS	6. 最初と最後の頁 5641-5646
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1620378114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 H. Kori, Y. Yamaguchi, H. Okamura	4. 巻 7
2. 論文標題 Accelerating recovery from jet lag: prediction from a multi-oscillator model and its experimental confirmation in model animals	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 46702
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46702	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 A. Isomura, F. Ogushi, H. Kori, R. Kageyama	4. 巻 31
2. 論文標題 Optogenetic perturbation and bioluminescence imaging to analyze cell-to-cell transfer of oscillatory information	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Genes & Development	6. 最初と最後の頁 524-535
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/gad.294546.116.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Terada S, Sakurai Y, Nakahara H, Fujisawa S.	4. 巻 94
2. 論文標題 Temporal and rate coding for discrete event sequences in the hippocampus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 1248-1262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: 10.1016/j.neuron.2017.05.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Danjo T, Toyozumi T, Fujisawa S.	4. 巻 359
2. 論文標題 Spatial representations of self and other in the hippocampus.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 213-218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: 10.1126/science.aao3898	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Kento Suzuki, Toshio Aoyagi and Katsunori Kitano	4. 巻 11
2. 論文標題 Bayesian estimation of phase dynamics based on partially sampled spikes generated by realistic model neurons	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Computational Neuroscience	6. 最初と最後の頁 116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncom.2017.00116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kento Suzuki, Toshio Aoyagi and Katsunori Kitano	4. 巻 11
2. 論文標題 Bayesian estimation of phase dynamics based on partially sampled spikes generated by realistic model neurons	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Computational Neuroscience	6. 最初と最後の頁 116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncom.2017.00116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki Onojima, Takahiro Goto, Hiroaki Mizuhara and Toshio Aoyagi	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 A dynamical systems approach for estimating phase interactions between rhythms of different frequencies from experimental data	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS Computational Biology	6. 最初と最後の頁 e1005928
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1005928	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Imai, Kaiichiro Ota and Toshio Aoyagi	4. 巻 86
2. 論文標題 Robust Measurements of Phase Response Curves Realized via Multicycle Weighted Spike-Triggered Averages	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of the Physical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 24009
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7566/JPSJ.86.024009	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yu Terada, Keigo Ito, Toshio Aoyagi and Yoshiyuki Y. Yamaguchi	4. 巻 2017
2. 論文標題 Nonstandard transitions in the Kuramoto model: a role of asymmetry in natural frequency distributions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Statistical Mechanics: Theory and Experiment	6. 最初と最後の頁 13403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1742-5468/aa53f6	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki Onojima, Keiichi Kitajo, Hiroaki Mizuhara	4. 巻 12(8)
2. 論文標題 Ongoing slow oscillatory phase modulates speech intelligibility in cooperation with motor cortical activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS One	6. 最初と最後の頁 e0183146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1371/journal.pone.0183146	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ichiro Tsuda	4. 巻 25
2. 論文標題 Finding mathematics in dynamics of the brain	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Consciousness Studies	6. 最初と最後の頁 121-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichiro Tsuda	4. 巻 -
2. 論文標題 Computational theory for constrained self-organizaton in neural systems and its applications	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Advances in Neuroinformatics 2017	6. 最初と最後の頁 KL3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14931/aini2017.kl.3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takao Namiki and Ichiro Tsuda	4. 巻 -
2. 論文標題 Mathematical structures in the brain dynamics of epilepsy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Advances in Neuroinformatics 2017	6. 最初と最後の頁 OSV14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14931/aini2017.osiv.4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y. Maruyama and H.Ito	4. 巻 122
2. 論文標題 Design of multielectrode arrays for uniform sampling of differently orientations of tuned unit populations in the cat visual cortex	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 51-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2017.04.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 物部太夢、伊藤浩之	4. 巻 NC2017-87
2. 論文標題 CNNを用いた多チャンネル脳波データからの視覚刺激弁別	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 電子情報通信学会信学技報 IEICE Technical Report	6. 最初と最後の頁 115-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤原正幸, 橋本敬, 李冠宏, 奥田次郎, 金野武司, 鮫島和行, 森田 純哉	4. 巻 -
2. 論文標題 記号コミュニケーション課題における成功群と失敗群の同期の特徴と結合性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第27回日本神経回路学会 全国大会 講演論文集	6. 最初と最後の頁 53-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masayuki Fujiwara, Takashi Hashimoto, Guanhong Li, Jiro Okuda, Takeshi Konno, Kazuyuki Samejima, Junya Morita	4. 巻 -
2. 論文標題 Neural phase synchrony on understanding meanings of symbols	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the 39th Annual Conference of the Cognitive Science Society	6. 最初と最後の頁 3711
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森田純哉, 金野武司, 奥田次郎, 鮫島和行, 李冠宏, 藤原正幸, 橋本敬	4. 巻 -
2. 論文標題 コミュニケーションシステムの形成における意図せぬ模倣の役割	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本認知科学会第34回大会予稿集	6. 最初と最後の頁 770-772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Junya Morita, Takeshi Konno, Jiro Okuda, Kazuyuki Samejima, Guanhong Li, Masayuki Fujiwara, Takashi Hashimoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Implicit memory processing in the formation of a shared communication system	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the 15th International Conference on Cognitive Modeling	6. 最初と最後の頁 19-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akane Kawaharada, Takao Namiki	4. 巻 -
2. 論文標題 Fractal structure of a class of two-dimensional two-state cellular automata	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the 5th International Workshop on Applications and Fundamentals of Cellular Automata	6. 最初と最後の頁 205-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima T, Arisawa H, Hosaka R, Mushiake H.	4. 巻 118
2. 論文標題 Intended arm use influences interhemispheric correlation of $\beta$ -oscillations in primate medial motor areas.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Neurophysiol.	6. 最初と最後の頁 2865-2883.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1152/jn.00379.2016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomokazu Ohshiro., Dora E. Angelaki and Gregory C. DeAngelis	4. 巻 95(2)
2. 論文標題 A Neural Signature of Divisive Normalization at the Level of Multisensory Integration in Primate Cortex	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 399-411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.neuron.2017.06.043.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kajita Y, Kojima N, Koganezawa N, Yamazaki H, Sakimura K, Shirao T.	4. 巻 46(6)
2. 論文標題 Drebrin E regulates neuroblast proliferation and chain migration in the adult brain.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Eur J Neurosci	6. 最初と最後の頁 2214-2228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1111/ejn.13668	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saga Y, Nakayama Y, Inoue K, Yamagata T, Hashimoto M, Tremblay L, Takada M, Hoshi E	4. 巻 45
2. 論文標題 Visuomotor signals for reaching movements in the rostro-dorsal sector of the monkey thalamic reticular nucleus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Eur J Neurosci	6. 最初と最後の頁 1186-1199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.13421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanabe S, Inoue K, Tsuge H, Uezono S, Nagaya K, Fujiwara M, Kato S, Kobayashi K, Takada M	4. 巻 120
2. 論文標題 The use of an optimized chimeric envelope glycoprotein enhances the efficiency of retrograde gene transfer of a pseudotyped lentiviral vector in the primate brain.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 45-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2017.02.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Seiriki K, Kasai A, Hashimoto T, Schulze W, Niu M, Yamaguchi S, Nakazawa T, Inoue K, Uezono S, Takada M, Naka Y, Igarashi H, Tanuma M, Wascheck JA, Ago Y, Tanaka KF, Hayata-Takano A, Nagayasu K, Shintani N, Hashimoto R, Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Yabe H, Nagai T, Fujita K, Matsuda T, Takuma K, Baba A, Hashimoto H	4. 巻 34
2. 論文標題 High-speed and scalable whole-brain imaging in rodents and primates.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuron	6. 最初と最後の頁 1085-1100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuron.2017.05.017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Inoue K, Tanabe S, Kato S, Takada M, Kobayashi K	4. 巻 11
2. 論文標題 Pseudotyped lentiviral vectors for retrograde gene delivery into target brain regions.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front Neuroanat	6. 最初と最後の頁 65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnana.2017.00065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Galvan A, Stauffer WR, Ackerson L, El-Shamayleh Y, Inoue K, Ohayon S, Schmid M.	4. 巻 37
2. 論文標題 Nonhuman primate optogenetics: Recent advances and future directions.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Neurosci	6. 最初と最後の頁 10894-10903
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1839-17.2017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ichinose H, Inoue K, Arakawa S, Watanabe Y, Kurosaki H, Koshiba S, Hustad E, Takada M, Aasly JO	4. 巻 125
2. 論文標題 Alterations in the reduced pteridine contents in the cerebrospinal fluids of LRRK2 mutation carriers and patients with Parkinson's disease.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neural Transm	6. 最初と最後の頁 45-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00702-017-1784-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishida H, Inoue K, Takada M	4. 巻 12
2. 論文標題 Multisynaptic projections from the amygdala to the ventral premotor cortex in macaque monkeys: Anatomical substrate for feeding behavior.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Neuroanat	6. 最初と最後の頁 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnana.2018.00003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Altmann, C.F., Ueda, R., Furukawa, S., Kashino, K., Mima, T. and Fukuyama, H	4. 巻 11
2. 論文標題 Auditory Mismatch Negativity in Response to Changes of Counter-Balanced Interaural Time and Level Differences	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2017.00387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru, S., F. Goto, M. Arai, K. Toshikuni, M. Hosoya, T. Wakabayashi, N. Yamamoto, S. Minami, S. Ikeda, K. Ikoma and T. Mima	4. 巻 10(3)
2. 論文標題 Effects of vestibular rehabilitation combined with transcranial cerebellar direct current stimulation in patients with chronic dizziness: An exploratory study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain Stimul	6. 最初と最後の頁 576-578
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2017.02.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata, S., M. Matsuhashi, T. Kunieda, Y. Yamao, R. Inano, T. Kikuchi, H. Imamura, S. Takaya, R. Matsumoto, A. Ikeda, R. Takahashi, T. Mima, H. Fukuyama, N. Mikuni and *S. Miyamoto	4. 巻 128(5)
2. 論文標題 Magnetoencephalography with temporal spread imaging to visualize propagation of epileptic activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 734-743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.01.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野島一平、美馬達哉	4. 巻 44
2. 論文標題 経頭蓋静磁場刺激による中枢神経系の調節とその応用	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 理学療法学	6. 最初と最後の頁 244-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Altmann, C. F., Ueda, R., Bucher, B., Furukawa, S., Ono, K., Kashino, M., Mima, T., Fukuyama, H.	4. 巻 159
2. 論文標題 Trading of dynamic interaural time and level difference cues and its effect on the auditory motion-onset response measured with electroencephalography.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 185-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2017.07.055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishibashi, R., Mima, T., Fukuyama, H., Pobric, G.	4. 巻 11
2. 論文標題 Facilitation of Function and Manipulation Knowledge of Tools Using Transcranial Direct Current Stimulation (tDCS)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Integrative Neuroscience	6. 最初と最後の頁 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnint.2017.00037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Ono, K., D. Yamasaki, C. F. Altmann and T. Mima	4. 巻 356
2. 論文標題 The effect of illusionary perception on mismatch negativity (MMN): An electroencephalography study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hearing Research	6. 最初と最後の頁 87-92.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heares.2017.10.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Utsumi, K., Takano, K., Okahara, Y., Komori, T., Onodera, O., Kansaku, K.	4. 巻 8
2. 論文標題 Operation of a P300-based brain-computer interface in patients with Duchenne muscular dystrophy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1753
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/s41598-018-20125-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato, Y., Kawase, T., Takano, K., Spence, C., Kansaku, K.	4. 巻 236
2. 論文標題 Incorporation of prosthetic limbs into the body representation of amputees: Evidence from the crossed hands temporal order illusion.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Progress in Brain Research	6. 最初と最後の頁 225-241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/bs.pbr.2017.08.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Onishi, A., Takano, K., Kawase, T., Ora, H., Kansaku, K.	4. 巻 11
2. 論文標題 Affective stimuli for an auditory P300 brain-computer interface.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 522
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.3389/fnins.2017.00522	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okahara, Y., Takano, K., Komori, T., Nagao, M., Iwadate, Y., Kansaku, K.	4. 巻 2
2. 論文標題 Operation of a P300-based brain-computer interface by patients with spinocerebellar ataxia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology Practice	6. 最初と最後の頁 147-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.cnp.2017.06.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuaki Takemi, Elisa Castagnola, Alberto Ansaldo, Davide Ricci, Luciano Fadiga, Miki Taoka, Atsushi Iriki, Junichi Ushiba	4. 巻 11
2. 論文標題 Rapid identification of cortical motor areas in rodents by high-frequency automatic cortical stimulation and novel motor threshold algorithm	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 580
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Terao Y, Fukuda H, Tokushige S, Inomata-Terada S, Yugeta A, Hamada M, Ugawa Y	4. 巻 128(1)
2. 論文標題 Distinguishing spinocerebellar ataxia with pure cerebellar manifestation from multiple system atrophy (MSA-C) through saccade profiles.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 31-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.clinph.2016.10.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inomata-Terada S, Tokushige S, Matsuda S, Yugeta A, Hamada M, Ugawa Y, Terao Y.	4. 巻 128(9)
2. 論文標題 Saccadic eye movements in Spinocerebellar Degeneration - study of saccades in eight directions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 e176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: 10.1016/j.clinph.2017.06.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toshio Shimizu, Kota Bokuda, Hideki Kimura, Tsutomu Kamiyama, Yuki Nakayama, Akihiro Kawata, Eiji Isozaki, and Yoshikazu Ugawa	4. 巻 90
2. 論文標題 Sensory cortex hyperexcitability predicts short survival in amyotrophic lateral sclerosis.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurology	6. 最初と最後の頁 e1578-e1587
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1212/WNL.0000000000005424	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishiura H, ..... Ugawa Y, ..... Tsuji S	4. 巻 50
2. 論文標題 Intronic TTCA and TTTA repeat expansions in benign adult familial myoclonic epilepsy. Intronic TTCA and TTTA repeat expansions in benign adult familial myoclonic epilepsy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 581-590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/s41588-018-0067-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki T, Kodama S, Togashi N, Shiota Y, Sugiyama Y, Tokushige S, Inomata-Terada S, Terao Y, Ugawa Y, Hamada M	4. 巻 11
2. 論文標題 The intensity of continuous theta burst stimulation, but not the waveform used to elicit motor evoked potentials, influences its outcome in the human motor cortex.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain stimulation	6. 最初と最後の頁 400-410
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.brs.2017.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroya Naruse Hiroyuki Ishiura Jun Mitsui Hidetoshi Date Yuji Takahashi Takashi Matsukawa Masaki Tanaka Akiko Ishii Akira Tamaoka Keiichi Hokkoku Masahiro Sonoo Mari Segawa Yoshikazu Ugawa Koichiro Doi 3 more Shoji Tsuji	4. 巻 61
2. 論文標題 Molecular epidemiological study of familial amyotrophic lateral sclerosis in Japanese population by whole-exome sequencing and identification of novel HNRNPA1 mutation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurobiology of Aging.	6. 最初と最後の頁 255.e9-255.e16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neurobiolaging.2017.08.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto H, Hanajima R, Terao Y, Hamada M, Shirota Y, Yugeta A, Hashida H, Ugawa Y.	4. 巻 384
2. 論文標題 A significant correlation between cauda equina conduction time and cerebrospinal fluid protein in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Neurological Science	6. 最初と最後の頁 7-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2017.11.006. Epub 2017 Nov 7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ilkka L, Murakami T, Hirata A, Ugawa Y	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Where and what TMS activates: experiments and modeling.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 166-174.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.brs.2017.09.011. Epub 2017 Sep 27.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Huang Y, Lu M, Antal A, Classen J, Nitsche M, Ziemann U, Ridding M, Hamada M, Ugawa Y, Jaberzadeh S, Suppa A, Paulus W, Rothwell J	4. 巻 128
2. 論文標題 Plasticity induced by non-invasive transcranial brain stimulation: a position paper.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2318-2329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1016/j.clinph.2017.09.007">https://doi.org/10.1016/j.clinph.2017.09.007</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Beniczky S, ....., Ugawa Y, ....., Herman ST	4. 巻 128(11)
2. 論文標題 Standardized Computer-based Organized Reporting of EEG: SCORE-second version.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2334-2346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.clinph.2017.07.418. Epub 2017 Aug 9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 A Antal,..... Y Ugawa, ....., M Hallett, W Paulus	4. 巻 128(9)
2. 論文標題 Low intensity transcranial electric stimulation: Safety, ethical, legal regulatory and application guidelines.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1774-1809.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.clinph.2017.06.001. Epub 2017 Jun 19.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsumoto H, Ugawa Y	4. 巻 2
2. 論文標題 Adverse events of tDCS and tACS: A review.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology Practice	6. 最初と最後の頁 19-25.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) ( <a href="http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/">http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/</a> )	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Groiss SJ, Mochizuki H, Nakatani-Enomoto S, Otani AK, Ugawa Y	4. 巻 18
2. 論文標題 Impairment of triad conditioned facilitation in amyotrophic lateral sclerosis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Amyotrophic Lateral Sclerosis and Frontotemporal Degeneration	6. 最初と最後の頁 604-610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="http://dx.doi.org/10.1080/21678421.2017.1321676">http://dx.doi.org/10.1080/21678421.2017.1321676</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hanajima R, Tanaka N, Tsutsumi R, Enomoto H, Abe M, Nakamura K, Kobayashi S, Hamada M, Shimizu T, Terao Y, Ugawa Y	4. 巻 235(7)
2. 論文標題 The effect of age on the homotopic motor cortical long-term potentiation-like effect induced by quadripulse stimulation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Experimental Brain Research	6. 最初と最後の頁 2103-2108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1007/s00221-017-4953-0. Epub 2017 Apr 6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki S, Okutsu M, Suganuma R, Komiya H, Nakatani-Enomoto S, Ugawa Y, Tateno H, Fujimori K	4. 巻 38
2. 論文標題 Influence of radiofrequency-electromagnetic waves (RF-EMWs) from 3rd-generation cellular phones on fertilization and embryo development in mice.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bioelectromagnetics	6. 最初と最後の頁 466-473
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1002/bem.22063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井内盛遠, 松本理器	4. 巻 105
2. 論文標題 てんかんの病態生理	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 診断と治療	6. 最初と最後の頁 837-842
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 人見健文, 池田昭夫	4. 巻 27
2. 論文標題 いまさら聞けない 速解! 脳波判読トレーニング 1: 頭蓋頂鋭一過性波をてんかん性放電と間違わないためには?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 588-592
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上岳司, 人見健文, 池田昭夫	4. 巻 27
2. 論文標題 いまさら聞けない 速解! 脳波判読トレーニング 2: 鋭一過性波 (sharp transient) とてんかん放電 (棘波 spike, 鋭波 sharp wave) の違いは?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 704-707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢澤省吾、人見健文、池田昭夫	4. 巻 27
2. 論文標題 いまさら聞けない 速解！ 脳波判読トレーニング 3： 開頭術後の脳波をよむ際の注意点は？	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 822-826
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 人見健文、藤井大樹、池田昭夫	4. 巻 27
2. 論文標題 いまさら聞けない 速解！ 脳波判読トレーニング 4： 側頭葉てんかんのてんかん性活動は必ず側頭部から記録されるか？ 両側大脳半球“南半球”のてんかん性放電	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 957-962
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷光良、小林勝哉、松本理器	4. 巻 37
2. 論文標題 硬膜下電極記録	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 826-829
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村井智彦、井内盛遠、池田昭夫	4. 巻 37
2. 論文標題 直流脳波(DC電位)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 822-825
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井大樹、池田昭夫	4. 巻 105
2. 論文標題 フィコンパ_(ペランパネル)、連載企画「注目の新薬」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 診断と治療	6. 最初と最後の頁 123-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野育子、池田昭夫	4. 巻 53,S-1
2. 論文標題 抗てんかん薬、新薬展望2017、第III部 治療における最近の新薬の位置付け 薬効別 ~新薬の広場~	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 医薬ジャーナル	6. 最初と最後の頁 463-470
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中智貴、松本理器、池田昭夫	4. 巻 特別号1
2. 論文標題 脳卒中後てんかん、脳血管障害に伴う慢性期症状の管理	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 289-292
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本光弘、松本理器	4. 巻 86
2. 論文標題 自己免疫性てんかん(特集I てんかん診療のフロントライン)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 神経内科	6. 最初と最後の頁 546-552
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 松本理器、坂本光弘、池田昭夫	4. 巻 69
2. 論文標題 てんかんと自己免疫	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BRAIN and NERVE	6. 最初と最後の頁 1115-1124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎、池田昭夫	4. 巻 146
2. 論文標題 てんかんに疑う症状と診断	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 703-708
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 兼子直、岩城弘隆、廣瀬伸一、石井敦士、山本達也、矢野珠巨、村松一洋、池田昭夫、人見健文、曾良一郎、渡辺雅子、原広一郎、猿渡淳二、山田順子、吉田秀一、小島俊男、金井数明	4. 巻 28
2. 論文標題 てんかんの発病防止に関する社会基盤の整備 - 遺伝情報に依拠した治療導入のための体制整備。	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 てんかん治療研究振興財団 研究年報	6. 最初と最後の頁 105-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎、池田明夫	4. 巻 105
2. 論文標題 てんかんの診断と病型分類、一般臨床医に必要なてんかんの基礎知識とトピックス	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 診断と治療	6. 最初と最後の頁 826-835
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 人見健文、池田昭夫	4. 巻 27
2. 論文標題 頭蓋頂鋭一過性波をてんかん性放電と間違わないためには？	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 588-592
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武山博文、松本理器 .	4. 巻 56
2. 論文標題 認知症との併存と鑑別のポイント .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatric medicine (老年医学)	6. 最初と最後の頁 225-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 人見健文、池田 昭夫	4. 巻 11
2. 論文標題 てんかん臨床の窓から 脳波教育の最前線。	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 108-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 十河正弥、池田 昭夫	4. 巻 45
2. 論文標題 てんかんの診断・治療の流れを理解しよう	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Medical Technology	6. 最初と最後の頁 552-556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷光良、井内盛遠、前田健寿、池田昭夫	4. 巻 46
2. 論文標題 (4) Wide-band EEG を用いた焦点診断 - グリアとニューロン両者からのアプローチ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurological Surgery 脳神経外科	6. 最初と最後の頁 339-353
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林勝哉、人見健文、池田昭夫	4. 巻 2017年12月号
2. 論文標題 遷延する意識障害の治療方針決定に脳波は必要か？ - 非けいれん性てんかん重積について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 1244-1250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎、池田昭夫	4. 巻 105
2. 論文標題 てんかんの診断	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 診断と治療	6. 最初と最後の頁 35 - 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎、池田昭夫	4. 巻 56
2. 論文標題 高齢者てんかん、てんかん発作の現状 .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatric medicine (老年医学)	6. 最初と最後の頁 208-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉村 元	4. 巻 86
2. 論文標題 成人の難治性てんかん	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 神経内科	6. 最初と最後の頁 561-567
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎、池田昭夫	4. 巻 146
2. 論文標題 【失神の臨床】てんかんを疑う症状と診断	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 703-707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 56
2. 論文標題 日常診療で増えて来た高齢者のてんかん	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriat.Med	6. 最初と最後の頁 205-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kakizawa K, Watanabe M, Mutoh H, Okawa Y, Yamashita M, Yanagawa Y, Itoi K, Suda T, Oki Y. and Fukuda A.	4. 巻 2
2. 論文標題 A novel GABA-mediated corticotropin-releasing hormone secretory mechanism in the median eminence.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 e1501723
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.1501723	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saitu H, Watanabe M, Akita T, Ohba C, Sugai K, Ong WP, Shiraishi H, Yuasa S, Matsumoto H, Beng KT, Saitoh S, Miyatake S, Nakashima M, Miyake N, Kato M, Fukuda A. and Matsumoto N.	4. 巻 6
2. 論文標題 Impaired neuronal KCC2 function by biallelic SLC12A5 mutations in migrating focal seizures and severe developmental delay.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 30072
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep30072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Darbin O, Jin X, Von Wrangel C, Schwabe K, Nambu A, Naritoku DK, Krauss JK, Alam M	4. 巻 26
2. 論文標題 Neuronal entropy-rate feature of entopeduncular nucleus in rat model of Parkinson's disease.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int J Neural Syst	6. 最初と最後の頁 1550038
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0129065715500380	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Horie M, Mekada K, Sano H, Kikkawa Y, Chiken S, Someya T, Saito K, Hossain MD, Nameta M, Abe K, Sakimura K, Ono K, Nambu A, Yoshiki A, Takebayashi H	4. 巻 96
2. 論文標題 Characterization of novel dystonia musculorum mutant mice: implications for central nervous system abnormality.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurobiology of Disease	6. 最初と最後の頁 271-283
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nbd.2016.09.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taruno A, Kashio M, Sun H, Kobayashi K, Sano H, Nambu A, Marunaka Y	4. 巻 42
2. 論文標題 Adeno-Associated Virus-Mediated Gene Transfer into Taste Cells In Vivo	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Chemical Senses	6. 最初と最後の頁 69-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/chemse/bjw101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satomi Chiken, Atsushi Nambu	4. 巻 22(3)
2. 論文標題 Mechanism of Deep Brain Stimulation: Inhibition, Excitation, or Disruption?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Neuroscientist	6. 最初と最後の頁 313-322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1073858415581986	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 南部 篤、知見聡美	4. 巻 34
2. 論文標題 DBSのメカニズム	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 210-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Sano H, Kato S, Kuroda K, Nakamuta S, Isa T, Nambu A, Kaibuchi K, Kobayashi K	4. 巻 630
2. 論文標題 Survival of corticostriatal neurons by Rho/Rho-kinase signaling pathway.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurosci Lett	6. 最初と最後の頁 45-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2016.07.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osanai Y, Shimizu T, Mori T, Yoshimura Y, Hatanaka N, Nambu A, Kimori Y, Koyama S, Kobayashi K, Ikenaka K	4. 巻 65
2. 論文標題 Rabies virus-mediated oligodendrocyte labeling reveals a single oligodendrocyte myelinates axons from distinct brain regions.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Glia	6. 最初と最後の頁 93-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.23076	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 南部 篤	4. 巻 35
2. 論文標題 大脳皮質 大脳基底核ループとその機能	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 43-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shouno O, Tachibana Y, Nambu A and Doya K	4. 巻 11
2. 論文標題 Computational Model of Recurrent Subthalamo-Pallidal Circuit for Generation of Parkinsonian Oscillations	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front. Neuroanat.	6. 最初と最後の頁 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnana.2017.00021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsutsui-Kimura I, Takiue H, Yoshida K, Xu M, Yano R, Ohta H, Nishida H, Bouchekioua Y, Okano H, Uchigashima M, Watanabe M, Takata N, Drew MR, Sano H, Mimura M, Tanaka KF.	4. 巻 8
2. 論文標題 Dysfunction of ventrolateral striatal dopamine receptor type 2-expressing medium spiny neurons impairs instrumental motivation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Communication	6. 最初と最後の頁 14304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms14304.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata S, Matsushashi M, Kunieda T, Yamao Y, Inano R, Kikuchi T, Imamura H,	4. 巻 128
2. 論文標題 Magnetoencephalography with temporal spread imaging to visualize propagation of epileptic activity.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 734-743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.01.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi M, Yano I, Ito S, Sugimoto M, Yamamoto S, Yonezawa A, Ikeda A, Matsubara K	4. 巻 39
2. 論文標題 Population pharmacokinetics of topiramate in Japanese pediatric and adult patients with epilepsy using routinely monitored data.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Therapeutic Drug Monitoring	6. 最初と最後の頁 124-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/FTD.0000000000000383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita H, Maki T, Hata M, Nakayama Y, Yamashita H, Sawamoto N, Ikeda A, Takahashi R	4. 巻 375
2. 論文標題 Convergence paralysis caused by a localized cerebral infarction affecting the white matter underlying the right frontal eye field.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Neurol Sci	6. 最初と最後の頁 94-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2017.01.054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Suzuki K, Kunieda T, Matsumoto R, Arakawa Y, Nakae T, Nishida S, Inano R, Shibata S, Shimotake A, Kikuchi, T, Sawamoto N, Mikuni N, Ikeda A, Fukuyama H, Miyamoto S	4. 巻 38
2. 論文標題 Clinical impact of intraoperative CCEP monitoring in evaluating the dorsal language white matter pathway.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping	6. 最初と最後の頁 1977-1991
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.23498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iha HA, Kunisawa N, Shimizu S, Tokudome K, Mukai T, Kinboshi M, Ikeda A, Ito H, Serikawa T, Ohno Y	4. 巻 8
2. 論文標題 Nicotine elicits convulsive seizures by activating amygdalar neurons.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 Article 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2017.00057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Fujiwara Y, Matsumoto R, Nakae T, Usami K, Matsuhashi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Mima T, Ikeda A, Osu R	4. 巻 147
2. 論文標題 Neural pattern similarity between contra- and ipsilateral movements in high-frequency band of human electrocorticograms.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 302-313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.11.058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumoto N, Matsumoto R, Kawamata J, Koyasu S, Kondo T, Shimotake A, Kitamura K, Koshiya Y, Kinoshita M, Kawasaki J, Yamashita H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 5
2. 論文標題 Novel LGI1 mutation in a Japanese autosomal dominant lateral temporal lobe epilepsy family.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 44-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto T, Kubota Y, Murayama H, Ozeki H, Numachi Y, Ikeda A, the Lamictal 200776 Study Group	4. 巻 8
2. 論文標題 Appropriate conversion from valproate monotherapy to lamotrigine monotherapy in Japanese women with epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy & Seizure	6. 最初と最後の頁 21-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/eands.8.21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuma K, Ihara M, Miyashita K, Motoyama R, Tanaka T, Kajimoto K, Ikeda A, Nagatsuka K	4. 巻 4
2. 論文標題 Right parietal source in Mahjong-induced seizure: a system epilepsy of focal origin.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Case Reports	6. 最初と最後の頁 948-951
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ccr3.653	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen Y, Shimotake A, Matsumoto R, Kunieda T, Kikuchi T, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A, Lambon-Ralph MA	4. 巻 79
2. 論文標題 The 'when' and 'where' of semantic coding in the anterior temporal lobe: Temporal representational similarity analysis of electrocorticogram data.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2016.02.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito S, Yano I, Hashi S, Tsuda M, Sugimoto M, Yonezawa A, Ikeda A, Matsubara K	4. 巻 38
2. 論文標題 Population pharmacokinetic modeling of levetiracetam in pediatric and adult patients with epilepsy by using routinely monitored data.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Therapeutic Drug Monitoring	6. 最初と最後の頁 371-378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/FTD.0000000000000291	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usami K, Matsumoto R, Sawamoto N, Murakami H, Inouchi M, Fumuro T, Shimotake A, Kato T, Mima T, Shirozu H, Masuda H, Fukuyama H, Takahashi R, Kameyama S, Ikeda A	4. 巻 125
2. 論文標題 Epileptic network of hypothalamic hamartoma: An EEG-fMRI study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy Research	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2016.05.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hitomi T, Kobayashi K, Sakurai T, Ueda S, Jingami N, Kanazawa K, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 18
2. 論文標題 Benign adult familial myoclonus epilepsy is a progressive disorder: no longer idiopathic generalized epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 67-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2016.0807	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Neshige S, Kobayashi K, Shimotake A, Iemura T, Matsumoto R, Nishinaka K, Matsumoto M, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 4
2. 論文標題 An elderly woman with exaggerated startle reflex and unconscious drop attack.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 156-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imamura H, Matsumoto R, Takaya S, Nakagawa T, Shimotake A, Kikuchi T, Sawamoto N, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 18
2. 論文標題 Network specific change in white matter integrity in mesial temporal lobe epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy Research	6. 最初と最後の頁 65-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2015.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueno Y, Yokoyama A, Nishikawa Y, Funakoshi T, Ozaki Y, Aoyama I, Yamaguchi D, Morita S, Mori Y, Kanai M, Kinoshita H, Inoue T, Sawamoto N, Matsumoto R, Matsumoto S, Muto M	4. 巻 55
2. 論文標題 Paraneoplastic limbic encephalitis in a human epidermal growth factor receptor-2-positive gastric cancer patient treated with trastuzumab-combined chemotherapy: a case report and literature review.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 2605-2609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.55.6917	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Usami K, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Matsuhashi M, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 40
2. 論文標題 Phasic REM transiently approaches wakefulness in the human cortex - a single-pulse electrical stimulation study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 SLEEP	6. 最初と最後の頁 zsx077
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimura H, Matsumoto R, Ueda H, Ariyoshi K, Kawamoto M, Ishii J, Ikeda A, Takahashi R, Kohara N	4. 巻 370
2. 論文標題 Status epilepticus in the elderly: Prognostic implications of rhythmic and periodic patterns in electroencephalography and hyperintensities on diffusion-weighted imaging.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences	6. 最初と最後の頁 284-289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2016.09.062	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T, Nair D	4. 巻 44
2. 論文標題 Single pulse electrical stimulation to probe functional and pathological connectivity in epilepsy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 27-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2016.11.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 小林勝哉, 松本理器, 松橋眞生, 中江卓郎, 宇佐美清英, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 池田昭夫	4. 巻 42
2. 論文標題 CCEPオフライン解析と解釈 (特集「CCEPのskills workshop: clinical practice parameter (臨床実践指標) を目指して」)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 91-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷岡洸介, 人見健文, 松本理器, 高橋良輔, 飛松省三, 犬塚貴, 吉良潤一, 楠進, 池田昭夫	4. 巻 57
2. 論文標題 日本神経学会における脳波判読セミナー受講者のアンケート調査: 脳波教育の過去5年間の実態, ニーズおよびその変遷	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 110-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000990	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 月田和人, 下竹昭寛, 中谷光良, 高橋幸利, 池田昭夫, 高橋良輔	4. 巻 57
2. 論文標題 辺縁系脳炎で発症した神経梅毒の1例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 37-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000936	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中谷光良, 月野光博, 高橋良輔, 池田昭夫	4. 巻 56
2. 論文標題 パラシクロピルによる一過性の周期性同期性放電を伴う薬剤性脳症をきたした高齢者例	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 504-507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000892	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyoshima T, Yazawa S, Murahara T, Ishiguro M, Shinozaki J, Ichihara-Takeda S, shiraishi H, Matsuhashi M, Shimohama S, Nagamine T	4. 巻 112
2. 論文標題 Load effect on background rhythms during motor execution: A	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 26-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2016.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinozaki J, Hiroe N, Sato MA, Nagamine T, Sekiyama K	4. 巻 -
2. 論文標題 Impact of language on functional connectivity for audiovisual speech integration.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep31388	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noshiro S, Mikami T, Komatsu K, Kannno A, Enatsu R, Yazawa S, Nagamine T, Matsuhashi M, Mikuni N	4. 巻 91
2. 論文標題 Neuromodulatory Role of Revascularization Surgery in Moyamoya Disease.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 473-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.106/j.wneu.2016.04.087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Borgil B, Matsuhashi M, Fumuro T, Nohira H, Nakano N, Iida K, Katagiri M, Shimotake A, Matsumoto R, Kikuchi T, Kunieda T, Kato A, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 128
2. 論文標題 We could predict good responders to vagus nerve stimulation: a surrogate marker by slow cortical potential shift	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1583-1589
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hanaoka, Y., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 39
2. 論文標題 A ten-year follow-up cohort study of childhood epilepsy: Changes in epilepsy diagnosis with age	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 312-320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.10.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., Akiyama, M., Hayashi, Y., Shibata, T., Hanaoka, Y., Toda, S., Imai, K., Hamano, S.-I., Okanishi, T., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 466
2. 論文標題 Measurement of pyridoxal 5'-phosphate, pyridoxal, and 4-pyridoxic acid in the cerebrospinal fluid of children	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinica Chimica Acta	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca.2016.12.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi, A., Yorifuji, T., Takahashi, K., Nakamura, M., Kageyama, M., Kubo, T., Ogino, T., Kobayashi, K., Doi, H.	4. 巻 39
2. 論文標題 Behavioral outcomes of school-aged full-term small-for-gestational-age infants: A nationwide Japanese population-based study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 101-06
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.08.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., Hayashi, Y., Hanaoka, Y., Shibata, T., Akiyama, M., Nakamura, K., Tsuyusaki, Y., Kubota, M., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 465
2. 論文標題 Simultaneous measurement of monoamine metabolites and 5-methyltetrahydrofolate in the cerebrospinal fluid of children	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinica Chimica Acta	6. 最初と最後の頁 5-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca.2016.12.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi, Y., Hanaoka, Y., Akiyama, T., Ohmori, I., Ouchida, M., Yamamoto, T., Oka, M., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 39
2. 論文標題 A case of Dravet syndrome with cortical myoclonus indicated by jerk-locked back-averaging of electroencephalogram data	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 75-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.07.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., Shibata, T., Yoshinaga, H., Kuhara, T., Nakajima, Y., Kato, T., Maeda, Y., Ohse, M., Oka, M., Kageyama, M., Kobayashi, K.	4. 巻 39
2. 論文標題 A Japanese case of -ureidopropionase deficiency with dysmorphic features	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 58-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.08.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi, K., Akiyama, T., Oka, M., Endoh, F., Yoshinaga, H	4. 巻 38
2. 論文標題 Fast (40-150Hz) oscillations are associated with positive slow waves in the ictal EEGs of epileptic spasms in West syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 909-914
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.05.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saitoh, M., Kobayashi, K., Ohmori, I., Tanaka, Y., Tanaka, K., Inoue, T., Horino, A., Ohmura, K., Kumakura, A., Takei, Y., Hirabayashi, S., Kajimoto, M., Uchida, T., Yamazaki, S., Shiihara, T., Kumagai, T., Kasai, M., Terashima, H.,bota,M., Mizuguchi, M.	4. 巻 368
2. 論文標題 Cytokine-related and sodium channel polymorphism as candidate predisposing factors for childhood encephalopathy FIRES/AERRPS	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences	6. 最初と最後の頁 272-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjns.2016.07.040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, M., Akiyama, T., Kanamaru, K., Kuribayashi, M., Tada, H., Shiokawa, T., Toda, S., Imai, K., Kobayashi, Y., Tohyama, J., Sakakibara, T., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 460
2. 論文標題 Determination of CSF 5-methyltetrahydrofolate in children and its application for defects of folate transport and metabolism	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinica Chimica Acta	6. 最初と最後の頁 120-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca2016.06.032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pal,D.K., Ferrie,C., Addis,L., Akiyama,T., Capovilla,G., Caraballo,R., DeSaint-Martin,A., Fejerman,N., Guerrini,R., Hamandi,K., Helbig,I., Ioannides,A.A., Kobayashi,K., et al.	4. 巻 18
2. 論文標題 Idiopathic focal epilepsies: The lost tribe	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 252-288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2016.0839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 Akiyama, T., Miyahara, H., Waki, K., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 29
2. 論文標題 A Japanese case of hereditary chin trembling responsive to arotinolol	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Parkinsonism and Related Disorders	6. 最初と最後の頁 133-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parkreldis.2016.04.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihara K, Tanabe CH, Kawamichi H, Koike T, Yamazaki M, Sudo N, Sadato N	4. 巻 134
2. 論文標題 Neural correlates of fear-induced sympathetic response associated with the peripheral temperature change rate	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 522-531
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsunaga M, Kawamichi H, Koike T, Yoshihara K, Yoshida Y, Takahashi HK, Nakagawa E, Sadato N.	4. 巻 134
2. 論文標題 Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 132-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata, S., Matsushashi, M., Kunieda, T., Yamao, Y., Inano, R., Kikuchi, T., Imamura, H., Takaya, S., Matsumoto, R., Ikeda, A., Takahashi, R., Mima, T., Fukuyama, H., Mikuni, N., Miyamoto, S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Magnetoencephalography with temporal spread imaging to visualize propagation of epileptic activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 734-743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.01.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara, Y., Matsumoto, R., Nakae, T., Usami, K., Matsuhashi, M., Kikuchi, T., Yoshida, K., Kunieda, T., Miyamoto, S., Mima, T., Ikeda, A., Osu, R.	4. 巻 -
2. 論文標題 Neural pattern similarity between contra- and ipsilateral movements in high-frequency band of human electrocorticograms	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 302-313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.11.058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noshiro, S., Mikami, T., Komatsu, K., Kanno, A., Enatsu, R., Yazawa, S., Nagamine, T., Matsuhashi, M., Mikuni, N.	4. 巻 -
2. 論文標題 Neuromodulatory Role of Revascularization Surgery in Moyamoya Disease	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 473-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.106/j.wneu.2016.04.087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ayaka Kato & Kenji Morita	4. 巻 12(10)
2. 論文標題 Forgetting in reinforcement learning links sustained dopamine signals to motivation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLOS Computational Biology	6. 最初と最後の頁 e1005145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1005145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Morita, Jenia Jitsev, & Abigail Morrison	4. 巻 311
2. 論文標題 Corticostriatal circuit mechanisms of value-based action selection: Implementation of reinforcement learning algorithms and beyond	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Behavioural Brain Research	6. 最初と最後の頁 110-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbr.2016.05.017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jerome C. Foo, Kohei Nagase, Sawako Naramura-Ohno, Kazuhiro Yoshiuchi, Yoshiharu Yamamoto and Kenji Morita	4. 巻 8
2. 論文標題 Rank among Peers during Game Competition Affects the Tendency to Make Risky Choices in Adolescent Males	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2017.00016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayasi K and Kitano K	4. 巻 40
2. 論文標題 Impact of slow K+ currents on spike generation can be described by an adaptive threshold model	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Computational Neuroscience	6. 最初と最後の頁 347-362
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="http://link.springer.com/article/10.1007/s10827-016-0601-0">http://link.springer.com/article/10.1007/s10827-016-0601-0</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 北野勝則	4. 巻 -
2. 論文標題 Transfer entropyを用いた神経回路の解析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Annual Review 神経 2017	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Imai, Kaiichiro Ota and Toshio Aoyagi	4. 巻 86(2)
2. 論文標題 Robust Measurements of Phase Response Curves Realized via Multicycle Weighted Spike-Triggered Averages	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of the Physical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 24009
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7566/JPSJ.86.024009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yu Terada, Keigo Ito, Toshio Aoyagi and Yoshiyuki Y. Yamaguchi	4. 巻 -
2. 論文標題 Nonstandard transitions in the Kuramoto model: a role of asymmetry in natural frequency distributions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Statistical Mechanics: Theory and Experiment: Theory and Experiment	6. 最初と最後の頁 13403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1742-5468/aa53f6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yu Terada and Toshio Aoyagi	4. 巻 94
2. 論文標題 Dynamics of two populations of phase oscillators with different frequency distributions	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Physical Review E	6. 最初と最後の頁 12213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevE.94.012213	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tetsuro Funato, Yuki Yamamoto, Shinya Aoi, Takashi Imai, Toshio Aoyagi, Nozomi Tomita and Kazuo Tsuchiya	4. 巻 12(5)
2. 論文標題 Evaluation of the Phase-Dependent Rhythm Control of Human Walking Using Phase Response Curves	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLOS Computational Biology	6. 最初と最後の頁 e1004950
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1004950	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Imai and Toshio Aoyagi	4. 巻 7(2)
2. 論文標題 Improvement effect of measuring phase response curves by using multicycle data	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE (NOLTA)	6. 最初と最後の頁 58-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/nolta.7.58	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichiro Tsuda, Yutaka Yamaguti, Hiroshi Watanabe	4. 巻 1874
2. 論文標題 Self-organization with constraints A mathematical model for functional	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Entropy	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/e18030074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oka, M., Shimojima, K., Yamamoto, T., Hanaoka, Y., Sato, S., Yasuhara, T., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 89
2. 論文標題 A novel HYL51 homozygous mutation in living siblings with Joubert syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Genetics	6. 最初と最後の頁 739-743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cge.12752	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Otsuki, T., Kim, H.-D., Luan, G., Inoue, Y., Baba, H., Oguni, H., Hong, S.-C., Kameyama, S., Kobayashi, K., Hirose, S., Yamamoto, H., Hamano, S.-I., Sugai, K.	4. 巻 38
2. 論文標題 Surgical versus medical treatment for children with epileptic encephalopathy in infancy and early childhood: Results of an international multicenter cohort study in Far-East Asia (the FACE study)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 449-460
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2015.11.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jacobs, J., Vogt, C., LeVan, P., Zelmann, R., Gotman, J., Kobayashi, K.	4. 巻 127
2. 論文標題 The identification of distinct high-frequency oscillations during spikes delineates the seizure onset zone better than high-frequency spectral power changes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 129-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2015.04.053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi, K., Endoh, F., Toda, Y., Oka, M., Baba, H., Ohtsuka, Y., Yoshinaga, H.	4. 巻 38
2. 論文標題 Occurrence of bilaterally independent epileptic spasms after a corpus callosotomy in West syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 132-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2015.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi, Y., Yoshinaga, H., Akiyama, T., Endoh, F., Ohtsuka, Y., Kobayashi, K.	4. 巻 38
2. 論文標題 Predictive factors for relapse of epileptic spasms after adrenocorticotropichormone therapy in West syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 32-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2015.05.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., Osaka, H., Shimbo, H., Kuhara, T., Shibata, T., Kobayashi, K., Kurosawa, K., Yoshinaga, H.	4. 巻 38
2. 論文標題 SSADH deficiency possibly associated with enzyme activity-reducing SNPs	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 871-874
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.03.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata T, Yoshinaga H, Akiyama T, Kobayashi K.	4. 巻 1
2. 論文標題 A study on spike focus-dependence of high-frequency activity in idiopathic focal epilepsy in childhood.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 121-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chatani H, Hagiwara K, Hironaga N, Ogata K, Shigeto H, Morioka T, Sakata A, Hashiguchi K, Murakami N, Uehara T, Kira J-I, Tobimatsu S	4. 巻 124(1)
2. 論文標題 Neuromagnetic evidence for hippocampal modulation of auditory processing.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 256-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2015.09.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takei Y, Fujihara K, Tagawa M, Hironaga N, Near J, Kasagi M, Takahashi Y, Motegi T, Suzuki Y, Aoyama Y, Sakurai N, Yamaguchi M, Tobimatsu S, Ujita K, Tsushima Y, Narita K, Fukuda M	4. 巻 128
2. 論文標題 The inhibition/excitation ratio related to task-induced oscillatory modulations during a working memory task: A multimodal-imaging study using MEG and MRS.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 302-315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2015.12.057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayamizu M, Hagiwara K, Hironaga N, Ogata K, Hoka S, Tobimatsu S	4. 巻 130
2. 論文標題 A spatiotemporal signature of cortical pain relief by tactile stimulation: An MEG study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 175-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.01.065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kume Y, Maekawa T, Urakawa T, Hironaga N, Ogata K, Shigyo M, Tobimatsu S	4. 巻 109
2. 論文標題 Neuromagnetic evidence that the right fusiform face area is essential for human face awareness: An intermittent binocular rivalry study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 54-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2016.02.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki T, Horie S, Ohyagi Y, Tanaka E, Nakamura N, Goto Y, Kanba S, Kira J-I, Tobimatsu S	4. 巻 53
2. 論文標題 A potential VEP biomarker for mild cognitive impairment: Evidence from selective deficit of higher-level dorsal pathway.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 661-676
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-150939	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuroda T, Grondin S, Ogata K, Tobimatsu S	4. 巻 29(8)
2. 論文標題 The kappa effect with only two visual markers.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Multisensory Research	6. 最初と最後の頁 703-725
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1163/22134808-00002533	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagaike A, Mitsudo T, Nakajima Y, Ogata K, Yamasaki T, Goto Y, Tobimatsu S	4. 巻 234(11)
2. 論文標題 'Time-shrinking perception' in the visual system: A psychophysical and high-density ERP study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Experimental Brain Research	6. 最初と最後の頁 3279-3290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-016-4726-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakazono H, Ogata K, Kuroda T, Tobimatsu S	4. 巻 11(9)
2. 論文標題 Phase and frequency-dependent effects of transcranial alternating current stimulation on motor cortical excitability.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0162521
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0162521	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Kikuchi Y, Okamoto T, Ogata K, Hagiwara K, Umezaki T, Kenjo M, Nakagawa T, Tobimatsu S	4. 巻 344
2. 論文標題 Abnormal auditory synchronization in stuttering: A magnetoencephalographic study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hearing Research	6. 最初と最後の頁 82-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heares.2016.10.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohki T, Atsuko Gunji A, Takei Y, Takahashi H, Kaneko Y, Kita Y, Hironaga N, Tobimatsu S, Kamio Y, Hanakawa T, Inagaki M, Hiraki K	4. 巻 6
2. 論文標題 Neural oscillations in the temporal pole for a temporally congruent audio-visual speech detection task.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 37973
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep37973	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki T, Maekawa T, Miyanaga Y, Kenji Takahashi K, Takamiya N, Ogata K, Tobimatsu S	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 Enhanced fine-form perception does not contribute to gestalt face perception in autism spectrum disorder.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0170239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0170239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷岡洸介, 人見健文, 松本理器, 高橋良輔, 飛松省三, 犬塚 貴, 吉良潤一, 楠 進, 池田昭夫	4. 巻 57
2. 論文標題 日本神経学会における脳波判読セミナー受講者のアンケート調査: 脳波教育の過去5年間の実態, ニーズおよびその変遷.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 110-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000990	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 浦川智和, 飛松省三	4. 巻 34(6)
2. 論文標題 脳磁図の原理と可能性	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 680-683
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林隆太郎, 飛松省三	4. 巻 34(7)
2. 論文標題 視覚誘発電位の基礎.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 787-790
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松省三	4. 巻 9 (2)
2. 論文標題 幻視の生理学的機序: 視覚認知の観点から.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 MDSJ Letters	6. 最初と最後の頁 4-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松省三	4. 巻 85(4)
2. 論文標題 成人脳波判読: pitfalls.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 神経内科	6. 最初と最後の頁 337-344
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松省三	4. 巻 105(8)
2. 論文標題 てんかん診断のための検査.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日内会誌	6. 最初と最後の頁 1366-1374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Votinov M, Aso T, Fukuyama H, Mima T.	4. 巻 10
2. 論文標題 A Neural Mechanism of Preference Shifting Under Zero Price Condition.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2016.00177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aso T, Nishimura K, Kiyonaka T, Aoki T, Inagawa M, Matsuhashi M, Tobinaga Y,	4. 巻 16;6(8)
2. 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thoughtsuppression.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 e00503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi H, Tsurumi K, Muraio T, Takemura A, Kawada R, Urayama SI, Aso T, Sugihara GI, Miyata J, Murai T, Takahashi H.	4. 巻 69
2. 論文標題 Common and differential brain abnormalities in gambling disorder subtypes based on risk attitude.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Addictive Behaviors	6. 最初と最後の頁 48-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.addbeh.2017.01.025.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujino J, Hirose K, Tei S, Kawada R, Tsurumi K, Matsukawa N, Miyata J, Sugihara G, Yoshihara Y, Ideno T, Aso T, Takemura K, Fukuyama H, Murai T, Takahashi H.	4. 巻 178(1-3)
2. 論文標題 Ambiguity aversion in schizophrenia: An fMRI study of decision-making under risk and ambiguity.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 94-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2016.09.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsui T, Nakamura T, Utsumi A, Sasaki AT, Koike T, Yoshida T, Harada T, Tanabe HC, Sadato N.	4. 巻 87
2. 論文標題 The role of prosody and context in sarcasm comprehension: Behavioral and fMRI evidence	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuropsychologia	6. 最初と最後の頁 74-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuropsychologia.2016.04.031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ichiro Tsuda, Yutaka Yamaguti, Hiroshi Watanabe	4. 巻 18,74
2. 論文標題 Self-organization with constraints A mathematical model for functional differentiation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Entropy	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/e18030074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Daniel Collerton, John-Paul Taylor, Ichiro Tsuda, Hiroshi Fujii, Shigetoshi Nara, Kazuyuki Aihara, Yuichi Katori	4. 巻 23(7-8)
2. 論文標題 How can we see things that are not there?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Consciousness Studies	6. 最初と最後の頁 195-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshiko Maruyama and Hiroyuki Ito	4. 巻 122
2. 論文標題 Design of multielectrode arrays for uniform sampling of differently orientations of tuned unit populations in the cat visual cortex	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 51-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2017.04.004	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saitou H, Watanabe M, Akita T, Ohba C, Sugai K, Ong WP, Shiraishi H, Yuasa S, Matsumoto H, Beng KT, Saitoh S, Miyatake S, Nakashima M, Miyake N, Kato M, Fukuda A. and Matsumoto N.	4. 巻 6
2. 論文標題 Impaired neuronal KCC2 function by biallelic SLC12A5 mutations in migrating focal seizures and severe developmental delay.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 30072
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep30072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Darbin O, Jin X, Von Wrangel C, Schwabe K, Nambu A, Naritoku DK,	4. 巻 26
2. 論文標題 Neuronal entropy-rate feature of entopeduncular nucleus in rat model of Parkinson's disease.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int J Neural Syst	6. 最初と最後の頁 1550038
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0129065715500380	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Horie M, Mekada K, Sano H, Kikkawa Y, Chiken S, Someya T, Saito K, Hossain MD, Nameta M, Abe K, Sakimura K, Ono K, Nambu A, Yoshiki A, Takebayashi H	4. 巻 96
2. 論文標題 Characterization of novel dystonia musculorum mutant mice: implications for central nervous system abnormality.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurobiology of Disease	6. 最初と最後の頁 271-283
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: 10.1016/j.nbd.2016.09.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taruno A, Kashio M, Sun H, Kobayashi K, Sano H, Nambu A, Marunaka Y	4. 巻 42
2. 論文標題 Adeno-Associated Virus-Mediated Gene Transfer into Taste Cells In Vivo	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Chemical Senses	6. 最初と最後の頁 69-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1093/chemse/bjw101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 南部 篤、知見聡美	4. 巻 34
2. 論文標題 DBSのメカニズム	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 210-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Sano H, Kato S, Kuroda K, Nakamuta S, Isa T, Nambu A, Kaibuchi K, Kobayashi K	4. 巻 630
2. 論文標題 Survival of corticostriatal neurons by Rho/Rho-kinase signaling pathway.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurosci Lett	6. 最初と最後の頁 45-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.neulet.2016.07.020	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osanai Y, Shimizu T, Mori T, Yoshimura Y, Hatanaka N, Nambu A, Kimori Y, Koyama S, Kobayashi K, Ikenaka K	4. 巻 65
2. 論文標題 Rabies virus-mediated oligodendrocyte labeling reveals a single oligodendrocyte myelinates axons from distinct brain regions.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Glia	6. 最初と最後の頁 93-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.23076	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 南部 篤	4. 巻 35
2. 論文標題 大脳皮質 大脳基底核ループとその機能	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 43-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shouno O, Tachibana Y, Nambu A and Doya K	4. 巻 11
2. 論文標題 Computational Model of Recurrent Subthalamo-Pallidal Circuit for Generation of Parkinsonian Oscillations	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front. Neuroanat.	6. 最初と最後の頁 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnana.2017.00021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 飛松 省三	4. 巻 84
2. 論文標題 視覚神経系の交叉	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 神経内科	6. 最初と最後の頁 339-345
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshiya Matsuzaka, Jun Tanji, and Hajime Mushiake	4. 巻 36
2. 論文標題 Representation of behavioral tactics and tactics-action transformation in the primate medial prefrontal cortex	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Neuroscience	6. 最初と最後の頁 5974-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.4572-15.2016.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hosaka R, Nakajima T, Aihara K, Yamaguchi Y, Mushiake H.	4. 巻 26
2. 論文標題 The Suppression of Beta Oscillations in the Primate Supplementary Motor Complex Reflects a Volatile State During the Updating of Action Sequences.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cereb Cortex	6. 最初と最後の頁 3442-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhv163. PubMed PMID: 26232988.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirata Y, Amigo JM, Matsuzaka Y, Yokota R, Mushiake H, Aihara K	4. 巻 11
2. 論文標題 Detecting Causality by Combined Use of Multiple Methods: Climate and Brain Examples.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS Plos One.	6. 最初と最後の頁 e0158572
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0158572	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mushiake H, Shima K.	4. 巻 68
2. 論文標題 Functional Parcellation of Frontal Higher Order Motor Cortex.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain Nerve	6. 最初と最後の頁 1271-1282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本 一寛, 川口 典彦, 虫明 元.	4. 巻 23
2. 論文標題 大脳皮質補助眼野の"驚き"細胞と探索-知識利用トレード・オフ.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本神経回路学会誌	6. 最初と最後の頁 41-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) org/10.3902/jnns.23.41	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Fujiwara, Y., R. Matsumoto, T. Nakae, K. Usami, M. Matsuhashi, T. Kikuchi, K. Yoshida, T. Kunieda, S. Miyamoto, T. Mima, A. Ikeda and R. Osu	4. 巻 147
2. 論文標題 Neural pattern similarity between contra- and ipsilateral movements in high-frequency band of human electrocorticograms.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 30-3013
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.11.058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi, S., R. Murai, H. Shimazu, Y. Isomura, T. Mima and T. Tsujimoto	4. 巻 39 (9)
2. 論文標題 Spatiotemporal Organization and Cross-Frequency Coupling of Sleep Spindles in Primate Cerebral Cortex.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 1719-1735
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5665/sleep.6100	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nojima, I., S. Koganemaru and T. Mima	4. 巻 10
2. 論文標題 Combination of Static Magnetic Fields and Peripheral Nerve Stimulation Can Alter Focal Cortical Excitability.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Front Hum Neurosci	6. 最初と最後の頁 598
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2016.00598	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usami, K., R. Matsumoto, N. Sawamoto, H. Murakami, M. Inouchi, T. Fumuro, A. Shimotake, T. Kato, T. Mima, H. Shirozu, H. Masuda, H. Fukuyama, R. Takahashi, S. Kameyama and A. Ikeda	4. 巻 125
2. 論文標題 Epileptic network of hypothalamic hamartoma: An EEG-fMRI study	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy Res	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Votinov, M., T. Aso, H. Fukuyama and T. Mima	4. 巻 10
2. 論文標題 A Neural Mechanism of Preference Shifting Under Zero Price Condition.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Front Hum Neurosci	6. 最初と最後の頁 177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) org/10.3389/fnhum.2016.00177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 美馬 達哉	4. 巻 34(7)
2. 論文標題 脳波コヒーレンス	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 766-770
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美馬 達哉	4. 巻 44(17)
2. 論文標題 脱精神医学化の二つのエッジ RDoC (研究領域基準)とマッドネス	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 73-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美馬 達哉	4. 巻 -
2. 論文標題 新しい磁気刺激リハビリテーション開発と可塑性の解明	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ブレインサイエンス・レビュー2017	6. 最初と最後の頁 271-282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ushiba J and Soekadar SR	4. 巻 228
2. 論文標題 Brain-machine interfaces for rehabilitation of poststroke hemiplegia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Progress in Brain Research	6. 最初と最後の頁 163-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/bs.pbr.2016.04.020.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Maezawa H	4. 巻 134
2. 論文標題 Cortical Mechanisms of Tongue Sensorimotor Functions in Humans: A Review of the Magnetoencephalography Approach	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in human neuroscience	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2017.00134.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maezawa H, Oguma H, Hirai Y, Hisadome K, Shiraishi H, Funahashi M	4. 巻 117
2. 論文標題 Movement-related cortical magnetic fields associated with self-paced tongue protrusion in humans	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2016.11.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okusha Y, Hirai Y, Maezawa H, Hisadome K, Inoue N, Yamazaki Y, Funahashi M.	4. 巻 67
2. 論文標題 Effects of intraperitoneally administered L-histidine on food intake, taste, and visceral sensation in rats	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Journal of Physiological Sciences	6. 最初と最後の頁 467-474
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12576-016-0476-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maezawa H, Tojyo I, Yoshida K, Fujita S	4. 巻 74
2. 論文標題 Recovery of Impaired Somatosensory Evoked Fields after Improvement of Tongue Sensory Deficits with Neurosurgical Reconstruction	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	6. 最初と最後の頁 1473-1482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.joms.2016.01.011.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maezawa H	4. 巻 58
2. 論文標題 Cortico-muscular communication for motor control of the tongue in humans: a review.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Oral Biosciences	6. 最初と最後の頁 69-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) Journal of Oral Biosciences	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Ishida K, Tanabe S, Nojima I	4. 巻 332
2. 論文標題 Preparatory state and postural adjustment strategies for choice reaction step initiation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2016.06.055.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Tsutou K, Satio K, Ishida K, Tanabe S, Nojima I	4. 巻 234
2. 論文標題 Performance monitoring and response conflict resolution associated with choice stepping reaction tasks.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Exp Brain Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-016-4733-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe S, Nojima I, Agarie Y, Watanabe T, Fukuhara S, Fujinaga T, Oka H	4. 巻 54
2. 論文標題 Electrically induced mechanomyograms reflect inspiratory muscle strength in young or elderly subjects	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Respir Investig	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resinv.2016.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ora H, Wada M, Salat D, Kansaku K.	4. 巻 6
2. 論文標題 Arm crossing updates brain functional connectivity of the left posterior parietal cortex.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 28105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep28105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawase T, Sakurada T, Koike Y, Kansaku K.	4. 巻 14 (1)
2. 論文標題 A hybrid BMI-based exoskeleton for paresis: EMG control for assisting arm movements.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Neural Engineering	6. 最初と最後の頁 16015
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-2552/aa525f	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Halder S, Takano T, Ora H, Onishi A, Utsumi K, Kansaku K.	4. 巻 10
2. 論文標題 An evaluation of training with an auditory P300 brain-computer interface for the Japanese Hiragana syllabary.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 446
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2016.00446	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 神作憲司	4. 巻 36(4)
2. 論文標題 ブレイン-マシン・インターフェイス技術によるコミュニケーション支援	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 ノーマライゼーション-障害者の福祉	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihara A, Fukatsu M, Hoshi K, Ito H, Nollet K, Yamaguchi Y, Ishii R, Tokuda T, Miyajima M, Arai H, Kato T, Furukawa K, Arai H, Kikuchi A, Takeda A, Ugawa Y, Hashimoto Y	4. 巻 160(2)
2. 論文標題 "Subgroup differences in "brain-type" transferrin and alpha-synuclein in Parkinson's disease and multiple system atrophy".	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Biochemistry	6. 最初と最後の頁 87-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvw015	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura K, Groiss SF, Hamada M, Enomoto H, Kadowaki S, Murakami T, Wiratman W, Chang F, Kobayashi S, Hnajima R, Terao Y, Ugawa Y	4. 巻 9
2. 論文標題 Variability in response to quadripulse stimulation of the motor cortex.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain stimulation	6. 最初と最後の頁 859-866
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2016.01.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hanajaima R, Tsutsumi R, Shirota Y, Shimizu T, Tanaka N, Ugawa Y	4. 巻 31
2. 論文標題 Cerebellar dysfunction in essential tremor.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Movement Disorders	6. 最初と最後の頁 1230-1234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.26629	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hoshi A, Tsunoda A, Tada M, Nishizawa M, Ugawa Y, Kakita A	4. 巻 27 (2)
2. 論文標題 Expression of aquaprin 1 and aquaporin 4 in the temporal neocortex of patients with Parkinson's disease.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain Pathology	6. 最初と最後の頁 160-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bpa.12369. Epub 2016 Apr 6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tokushige S, Matsuda S, Terada S, Shimizu T, Tanaka N, Hmada M, Yugeta A, Hanajima R, Mori H, Tsuji S, Ugawa Y	4. 巻 4
2. 論文標題 Motor neuron disease with saccadic abnormalities similar to progressive supranuclear palsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 146-152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hoshi A, Tsunoda A, Yamamoto T, Tada M, Kakita A, Ugawa Y	4. 巻 626
2. 論文標題 Increased neuronal and astroglial aquaporin-1 immunoreactivity in rat striatum by chemical preconditioning with 3-nitropropionic acid.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakatani-Enomoto S, Okutsu M, Suzuki S, Suganuma R, Groiss SJ, Kadowaki S, Enomoto H, Fujimori K, Ugawa Y	4. 巻 37 (6)
2. 論文標題 Effects of 1950 MHz W-CDMA-like signal on human spermatozoa.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Bioelectromagnetics	6. 最初と最後の頁 373-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/bem.21985	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami T, Yoshida K, Segawa M, Yoshihara A, Hoshi A, Nakamura K, Ichikawa M, Yokoyama Y, Toyoshima Y, Sugiura Y, Ito H Saito K, Kakita A, Takahashi H, Ugawa Y, Suzuki O, Hashimoto Y	4. 巻 16
2. 論文標題 A case of lymphomatosis cerebri mimicking inflammatory diseases	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Neurology	6. 最初と最後の頁 128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12883-016-0655-7	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuo Terao, Hideki Fukuda, Shin-ichi Tokushige, Satomi Inomata-Terada, Yoshikazu Ugawa	4. 巻 10
2. 論文標題 How saccade intrusions affect subsequent motor and oculomotor actions.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 608
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) org/10.3389/fnins.2016.00608	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito H, Akita T, Tohyama J, Goldberg-Stern H, Kobayashi Y, Cohen R, Kato M, Ohba C, Miyatake S, Tsurusaki Y, Nakashima M, Miyake N, Fukuda A, Matsumoto N.	4. 巻 5
2. 論文標題 De novo KCNB1 mutations in infantile epilepsy inhibit repetitive neuronal firing.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 15199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep15199	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okabe A, Shimizu-Okabe C, Arata A, Konishi S, Fukuda A, Takayama C.	4. 巻 1601
2. 論文標題 CC2-mediated regulation of respiration-related rhythmic activity during postnatal development in mouse medulla oblongata.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Brain Research	6. 最初と最後の頁 31-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brainres.2015.01.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Watanabe M, Fukuda A.	4. 巻 9
2. 論文標題 Development and regulation of chloride homeostasis in the central nervous system.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Celluler Neuroscience	6. 最初と最後の頁 371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2015.00371	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Y, Egawa K, Ito T, Takeuchi F, Nakajima M, Otsuka K, Asahina N, Takahashi K, Nakane S, Kohsaka S, Shiraishi H.	4. 巻 114
2. 論文標題 The presence of short and sharp MEG spikes implies focal cortical dysplasia.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epilepsy Research	6. 最初と最後の頁 141-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2015.04.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sano H, Murata H, Nambu A.	4. 巻 134
2. 論文標題 Zonisamide reduces nigrostriatal dopaminergic neurodegeneration in a mouse genetic model of Parkinson's disease.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Neurochemistry	6. 最初と最後の頁 371-381
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.13116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chiken S, Sato A, Ohta C, Kurokawa M, Arai S, Maeshima J, Sunayama-Morita T, Sasaoka T, Nambu A.	4. 巻 25
2. 論文標題 Dopamine D1 receptor-mediated transmission maintains information flow through the cortico-striato-entopeduncular direct pathway to release movements.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 4885-4897
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhv209	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nambu A, Tachibana Y, Chiken S.	4. 巻 5
2. 論文標題 Cause of parkinsonian symptoms: Firing rate, firing pattern or dynamic activity changes?	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Basal Ganglia	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.baga.2014.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usami K, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Shimotake A, Kikuchi T, Matsuhashi M, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 36
2. 論文標題 Sleep modulates cortical connectivity and excitability in humans: Direct evidence from neural activity induced by single-pulse electrical stimulation.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping	6. 最初と最後の頁 4714-4729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.22948	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumuro T, Matsuhashi M, Miyazaki T, Inouchi M, Hitomi T, Matsumoto R, Takahashi R, Fukuyama H, Ikeda A.	4. 巻 126
2. 論文標題 Alpha-band desynchronization in human parietal area during reach planning.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 756-762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2014.07.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumuro T, Matsumoto R, Shimotake A, Matsuhashi M, Inouchi M, Urayama S, Sawamoto N, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 126
2. 論文標題 Network hyperexcitability in a patient with partial reading epilepsy: Converging evidence from magnetoencephalography, diffusion tractography, and functional magnetic resonance imaging.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 675-681
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2014.07.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Matsumoto R, Matsubishi M, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Kikuchi T, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 10
2. 論文標題 Different Mode of Afferents Determines the Frequency Range of High Frequency Activities in the Human Brain: Direct Electrographic Comparison between Peripheral Nerve and Direct Cortical Stimulation.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0130461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0130461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto R, Mikuni N, Tanaka K, Usami K, Fukao K, Kunieda T, Takahashi Y, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 17
2. 論文標題 Possible induction of multiple seizure foci due to parietal tumour and anti-NMDAR antibody.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epileptic Disorder	6. 最初と最後の頁 89-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2015.0725	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimotake A, Matsumoto R, Ueno T, Kunieda T, Saito S, Hoffman P, Kikuchi T, Fukuyama H, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A, Lambon-Ralph MA.	4. 巻 25
2. 論文標題 Direct exploration of the role of the ventral anterior temporal lobe in semantic memory: Cortical stimulation and local field potential evidence from subdural grid electrodes.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 3802-3817
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhu262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inoue Y, Yagi K, Ikeda A, Sasagawa M, Ishida S, Suzuki A, Yoshida K, and Japan Levetiracetam N01221 Study Group.	4. 巻 69
2. 論文標題 Efficacy and tolerability of levetiracetam as adjunctive therapy in Japanese patients with uncontrolled partial-onset seizures.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 640-648
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12300	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kunieda T, Yamao Y, Kikuchi T, Matsumoto R.	4. 巻 55
2. 論文標題 New Approach for Exploring Cerebral Functional Connectivity: Review of CCEP (Cortico-cortical evoked potential).	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neurologia medico-chirurgica	6. 最初と最後の頁 374-382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmc.ra.2014-0388	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibata S, Kunieda T, Inano R, Sawada M, Yamao Y, Kikuchi T, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R, Mikuni N, Takahashi J, Miyamoto S.	4. 巻 84
2. 論文標題 Risk factors for infective complications with long term subdural electrode implantation in patients with medically intractable partial epilepsy.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 320-326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2015.03.048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ritaccio A, Matsumoto R, Morrell M, Kamada K, Koubeissi M, Poeppel D, Lachaux JP, Yanagisawa Y, Hirata M, Guger C, Schalk G.	4. 巻 51
2. 論文標題 Proceedings of the Seventh International Workshop on Advances in Electrographicography.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epilepsy and Behavior	6. 最初と最後の頁 312-320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yebeh.2015.08.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamao Y, Matsumoto R, Kunieda K, Arakawa Y, Kikuchi T, Shibata S, Ikeda A, Fukuyama H, Miyamoto S.	4. 巻 134
2. 論文標題 A possible variant of negative motor seizure arising from the supplementary negative motor area.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurology and Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 126-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2015.04.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Matsumoto R, Kunieda T, Shibata S, Shimotake A, Kikuchi T, Satow T, Mikuni N, Fukuyama H, Ikeda A, Miyamoto S.	4. 巻 66
2. 論文標題 Neural correlates of mirth and laughter: a direct electrical cortical stimulation study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 134-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2014.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashi S, Yano I, Shibata M, Masuda S, Kinoshita M, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R, Matsubara K.	4. 巻 71
2. 論文標題 Effect of CYP2C19 polymorphisms on the clinical outcome of low-dose clobazam therapy in Japanese patients with epilepsy.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 European Journal of Clinical Pharmacology	6. 最初と最後の頁 51-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00228-014-1773-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上岳司, 池田昭夫	4. 巻 43
2. 論文標題 問題症例の脳波 - 頭皮上脳波で陽性棘波 (positive spike) を示す症例の病態 - .	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 477-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda A.	4. 巻 56
2. 論文標題 Commentary: We shall not lose past medical documents.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1712-1713
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13196	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada, M., Kato, K., Kunieda, T., Mikuni, N., Miyamoto, S., Onoe, H., Isa, T. and Nishimura, Y.	4. 巻 350
2. 論文標題 Function of the nucleus accumbens in motor control during recovery after spinal cord injury.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 98-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aab3825	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ichihara-Takeda, S., Yazawa, S., Murahara, T., Toyoshima, T., Shinozaki, J., Ishiguro, M., Shiraishi, H., Ikeda, N., Matsuyama, K., Funahashi, S., Nagamine, T.	4. 巻 27
2. 論文標題 Modulation of alpha activity in the parieto-occipital area by distractors during a visuospatial working memory task: a magnetoencephalographic study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Cognitive Neuroscience	6. 最初と最後の頁 453-463
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/jocn_a_00718	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木 健史, 長峯 隆, 小塚 直樹, 松山 清治	4. 巻 30
2. 論文標題 傾斜外乱時におけるラット動的姿勢調節の特徴.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 理学療法科学	6. 最初と最後の頁 21-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1589/rika.30.21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chatani H, Hagiwara K, Hironaga N, Ogata K, Shigeto H, Morioka T, Sakata A, Hashiguchi K, Murakami N, Uehara T, Kira J-I, Tobimatsu S.	4. 巻 124
2. 論文標題 Neuromagnetic evidence for hippocampal modulation of auditory processing.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 256-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2015.09.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujihara K, Tagawa M, Hironaga N, Near J, Kasagi M, Takahashi Y, Motegi T, Suzuki Y, Aoyama Y, Sakurai N, Yamaguchi M, Tobimatsu S, Ujita K, Tsushima Y, Narita K, Fukuda M.	4. 巻 128
2. 論文標題 The inhibition/excitation ratio related to task-induced oscillatory modulations during a working memory task: A multimodal-imaging study using MEG and MRS.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 302-315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2015.12.057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayamizu M, Hagiwara K, Hironaga N, Ogata K, Hoka S, Tobimatsu S.	4. 巻 130
2. 論文標題 A spatiotemporal signature of cortical pain relief by tactile stimulation: An MEG study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 175-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.01.065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morita K, Kawaguchi Y.	4. 巻 42
2. 論文標題 Computing reward-prediction error: an integrated account of cortical timing and basal-ganglia pathways for appetitive and aversive learning.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 European Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 2003-2021
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.12994	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Futagi D, Kitano K.	4. 巻 39
2. 論文標題 Ryanodine-receptor-driven intracellular calcium dynamics underlying spatial association of synaptic plasticity.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Computational Neuroscience	6. 最初と最後の頁 329-347
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10827-015-0579-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 北野勝則	4. 巻 30
2. 論文標題 脳のシミュレーションを始めるために.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 人工知能	6. 最初と最後の頁 607-615
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imai T, Aoyagi T.	4. 巻 7
2. 論文標題 Improvement effect of measuring phase response curves by using multicycle data.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nonlinear Theory and Its Applications	6. 最初と最後の頁 58-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/nolta.7.58	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukada H, Fujii H, Aihara K, Tsuda I.	4. 巻 62
2. 論文標題 Computational model of visual hallucination in dementia with Lewy bodies.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neural Networks	6. 最初と最後の頁 73-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neunet.2014.09.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda I.	4. 巻 31
2. 論文標題 Chaotic itinerancy and its roles in cognitive neurodynamics.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Current Opinion in Neurobiology	6. 最初と最後の頁 67-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.conb.2014.08.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Tsuda I.	4. 巻 17
2. 論文標題 Logic dynamics for deductive inference Its stability and neural basis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Chaos, Information Processing and Paradoxical Games: The legacy of John S Nicolis	6. 最初と最後の頁 355-373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/9789814602136_0017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang R, Tsuda I, Zhang Z.	4. 巻 25
2. 論文標題 A New Work Mechanism on Neuronal Activity.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 International Journal of Neural Systems	6. 最初と最後の頁 1450037
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0129065714500373	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsuda I.	4. 巻 -
2. 論文標題 Self-organization of a Second Kind: General Scope and a Cortical Case Study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Advances in Cognitive Neurodynamics	6. 最初と最後の頁 13-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda I.	4. 巻 -
2. 論文標題 On the Role of Chaotic Neural Activity in a Priori Concept of Time.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Advances in Cognitive Neurodynamics	6. 最初と最後の頁 723-725
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukada H, Tsuda I.	4. 巻 -
2. 論文標題 A Concept of Spatiotemporal Attractors.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Advances in Cognitive Neurodynamics	6. 最初と最後の頁 749-753
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukada H, Tsuda I.	4. 巻 -
2. 論文標題 Memory Retrieval by Means of Frequency Division Multiplexing.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Advances in Cognitive Neurodynamics	6. 最初と最後の頁 755-760
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchida H, Morita T, Niizuma K, Kushida Y, Kuroda Y, Wakao S, Sakata H, Matsuzaka Y, Mushiake H, Tominaga T, Borlongan CV, Dezawa M.	4. 巻 5
2. 論文標題 Representation of the Numerosity 'zero' in the Parietal Cortex of the Monkey.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10059-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep10059	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuyama S, Kuki T, Mushiake H.	4. 巻 163
2. 論文標題 The Suppression of Beta Oscillations in the Primate Supplementary Motor Complex Reflects a Volatile State During the Updating of Action Sequences.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru S, Fukuyama H, Mima, T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Two is More Than One: How to Combine Brain Stimulation Rehabilitative Training for Functional Recovery?	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in System Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnsys.2015.00154	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima I, Koganemaru S, Fukuyama H, Mima, T.	4. 巻 126
2. 論文標題 Static magnetic field can transiently alter the human intracortical inhibitory system.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2314-2319
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2015.01.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nojima I, Koganemaru S, Kawamata T, Fukuyama H, Mima, T.	4. 巻 41
2. 論文標題 Action observation with kinesthetic illusion can produce human motor plasticity.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 European Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1614-1623
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.12921	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi S, Mima T, Murai R, Shimazu H, Isomura Y, Tsujimoto T.	4. 巻 38
2. 論文標題 Gamma Oscillations and Their Cross-frequency Coupling in the Primate Hippocampus During Sleep.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 1085-1091
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5665/sleep.4818	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato K, Yokochi F, Taniguchi M, Okiyama R, Kawasaki T, Kimura K, Ushiba J.	4. 巻 126
2. 論文標題 Bilateral coherence between motor cortices and subthalamic nuclei in patients with Parkinson's disease.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1941-1950
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2014.12.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakurada T, Kawase T, Komatsu T, Kansaku K.	4. 巻 126
2. 論文標題 Use of high-frequency visual stimuli above the critical flicker frequency in a SSVEP-based BMI.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1972-1978
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2014.12.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka N, Hanajima R, Tsutsumi R, Shimizu T, Shirota Y, Terao Y, Ugawa Y.	4. 巻 8
2. 論文標題 Influence of Zonisamide on the LTP-like Effect Induced by Quadripulse Transcranial Magnetic Stimulation (QPS).	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 1220-1222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2015.07.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hanajima R, Shadmehr R, Ohnami S, Tsutsumi R, Shirota Y, Shimizu T, Tanaka N, Terao Y, Tsuji S, Ugawa Y, Uchimura M, Inoue M, Kitazawa S.	4. 巻 114
2. 論文標題 Modulation of error-sensitivity during a prism adaptation task in people with cerebellar degeneration.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2460-2471
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00145.2015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe T, Hanajima R, Shirota Y, Ohnami S, Tsutsumi R, Shimizu T, Hayashi T, Terao Y, Ugawa Y, Katsura M, Kunimatsu A, Ohtomo K, Hirose S, Miyashita Y, Konishi S.	4. 巻 35
2. 論文標題 Effects of rTMS over presupplementary motor area on fronto-basal-ganglia network activity during stop-signal task.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 4813-4823
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3761-14.2015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imamura H, Matsumoto R, Takaya S, Nakagawa T, Shimotake A, Kikuchi T, Sawamoto N, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 120
2. 論文標題 Network specific change in white matter integrity in mesial temporal lobe epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy Research	6. 最初と最後の頁 65-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2015.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hitomi T, Kobayashi K, Sakurai T, Ueda S, Jingami N, Kanazawa K, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 18
2. 論文標題 Benign adult familial myoclonus epilepsy is a progressive disorder: no longer idiopathic generalized epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 67-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2016.0807	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Kunieda K, Matsumoto R.	4. 巻 75
2. 論文標題 Reply to commentary on "neural correlates of mirth and laughter: a direct electrical cortical stimulation study"	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 244-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2015.03.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uneno Y, Yokoyama A, Nishikawa Y, Funakoshi T, Ozaki Y, Aoyama I, Yamaguchi D, Morita S, Mori Y, Kanai M, Kinoshita H, Inoue T, Sawamoto N, Matsumoto R, Matsumoto S, Muto M.	4. 巻 55
2. 論文標題 Paraneoplastic limbic encephalitis in human epidermal growth factor receptor-2-positive gastric cancer patient treated with trastuzumab-combined chemotherapy: case report and literature review.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 2605-2609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.55.6917	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Endoh F, Toda Y, Oka M, Baba H, Ohtsuka Y, Yoshinaga H.	4. 巻 38
2. 論文標題 Occurrence of bilaterally independent epileptic spasms after a corpus callosotomy in West syndrome.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain Development	6. 最初と最後の頁 132-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2015.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi R, Kitano K.	4. 巻 7
2. 論文標題 A method for estimating of synaptic connectivity from spike data of multiple neurons.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nonlinear Theory and Its Applications	6. 最初と最後の頁 156-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/nolta.7.156	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Futagi D, Kitano K.	4. 巻 7
2. 論文標題 The neural network with a biologically possible architecture implementing Bayesian estimation can reproduce Pieron's law.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nonlinear Theory and Its Applications	6. 最初と最後の頁 146-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/nolta.7.146	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda I, Yamaguti Y, Watanabe H.	4. 巻 18
2. 論文標題 Self-Organization with Constraints A Mathematical Model for Functional Differentiation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Entropy	6. 最初と最後の頁 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/e18030074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hosaka R, Nakajima T, Aihara K, Yamaguchi Y, Mushiake H.	4. 巻 8
2. 論文標題 Current Stimulation and Neuromuscular Electrical Stimulation Improves Gait Ability in a Patient in Chronic Stage of Stroke.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Case Reports in Neurology	6. 最初と最後の頁 39-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000444167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satow T, Kawase T, Kitamura A, Kajitani Y, Yamaguchi T, Tanabe N, Otoi R, Komuro T, Kobayashi A, Nagata H, Mima T.	4. 巻 34
2. 論文標題 Transplantation of Unique Subpopulation of Fibroblasts, Muse Cells, Ameliorates Experimental Stroke Possibly via Robust Neuronal Differentiation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Stem Cells	6. 最初と最後の頁 160-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/stem.2206	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono K, Mikami Y, Fukuyama H, Mima T.	4. 巻 43
2. 論文標題 Motion-induced disturbance of auditory-motor synchronization and its modulation by transcranial direct current stimulation (tDCS).	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 European Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 509-515
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.13135	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maezawa H, Mima T, Yazawa S, Matsuhashi M, Shiraishi H, Funahashi M.	4. 巻 128
2. 論文標題 Cortico-muscular synchronization by proprioceptive afferents from the tongue muscles during isometric tongue protrusion.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 284-292
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2015.12.058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato K, Yokochi F, Iwamuro H, Kawasaki T, Hamada K, Isoo A, Kimura K, Okiyama R, Taniguchi M, Ushiba J.	4. 巻 10
2. 論文標題 Frequency-Specific Synchronization in the Bilateral Subthalamic Nuclei Depending on Voluntary Muscle Contraction and Relaxation in Patients with Parkinson's Disease.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2016.00131	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadowaki S, Enomoto H, Murakami T, Nakatani-Enomoto S, Kobayashi S, Ugawa Y.	4. 巻 27
2. 論文標題 Influence of Phasic Muscle Contraction upon the Quadripulse Stimulation (QPS) Aftereffects.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1568-1573
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2015.10.063	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計1309件(うち招待講演 433件/うち国際学会 414件)

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 CI- homeodynamics and multimodal GABA actions underlying neurological and psychiatric diseases.
3. 学会等名 Guilin medical university special lecture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 福田敦夫
2. 発表標題 ニューロンの発振とネットワークの発振におけるKCC2の役割.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンコロジー)2019年度第一回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress to the Gad1 heterozygotes induces neurodevelopmental disorder-like phenotypes along with epigenetic changes in relating genes.
3. 学会等名 2019 International Meeting on Brain Research and Pharmaceutical Science (IMBRP) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Watanabe M, Zhang J, Mansuri M, Duan J, Kahle KT, Fukuda A.
2. 発表標題 A KCC2 phospho-switch is essential for dynamic GABA-mediated inhibition and postnatal survival.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha AS, Takamatsu Y, Akita T, Mima T, Fukuda A.
2. 発表標題 Static magnetic fields reduce excitability of pyramidal neurons by enhancing membrane Cl <sup>-</sup> conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wang T, Sinha AS, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress to the Gad1 heterozygotes causes epigenetic changes in neurodevelopment and behavior relating genes and affects their phenotypes.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishibashi M, Fukuda A, Leonard CS.
2. 発表標題 Effect of orexin on the firing pattern of serotonergic dorsal raphe neurons.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 秋田天平, 福田敦夫.
2. 発表標題 胎生期大脳基底核原基の神経前駆細胞に生じる膜電流成分について.
3. 学会等名 第66回中部日本生理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡部美穂, Kahle KT, 福田敦夫.
2. 発表標題 抑制性神経伝達を維持するカリウム-クロライド共役担体(KCC2)のリン酸化による制御の役割.
3. 学会等名 第66回中部日本生理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石橋賢, 福田敦夫, Leonard CS.
2. 発表標題 背側縫線核セロトニン作動性ニューロンにおけるオレキシン誘発性発火後過分極と内向き電流に対する細胞内外カルシウム濃度の影響.
3. 学会等名 第66回中部日本生理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Pivotal roles of Cl <sup>-</sup> -homeostasis in epileptogenesis of human and animal models.
3. 学会等名 6th Congress of AsCNP (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishibashi, M, Berry EA, Molina NE, Sato T, Fukuda A, Leonard CS.
2. 発表標題 Impact of a novel slow afterhyperpolarization (sAHP) on spike encoding by serotonergic (5-HT) dorsal raphe (DR) neurons.
3. 学会等名 Neuroscience 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wang T, Sinha Adya S, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Gad1 heterozygotes subjected to prenatal stress undergo epigenetic dysregulation of genes perturbing neurodevelopment and behavioral phenotypes.
3. 学会等名 Neuroscience 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Watanabe M, Fukuda A.
2. 発表標題 Excitatory gabaergic inputs to gnRH neurons are required for female reproduction.
3. 学会等名 Neuroscience 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石橋寛, 福田敦夫, Leonard CS.
2. 発表標題 背側縫線核セロトニン作動性ニューロンにおけるオレキシン誘発性発火後過分極と内向き電流に対する細胞内外カルシウム濃度の影響.
3. 学会等名 第46回日本脳科学学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha AS、高松泰行、秋田天平、美馬達哉、福田敦夫.
2. 発表標題 Static magnetic fields reduce excitability of pyramidal neurons by increasing membrane Cl <sup>-</sup> conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 第46回日本脳科学学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha AS, Takamatsu Y, Akita T, Mima T, Fukuda A.
2. 発表標題 Static magnetic fields decrease excitability of pyramidal neurons by increasing membrane Cl <sup>-</sup> conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Astrocytes signaling to control GABA inhibition.
3. 学会等名 Neuroscience/Epilepsy Mini Symposium in UNSW (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Mutations and posttranslational modulations of the K <sup>+</sup> -Cl <sup>-</sup> cotransporter underlie seizures and epilepsy.
3. 学会等名 AuPS/ASB Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 細胞発振現象と集団発振のモーダルシフト.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 秋田天平, 青戸一司, 才津浩智, 北野勝則, 福田敦夫.
2. 発表標題 てんかん性脳症をもたらす電位依存性K <sup>+</sup> チャンネルKv2.1変異を導入したノックインマウスを用いた発症機序の解析.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡部美穂, Zhang J, Mansuri M, Kahle KT, 福田敦夫.
2. 発表標題 リン酸化によるカリウム-クロライド共役担体(KCC2)の機能制御はGABAによる抑制性伝達形成に必須である.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石橋寛, 阪東勇輝, 佐藤康二, 福田敦夫.
2. 発表標題 発達期皮質錐体細胞におけるCa <sup>2+</sup> 動態とタウリンによるGABA受容体活性化.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 Gad1ヘテロ欠損と胎生期ストレスの二重ヒットによりエピジェネティックに惹起される神経発生の運命転化.
3. 学会等名 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業 ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡部美穂, 柿沢圭亮, 福田敦夫.
2. 発表標題 発達期のCRHニューロン制御機構におけるGABAの役割.
3. 学会等名 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業 ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石橋賢, 阪東勇輝, 佐藤康二, 福田敦夫.
2. 発表標題 発達期皮質錐体細胞におけるCa <sup>2+</sup> 動態とタウリンによるGABA <sub>A</sub> 受容体活性化.
3. 学会等名 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業 ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sinha AS, Wang T, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Gad1 heterozygotes subjected to prenatal stress undergo epigenetic dysregulation of genes perturbing neurodevelopment altering inhibitory network and behavior.
3. 学会等名 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業 ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Akita T, Fukuda A.
2. 発表標題 Two cation current components in GABAergic interneuron precursors in the medial ganglionic eminence of the embryonic brain.
3. 学会等名 第97回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Watanabe M, Kahle KT, Fukuda A.
2. 発表標題 Developmentally regulated KCC2 phosphorylation is essential for dynamic GABA-mediated inhibition and survival.
3. 学会等名 第97回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ishibashi M, Fukuda A, Leonard CS.
2. 発表標題 Orexin receptor activation induces a novel slow afterhyperpolarization that results from the calciumdependentclosure of cation channels in serotonergic dorsal raphe neurons.
3. 学会等名 第97回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sinha AS, Wang T, Hosoi Y, Sohara E, Akita T, Uchida S, Fukuda A.
2. 発表標題 WNK3 kinase maintains basal excitability by regulating inward rectification and intracellular chloride in layer V pyramidal neurons of mouse medial prefrontal cortex.
3. 学会等名 第97回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柳川右千夫
2. 発表標題 オシレーションにおけるGABAの役割を解明するためのトランスジェニック動物の開発
3. 学会等名 新学術領域研究（オシロロジー）2019年度第一回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 姜韋茹、柿崎利和、藤原和之、宮田茂雄、張月、須藤貴史、加藤大樹、齋藤繁、柴崎貢志、石崎泰樹、宮坂佳樹、真下知士、柳川右千夫
2. 発表標題 GAD65/67二重変異ラットの表現型解析
3. 学会等名 日本ゲノム編集学会第4回大会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 柿崎利和、姜韋茹、須藤貴史、齋藤繁、板倉誠、渡辺雅彦、柳川右千夫
2. 発表標題 GAD65欠損ラットは脳内GABA含量の減少とてんかん重積状態を示す
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会、第62回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Weiru Jiang, Toshikazu Kakizaki, Kazuyuki Fujihara, Shigeo Miyata, Yue Zhang, Takashi Suto, Daiki Kato, Shigeru Saito, Koji Shibasaki, Yasuki Ishizaki, Yoshiki Miyasaka, Tomoji Mashimo, Yuchio Yanagawa
2. 発表標題 Roles of rat glutamate decarboxylase isoforms in the perinatal period
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会、第62回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柳川右千夫
2. 発表標題 オンレーションにおけるGABAの役割を解明するためのトランスジェニック動物の開発
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江川潔、平田快洋、白石秀明、佐藤大介、齋藤伸治、高橋幸利、奥野博庸、石川充、岡野栄之
2. 発表標題 Electrophysiological properties of excitatory or inhibitory neurons derived from induced pluripotent stem cells (iPSC) in Angelman syndrome.
3. 学会等名 The 20th Annual Meeting of Infantile Seizure Society (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江川 潔, 高橋 幸利, James Cook, 白石 秀明
2. 発表標題 視床-皮質間でのGABA作動性持続抑制の不均衡がアンジェルマン症候群モデルマウスの脳波異常を惹起する
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江川潔
2. 発表標題 遺伝性てんかん・発達障害動物モデルにおける認知機能評価の難しさ
3. 学会等名 第54回日本てんかん学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江川潔 白石秀明, James Cook
2. 発表標題 Imbalanced tonic inhibition between the cortex and thalamus causes epileptiform activity in mice model of Angelman syndrome
3. 学会等名 The 2019 American Epilepsy Society Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江川潔、白石秀明、James Cook
2. 発表標題 アンジェルマン症候群モデルマウスにおける脳皮質GABA持続抑制減弱と神経機能障害
3. 学会等名 新学術領域研究(オンコロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 知見聡美
2. 発表標題 パーキンソン病のはなし - 基礎医学の視点から
3. 学会等名 安城シルバーカレッジ 2 1 自然科学研究機構見学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chiken S, Sano H, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 Optogenetic manipulation of basal ganglia outflow to the thalamocortical system in macaque monkeys.
3. 学会等名 XIIIth IBAGS meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Pathophysiology of L-dopa-induced dyskinesia.
3. 学会等名 XIIIth IBAGS meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 知見聡美、南部篤
2. 発表標題 モデル動物の神経活動から大脳基底核疾患の病態生理を探る.
3. 学会等名 第61回小児神経学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Abnormal neural activities in the cortico-basal ganglia networks in animal models of PD
3. 学会等名 5th World Parkinson Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Basal ganglia functions and questions: which directions for the future?
3. 学会等名 International DBS Experts Summit (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Updates from Japan BRAIN/MINDS.
3. 学会等名 18th Biennial Meeting of the World Society for Stereotactic and Functional Neurosurgery, Pre-congress Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 知見聡美、南部篤
2. 発表標題 モデル動物の神経活動から大脳基底核の病態生理を探る.
3. 学会等名 秋田パーキンソン病学術講演会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nambu A
2 . 発表標題 Parkinson ' s disease as a network disorder .
3 . 学会等名 2019 Korea-Yonsei-NIPS International Joint Symposium ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Sano H, Kobayashi, K, Chiken S, Nambu A
2 . 発表標題 Physiological and anatomical organization of cortico-striatal inputs in the basal ganglia.
3 . 学会等名 2019 Korea-Yonsei-NIPS International Joint Symposium ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hasegawa T, Chiken S, Kobayashi K, Nambu A
2 . 発表標題 Chemogenetics to decipher the functional role of the subthalamic nucleus in macaque monkeys.
3 . 学会等名 42nd annual meeting of the Japan neuroscience, Satellite Symposium: Basal Ganglia in Health and Disease ( 招待講演 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Dwi Wahyu Indriani
2 . 発表標題 Aberrant basal ganglia activity following chronic L-dopa therapy in parkinsonian mice.
3 . 学会等名 42nd annual meeting of the Japan neuroscience, Satellite Symposium: Basal Ganglia in Health and Disease ( 招待講演 )
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 知見聡美、南部篤
2. 発表標題 大脳基底核の病態生理 - モデル動物の神経活動から考える .
3. 学会等名 第13回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koketsu D & Nambu A
2. 発表標題 Working memory tasks for functional mapping of the prefrontal cortex in common marmosets.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Glutamatergic and GABAergic inputs to monkey subthalamic nucleus and its activity during motor task performance,
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Saito N, Hara S, Tainaka K, Sato A, Abe M, Kawamura M, Yamaguchi S, Chiken S, Ichinose H, Sakimura K, Nambu A, Sasaoka T
2. 発表標題 Elucidation of motor control mechanism by dopamine using genetically modified mice harboring tetracycline regulated expression of dopamine D1 receptor.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Horie M, Yoshioka N, Kusumi S, Sano H, Ibrahim H, Iida-Watanabe I, Chiken S, Abe M, Sakimura K, Nambu A, Shibata M, Takebayashi H
2. 発表標題 Disruption of Dystonin in Schwann cells results in peripheral neuropathy.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ebina T, Obara K, Masamizu Y, Terada S, Watakabe A, Matoba R, Hatanaka N, Nambu A, Mizukami H, Yamamori T, Matsuzaki M
2. 発表標題 Upper-limb movements induced by optogenetic stimulation of the motor cortex in the common marmoset.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Abnormal information processing through the cortico-basal ganglia pathways is responsible for parkinsonian symptoms.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 基底核の障害でなぜすみや安静時振戦が生じるのか。
3. 学会等名 第34回日本大脳基底核研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 ネットワーク異常としてのパーキンソン病.
3. 学会等名 第67回脳の医学・生物学研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hasegawa T, Chiken S, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 Chemogenetics to decipher the functional role of the subthalamic nucleus in macaque monkeys.
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tubingen-Beijing Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Optogenetic activation of the macaque motor cortex.
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tubingen-Beijing Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Dopaminergic transmission maintains dynamic activity changes in the basal ganglia to control appropriate movements.
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tubingen-Beijing Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Sano H, Kobayashi K, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Physiological and anatomical organization of cortico-striatal inputs in the basal ganglia.
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tubingen-Beijing Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Indriani Dwi Wahyu
2. 発表標題 Aberrant basal ganglia activity in L-dopa-induced dyskinesia model mice.
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tubingen-Beijing Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wongmassang W, Hasegawa T, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 A firing rate model versus a correlated activity model for voluntary movements in the globus pallidus of normal and MPTP monkeys.
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tubingen-Beijing Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Glutamatergic and GABAergic inputs to monkey subthalamic nucleus and its activity during motor task performance,
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tubingen-Beijing Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nondhalee P, Hatanaka N, Nambu A
2. 発表標題 What happens in our brain if we lose our hand accidentally?
3. 学会等名 The 9th Okazaki-Tubingen-Beijing Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Abnormal information processing through the cortico-basal ganglia pathways is responsible for parkinsonian symptoms.
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nambu A, Watanabe H, Sano H, Chiken S, Kobayashi K, Fukata Y, Fukata M, Mushiake H
2. 発表標題 Optogenetic activation of the macaque motor cortex.
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sano H, Kobayashi K, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Cortico-striatal contributions to the basal ganglia.
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 神経生理学から見たパーキンソン病
3. 学会等名 青森トバミン研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 パーキンソン病におけるネットワーク異常.
3. 学会等名 奈良医療センター講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀧藤 大輔
2. 発表標題 霊長類高次脳機能研究のためのマーモセット前頭皮質の機能マッピング
3. 学会等名 生理学研究所研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nondhalee P, Hatanaka N, Nambu A
2. 発表標題 What happens in our brain if we lose our hand accidentally?
3. 学会等名 SOKENDAI life Science Retreat 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 定位脳手術に役立つ神経生理学
3. 学会等名 第43回日本てんかん外科学会、第59回日本定位機能神経外科学会 合同教育セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 電気刺激のウソ?ホント?
3. 学会等名 第59回日本定位・機能神経外科学会（浜松）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳基底核とパーキンソン病.
3. 学会等名 医療法人鉄友会宇野病院第16回市民公開講座（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 嶺巖 大輔、南部 篤
2. 発表標題 前頭連合野機能マッピングのための記憶課題
3. 学会等名 第9回マーモセット研究会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Koketsu D & Nambu A
2. 発表標題 Working Memory Tasks of Marmosets.
3. 学会等名 第9回マーモセット研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nondhalee P, Hatanaka N, Nambu A
2. 発表標題 What happens in our brain if we lose our hand accidentally?
3. 学会等名 The 1st CIBoG Retreat
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Parkinson ' s disease as a network disorder .
3. 学会等名 1st CU- KU Symposium and 4th CU-NIPS Symposium ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Wongmassang W, Hasegawa T, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 The correlated activity of pallidal neurons in a MPTP-treated monkey model of parkinsonism.
3. 学会等名 1st CU- KU Symposium and 4th CU-NIPS Symposium ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Parkinson's disease as a network disorder.
3. 学会等名 The 6th Symposium of NEURO SCIENCE NETWORK in KOBE (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 DBS - From view of system neurophysiology.
3. 学会等名 第93回日本薬理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sano H, Wahyu DI, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Regulation of voluntary movements by signals through the external segment of the globus pallidus.
3. 学会等名 The 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Osanai M, Tanihara H, Inagaki R, Kikuta S, Sasaoka T, Nambu A
2. 発表標題 The role of dopamine D1 receptor on the whole brain activity and on the motor function
3. 学会等名 The 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Chiken S, Sano H, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 How do the basal ganglia control thalamocortical activity?
3. 学会等名 The 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hasegawa T, Chiken S, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 Chemogenetics to decipher the functional role of the subthalamic nucleus in macaque monkeys.
3. 学会等名 The 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Wongmassang W, Hasegawa T, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Weak correlated activity of pallidal neurons during task performance in normal and mild parkinsonian monkeys.
3. 学会等名 The 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Glutamatergic and GABAergic control of monkey subthalamic activity during motor task, 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, (Beppu, Japan).
3. 学会等名 The 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Akio Ikeda
2 . 発表標題 DC shifts are established tool or still research topic ? Concurrent session: SIG, Wide-band EEG for epilepsy: established tool or research topic?
3 . 学会等名 American Clinical Neurophysiology Society, 2019 Annual Meeting and Courses (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Masao Matsubishi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masako Daifu, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2 . 発表標題 Ictal direct current (DC) shifts can be classified with 2 patterns: Comparison of ictal DC shifts between time constant 10 sec and 2 sec: attempt of classification with cluster analysis
3 . 学会等名 American Clinical Neurophysiology Society, 2019 Annual Meeting and Courses (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Masao Matsubishi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masako Daifu, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2 . 発表標題 Cluster analysis can help classify the ictal direct current (DC) shifts into 2 types
3 . 学会等名 第60回日本神経学会学術集会
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Akio Ikeda
2 . 発表標題 Paroxysmal depolarization shifts (PDS) vs. AED in clinical epilepsy, Unique effects of perampanel on giant SEPs, i.e., paroxysmal depolarization shifts (PDS), Pertinent investigation in epilepsy
3 . 学会等名 20th Joint conference of Indian Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年



1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかんと頭痛，てんかんと片頭痛の興奮性の違いは？
3. 学会等名 第19回埼玉頭痛研究会 学術研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん発作発現メカニズム-up to date グリア・ニューロンからみた発現メカニズム -電気生理学のおよび臨床的アプローチ-
3. 学会等名 グルタメート カンファランス（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶川 駿介，下竹 昭寛，中村 大和，村井 智彦，濱口 敏和，小林 勝哉，人見 健文，松橋 眞生，松本 理器，漆谷 真，木下 真幸子，池田 昭夫，高橋 良輔
2. 発表標題 頭皮上から発作時direct current (DC) shiftsが限局性に出現した症候性全般てんかんの2例
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 濱口 敏和，下竹 昭寛，人見 健文，長谷部 祥子，塚本 剛士，山門 穂高，松橋 眞生，松本 理器，池田 昭夫，高橋 良輔
2. 発表標題 右方向への水平性の緩徐相、正中位への急速相を呈するてんかん性眼振(Epileptic nystagmus)を認めた右側頭葉てんかんの一例
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塚本 剛士, 梶川 駿介, 本多 正幸, 人見 健文, 下竹 昭寛, 舟木 健史, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 頭皮上脳波からの局所性CSD(cortical spreading depolarization)の記録と発作DC(Direct current)電位との異同:外傷性急性血腫除去術後に非けいれん性重積が疑われた一例
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 理器
2. 発表標題 臨床システム神経科学によるヒト脳病態・高次機能の解明
3. 学会等名 分子発生学セミナー(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 十河 正弥, 松本 理器, 下竹 昭寛, 小林 環, 中江 卓郎, 菊池 隆幸, 松橋 眞生, 吉田 和道, 國枝 武治, 宮本 享, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 陰性運動野に関わる運動制御ネットワーク:皮質皮質間誘発電位(CCEP)を用いた検討
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下竹 昭寛, 松本 理器, 坂本 光弘, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松橋 眞生, 國枝 武治, 宮本 享, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 類義語判断課題による言語機能マッピングの有用性
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miwa Takatani, Shuichiro Neshige, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Epileptic slow in scalp EEG or red slow: a new concept in clinical EEG by means of wide-band EEG
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takefumi Hitomi, Shuichiro Neshige, Maya Tojima, Katsuya Kobayashi, Kazuki Oi, Shamima Sultana, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 No or little progression of EEG abnormality in genetically proven benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Slow EEG and HFO is long and new frontiers in clinical EEG: ready for epilepsy and functional mapping?
3. 学会等名 EEG course and workshop Organized by Subcommittee on Clinical Neurophysiology of the Hong Kong Neurological Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Interpretation of epileptiform activities (focal, generalized and status epilepticus)
3. 学会等名 EEG course and workshop Organized by Subcommittee on Clinical Neurophysiology of the Hong Kong Neurological Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Active ictal DC shifts & red slow in epilepsy patients: Other slows among pathological DC brain potentials
3. 学会等名 International conference of cortical spreading depolarization (iCSD) 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Pharmaco-resistant epilepsy, how do we know the real focus? New approach by active ictal DC shifts and red slow
3. 学会等名 5th Neuroepidemiology International Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 第16回生涯教育セミナー Hands-on 「脳波」
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん発作の脳内機構: Wide band EEGと病理からのニューロンとグリア関連の臨床病態
3. 学会等名 京都大学数理解析研究所 共同研究(公開型)研究集会「てんかんの数学的研究」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 DC shifts are established tool or still research topic ? Concurrent session: SIG, Wide-band EEG for epilepsy: established tool or research topic?
3. 学会等名 American Clinical Neurophysiology Society, 2019 Annual Meeting and Courses (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林 勝弘
2. 発表標題 小児てんかん性脳症の外科治療の対象拡大に向けて
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Intractable partial Epilepsy: how do we know the real focus? New approach by active ictal DC shifts and red slow
3. 学会等名 8th CAAE(China Association Against Epilepsy) International Conference of Epilepsy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Clinical, neurophysiological features & history of BAFME/FCMTE
3. 学会等名 International Conference on Familial Cortical Myoclonic Tremor With Epilepsy (FCMTE) and Repeat Expansion Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 21世紀のてんかんの診断と治療：てんかんは国民病
3. 学会等名 第37回日本神経治療学会年次集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 Bergerから始まる今日の脳波・脳磁図の研究・臨床と今後, Berger講演 2
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Riki Matsumoto, Takayuki Kikuchi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Epileptogenesis as revealed by wideband ECoG analyses.
3. 学会等名 Neural Oscillation Symposium 2019（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Riki Matsumoto
2. 発表標題 Role of the CCEPs from SDG to Stereo-EEGs.
3. 学会等名 The Down-under Stereo-EEG Conference（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 理器
2. 発表標題 てんかん学とシステム神経科学の接点・教育講演 19-3
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 理器
2. 発表標題 言語と意味記憶：Cognitive Neurophysiology の立場から
3. 学会等名 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 理器
2. 発表標題 高齢者に多い脳の病気：認知症とてんかん
3. 学会等名 第37回神戸大学大学院医学研究科 公開講座 超高齢社会を生き抜く （招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 理器, 坂本 光弘, 池田 昭夫
2. 発表標題 自己免疫性てんかんの診断・治療アルゴリズム・教育講演 6
3. 学会等名 第37回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 理器
2. 発表標題 てんかん分類とてんかん発作の症候てんかん学教育セミナー てんかん発作症候
3. 学会等名 第14回てんかん学研修セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 理器
2. 発表標題 自己免疫性てんかんの臨床像と診断アルゴリズム．シンポジウム12 自己免疫性脳炎とてんかん
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Katsuya Kobayashi, Juan Bulacio, Riki Matsumoto (発表), Dileep Nair
2. 発表標題 Stereo-electroencephalography in the presurgical evaluation: trends in the US．企画16「SEEG導入に向けて：世界の動向と日本での現状と課題」
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 理器
2. 発表標題 意識障害 -周期性放電・律動性徐波活動との関連-．企画7： ANZAN-J 方式によるデジタル脳波判読の実際
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 的場 健人, 中野 孝宏, 立花 久嗣, 大塚 喜久, 千原 典夫, 上田 健博, 関口 兼司, 古和 久朋, 松本 理器
2. 発表標題 異常行動とけいれん発作で発症し, 3種の抗神経抗体が陽性であった自己免疫性脳炎の1例
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中野 孝宏, 的場 健人, 立花 久嗣, 大塚 喜久, 千原 典夫, 上田 健博, 関口 兼司, 濱口 浩敏, 古和 久朋, 松本 理器
2. 発表標題 抗GAD抗体・抗LGI1抗体・抗GABAA抗体陽性脳炎に対し免疫治療を行い奏功した1例
3. 学会等名 第37回日本神経治療学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇佐美 清英
2. 発表標題 睡眠によっててんかん原性はどのように変容するのか 広域周波数帯脳波活動の解析による検討
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇佐美 清英, 松本 理器, Anna Korzeniewska, 下竹 昭寛, 中江 卓郎, 松橋 眞生, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 國枝 武治, 高橋 良輔, Nathan Crone, Matthew Lambon-Ralph, 池田 昭夫
2. 発表標題 視覚性物品呼称課題時の側頭葉底面と後頭葉の相互作用 硬膜下電極の高周波活動を用いた有向ネットワーク解析
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Tomohiko Murai, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Takehumi Hitomi, Masako Daifu, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Subdural ictal DC shifts had both rapid- and slow development pattern whereas scalp-recorded DC shifts mainly showed rapid development pattern
3. 学会等名 33rd, International Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Tomohiko Murai, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Takehumi Hitomi, Masako Daifu, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Characteristics of ictal DC shifts, another infraslow EEG, recorded by scalp EEG in epilepsy patients: Comparison between scalp- and subdural recording
3. 学会等名 International conference on sprading deporalizations 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahito Tsukamoto, Shunsuke Kajikawa, Masayuki Honda, Takehumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Takeshi Funaki, Kazumichi Yoshida, Makoto Urushitani, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Scalp EEG could record cortical spreading depolarizations (CSDs) even with time constant 2 seconds: A case report of acute traumatic brain injury and hemorrhage
3. 学会等名 International conference on sprading deporalizations 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Takehumi Hitomi, Masako Daifu, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Cluster analysis and logistic regression analysis can help classify the ictal direct current (DC) shifts into 2 types
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶川 駿介, 松橋 眞生, 小林 勝哉, 人見 健文, 大封 昌子, 山尾 幸宏, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 國枝 武治, 松本 理器, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 発作時直流緩電位(Ictal DC shifts)の類型化の試み: 時定数10秒と2秒の比較とクラスター解析およびロジスティック回帰分析による検討
3. 学会等名 てんかんの数学的研究
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhahi, Tadashi Okada, Mayumi Otani, Masaya Togo, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Cortical excitability dynamically modulates in response to the exogenous stimuli at the epileptic focus: a single pulse electrical stimulation study at the site of stimulation
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶川 駿介
2. 発表標題 時定数10秒と2秒の比較による発作時直流緩電位の類型化, 医薬系交流サロン
3. 学会等名 医薬系交流サロン
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Kyoko Kanazawa, Masaya Togo, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Masao Matsuhashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Method to identify the onset of ictal HF0s: Differences between short term-Fourier transform (STFT) and temporal spectral evolution (TSE)?
3. 学会等名 2020 Annual Meeting and Courses (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高谷 美和, 松橋 眞生, 音成 秀一郎, 十河 正弥, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 人見 健文, 松本 理器, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 頭皮上脳波のRed slowの視察的検索から定量的検索への移行の試み
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大井 和起, 人見 健文, 音成 秀一郎, 戸島 麻耶, 宇佐美 清英, 笠間 周平, 神田 益太郎, 和田 義明, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 難治性皮質ミオクローヌスに対するペランパネルの長期経過における効果
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mayumi Otani, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Mitsuhiro Sakamoto, Takuro Nakae, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Assessment of language tasks in electrical cortical stimulations (ECS) for efficient functional mapping in epilepsy surgery
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 尾谷 真弓, 下竹 昭寛, 八木田 薫, 十河 正弥, 本多 正幸, 宇佐美 清英, 人見 健文, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 長時間ビデオ脳波モニタリング中のスマートフォン使用の注意点-漏電による滑走電流の影響-
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高谷 美和, 下竹 昭寛, 上田 敬太, 國枝 武治, 松本 理器, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 Out-of-body experience (体外離脱体験)を認めた右側頭葉てんかんの1例
3. 学会等名 第15回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 本多正幸, 松本理器, 下竹昭寛, 小林勝哉, 戸島麻耶, 坂本光弘, 葛谷聡, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 高齢発症てんかんにおける扁桃体容積の長期経時的変化
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Maya Tojima, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Masutaro Kanda, Hiroyuki Ishiura, Shoji Tsuji, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Phenotype-genotype association in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME): EEG findings vs. repeat length
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Maya Tojima, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Masutaro Kanda, Hiroyuki Ishiura, Shoji Tsuji, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Phenotype-genotype association in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME): EEG findings vs. repeat length
3. 学会等名 33rd, International Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 音成 秀一郎, 人見 健文, 大井 和起, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 Unverricht-Lundborg病の1例におけるペランパネルの効果: 巨大体性感覚誘発電位による経時的評価
3. 学会等名 第37回日本神経治療学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 人見 健文, 大井 和起, 音成 秀一郎, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 巨大体性感覚誘発電位(giant SEP)のP25成分における高周波振動(HFO)の臨床的意義
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 松橋 眞生, 人見 健文, 大井 和起, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌステんかん(BAFME)の病態抽出: 主成分分析による巨大体性感覚誘発電位(giant SEP)の検討
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 岡田 直, 十河 正弥, 本多 正幸, 武山 博文, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 人見 健文, 松橋 眞生, 吉田 健司, 伏見 育崇, 岡田 知久, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応検討の客観的評価: 特異度を重視したスコアリングシステムの試み
3. 学会等名 第43回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 林 梢, 戸島 麻耶, 坂本 光弘, 松本 理器, 武山 博文, 錦織 隆成, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, Frank Leypoldt, Klaus-Peter Wandinger, 近藤 誉之, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 改訂版自己免疫性てんかん診断アルゴリズムの検証と免疫治療効果の検討
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林 勝弘
2. 発表標題 脳波高周波振動の病態生理
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林 勝哉, Juan Bulacio, 松本 理器, Dileep Nair
2. 発表標題 SEEGによる術前評価：米国の動向
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 十河 正弥, 松本 理器, 迎 伸孝, 武山 博文, 中江 卓郎, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 國枝 武治, 宮本 亨, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 運動、言語関連皮質における皮質間ネットワーク特性：皮質皮質間誘発電位を用いた検討
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaya Togo, Takefumi Hitomi, Naoya Mimura, Junichiro Ohira, Hirofumi Takeyama, Akihiro Shimotake, Hajime Yoshimura, Masao Matsuhashi, Michi Kawamoto, Nobuo Kohara, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 High amplitude, short infraslow activity (SISA) with burst suppression could be closely related to acute seizures in comatose or critical care patients
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 十河 正弥, 戸島 麻耶, 錦織 隆成, 濱口 敏和, 下竹 昭寛, 木村 公俊, 岡田 信久, 當間 圭一郎, 眞木 崇州, 山門 穂高, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 亜急性発症のミオクロニーてんかんの一例
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaya Togo, Takefumi Hitomi, Naoya Mimura, Junichiro Ohira, Hirofumi Takeyama, Akihiro Shimotake, Hajime Yoshimura, Masao Matsuhashi, Michi Kawamoto, Nobuo Kohara, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 High amplitude, short infraslow activity (SISA) with burst suppression could be closely related to acute seizures in comatose patients
3. 学会等名 33rd International Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaya Togo, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Tamaki Kobayashi, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Human motor control network as revealed by CCEP connectivity analysis of the negative motor area
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Mitsuyoshi Nakatani, Izumi Toyoda, Paul S. Buckmaster, Christophe Bernard
2. 発表標題 Variability in seizure phenotypes in individual rat model contributes to the propagation of the seizure.
3. 学会等名 American Epilepsy Society 2019 annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷 光良, 井内 盛遠, 十川 順平, 村井 智彦, 大封 昌子, 小林 勝哉, 人見 健文, 橋本 聡華, 稲次 基希, 白水 洋史, 金澤 恭子, 岩崎 真樹, 臼井 直敬, 井上 有史, 前原 健寿, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科手術におけるactive ictal DC shiftsの有用性について
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mitsuyoshi Nakatani, Izumi Toyoda, Paul S. Buckmaster, Christophe Bernard
2. 発表標題 Variability in seizure phenotypes in individual rats with epilepsy.
3. 学会等名 The 50th society for Neuroscience meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菊池 隆幸, 山尾 幸広, 稲田 拓, 永井 靖識, 松本 直樹, 川崎 敏生, 下竹 昭寛, 溝田 敏幸, 荒川 芳輝, 吉田 和道, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 覚醒下手術におけるてんかん原性領域検索の可能性
3. 学会等名 第17回日本Awake Surgery学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菊池 隆幸, 山尾 幸広, 永井 靖識, 松本 直樹, 下竹 昭寛, 小林 勝哉, 吉田 和道, 國枝 武治, 松本 理器, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 フレーム式定位脳手術装置とアンカーボルトを用いた定位頭蓋内電極留置法の導入経験
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菊池 隆幸, 山尾 幸広, 永井 靖識, 松本 直樹, 下竹 昭寛, 小林 勝哉, 吉田 和道, 國枝 武治, 松本 理器, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 定位頭蓋内電極留置精度の評価と向上に向けた取り組み
3. 学会等名 第43回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山尾 幸広, 澤本 伸克, 菊池 隆幸, 荒川 芳輝, 吉田 和道, 國枝 武治, 宮本 享
2. 発表標題 MRIを用いた術前後の運動機能と脳機能ネットワークの関連
3. 学会等名 第78回日本脳神経外科学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 直樹, 麻生 俊彦, 菊池 隆幸, 山尾 幸広, 小林 環, 高橋 由紀, 西田 誠, 荒川 芳輝, 吉田 和道, 宮本 享
2. 発表標題 補足運動野の活動はWada testによって判定された言語優位半球を予測する
3. 学会等名 第78回日本脳神経外科学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 光野 優人, 武山 博文, 松本 理器, 尾谷 真弓, 梶川 駿介, 大井 和起, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 高橋 良輔, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 再認記憶課題遂行中の海馬・海馬傍回脳波活動解析による記憶優位半球定量的重貞の試み：定位的深部電極を刺入した3例での検討
3. 学会等名 第78回日本脳神経外科学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永井 靖識, 松橋 眞生, 稲田 拓, 中江 卓郎, 山尾 幸広, 下竹 昭寛, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 TSI(temporal spreading imaging)法によるてんかん原性領域推定の試み
3. 学会等名 第78回日本脳神経外科学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山尾 幸広, 松本 理器, 荒川 芳輝, 溝田 敏幸, 峰晴 陽平, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 宮本 享
2. 発表標題 言語白質モニタリングにおける皮質-皮質間誘発電位(CCEP)の有効性 覚醒不良例に有効か?
3. 学会等名 第17回日本Awake Surgery学会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山尾 幸広, 松本 理器, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 宮本 享
2. 発表標題 電気生理の目
3. 学会等名 第39回日本脳神経外科コンgres(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅原 和広, 齊藤 秀和, 臼井 桂子, 岩田 昂樹, 赤岩 眞悠, 佐々木 健史, 松橋 眞生, 白石 秀明, 長峯 隆
2. 発表標題 自己ペースの右示指伸展運動時における運動準備は6秒前から始まる
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永井 靖識, 松橋 眞生, 稲田 拓, 中江 卓郎, 山尾 幸広, 下竹 昭寛, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 TSI(temporal spreading imaging)法によるてんかん原性領域推定の試み
3. 学会等名 第3回ヒト脳イメージング研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永井 靖識, 松橋 眞生, 稲田 拓, 中江 卓郎, 山尾 幸広, 下竹 昭寛, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 TSI(temporal spreading imaging)法によるてんかん原性領域推定の試み
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kasai C, Sumiya M, Koike T, Yoshimoto T, Sadato N.
2. 発表標題 Neural underpinning of syntax processing: Comparison between native speakers of Japanese and non-native Japanese learners.
3. 学会等名 Japanese Society for Language Sciences 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koike T
2. 発表標題 Hyperscanning neuroimaging technique to reveal the neural basis of social interaction.
3. 学会等名 1st CIBoG Retreat (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Koike T, Fukunaga M, Sugawara S, Sadato N
2. 発表標題 Neural substrates of social interaction from hyperscanning 3T fMRI to inter-species comparisons with 7T MRI.
3. 学会等名 Korea-Yonsei-NIPS International Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koike T, Tanabe H, Sadato N.
2. 発表標題 The role of the anterior insular cortex in joint attention-related identification with the partner.
3. 学会等名 Organization for Human Brain Mapping annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Sadato N, Tanabe H
2. 発表標題 Neural substrates of sharing preference between interactive two persons: a hyperscanning fMRI study. OHBM annual meeting
3. 学会等名 Organization for Human Brain Mapping annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miyata K, Koike T, Nakagawa E, Harada T, Sumiya M, Yamamoto T, Sadato N
2. 発表標題 Shared and Distinct Neural Correlates of Being Imitated and Imitating: A Hyper-scanning fMRI Study. OHBM annual meeting
3. 学会等名 Organization for Human Brain Mapping annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishii T, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Aso T, Sadato N
2. 発表標題 Dynamic alterations in spontaneous neural activity at the sleep onset period: A simultaneous EEG-fMRI study
3. 学会等名 Society for Neuroscience annual meeting (Neuroscience 2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小池耕彦
2. 発表標題 二者同時脳機能イメージングを用いたコミュニケーションの神経基盤の検討
3. 学会等名 基礎心理学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsurugizawa T, Debacker C, Djemai B, Aso T
2. 発表標題 The lag structure by BOLD-based blood flow tracking indicates the partial non-neuronal source of resting state functional connectivity in mouse
3. 学会等名 27th Annual Meeting of International Society for Magnetic Resonance in Medicine, Montreal (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下謙一郎, 飛松省三
2. 発表標題 アルツハイマー病治療薬による前頭頭頂ネットワーク結合変化: 安静時機能的MRI研究
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田 絵美, 山崎 貴男, 竹田 昂典, 緒方 勝也, 飛松 省三
2. 発表標題 ヒト 1 次視覚野における神経振動の時間周波数特性: 脳磁図を用いた検討
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上原平, 向野隆彦, 横山淳, 岡留俊樹, 迎伸孝, 酒田あゆみ, 吉良潤一, 飛松省三
2. 発表標題 てんかん発作伝播における脳機能的結合性の関与
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Uehara T, Mukaino T, Yokoyama J, Okadome T, Mukae N, Sakata A, Kira J-I, Tobimatsu S
2. 発表標題 Importance of resting-state functional connectivity in propagation of focal seizures
3. 学会等名 33rd International Epilepsy Congress
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上原平、向野隆彦、横山淳、岡留敏樹、三好絢子、赤松直樹、重藤寛史、吉良潤一、飛松省三
2. 発表標題 てんかん発作が主症状であった抗MOG抗体陽性脳炎の2例
3. 学会等名 第14回日本てんかん学会九州地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上原平、向野隆彦、横山淳、岡留敏樹、迎伸孝、重藤寛史、飛松省三
2. 発表標題 睡眠中のてんかん性放電と脳機能的ネットワークの相互作用
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 脳神経内科医がみるてんかんー認知症・睡眠との密接な関連性ー
3. 学会等名 第37回日本神経治療学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上原平、重藤寛史
2. 発表標題 肝不全を背景として非痙攣性てんかん重積状態を起こし脳波判読に苦慮した一例
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Taniguchi N, Hironaga N, Tobimatsu S
2. 発表標題 Prior cognitive information differentially modulates the insula activities during pain and tactile processing
3. 学会等名 The 11th Congress of the European Pain Federation, EFIC
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 脳を診る：並列的視覚情報処理の基礎と疾患への応用
3. 学会等名 第24回認知神経科学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 症例から学ぶ臨床神経生理
3. 学会等名 第31回臨床神経生理研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 誘発電位検査: up-to-date
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 痛み受容の脳内機構
3. 学会等名 第38回九州ペインクリニック学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamasaki T, Aso T, Kaseda Y, Mimori Y, Doi H, Matsuoka N, Takamiya N, Torii T, Takahashi T, Ohshita T, Yamashita H, Doi H, Inamizu S, Chatani H, Tobimatsu S
2. 発表標題 Altered oscillatory V1 activity to motion perception in patients with mild cognitive impairment: An fMRI study
3. 学会等名 The 13th CME International Conference on Complex Medical Engineering
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Goto K, Sugi T, Ikeda T, Yamasaki T, Tobimatsu S, Goto Y
2. 発表標題 Characteristics of brain activity under combination of optic flow and binocular disparity stimulus by using LORETA analysis for visual evoked potentials
3. 学会等名 The 24th International Symposium on Artificial Life and Robotics & The 4th International Symposium on BioComplexity
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 後藤純信, 山崎貴男, 安原昭博, 佐々木達也, 佐々木一朗, 飛松省三
2. 発表標題 視覚誘発電位（新ガイドライン）
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 後藤和彦, 杉剛直, 池田拓郎, 山崎貴男, 飛松省三, 後藤純信
2. 発表標題 ランダムドットステレオグラムに対する視覚誘発電位の解析: 視差勾配の影響
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山口峻, 後藤和彦, 杉剛直, 松田吉隆, 後藤聡, 池田拓郎, 山崎貴男, 飛松省三, 後藤純信
2. 発表標題 選択的加算平均を伴う視覚誘発電位反応の実時間記録評価システム
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Asako Nagase, Shuhei Yamaguchi, Ritsuko Hanajima, Kenji Morita
2. 発表標題 Avoidance of delayed mental effort cost without awareness
3. 学会等名 Society for Neuroeconomics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永瀬(光戸)麻子, 小野田慶一, 川越敏和, 赤石れい, 山口修平, 森田賢治
2. 発表標題 Neural correlates of expected cost and cost prediction error of second order learning in adaptive avoidance of mental effort (認知的負荷の適応的回避行動における二次学習の負荷予測と負荷予測誤差の神経基盤)
3. 学会等名 NEURO2019 - 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷本彩, 近藤将史, 森田賢治, 松崎政紀
2. 発表標題 Not to choose to do' or 'to choose not to do'?: a behavioral paradigm and a model-based analysis with reinforcement learning (「することをしない」か「しないことをする」か: 行動試験と強化学習による解析)
3. 学会等名 NEURO2019 - 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Kori
2. 発表標題 Tackling and playing with biological phenomena using phase oscillator models: jet lag, locomotion, etc.
3. 学会等名 ICMMA 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Kori
2. 発表標題 Mathematical and Experimental Study on Jet Lag: Practical Method to Accelerate Recovery
3. 学会等名 The 20th RIES-HOKUDAI International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shimbo A, Izawa E-I, Fujisawa S.
2. 発表標題 Scalable representation of elapsed time with hippocampal cell assembly.
3. 学会等名 49th Annual meeting of the society for Neuroscience. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fujisawa S.
2. 発表標題 Encoding of spatial information of self and other in the hippocampus.
3. 学会等名 Toyama Forum for Academic Summit on "Dynamic Brain" (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Katsunori KITANO
2. 発表標題 Normal and pathological states generated by dynamical properties of the retinal circuit
3. 学会等名 神経科学学会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Katsunori KITANO
2. 発表標題 Normal and pathological states generated by dynamical properties of the retinal circuit
3. 学会等名 Asia-Pacific Conference on Vision (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Song Ye, Keiichi Kitajo, Katsunori Kitano
2. 発表標題 Detection of directional information flow induced by TMS based on symbolic transfer entropy
3. 学会等名 International Conference on Artificial Neural Networks (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuki Sasaoka, Yoichi Iwai, Daiki Futagi, Keiichi Kitajo, Katsunori Kitano
2. 発表標題 Changes in electroencephalogram phase dynamics induced by transcranial magnetic stimulation
3. 学会等名 Society for Neuroscience 20 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北野勝則
2. 発表標題 多点計測データに対する機能的結合解析
3. 学会等名 日本時間生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳の神経リズムネットワークの機能と病態
3. 学会等名 運動神経科学研究会 第15回脳神経科学福岡セミナー (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳の神経リズムネットワークの機能と病態特性
3. 学会等名 運動神経科学研究会 第16回脳神経科学東京セミナー (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳のリズムネットワークと脳卒中病態との関連
3. 学会等名 医療法人穂翔会村田病院リハビリテーション部特別講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 非侵襲脳刺激によるヒトの脳リズム活動の機能解明
3. 学会等名 第9回名古屋大学医学系研究科・生理学研究所合同シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Yokoyama, Riki Matsumoto, Katsunori Kitano, Toshio Aoyagi, Masao Matsushashi, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Akio Ikeda, Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Changes in cross frequency information transfer associated with epileptic seizures
3. 学会等名 9回名古屋大学医学系研究科・生理学研究所合同シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Song Ye, Keiichi Kitajo, Katsunori Kitano
2. 発表標題 Detection of Directional Information Flow Induced by TMS Based on Symbolic Transfer Entropy
3. 学会等名 28th International Conference on Artificial Neural Networks
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横山 寛, 松本理器, 北野勝則, 青柳富誌生, 松橋眞生, 菊池隆幸, 國枝武治, 池田昭夫, 北城圭一
2. 発表標題 Measuring cross frequency information transfer in epileptic seizures: an ECoG study
3. 学会等名 第3回ヒト脳イメージング研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 てんかん発作の神経ダイナミクス
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会 プレコンgresシンポジウム, 第2回Advanced ECoG/EEG Analysis in Epilepsy (AEEE) 研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuki Sasaoka, Yoichi Iwai, Daiki Futagi, Keiichi Kitajo, Katsunori Kitano
2. 発表標題 Changes in electroencephalogram phase dynamics induced by transcranial magnetic stimulation.
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Yokoyama, Riki Matsumoto, Katsunori Kitano, Toshio Aoyagi, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Akio Ikeda, Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Information theoretic analysis of epileptic seizure in ECoG - Cross frequency coupling and information transfer -
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Hierarchical neural dynamics in healthy and epileptic brains.
3. 学会等名 NIPS-McGill collaborative workshop 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 Transient oscillatory dynamics and brain disorders
3. 学会等名 第6回Neuroscience Network in Kobe シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 荒井貴光, 矢ヶ崎怜, 國府寛司, 高橋淑子, 青柳富誌生
2. 発表標題 腸の蠕動運動に関わる細胞間のリズム相互作用解析
3. 学会等名 日本物理学会 第75回年次大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 那須悠太, 合原一究, 武田龍, 青柳富誌生
2. 発表標題 カエルの合唱における相互作用の非自明な特徴
3. 学会等名 日本物理学会 第75回年次大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 機械から生命へいたる拘束条件付き自己組織化
3. 学会等名 RIMS共同研究（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 脳と心の創発について
3. 学会等名 早稲田大学理工学部表現工学科セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 変分原理による脳の機能分化の条件
3. 学会等名 RIMS共同研究（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 自律・創発・汎用アーキテクチャ
3. 学会等名 第33回人工知能学会全国大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 A dynamical principle of functional differentiation: a mathematical point of view
3. 学会等名 International Joint Conference on Neural Networks 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S.Nara, H.Tsukada, H.Fujii, I.Tsuda
2. 発表標題 A three-module scenario in an interpretation of visual hallucination in dementia with Lewy bodies and preliminary results of computer experiments
3. 学会等名 International Joint Conference on Neural Networks 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 拘束条件付き自己組織化と機能分化
3. 学会等名 幼・小児の成長期における脳機能の発達に関する多領域共同研究 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 I.Tsuda
2. 発表標題 Mathematical modelling for functional differentiation
3. 学会等名 The 7th International Congress on Cognitive Neurodynamics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 拘束条件付き自己組織化の典型例としての脳の機能分化とその数理モデル
3. 学会等名 岐阜数理科学研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 I. Tsuda
2. 発表標題 An exploration of the principle of functional differentiation in the brain: mathematical models
3. 学会等名 International Symposium on Oscillology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 脳の機能分化の神経機構解明のための変分原理による発展力学系
3. 学会等名 「力学系の視点からの脳・神経回路の理解」生理学研究所研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 I. Tsuda
2. 発表標題 A dynamical principle of functional differentiation in the brain: A mathematical point of view
3. 学会等名 OIST seminar in Tani Lab. (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 桜田一洋、津田一郎、石原正康、森村繭子
2. 発表標題 心とは何かから考える知性としての「健康」
3. 学会等名 理研横浜シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 機能分化の発展力学系
3. 学会等名 JAISTセミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Y.Mori, H.Ito
2. 発表標題 Development of multi-tetrode array with integrated miniature manipulator derive
3. 学会等名 42nd Annual meeting of Japan Society of Neuroscience
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H.Ito, R.Kohno, Y.Maruyama, Y.Mori
2. 発表標題 Decoding of stimulus orientations by neuron populations in Cat visual cortex -Contribution of spike count correlation-
3. 学会等名 42nd Annual meeting of Japan Society of Neuroscience
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H.Ito, Y.Mori
2. 発表標題 Decoding of stimulus orientations by neuron populations in Cat visual cortex ?Contribution of spike count correlation-
3. 学会等名 The 6th Cinet Conference: Brain-Machine Interface ?Medical Engineering based on Neuroscience ( 国際学会 )
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 物部太夢、伊藤浩之
2. 発表標題 認知課題における視線情報がミラーニューロンシステムに及ぼす影響
3. 学会等名 電子情報通信学会NC研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 坂本一寛, 齊藤尚弘, 吉田隼, 虫明 元
2. 発表標題 前頭前野の軸符号化細胞の活動はシーケンスカテゴリーによっても変調される
3. 学会等名 東北生理談話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 劉 冬雨, 大城朝一, 虫明 元
2. 発表標題 グルタミン酸デカルボキシラーゼGAD67遺伝子を欠損したラットの神経学的解析
3. 学会等名 東北生理談話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田湧希, 大柳貴紀, 川村里穂, 阿部聡太, 梶田裕貴, 虫明 元
2. 発表標題 てんかんモデルラットにおけるGABA合成酵素の発現量の変化
3. 学会等名 東北生理談話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 K. TAKAHASHI, H. WATANABE, M. MAKITANI, H. MUSHIAKE
2. 発表標題 Sensorimotor integration for cued reaching movements through multiple bands of cortical oscillations from the motor and somatosensory cortices
3. 学会等名 SFN2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H. WATANABE, K. TAKAHASHI, H. MUSHIAKE
2. 発表標題 Three dimensional dynamics of      oscillation phase in the monkey motor cortex during a reaching task
3. 学会等名 SFN2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 M. H. AWAN, H. MUSHIAKE, Y. MATSUZAKA
2. 発表標題 Neural substrate underlying the selection of behavioral tactics to transform sensory information into action: A comparative study of primate medial frontal areas
3. 学会等名 SFN2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大城 朝一, 虫明 元
2. 発表標題 ヒスタミンとCGRPによる脳血流循環の制御とinfra-slow oscillation リズムとの関係
3. 学会等名 第42回日本神経科学会 新潟(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶田 裕貴, 福田, 湧希, 大柳, 貴紀, 虫明 元
2. 発表標題 正常及び癲癇原性獲得後の海馬介在神経細胞サブタイプ間におけるGAD65の発現
3. 学会等名 第42回日本神経科学会 新潟(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂本 一寛, 斎藤, 尚宏, 吉田, 隼 虫明 元
2. 発表標題 経路探索課題遂行中のサル前頭前野の軸符号化細胞の発見
3. 学会等名 第42回日本神経科学会 新潟(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 権 秀珍, 阿部, 欣史, 虫明, 元, 田中 謙二
2. 発表標題 オプトジェネティクスによる脳血管壁細胞の操作は、局所脳血流変動を引き起こす
3. 学会等名 第42回日本神経科学会 新潟
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 虫明 元
2. 発表標題 多様なコミュニケーションを支える 脳のネットワークと人のネットワーク
3. 学会等名 認知症三昧! 山口塾2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inoue K
2. 発表標題 Neuronal and behavioural modulations by pathway-selective optogenetic stimulation of the primate oculomotor system
3. 学会等名 The Kyoto Symposium on the Eye and Head Movement Control Systems (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Suzuki M; Inoue K; Nakagawa H; Isa T; Takada M; Nishimura Y
2. 発表標題 Macaque ventral midbrain facilitates the output to forelimb muscles via the primary motor cortex
3. 学会等名 29th Annual Meeting of Neural Control of Movement (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Labuguen R; Bardeloza DK; Blanco SN; Matsumoto J; Inoue K; Shibata T
2. 発表標題 Primate Markerless Pose Estimation and Movement Analysis Using DeepLabCut
3. 学会等名 Joint 2019 8th International Conference on Informatics; Electronics & Vision (ICIEV) & 3rd International Conference on Imaging; Vision & Pattern Recognition (IVPR) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	Nagai Y; Miyakawa N; Takuwa H; Hori H; Oyama K; Ji B; Takahashi M; Haung XP; Slocum ST; Xiong Y; Hirabayashi T; Fujimoto A; Mimura K; English JG; Liu J; Inoue K; Kumata K; Seki C; Ono M; Shimojo M; Zhang MR; Tomita Y; Suhara T; Takada M; Higuchi M; Jin J; Roth BL; Minamimoto T
2. 発表標題	A novel ligand “ deschloroclozapine ” selectively visualizes and activates chemogenetic receptors in non-human primates
3. 学会等名	Brain and BrainPET 2019 ( 国際学会 )
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Fang Y; Hatanaka G; Inagaki M; Takeuchi RF; Inoue K; Takada M; Fujita I
2. 発表標題	Combined use of intrinsic optical imaging and 2-photon Ca <sup>2+</sup> imaging for determining distribution of stimulus-specific responses across macro-architecture in macaque visual cortex
3. 学会等名	15th Asia-Pacific Conference on Vision ( 国際学会 )
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Inoue K
2. 発表標題	Manipulation of primate neural networks by means of modified viral vectors
3. 学会等名	Molecular Genetic Tools for the Study of Neural Circuits summer school ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Inagaki M; Inoue K; Takada M; Fujita I
2. 発表標題	Fast subcortical processing of emotional faces: evidence from physiology and anatomy in macaque monkeys
3. 学会等名	42nd edition of the European Conference on Visual Perception (ECPV 2019) ( 国際学会 )
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 Hatanaka G; Fang Y; Inagaki M; Takeuchi R; Inoue K; Takada M; Fujita I
2. 発表標題 Combined application of multiscale calcium imaging with GCaMP6s and intrinsic signal optical imaging in macaque visual cortex
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kudo M; Wupuer S; Inoue K; Takada M; Seki K
2. 発表標題 DRG cells in Common marmoset: their contrasting property in the cell size and cell type specificity of gene delivery by AAVs
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miyakawa N; Nagai Y; Hori Y; Matsuo T; Suzuki T; Inoue K; Takada M; Suhara T; Kawasaki K; Minamimoto T
2. 発表標題 Chemogenetic activation of the amygdala specifically disrupts the representation of socio-emotional information in the macaque ventral visual cortex
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oyama K; Hori Y; Nagai Y; Hirabayashi T; Miyakawa N; Fujimoto A; Mimura K; Inoue K; Eldridge A M; Saunders C R; Suhara T; Takada M; Higuchi M; Richmond J B; Minamimoto T
2. 発表標題 DREADD inactivation of orbitofrontal cortex revealed its critical role in reward-based adaptive decision making in monkeys
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上 謙一
2. 発表標題 霊長類における光遺伝学を利用した神経回路操作
3. 学会等名 日本動物学会第90回大阪大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Maeda K; Inoue K; Takada M; Hikosaka O
2. 発表標題 Pathway-selective optogenetic modulation of amygdala-basal ganglia circuits in macaque monkeys
3. 学会等名 Neuroscience 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Otsuka Y; Tsuge H; Uesono S; Tanabe S; Fujiwara M; Miwa M; Kato S; Nakamura K; Kobayashi K; Inoue K; Takada M
2. 発表標題 Retrograde gene transfer efficiency and inflammatory response of two types of lentiviral vectors in the motor cortex input system of nonhuman primates and rodents.
3. 学会等名 Neuroscience 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura K; Nagai Y; Tanabe S; Zheng A; Fujiwara M; Nakano M; Minamimoto T; Inoue K; Takada M
2. 発表標題 The modified adeno associated virus vectors enable neuron specific efficient gene transduction in the primate brain
3. 学会等名 Neuroscience 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha AS, 高松泰行, 秋田天平, 美馬達哉, 福田敦夫.
2. 発表標題 Static magnetic fields reduce excitability of pyramidal neurons by increasing membrane Cl <sup>-</sup> conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 第46回日本脳科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha AS, Takamatsu Y, Akita T, Mima T, Fukuda A.
2. 発表標題 Static magnetic fields reduce excitability of pyramidal neurons by enhancing membrane Cl <sup>-</sup> conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha AS, Takamatsu Y, Akita T, Mima T, Fukuda A.
2. 発表標題 Static magnetic fields decrease excitability of pyramidal neurons by increasing membrane Cl <sup>-</sup> conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芝田純也、渡邊龍憲、湯川喜裕、水口雅俊、下村亮太、美馬達哉
2. 発表標題 経頭蓋静磁場刺激による大脳半球間抑制への影響の時間的变化
3. 学会等名 第13回Motor Control研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野鳥 一平, 堀場 充哉, 美馬 達哉, 松橋 眞生, 和田 郁雄, 植木 美乃
2. 発表標題 閉ループ制御機構脳刺激法によるパーキンソン病患者への歩行介入
3. 学会等名 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飛澤 悠伊, 小金丸 聡子, 汪 焜民, 田中 小枝子, 仁宮 慎一郎, 井口 大暢, 西村 宗一郎, 池田 聡, 美馬 達哉, 生駒 一憲
2. 発表標題 脊髄小脳変性症患者におけるTMSを用いた小脳性連合性対刺激法の長期効果の検討
3. 学会等名 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 桐本光、緒方勝也、美馬達哉
2. 発表標題 静磁場暴露による半球間抑制のモジュレーション
3. 学会等名 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 美馬達哉
2. 発表標題 新たならしい脳刺激法：静磁場刺激を中心に
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤岳史、田中武也、岩根隆宏、杉江加代子、谷杏平、川瀬智隆、美馬達哉
2. 発表標題 経頭蓋直流電気刺激にて脳卒中後疼痛が軽減した3例
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawase T, Takahashi T, Fujiki S, Kansaku K.
2. 発表標題 Relationship between proprioceptive drifts and sense of ownership during robot hand illusion of elbow movements.
3. 学会等名 The Journal of Physiological Sciences
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takano K, Morita-Hayashi N, Kansaku K.
2. 発表標題 Optimal degree of visual angle for the SSVEP-based brain-computer interface stimuli.
3. 学会等名 The Journal of Physiological Sciences
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Wada, M, Ide M, Atsumi T, Takano K, Sano Y, Shinoda Y, Furuichi T, Kansaku K.
2. 発表標題 Correlational analysis of c-Fos expression during rubber tail task.
3. 学会等名 The Journal of Physiological Sciences
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小金丸聡子、川瀬 利弘、神作憲司.
2. 発表標題 定常状態視覚誘発電位型ブレインマシン・インターフェイス (SSVEP-BMI) とEMGのハイブリッド制御を用いた上肢アシスト運動訓練による脳卒中片麻痺一例の上肢機能変化 の検討.
3. 学会等名 第72回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤木聡一朗、神作憲司.
2. 発表標題 BMI使用時に見られる標的ニューロンに選択的な調整について - 計算モデルからのアプローチ - .
3. 学会等名 計測自動制御学会システム・情報部門 (SSI2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okahara Y, Takano K, Odaki M, Kansaku K.
2. 発表標題 Awareness detection in patients with unresponsive wakefulness syndrome.
3. 学会等名 The 49th Annual Meeting of the Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawase T, Fujiki S, Kansaku K.
2. 発表標題 Proprioceptive drifts during a robot hand illusion task using EMG activity on elbow movements.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of Japan Neuroscience Society (国際学会)
4. 発表年 2019年



1 . 発表者名 Ugawa Y, Sasaki T, Hamada M, Shirota Y
2 . 発表標題 Differential effects on corticospinal excitability and adaptaion task by parred associative stimualtion (PAS) with disticnt pulse width.
3 . 学会等名 3rd International Brain Stimulation Conference, February 24-27, 2019, Vancouver, Canada (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ugawa Y, Hanajima R, Matsumoto H
2 . 発表標題 Hands on (Magneitc Stimulation).
3 . 学会等名 Tokyo Super-EMG hands-on course 2019. 2019/07/07, Tokyo (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ugawa Y
2 . 発表標題 Video presentation of hyperkinetic movement disorders.
3 . 学会等名 13th Bienneial Convention of the ASEAN Neurological Association. September 20-22, 2019, Yangon, Myanmar (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ugawa Y
2 . 発表標題 Diagnostic developments using TMS.
3 . 学会等名 . 18th Biennial Clinical Neurophysiology Workshop of the Australian and New Zealand Association of Neurologists. September 29-October 2, 2019, Southport, Queensland, Australia (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 International education program from my experience: JSN, IFCN, MDS.
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会 2019/05/22-25, 大阪 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 正常生理と神経診察 知ってて・知らない・神経診察の基本と歴史
3. 学会等名 第60回日本神経学会学術大会 2019/05/22-25, 大阪 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 随意運動と特殊な不随意運動 シンポジウム13 不随意運動の基礎と臨床 ~大脳基底核の病態生理と動画で学ぶ不随意運動~
3. 学会等名 第61回日本小児神経学会学術集会 2109/05/31-06/02, 名古屋 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇川義一、花島律子、松本英之
2. 発表標題 発展ハンズオン Magnetic Stimulation.
3. 学会等名 第16回神経筋診断セミナー 2019/0707, 東京 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 モニタリングに必要な運動誘発電位の知識
3. 学会等名 第5回術中脊髄モニタリングセミナー 2019/07/20-21 大阪（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 私の考えるジストニア。
3. 学会等名 第13回パーキンソン病・運動障害疾患 कांग्रेस 2019/07/25-27, 東京（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 大脳基底核疾患に臨床神経性生理学ができること。
3. 学会等名 第34回日本大脳基底核研究会 2019/08/23, 24, 米子（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 New approach and future of TMS in movement disorders
3. 学会等名 International. Conference of Korean Movement Disorder Society (2nd IC-KMDS). (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Basic mechanisms underlying the plasticity and its induction methods.
3. 学会等名 24th world congress of neurology (WCN2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hanajima R, Ugawa Y
2. 発表標題 Excitability changes in the human motor cortex in the basal ganglia disorders.
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019, November 17-20, 2019, Kyoto (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hamada M, Sasaki T, Ugawa Y
2. 発表標題 Intensity matters to TBS
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019, November 17-20, 2019, Kyoto (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 徳重真一、宇川義一、寺尾安生
2. 発表標題 タッピングによる小脳機能の評価
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清水崇宏、宇川義一、花島律子
2. 発表標題 プリズム順応課題を用いた小脳機能障害の検出
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 The first treatment for PD patients
3. 学会等名 Jakarta Neurology Exhibition, Workshop, and Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Phenomenology of movement disorders. The first step in diagnosis.
3. 学会等名 Jakarta Neurology Exhibition, Workshop, and Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Clinical utility of TMS.
3. 学会等名 Jakarta Neurology Exhibition, Workshop, and Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Human epilepsy and animal model with mutations in KCC2.
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akita T, Fukuda A.
2. 発表標題 Ca <sup>2+</sup> signaling and ion channel activation in embryonic neurons in the medial ganglionic eminence.
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Watanabe M, Zhang J, Mansuri M, Duan J, Kahle KT, Fukuda A.
2. 発表標題 Developmental regulation of KCC2 phosphorylation is essential for GABA signaling and survival.
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishibashi M, Molina NE, Fukuda A.
2. 発表標題 Effect of orexin on the firing pattern of serotonergic dorsal raphe neurons.
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wang T, Sinha Adya S, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1-heterozygotes perturbs development of GABAergic networks affecting behavior.
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha Adya S, Wang T, Hosoi Y, Sohara E, Akita T, Uchida S, Fukuda A.
2. 発表標題 Mechanisms underlying WNK3 kinase mediated regulation of neuronal excitability in prefrontal cortex.
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yesmin R, Watanabe M, Fukuda A.
2. 発表標題 CRH release regulation by GABAergic projection from arcuate nucleus using chemogenetic model.
3. 学会等名 9th FAOPS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha Adya S, Wang T, Akita T, Yanagawa Y, Fukuda A.
2. 発表標題 Gad1-heterozygotes subjected to prenatal stress undergo alterations in extracellular matrix associated with GABAergic neuron and inhibitory synaptic transmission.
3. 学会等名 第25回浜松医科学シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 細井泰志, 渡部美穂, 秋田天平, 伊藤崇志, 福田敦夫.
2. 発表標題 細胞内タウリンによるPKC基質部位リン酸化を介したGABA <sub>A</sub> 受容体膜移行維持機構.
3. 学会等名 第5回国際タウリン研究会日本部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 A01:細胞発振現象と集団発振のモーダルシフト.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2018年度第二回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秋田天平.
2. 発表標題 胎生期大脳基底核原基の神経前駆細胞内Ca <sup>2+</sup> オシレーションについて.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2018年度第二回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡部美穂.
2. 発表標題 リン酸化によるカリウム-クロライド共役担体(KCC2)の機能制御はGABAによる抑制性伝達および生存に必須である.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2018年度第二回領域会議
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 石橋賢.
2. 発表標題 発達期においてGABA受容体活性化による膜振動がカルシウム流入に及ぼす影響の検討.
3. 学会等名 新学術領域研究(オシロロジー)2018年度第二回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秋田天平, 福田敦夫.
2. 発表標題 胎生期大脳基底核原基の神経前駆細胞内Ca <sup>2+</sup> シグナリングについて.
3. 学会等名 第65回中部日本生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡部美穂, Zhang J, Mansuri M, Duan J, Kahle KT, 福田敦夫.
2. 発表標題 GABAによる抑制性伝達におけるカリウム-クロライド共役担体(KCC2)のリン酸化による機能制御の役割.
3. 学会等名 第65回中部日本生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石橋賢, Molina NE, 福田敦夫, Leonard CS.
2. 発表標題 背側縫線核セロトニン作動性ニューロンにおけるオレキシン誘発性の客家語過分極増強と内向き電流への細胞外カルシウムの影響.
3. 学会等名 第65回中部日本生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sinha AS, Wang T, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Fukuda A.
2. 発表標題 Alterations of GABAergic Neuron-Associated Extracellular Matrix and Synaptic Responses in Gad1-Heterozygous Mice Subjected to Prenatal Stress.
3. 学会等名 第65回中部日本生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yesmin R, Watanabe M, Fukuda A.
2. 発表標題 Development of chemogenetic model to study physiological roles of the GABAergic projection from arcuate nucleus to the CRH nerve terminals.
3. 学会等名 第65回中部日本生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ishibashi M, Molina NE, Fukuda A, Leonard CS.
2. 発表標題 Effect of orexin on the firing pattern of serotonergic dorsal raphe neurons.
3. 学会等名 第45回日本脳科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 てんかんにおけるGABAシナプスの役割.
3. 学会等名 第61回日本脳循環代謝学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress to the GAD67 heterozygous mice impairs GABA neurogenesis followed by physiological dysfunctions in postnatal life.
3. 学会等名 第40回日本生物学的精神医学会・第61回日本神経化学会大会 合同年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wang T, Sinha AS, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1-heterozygotes selectively perturbs GABAergic neurogenesis, GABAergic synapse function and behavioral phenotypes.
3. 学会等名 第7回日本DOHaD学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 Cl-ホメオダイナミクスとマルチモーダルGABA:脳での多彩な働き.
3. 学会等名 第65回脳の医学・生物学研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sinha AS, Hosoi Y, Sohara E, Mutoh H, Akita T, Uchida S, Fukuda A.
2. 発表標題 WNK3 Kinase regulates inwardly rectifying potassium channels in layer V pyramidal neurons of the mouse prefrontal cortex.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wang T, Sinha AS, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1-heterozygotes selectively perturbs GABAergic neurogenesis, GABAergic synapse function and behavioral phenotypes.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akita T, Aoto K, Kato M, Shiina M, Mutoh H, Nakashima M, Kuki I, Okazaki S, Magara S, Shiihara T, Yokochi K, Aiba K, Tohyama J, Ohba C, Miyatake S, Miyake N, Ogata K, Fukuda A, Matsumoto N, Saitsu H.
2. 発表標題 De novo mutants of CaMKII / responsible for neurodevelopmental disorders upregulate A-type voltage-dependent K <sup>+</sup> currents in hippocampal neurons.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fukuda, A.
2. 発表標題 Regulated Phosphorylation of KCC2 at Thr906/Thr1007 is essential for activity-dependent Cl <sup>-</sup> extrusion during normal brain development.
3. 学会等名 FENS forum 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 神経・精神疾患の病因・病態仮説としてのマルチモーダル GABA.
3. 学会等名 お茶の水ニューロサイエンスセミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 生理的振動現象へのGABA/KCC2系の普遍的な関与と破綻による影響.
3. 学会等名 新学術領域研究(オシロロジー)2018年度第一回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 遺伝-環境交互作用がGABA細胞関連因子変動を介し行動と脳波及びシナプス電流周波数へ与える影響.
3. 学会等名 新学術領域研究(オシロロジー)2018年度第一回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 ウエスト症候群責任遺伝子CNPY3(PRAT4A)ノックアウトマウスで見られた脳波異常と行動異常.
3. 学会等名 新学術領域研究(オシロロジー)2018年度第一回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 オシレーションにおけるGABAの役割を解明するためのトランスジェニック動物の開発.
3. 学会等名 新学術領域研究(オシロロジー)2018年度第一回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fukuda, A.
2. 発表標題 Maternal taurine modulate fetal brain development via intracellular and extracellular effectors.
3. 学会等名 The 21st International Taurine Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fukuda, A.
2. 発表標題 Diverse Actions of Astrocytes at GABAergic Tripartite Synapses in Seizures: Are they protective or exacerbative?
3. 学会等名 2018 Symposium on Functional Interactions among Glia and Neurons (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kakizaki T, Watanabe M, Yanagawa Y.
2. 発表標題 Decreased brain GABA content and premature lethality in glutamate decarboxylase 65-deficient rats.
3. 学会等名 11th FENS meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳川右千夫、藤原和之、柿崎利和、宮田茂雄、渡辺雅彦、大城朝一、虫明元、宮坂佳樹、真下知士
2. 発表標題 ゲノム編集で作製したグルタミン酸脱炭酸酵素ノックアウトラットの表現型
3. 学会等名 日本ゲノム編集学会第3回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柿崎利和、渡辺雅彦、柳川右千夫
2. 発表標題 脳内GABA量減少と成熟前致死性を示すGAD65欠損ラット
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 姜 茹、柿崎利和、藤原和之、宮田茂雄、張月、須藤貴史、加藤大樹、齋藤繁、宮坂佳樹、真下知土、柳川右千夫
2. 発表標題 GAD65/67二重変異ラットの作製と解析
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuyuki Fujihara, Yuchio Yanagawa
2. 発表標題 GAD knockout rats for a model of psychiatric disorders
3. 学会等名 第40回日本生物学的精神医学会、第61回日本神経化学会大会 合同年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳川右千夫
2. 発表標題 脳におけるグルタミン酸脱炭酸酵素アイソフォームの役割：ノックアウトマウスとノックアウトラットの表現型の比較研究
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平田快洋、石川充、白石秀明、佐藤大介、斎藤伸治、高橋幸利、奥野博庸、岡野栄之、江川潔
2. 発表標題 アンジェルマン症候群患者由来iPS細胞より誘導された興奮性 / 抑制性神経細胞の機能解析
3. 学会等名 第41回日本神経科学学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江川潔、平田快洋、白石秀明、佐藤大介、齋藤伸治、高橋幸利、奥野博庸、石川充、岡野栄之
2. 発表標題 アンジェルマン症候群患者iPS細胞由来ニューロンの電気生理学的検討
3. 学会等名 第60回日本小児神経学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sano H, Tanaka KF, Nambu A
2. 発表標題 Neuronal responses and movements induced by concurrent activation of striatonigral and striatopallidal neurons
3. 学会等名 FENS2018 (Berlin, Germany) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Indriani Dwi Wahyu, Sano H, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Modulation of basal ganglia pathways after chronic L-dopa treatment in Parkinson`s disease
3. 学会等名 FENS2018 (Berlin, Germany) (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Chiken S, Sano H, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 Cerebellar control of thalamocortical activity
3. 学会等名 FENS2018 (Berlin, Germany) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Cortico-basal ganglia loop and movement disorders
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会(神戸)(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Indriani Dwi Wahyu, Sano H, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Chronic L-dopa treatment alters basal ganglia signaling in Parkinson's disease model mice
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会(神戸)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sano N, Nakayama Y, Hoshi E, Chiken S, Nambu A, Nishimura Y
2. 発表標題 Cerebellar outputs modulate neuronal activity in the primary motor cortex during movement execution in macaque monkeys
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会(神戸)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sasaoka T, Sato A, Chiken S, Okubo T, Abe M, Kawamura M, Saito N, Oda K, Sakuma T, Uchiyama S, Abe M, Tanaka M, Yamamoto Y, Jimbo Y, Sato T, Fujisawa N, Sakimura K, Nambu A
2. 発表標題 Elucidation of motor control mechanism using genetically mice harboring tetracycline regulated expression on D1/D2 dopamine receptors
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会(神戸)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Cortical control of monkey subthalamic nucleus by the hyperdirect and indirect pathways
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会(神戸)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nonomura S, Kato S, Iguchi Y, Nishizawa K, Sakai Y, Kawaguchi Y, Nambu A, Watanabe M, Kobayashi K, Isomura Y, Kimura M
2. 発表標題 Identification of indirect pathway neurons and dopaminergic innervation in the rat dorsal striatum
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会(神戸)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Endo K, Ishigaki S, Watanabe H, Masamizu Y, Hatanaka N, Hata J, Watakabe A, Matsuzaki M, Nambu A, Okano H, Yamamori T, Katsuno M, Sobue G
2. 発表標題 Silencing of FUS in common marmoset caudate induces shortening of fiber tracts accompanied with glial inflammation
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会(神戸)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chicken S, Sano H, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 Basal ganglia and cerebellar control of thalamocortical activity
3. 学会等名 第2回NIPS-ARIHHP Joint orkshop Human High Performance-oriented Sports Neuroscience by Integrating Basic Neuroscience (岡崎)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳基底核による運動制御
3. 学会等名 第2回NIPS-ARIHHP Joint orkshop Human High Performance-oriented Sports Neuroscience by Integrating Basic Neuroscience (岡崎) (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長谷川拓、知見聡美、小林憲太、南部篤
2. 発表標題 大脳基底核による運動制御：マカクザル視床下核の化学遺伝学的な活動制御
3. 学会等名 第33回日本大脳基底核研究会 (東京)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 知見聡美、南部篤
2. 発表標題 モデルマウスの神経活動からジストニアの病態生理を探る
3. 学会等名 第33回日本大脳基底核研究会 (東京)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 The role of hyperdirect and indirect pathways in the formation of cortically induced bi-phasic response in monkey subthalamic nucleus
3. 学会等名 8th National Institute of Physiology - Nagoya University Graduate School of Medicine Joint symposium (Nagoya)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chiken S
2. 発表標題 How do the basal ganglia and cerebellum control thalamocortical activity?
3. 学会等名 8th Joint CIN-NIPS Symposium (Tuebingen) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Inhibitory center-excitatory surround" organization of the basal ganglia revealed by optogenetic stimulation
3. 学会等名 8th Joint CIN-NIPS Symposium (Tuebingen)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 The impact of glutamatergic and GABAergic inputs to the subthalamic nucleus activity in monkey
3. 学会等名 McGill University and Natl Inst Physiol Sci Joint symposium (Okazaki)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Parkinson ' s disease as a network disorder
3. 学会等名 Symposio Cajal 2018 (Madrid, Spain) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Parkinson ' s disease as a network disorder
3. 学会等名 XXXVI Annual Meeting of Indian Academy of Neuroscience (Varanasi, India) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Endo K, Ishigaki S, Hatanaka N, Hata J, Watanabe H, Katsuno M, Nambu A, Okano H, Yamamori T, Sobue G
2. 発表標題 Silencing of FUS in the caudate nucleus of non-human primates induces disruption of its fiber bundles
3. 学会等名 Neuroscience 2018 (San Diego)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sano N, Nakayama Y, Hoshi E, Chiken S, Nambu A, Nishimura Y
2. 発表標題 Cerebellar outputs contribute to the activity of the primary motor cortex during arm-reaching movement in macaque monkeys
3. 学会等名 Neuroscience 2018 (San Diego)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hasegawa T, Chiken S, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 The chemogenetic suppression of the primate subthalamic nucleus impairs voluntary movements by disturbing the firing pattern in the internal segment of the globus pallidus
3. 学会等名 Neuroscience 2018 (San Diego)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Kita H, Nambu A
2. 発表標題 The impact of glutamatergic and GABAergic inputs to the subthalamic nucleus activity in monkey
3. 学会等名 Neuroscience 2018 (San Diego)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Glutamatergic and GABAergic controls of the subthalamic nucleus activity in monkeys
3. 学会等名 30th Annual Basal Ganglia Function Research Association meeting (Aizu-Wakamatsu, Fukushima)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 The role of hyperdirect and indirect pathways in the formation of cortically induced bi-phasic response in monkey subthalamic nucleus
3. 学会等名 Life Science Retreat 2018 (Yamanashi, Lake-Kawaguchiko)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Woranan Wongmassang
2. 発表標題 Correlated activity in the globus pallidus of normal and MPTP-treated Parkinson's disease monkeys
3. 学会等名 生理学研究所研究会「行動を制御する神経ネットワーク機能の解明に向けて」(岡崎)(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nambu A, Chiken S
2. 発表標題 Na pump dysfunction may cause dystonia by enhancing cortico-striato-pallidal neurotransmission
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会(横浜)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 知見聡美、南部篤
2. 発表標題 モデル動物の神経活動からジストニアの病態を考える
3. 学会等名 第17回ジストニア研究会(東京)(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koketsu D, Nambu A
2. 発表標題 Neurophysiological studies of motor-related areas in awake common monkeys
3. 学会等名 International Symposium of Brain/MINDS ISMB2019(東京)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 覚醒下マーモセットからの神経活動記録法
3. 学会等名 第8回日本マーモセット研究会（東京（招待講演））
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Polyakova Z, Hatanaka N, Chiken S, Nambu A
2. 発表標題 Cortical control of subthalamic nucleus activity in awake monkeys
3. 学会等名 11th Nagoya Global Retreat (Nagoya)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀧藤大輔、南部篤
2. 発表標題 マーモセット前頭連合野機能マッピングのための記憶課題の確立
3. 学会等名 第8回日本マーモセット研究会（東京）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Parkinson's disease as a network disorder
3. 学会等名 System Neuroscience Spring School 2019（京都）（招待講演）
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 長谷川拓
2. 発表標題 視床下核による運動制御：マカクザル視床下核の化学遺伝学的抑制による運動異常
3. 学会等名 平成30年度 京都大学 霊長類研究所 共同利用研究会（犬山）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sano H, Kobayashi K, Kato S, Chiken S, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 Physiological and anatomical organization of cortico-striatal inputs in the basal ganglia
3. 学会等名 9th FAOPS Congress (神戸)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chiken S, Sano H, Kobayashi K, Nambu A
2. 発表標題 How does the cerebellum control thalamocortical activity?
3. 学会等名 9th FAOPS Congress (神戸)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tamaki Kobayashi, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Masaya Togo, Yoshiki Arakawa, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Shiro Yano, Takaki Maeda, Hiroshi Imamizu, Susumu Miyamoto
2. 発表標題 The role of the insula in Sense of Agency: supportive data from neurosurgical cases
3. 学会等名 16th Asian Oceanian Congress Of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Masaya Togo, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Tamaki Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2 . 発表標題 Role of the premotor and precentral negative motor area in praxis: a direct electrical stimulation study with behavioral analysis
3 . 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Tomohiko Murai, Takehumi Hitomi, Riki Matsumoto, Yuki Kawamura, Masutaro Kanda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2 . 発表標題 Scalp-EEG could record both ictal DC shift and HFO even with time constant 2 sec: a case report
3 . 学会等名 the 12th Asian & Oseanian Epilepsy Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Masaya Togo, Takehumi Hitomi, Tomohiko Murai, Hajime Yoshimura, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Michi Kawamoto, Nobuyuki Kohara, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2 . 発表標題 Short “ infraslow ” activity with burst suppression in acute anoxic encephalopathy: a rare, specific ominous sign with acute post-hypoxic myoclonus or acute symptomatic seizure
3 . 学会等名 the 12th Asian & Oseanian Epilepsy Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shuichiro Neshige, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Daiki Fujii, Riki Matsumoto, Shuhei Kasama, Masutaro Kanda, Yoshiaki Wada, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda.
2 . 発表標題 Clinico- electrophysiological impacts of small dosage of perampanel on patients with refractory cortical myoclonus: a case series study
3 . 学会等名 the 12th Asian & Oseanian Epilepsy Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Takehumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Hirofumi Maruyama, Akio Ikeda.
2. 発表標題 Rational cortical mapping algorithm for epilepsy surgery: non-stimuli, multi-intrinsic brain activities without cortical stimulation
3. 学会等名 the 12th Asian & Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Takeyo Sakurai, Tomohiko Murai, Shamima Sultana, Masako Kinoshita, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 A homozygotic mutation with severe benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 the 12th Asian & Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Shuichiro Neshige, Shamima Sultana, Kei Sato, Kosuke Tanioka, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Temporal change of electroencephalogram in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 the 12th Asian & Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Ictal direct current shifts can be intracranially recorded even with time constant 2 seconds
3. 学会等名 the 12th Asian & Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoyuki Fumuro, Masao Matsuhashi, Takehumi Hitomi, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Visuospatial processing load enhance the brain activity associated with motor preparation
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei Sato, Takehumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Akira Kuzuya, Aya Kinoshita, Riki Matsumoto, Hiroshi Shibasaki, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Diagnosis of dementia and subtype classification by digital EEG: is it also endorsed by automatic EEG analysis?
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsuhiro Sakamoto, Riki Matsumoto, Junpei Togawa, Hirohumi Takeyama, Yuichiro Hashi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Frank Leypoldt, Klaus- Peter Wandinger, Takayuki Kondo, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Revised Diagonositc algorithm for autoimmune epilepsy without antibody testing: its proposal and validation with a restrospective cohort
3. 学会等名 16th Asian Oceanian Congress Of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masaya Togo, Riki Matsumoto, Takuro Nakae, Hirohumi Takeyama, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Human medial parietal cortices have distinct connectivity patterns: Evidence from standardized connectivity map using cortico-cortical evoked potential
3. 学会等名 第41回神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Ictal direct current shifts with time constant (TC) 2 seconds and its comparison with TC 10 seconds: invasive EEG data from intractable human epilepsy
3. 学会等名 第41回神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matumoto, Ryosuke Takahashi
2. 発表標題 Ictal direct current shifts can be intracranially recorded even with time constant 2 seconds
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Hirofumi Maruyama, Akio Ikeda
2. 発表標題 Electrocorticography-based non-primary motor area mapping comparable with cortical stimulation
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masaya Togo, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Tamaki Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Role of premotor and precentral negative motor area in praxis: a direct electrical stimulation study
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makiko Ota, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Mitsuhiro Sakamoto, Masako Daifu, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew Lambon Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題 Compensation of semantic memory after dominant anterior temporal lobe resection in epilepsy surgery
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiyohide Usami, Anna Korzeniewska, Riki Matsumoto, Takefumi Hitomi, Kunieda Takeharu, Nobuhiro Mikuni, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, and Nathan E. Crone
2. 発表標題 Changes in human brain network connectivity during sleep and wakefulness ? a study of neural propagation evoked by single-pulse electrical stimulation
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayuki Honda, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Yuichiro Hashi, Mitsuhiro Sakamoto, Daiki Fujii, Katsuya Kobayashi, Takahiro Mitsueda, Akira Kuzuya, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Chronological Volumetry of Amygdala, Hippocampus and Whole Brain and Association with Clinical Course in Patients with Anti Voltage-gated Potassium Channel-complex Antibodies Associated Limbic Encephalitis(VGKC-LE)
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayuki HONDA, Riki MATSUMOTO, Akihiro SHIMOTAKE, Yuichiro HASHI, Mitsuhiro SAKAMOTO, Daiki FUJII, Katsuya KOBAYASHI, Takahiro MITSUEDA, Akira KUZUYA, Ryosuke TAKAHASHI, Akio IKEDA
2. 発表標題 Chronological Change in Mesial Temporal Structures and Whole Brain Volumetry in Patients with Anti-Voltage-Gated Potassium Channel Complex (VGKC) Antibodies Associated Limbic Encephalitis.
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Tamaki Kobayashi, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Masaya Togo, Yoshiki Arakawa, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Shiro Yano, Takaki Maeda, Hiroshi Imamizu, Susumu Miyamoto
2 . 発表標題 The role of the insula in Sense of Agency: supportive data from neurosurgical cases
3 . 学会等名 16th Asian Oceanian Congress Of Neurology ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 M. Togo, R. Matsumoto, A. Shimotake, T. Kobayashi, T. Kikuchi, K. Yoshida, T. Kunieda, S. Miyamoto, R. Yakahashi and A. Ikeda
2 . 発表標題 Role of premotor and precentral negative motor area in praxis: a direct electrical stimulation study
3 . 学会等名 May 23-26 59th annual meeting of the Japanese society of neurology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew Lambon-Ralph, Akio Ikeda
2 . 発表標題 Visual and auditory semantic processing converges in the anterior temporal lobe
3 . 学会等名 The 41th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Masako Daifu, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Makiko Ota, Mitsuhiro Sakamoto, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Matthew A. Lambon Ralph, Akio Ikeda
2 . 発表標題 Double dissociation of the semantic and phonological processing in reading Kanji and Kana words - A quantitative low-intensity cortical stimulation study
3 . 学会等名 The 41th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Makiko Ota, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Mitsuhiro Sakamoto, Masako Daifu, Takuro Nakae, Takayuki. Kikuchi Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew A. Lambon Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題 Compensation of semantic memory after dominant anterior temporal lobe resection in epilepsy surgery
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SHIMOTAKE Akihiro, MATSUMOTO Riki, KOBAYASHI Katsuya, KIKUCHI Takayuki, MASAO Matsuhashi, KAZUMICHI Yoshida, KUNIEDA Takeharu, MIYAMOTO Susumu, TAKAHASHI Ryosuke, IKEDA Akio
2. 発表標題 Functional mapping of visual and auditory semantic processing in the anterior temporal lobe
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Norihito Muraoka, Riki Matsumoto*, Katsuya Kobayashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 A case of focal epilepsy presenting the lower jaw
3. 学会等名 第52回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Shuichiro Neshige, Daiki Fujii, Riki Matsumoto, Shuhei Kasama, Masutaro Kanda, Yohiaki Wada, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda,
2. 発表標題 Very small dose of perampanel improved refractory cortical myoclonus
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名	Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsubishi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda.
2. 発表標題	Underlying excitability at the focus modulates network dynamics of seizure propagation: a single-pulse electrical stimulation study time-locked to spike and post-spike slow.
3. 学会等名	American Epilepsy Society (AES) 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Akio Ikeda
2. 発表標題	How to predict good responders to vagus nerve stimulation.
3. 学会等名	Beijing International Pediatric Epilepsy Forum (BIPEP) 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Akio Ikeda
2. 発表標題	Clinical observation of DC shifts in epilepsy, Symposium Wide-band EEG by Neuron and Glia: From Basic and Clinical Application in Epilepsy.
3. 学会等名	31st International Congress of Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Akio Ikeda
2. 発表標題	Neuron, glia, and epilepsy: is it a paradigm shift?
3. 学会等名	Epilepsy Grand Rounds, University Hospitals, Neurological Institute, School of Medicine, Case Western Reserve University Cleveland, OH, USA, 5/7/2018 (招待講演)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Subdurally recorded HFO may represent extracellular or intercellular activity? SIG 1: Clinical and basic researchs of EEG (Discussion on the researches of Basic and clinical EEG).
3. 学会等名 23rd Korean Epilepsy Congress(KEC2018) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Epilepsy, neuron and glia: is it a paradigm shifts? Presidential symposium, Issues and advanced Technologies in Epilpsy.
3. 学会等名 23rd Korean Epilepsy Congress(KEC2018). (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Generator mechanisms of antagonist of AMPA receptor Paroxysmal depolarization shifts (PDS) vs. AED Spotlight on Perampanel. Eisai Satellite Symposium, evolving ladscape in management of epilepsy: experts perspective.
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Development of EEG services: the Japanese experience. CAO Task Force Session, CAO 's global campaign task force session: improving availability and quality of EEG in the region.
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Biomarkers of epilepsy: what approaches do we have? EEG biomarkers for neuron and glia.
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 CAOA 's ongoing project Perampanel on cortical myoclonus.
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Inflammation and epilepsy.
3. 学会等名 31st Annual Scientific Meeting of The Hong Kong Neurological Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 The role of EEG in adult epilepsy care. Teaching course 1-4, , AOCN-ASEPA EEG Workshop.
3. 学会等名 16th Asian Oceanian Congress Of Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 What do different frequencies and other modalities tell us about MEG's ability to identify the extent of the epileptic zone?
3. 学会等名 American Epilepsy Society (AES) 2018 Annual Meeting (11/30-12/4/2018, New Orleans, USA). (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 DC shifts are established tool or still research topic ? Concurrent session: SIG, Wide-band EEG for epilepsy: established tool or research topic?
3. 学会等名 American Clinical Neurophysiology Society, 2019 Annual Meeting and Courses (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Masao Matsushashi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masako Daifu, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Riki Matumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Ictal direct current (DC) shifts can be classified with 2 patterns: Comparison of ictal DC shifts between time constant 10 sec and 2 sec: attempt of classification with cluster analysis.
3. 学会等名 American Clinical Neurophysiology Society, 2019 Annual Meeting and Courses (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Paroxysmal depolarization shifts (PDS) vs. AED in clinical epilepsy, Unique effects of perampanel on giant SEPs, i.e., paroxysmal depolarization shifts (PDS), Pertinent investigation in epilepsy.
3. 学会等名 20th Joint conference of Indian Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 十河正弥、松本理器、下竹昭寛、松橋眞生、小林環、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 高頻度皮質電気刺激による高次運動障害の発現機構の検討：皮質刺激誘発反応と行動解析の包括的検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂本光弘、松本理器、下竹昭寛、太田真紀子、中谷光良、中江卓郎、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 発語失行の病態：機能マッピング，電氣的線維追跡からの症例の考察
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 尾谷-山田真弓、松本理器、下竹昭寛、坂本光弘、十河正弥、中江卓郎、武山博文、小林勝哉、宇佐美清英、松橋眞生、山尾幸弘、菊池隆幸
2. 発表標題 言語ネットワーク内における中核言語野の結合様式の検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 戸島麻耶、人見健文、大井和起、濱口敏和、音成秀一郎、小林勝哉、下竹昭寛、松橋眞生、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 下肢症状を初発・主症状とした良性成人型家族性ミオクローヌステんかん(BAFME)の3家系5例の特徴
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介、村井智彦、小林勝哉、人見健文、大封昌子、松橋眞生、山尾幸宏、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 Ictal DC shifts の時定数10 秒と2 秒の頭蓋内脳波記録・表示の相違は、頭皮上脳波でも反映されるか？
3. 学会等名 第14回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介、村井智彦、小林勝哉、人見健文、大封昌子、松橋眞生、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、松本理器、高橋良輔
2. 発表標題 頭蓋内脳波記録による Ictal DC shifts の時定数 10 秒、 2 秒での比較および頭皮上脳波での波形特性との関連
3. 学会等名 第52回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介、松橋眞生、小林勝哉、人見健文、大封昌子、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、行木孝夫、津田一郎、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 発作時直流緩電位 ( Ictal DC shifts ) の 類型化の試み： 時定数 10 秒と 2 秒の比較と クラスタ解析の試み
3. 学会等名 第48回日本神経生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長谷川華子、戸島麻耶、梶川駿介、下竹昭寛、坂本光弘、本多正幸、松本理器、池田昭夫、高橋良輔
2. 発表標題 既知抗体が陰性で免疫治療が奏功した自己免疫性てんかんの1 例
3. 学会等名 第14回てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 音成秀一郎、松橋真夫、松本理器、池田昭夫
2. 発表標題 広帯域皮質脳波を用いた運動関連皮質の脳機能マッピングのアルゴリズム：てんかん外科の皮質電気刺激検査からの合理的発展の試み
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下竹昭寛、松本理器、太田真紀子、坂本光弘、中江卓郎、菊池隆幸、荒川芳輝、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 側頭葉腫瘍切除症例における意味認知機能の検討
3. 学会等名 第42回 日本神経心理学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下竹 昭寛、松本 理器、坂本 光弘、中谷 光良、太田 真紀子、小林 勝哉、菊池 隆幸、吉田 和道、國枝 武治、宮本 享、高橋 良輔、池田 昭夫
2. 発表標題 低い刺激強度の皮質電気刺激と呼称課題の組み合わせによる言語機能マッピングの有用性
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会；
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 臨床システム神経科学によるヒト脳病態・高次機能の解明
3. 学会等名 分子発生学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本理器、下竹昭寛、十河正弥、菊池隆幸、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 皮質電気刺激による脳機能マッピング
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器、小林勝哉、人見健文、池田昭夫
2. 発表標題 ミオクローヌスてんかんの脳波特性・S-08 ミオクローヌスの最近の知見
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人見健文、小林勝哉、音成秀一郎、Shamima Sultana、佐藤啓、谷岡洸介、下竹昭寛、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんにおける脳波所見の経時的変化
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人見健文、小林勝哉、音成秀一郎、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん(BAFME)
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 松本理器、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 てんかん外科における最新のてんかん診断学: PS3 てんかん外科と機能的脳神経外科
3. 学会等名 第38回日本脳神経外科コンgres総会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 てんかん
3. 学会等名 京都市委託事業 難病患者医療講演・相談会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 非てんかん性異常・意識障害
3. 学会等名 第4回脳波セミナーアドバンスコース (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菊池隆幸、小林環、永井靖識、山尾幸広、吉田和道、小林勝哉、下竹昭寛、松本理器、池田昭夫、國枝武治、宮本享
2. 発表標題 てんかんにおける覚醒下手術の役割
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 高齢者のてんかん
3. 学会等名 第60回日本老年医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器、小林環、下竹昭寛、吉田和道、矢野史朗、前田貴記、今水寛、池田昭夫
2. 発表標題 島皮質障害による運動主体感の動的変容：脳外科手術症例からの知見・OS21：身体性システム・脳内身体表現のモデル化からリハビリテーション
3. 学会等名 第36回日本ロボット学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 十川純平、松本理器、井内盛遠、松橋眞生、小林勝哉、宇佐美清英、人見健文、中江卓郎、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 意識における後方皮質領野の意義：皮質脳波における異周波数間結合解析による検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田口智朗、下竹昭寛、藤井大樹、小林勝哉、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 心因性非てんかん発作と鑑別を要した自己免疫性てんかんの1例
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人見健文、音成秀一郎、小林勝哉、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 遺伝子検査陽性の良性成人型家族性ミオクローヌステんかん (BAFME) における巨大体性感覚誘発電位 (巨大SEP) とC反射の陽性率
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝哉、松本理器、宇佐美清英、下竹昭寛、山尾幸宏、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 てんかんネットワークの結合性はてんかん焦点での興奮・抑制により動的に変動する：皮質皮質間誘発電位を用いた検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中江卓郎、松本理器、十河正弥、武山博文、小林勝哉、下竹昭寛、松橋眞生、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 皮質刺激皮質誘発電位 (CCEP) における律動反応?機能ネットワークから見た反応特性の多様性?
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 迎伸孝、松本理器、小林勝哉、十河正弥、松橋眞生、中江卓郎、武山博文、下竹昭寛、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、飯原弘二、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 皮質皮質間誘発電位 (CCEP) の分類と分布の検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 濱口敏和、松本理器、大封昌子、十河正弥、小林勝哉、下竹昭寛、松橋眞生、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 抗VGKC受容体複合体交代陽性脳炎の生理的診断マーカー候補：発作時脳波変化の時間周波数解析による検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 文室知之、松橋眞生、人見健文、松本理器、高橋良輔、池田昭夫、赤松直樹
2. 発表標題 視覚的な注意条件が運動準備段階の脳電位に与える影響
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人見健文、音成秀一郎、小林勝哉、戸島麻耶、大井和起、下竹昭寛、松橋眞生、松本理器、神田益太郎、石浦浩之、辻省次、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクロームステんかん (BAFME) における原因遺伝子のリピート数と神経生理学的所見の関係
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下竹昭寛、松本理器、小林勝哉、菊池隆幸、松橋眞生、吉田和道、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 Functional mapping of visual and auditory semantic processing in the anterior temporal lobe
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤陽祐、福多真史、麻生俊彦、増田浩、白水洋史、東島威史、井内盛遠、松本理器、藤井幸彦
2. 発表標題 焦点切除術を施行したてんかん患者の術前EEG-fMRI の検討
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、國枝武治、荒川芳輝、中江卓郎、菊池隆幸、吉田和道、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 術中言語白質路モニタリングにおける皮質-皮質間誘発電位の麻酔の影響-言語機能保護を目指して-
3. 学会等名 日本脳神経外科学会 第77回学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、國枝武治、荒川芳輝、中江卓郎、菊池隆幸、吉田和道、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 術中脳機能モニタリング
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇佐美清英
2. 発表標題 Functional Brain Mapping by ECoG-Recent Development- ECoGによる脳機能マッピング この1年の動向
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 十河正弥、松本理器、下竹昭寛、小林環、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫。
2. 発表標題 「行為」における陰性運動野の役割：高頻度皮質電気刺激を用いた検討
3. 学会等名 脳機能セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介、下竹昭寛、中村大和、村井智彦、濱口敏和、小林勝哉、人見健文、松橋眞生、松本理器、漆谷真、木下真幸子、池田昭夫、高橋良輔。
2. 発表標題 頭皮上から発作時 direct current (DC) shifts が限局性に出現した症候性全般てんかんの2例
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 濱口敏和、下竹昭寛、人見健文、長谷部祥子、塚本剛士、山門穂高、松橋眞生、松本理器、池田昭夫、高橋良輔。
2. 発表標題 右方向への水平性の緩徐相、正中位への急速相を呈するてんかん性眼振 (Epileptic nystagmus) を認めた右側頭葉てんかんの一例
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塚本 剛士、梶川 駿介、本多 正幸、人見 健文、下竹 昭寛、舟木 健吏、池田 昭夫、高橋 良輔
2. 発表標題 頭皮上脳波からの局所性 CSD(cortical spreading depolarization)の記録と発作 DC(Direct current)電位との異同:外傷性急性血腫除去術後に非けいれん性重積が疑われた一例.
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林勝哉、松本理器、宇佐美清英、下竹昭寛、松橋眞生、十河正弥、梶川駿介、尾谷真弓、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、高橋良輔、池田昭夫。
2. 発表標題 てんかんネットワークの結合性はてんかん焦点での興奮・抑制により動的に変容する：皮質皮質間誘発電位を用いた検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsushashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda.
2. 発表標題 Underlying excitability at the focus modulates network dynamics of seizure propagation: a single-pulse electrical stimulation study time-locked to spike and post-spike slow.
3. 学会等名 American Epilepsy Society (AES) 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 難治てんかんの克服を目指したグリア病態研究
3. 学会等名 大阪薬科大学第1回学術交流シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 典型的ビデオ紹介, 教育コース、てんかんとは?
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Hands-on 7「脳波」
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Glia and epileptogenicity from the clinical approach.
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 グルタミン酸受容体拮抗薬の作用機序-基礎と臨床の trasnlatability-PDSと抗てんかん薬?臨床の立場から?
3. 学会等名 第60回日本小児神経学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 急性発作性の運動異常症てんかん関連運動異常およびPKC：てんかん発作との類似点と鑑別
3. 学会等名 第12回日本パーキンソン病・運動障害疾患コンgres（招待講演）
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの分類と診断（池田昭夫）（他講演者分あり）
3. 学会等名 第7回サマーてんかんセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの病歴聴取、病歴・発作症候の記載は、臨床神経生理学を定性的に言語化したもの
3. 学会等名 近畿成人てんかんセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 グルタミン酸とAMPA受容体-基礎と臨床の translatability-発作原性、てんかん原性とPDS：臨床的視点
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 生き生きとしたてんかん医療地域連携とてんかん診療拠点の役割 日本てんかん学会のミッション：てんかん診療の多様性に対しての均てんかん化への方策
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Clinical EEG in 21st century:a research topic or tool?
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 診療ガイドライン2018に基づく、てんかんの診療と治療
3. 学会等名 第20回ニューロトピックス21「てんかん」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 一般診療における脳卒中とてんかんの鑑別診断
3. 学会等名 第25回東播磨脳卒中フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Session 2 てんかん発作発現メカニズム-up to date グリア・ニューロンからみた発現メカニズム?電気生理学のおよび臨床的アプローチ?
3. 学会等名 グルタメート カンファランス (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんと頭痛，てんかんと片頭痛の興奮性の違いは？
3. 学会等名 第19回埼玉頭痛研究会 学術研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 講義6 低周波成分脳波・頭蓋内脳波総合
3. 学会等名 第5回ふじさん・てんかん脳波ハンズオンセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi K
2. 発表標題 HFOs as an indicator of disease activity
3. 学会等名 2nd American Epilepsy Society Meeting（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児てんかんの発作症候学－脳波・ビデオ同時記録による診断－
3. 学会等名 小児てんかん診療 第181回東北小児神経学会研究会（四季会）in 紀三井寺（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児の脳波とてんかんへのアプローチ
3. 学会等名 第14回日本てんかん学会近畿地方会 脳波セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児神経科におけるてんかん診療と連携
3. 学会等名 小児神経クリニカルカンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 Epileptic spasmsの病態生理
3. 学会等名 順天堂大学 てんかんセンター Conference Seminar of SPASM（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 てんかん性高周波振動の意義と臨床応用
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会プレコンgresシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 Spasmsの発作時・発作間欠時脳波における徐波と速波振動
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会シンポジウム2「スパズムの起源を探る」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 脳磁図の現状と将来-九大病院での25年を振り返って
3. 学会等名 日本生体磁気学会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 デジタル脳波判読の基礎
3. 学会等名 第9回広島てんかん・脳波セミナー(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 臨床神経生理学と共に歩んで
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 脳波トポマップのピットフォール
3. 学会等名 第35回日本脳電磁図トポグラフィ研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 脳波の極性と局在の決定
3. 学会等名 第525回福岡臨床と脳波懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 賦活法
3. 学会等名 第526回福岡臨床と脳波懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 緒方 勝也、中園 寿人、林 隆太郎、上原 平、飛松 省三
2. 発表標題 20 Hz経頭蓋交流電気刺激は間欠性シータバースト刺激の運動野への促通効果を干渉する
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ogata K, Nakazono H, Hayashi R, Tobimatsu S
2. 発表標題 Inhibitory effect of 20 Hz-tACS on MEPs with iTBS
3. 学会等名 3rd International Brain Stimulation Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 林隆太郎
2. 発表標題 片側一次視覚野TMSによる一次運動野の皮質間抑制
3. 学会等名 第33回日本生体磁気学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林隆太郎
2. 発表標題 片側一次視覚野磁気刺激による一次運動野の皮質間抑制
3. 学会等名 第13回日本てんかん学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林隆太郎
2. 発表標題 片側一次視覚野TMSによる一次運動野の皮質間抑制
3. 学会等名 第48回 日本臨床神経生理学会 学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Matsubara T, Uehara T, Ogata K, Maekawa T, Tobimatsu S.
2. 発表標題 Effects of deviance direction on frequency and duration mismatch fields: Hemispheric functional difference revealed by monaural presentation.
3. 学会等名 The 48th annual meeting, Neuroscience 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Matsubara T, Ogata K, Hironaga N, Uehara T, Mitsudo T, Shigeto H, Maekawa T, Tobimatsu S.
2. 発表標題 Monaural 40-Hz auditory steady-state magnetic responses can be an indicative biomarker for epileptic focus in mesial temporal lobe epilepsy.
3. 学会等名 Annual Meeting of American Epilepsy Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Matsubara T, Uehara T, Ogata K, Mitsudo T, Maekawa T, Tobimatsu S.
2. 発表標題 Hemispheric difference in temporal perception between 40- and 80-Hz auditory steady-state responses: MEG and ECoG studies.
3. 学会等名 The 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松原鉄平、上原平、緒方勝也、前川敏彦、飛松省三
2. 発表標題 海馬-聴覚野連関に注目したてんかん焦点の側方性に関する脳磁図研究
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 松原鉄平、廣永成人、飛松省三、岸田邦治
2. 発表標題 HansBerger
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松原鉄平、上原平、緒方勝也、前川敏彦、飛松省三
2. 発表標題 逸脱の方向性が周波数・持続長ミスマッチ脳磁場反応に与える影響：単耳刺激による半球間相違の検討
3. 学会等名 第33回日本生体磁気学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下謙一郎
2. 発表標題 安静時機能的MRIを用いたアルツハイマー病治療薬による脳機能的結合変化の研究
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎貴男、麻生俊彦、加世田ゆみ子、三森康世、土井光、松岡直輝、高宮尚美、鳥居剛、高橋哲也、大下智彦、山下拓史、土井一可、飛松省三
2. 発表標題 軽度認知障害における一次視覚野の刺激駆動性変動の減少：fMRI研究
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大石文芽, 山崎貴男, 鶴絢子, 三野原元澄, 飛松省三
2. 発表標題 軽度認知障害患者の見当識障害は右下頭頂小葉由来である
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹田昂典, 山田絵美, 緒方勝也, 岡本剛, 飛松省三
2. 発表標題 等輝度画像を用いたヒト顔処理系の応答特性：脳磁図研究
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田絵美, 山崎貴男, 田中睦英, 飛松省三
2. 発表標題 自閉スペクトラム症における視覚処理障害：1次視覚野から情動処理経路まで
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年～2019年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 てんかんと記憶障害
3. 学会等名 第17回若松認知症研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 てんかん研究の最前線
3. 学会等名 第1回若手医師のためのてんかん勉強会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 新規抗てんかん薬の使い方のコツ
3. 学会等名 第4回小倉南区脳卒中病診連携の会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 長時間ビデオ脳波モニタリングの実際
3. 学会等名 第13回日本てんかん学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 発症17年後に抗GAD抗体陽性が判明した側頭葉てんかんの1例
3. 学会等名 第13回日本てんかん学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Taira Uehara
2. 発表標題 Visualization of Intrinsic Functional Connectivity in Intracranial EEG Signals
3. 学会等名 The 12th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 てんかん診療の最近の話題
3. 学会等名 唐津てんかんを考える会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 神経内科における新規抗てんかん薬の役割
3. 学会等名 VIMPAT Expert Meeting (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 新皮質てんかんにおける発作間欠期てんかん性放電と睡眠紡錘波の相互作用
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 てんかん発作ネットワーク内の機能的結合性における非振動性脳活動の重要性
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 高齢者てんかんの診断と治療
3. 学会等名 第30回日本老年医学会中国地方会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 結節性硬化症の診断と治療
3. 学会等名 TSC Web Seminar in Kyushu（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 認知症とてんかん
3. 学会等名 高齢発症てんかん Summit in 福岡（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 高齢者てんかんの診断と治療
3. 学会等名 てんかん Web セミナー in 九州 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 新規抗てんかん薬時代のてんかん診療
3. 学会等名 Brain Forum in 呉 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上原平
2. 発表標題 てんかん原性病変スクリーニングにおけるMRI essential 6の有用性
3. 学会等名 第26回九州山口てんかん外科研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiko Koike
2. 発表標題 The role of the right anterior insular cortex in joint attention-related identification with the partner ? A hyperscanning fMRI study
3. 学会等名 Understanding Others 4th Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yumi Oboshi, Kohei Miyata, Takahiko Koike, Norihiro Sadato
2. 発表標題 Self-relevant imagination enhances frontal pole activity - a NIRS study
3. 学会等名 OHBM 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chise Kasai, Motofumi Sumiya, Takahiko Koike, Takaaki Yoshimoto, Aoki Naoya, Norihiro Sadato
2. 発表標題 Neural underpinning of the Japanese case particle processing on non-native speakers
3. 学会等名 OHBM 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Eri Nakagawa, Takahiko Koike, Motofumi Sumiya, Norihiro Sadato
2. 発表標題 The involvement of the striatum and cerebellum in syntactic processing of L2 learners
3. 学会等名 OHBM 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohei Miyata, Yumi Oboshi, Takahiko Koike, Norihiro Sadato
2. 発表標題 The Imagination of Self-relevant Emotional Events Activates Rostral Anterior Cingulate Cortex
3. 学会等名 OHBM 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Motofumi Sumiya, Eri Nakagawa, Takahiko Koike, Norihiro Sadato
2. 発表標題 Neural Bases of Social Feedback Contingent on Own Performances
3. 学会等名 OHBM 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takahiko Koike
2. 発表標題 Neural basis of integrating self with other: Hyperscanning neuroimaging studies
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takahiko Koike
2. 発表標題 Shared neural activation as index of social interaction
3. 学会等名 The 12th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sato Hiroki, Takashi Numata, Yasuhiro Asa, Takahiko Koike, Kohei Miyata, Eri Nakagawa, Motofumi Sumiya, Norihiro Sadato
2. 発表標題 An fMRI investigation on the positive consequences of being imitated by a virtual nonhuman agent
3. 学会等名 SfN 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Aso, T., Urayama, S., & Fukuyama, H.
2. 発表標題 Age-related shift of cerebral venous outflow pathway detected by BOLD signal-based blood flow tracking
3. 学会等名 Joint Annual Meeting ISMRM-EMSRMB (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 麻生 俊彦, 浦山 慎一.
2. 発表標題 BOLD信号の低周波振動を利用した血液トラッキングによる静脈排出の加齢変化の測定
3. 学会等名 日本磁気共鳴医学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松橋真生
2. 発表標題 運動の意思における感覚運動連関
3. 学会等名 第33回日本生体磁気学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松橋真生
2. 発表標題 てんかん活動の可視化を目指して -TSI(Temporal spread Imaging)法とそのほかのモダリティ-
3. 学会等名 第33回日本生体磁気学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masao Matsuhashi
2. 発表標題 AC amplifier with long time constant or DC amplifier for ictal DC shift recording, is it a matter? a simulation study
3. 学会等名 12th Asian & Oceanian Epilepsy Congress ( 国際学会 )
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigeyoshi Fujisawa
2. 発表標題 Hippocampal encoding of spatial information of self and other
3. 学会等名 9th FAOPS Congress ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeyoshi Fujisawa
2. 発表標題 Representations of spatial information of self and other in the hippocampus
3. 学会等名 2nd Interdisciplinary Navigation Symposium (iNAV) ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Kori
2. 発表標題 Circadian Rhythm Stops via Hopf Bifurcation: In Vitro Experiments and Molecular-Level Theoretical Interpretation
3. 学会等名 Gordon Research Conference: Oscillations and Dynamic Instabilities in Chemical Systems ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 郡宏
2. 発表標題 体内時計と時差ボケを巡る数理と実験の協働研究
3. 学会等名 明治大学現象数理学共同研究集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 郡宏
2. 発表標題 生物リズムを巡る実験と理論の協働
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoyuki MIMURA, Tomoki ITO, Tenpei AKITA, Atsuo FUKUDA, Katsunori KITANO
2. 発表標題 Impaired neuronal response leads to hyperexcitable seizure-like network bursts through synaptic scaling
3. 学会等名 FENS2018（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Katsunori KITANO, Kanako Taniguchi
2. 発表標題 Short-term plasticity and upregulation of bipolar-ganglion synapses can resolve the neural states both in the normal and the rd1 retinas
3. 学会等名 Neuroscience 2018（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 荒井貴光, 青柳富誌生
2. 発表標題 カオスの遍歴時系列データのテンソル分解解析の試み
3. 学会等名 電子情報通信学会 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS)研究会 2018年度第1回第1種研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 窪田修, 今井貴史, 青柳富誌生
2. 発表標題 平均振動数の著しく異なる振動子集団の結合系で見られる同期現象
3. 学会等名 電子情報通信学会 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS)研究会 2018年度第1回第1種研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栴井啓貴, 今井貴史, 青柳富誌生
2. 発表標題 外力下におけるデータ駆動型位相縮約
3. 学会等名 日本物理学会 2018年秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栴井啓貴
2. 発表標題 てんかん発作の特徴づけから予測の展望まで?Permutation-Information Theoretic Approach?
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム、新学術領域研究「適応回路シフト」「身体性システム」「オシロロジー」「人工知能と脳科学」 「脳情報動態」5領域合同シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 青柳富誌生
2. 発表標題 力学系的視点からの時系列データ解析-モデルベースとモデルフリーのアプローチ-
3. 学会等名 神戸大学極みプロジェクト「ホログラフィック技術による生命現象の4次元計測・操作の実現とその臨床利用」キックオフシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 窪田修, 今井貴史, 青柳富誌生
2. 発表標題 平均振動数の異なる振動子集団の結合系でみられる同期現象の解析
3. 学会等名 日本物理学会 第74回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 栴井啓貴, 中嶋浩平, 青柳富誌生
2. 発表標題 Permutation分布に基づくコンセプトドリフトの検出
3. 学会等名 日本物理学会 第74回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀之内翔大, 合原一究, 青柳富誌生
2. 発表標題 位相振動子モデルに基づいたカエルの鳴き声の相互作用の解析と統計的検証
3. 学会等名 日本物理学会 第74回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Unravelling individual differences in nonlinear neural dynamics and brain functions. Bioengineering Graduate Program
3. 学会等名 The Hong Kong University of Science & Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Novel approaches to individual differences in intrinsic neural dynamics and human behavior. International Symposium on Cutting Edge Technology for EEG Data Analysis
3. 学会等名 International Symposium on Cutting Edge Technology for EEG Data Analysis (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 神経ダイナミクスと社会性障害
3. 学会等名 2018年度生理研研究会『社会神経科学的アプローチによる精神疾患の社会性障害の理解』(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳のリズムネットワークの機能と回復メカニズム
3. 学会等名 第27回日本交通医学工学研究会 学術総会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 神経リズムネットワークの機能と病態
3. 学会等名 第14回運動神経科学研究会・脳神経科学大阪セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳のリズム現象と脳機能の個人特性
3. 学会等名 日本認知心理学会第16回大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳波非線形ダイナミクスの個人特性と病態の操作的解明
3. 学会等名 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室・研究セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳活動非線形ダイナミクスの機能と個人特性
3. 学会等名 電子情報通信学会東海支部 第2回学生会講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳のリズムネットワークの基礎・応用研究
3. 学会等名 第13回運動神経科学研究会・脳神経科学東京セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 創発インタラクション：ダイナミクスが生みだす知の可能性
3. 学会等名 シンギュラリティーサロン（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 創発インタラクション：ダイナミクスが生みだす知の可能性
3. 学会等名 シンギュラリティーサロン（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 創発インタラクションの可能性：脳科学に基づく創発型人工知能を目指して
3. 学会等名 第32回人工知能学会オーガナイズドセッション「自律・創発・汎用AIアーキテクチャー」（招待講演）
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 創発インタラクションの意義：機能分化に対する変分原理と数理モデル
3. 学会等名 全脳アーキテクチャー勉強会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Science of complex systems: mathematical point of view. Invited talk. Chubu University International Conference on Seeking for a New Conception of Science
3. 学会等名 The Future of Scientific Culture in East Asia(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 脳と心の創発インタラクションと発達：人工の心と自然の脳は対話可能か
3. 学会等名 日本発達神経科学学会第7回学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 拘束条件付き自己組織化理論の展開：脳神経ダイナミクスと創発AI
3. 学会等名 関西医科大学大学院講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 拘束条件付き自己組織化：その枠組みと脳の機能分化への応用
3. 学会等名 物理学会九州支部例会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Emerging interactions yielding functional differentiation
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Symbiotic Intelligent Systems（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 心はすべて数学である
3. 学会等名 数学の創成：生命と社会の理（ことわり）のために（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Artificial mind, real brain: are they commensurable? Emerging Perspective Program
3. 学会等名 互いに矛盾する分散制御と中枢制御の数理神経科学的融合 3（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 複雑系科学からの創発AI - 人工の心と現実の脳は対話可能か？
3. 学会等名 大阪大学浅田稔教授退職記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 拘束条件の意味と具体化
3. 学会等名 RIMS共同研究「Mathematical Analysis of Self-organization with Constraints」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介（津田一郎含む、その他13名）
2. 発表標題 発作時直流緩電位（Ictal DC shifts）の類型化の試み：時定数10秒と2秒の比較とクラスター解析の試み
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 T.Takahashi, Y.Maruyama, H.Ito and K.Miura
2. 発表標題 Assessing the impacts of correlated V1 activities with different mechanisms
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2018 Annual meeting（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 H. Ito
2. 発表標題 From Heart to Brain ? Exploring Causality in Brain by Brain-Machine Interface.
3. 学会等名 Leon Glass and Michael Mackey Diamond Symposium: Nonlinear Mathematics in Medicine and Biology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 幸野怜歩、森 理也、伊藤浩之
2. 発表標題 ネコ視覚皮質での多細胞活動を用いた刺激方位推定 - 発火数相関の効果 -
3. 学会等名 視覚科学フォーラム2018 第22回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 幸野怜歩、森 理也、伊藤浩之
2. 発表標題 ネコ視覚皮質での多細胞活動を用いた刺激方位推定 - 発火数相関の効果 -
3. 学会等名 電子情報通信学会NC研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 虫明 元
2. 発表標題 学ぶ脳と心の成長
3. 学会等名 全国婦人保護施設長等研究協議会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryosuke Hosaka, Hidenori Watanabe, Toshi Nakajima, and Hajime Mushiake
2. 発表標題 LFP theta power reflects protecting motor plans from an interruption in primate motor areas
3. 学会等名 FENS forum, Berlin, Germany
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 虫明 元
2. 発表標題 脳科学者からみた 心の多様性と変革・挑戦
3. 学会等名 医療福祉ジャーナリズム特論
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂本 一寛、川口 典彦、虫明 元
2. 発表標題 形操作課題中のサル背外側前頭前野の局所場電位
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 保坂 亮介、渡辺 秀典、中島 敏、虫明 元
2. 発表標題 サル運動野のシータパワーの増加は運動計画の割り込みからの保護を反映する
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Awan Muhammad Ali Haider, Hajime Mushiake, Yoshiya Matsuzaka,
2. 発表標題 Neural representation of behavioral tactics and action in three cortical areas in medial frontal lobe:a comparative study
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩本 憲宏 大城 朝一 虫明 元
2. 発表標題 多感覚情動刺激に対する瞳孔径応答パターンとEmpathizing-Systemizing尺度
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大城 朝一 虫明 元
2. 発表標題 ヒスタミン神経系による脳血管運動の制御
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 虫明 元・岩本憲宏・大城朝一
2. 発表標題 情動刺激に対して瞳孔径応答が示す多感覚統合の個人差 と性格特の関係
3. 学会等名 日本心理学会第82回
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂本一寛、斎藤尚宏、吉田隼、虫明元
2. 発表標題 前頭前野の動的軸符号化細胞
3. 学会等名 東北生理談話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 桐本光，緒方勝也，中園寿人，鶴 大輔，美馬達哉，飛松省三
2. 発表標題 静磁場刺激がタキストスコープによる線分割課題の精度に及ぼす影響
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 桐本光，緒方勝也，中園寿人，鶴 大輔，美馬達哉，飛松省三
2. 発表標題 静磁場刺激によるタキストスコープ線分割課題の精度の改善
3. 学会等名 第12回Motor Control研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 桐本光，緒方勝也，中園寿人，鶴 大輔，美馬達哉
2. 発表標題 側頭葉に対する経頭蓋静磁場刺激によるタキストスコープ線分割課題の精度の変化
3. 学会等名 第12回日本作業療法研究学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高松泰行, Adya Saran Sinha, 秋田天平, 福田敦夫, 美馬達哉
2. 発表標題 静磁場刺激はマウス神経細胞の膜興奮性を一時的に低下させる
3. 学会等名 第33回日本生体磁気学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuyuki Takamatsu, Adya Saran Sinha, Tenpei Akita, Atsuo Fukuda, Tatsuya Mima
2. 発表標題 Static magnetic fields can temporarily alter the membrane excitability of mouse pyramidal neurons.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuyuki Takamatsu, Adya Saran Sinha, Tenpei Akita, Atsuo Fukuda, Tatsuya Mima
2. 発表標題 The effect of static magnetic fields on the membrane excitability of pyramidal neurons in mice
3. 学会等名 Neuroscience 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高松泰行, 湯川喜裕, 水口雅俊, 下村亮太, 美馬達哉
2. 発表標題 ヒト一次運動野に対する経頭蓋的静磁場刺激が対側一次運動野に与える影響
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 美馬達哉
2. 発表標題 中枢性生体磁気介入と末梢刺激のカップリングによる神経可塑性
3. 学会等名 第33回日本生体磁気学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高松泰行、ADYA SARAN SINHA、秋田天平、福田敦夫、美馬達哉
2. 発表標題 静磁場刺激はマウス神経細胞の膜興奮性を一時的に低下させる
3. 学会等名 第33回日本生体磁気学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 美馬達哉
2. 発表標題 ヒトにおける動のおよび静的経頭蓋的磁気刺激の比較
3. 学会等名 第1回静磁場刺激国際ワークショップ(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 YASUYUKI TAKAMATSU、SINHA SARAN ADYA、TENPEI AKITA、ATSUO FUKUDA、TATSUYA MIMA
2. 発表標題 Static magnetic fields can temporarily alter the membrane excitability of mouse pyramidal neurons.
3. 学会等名 第41回日本神経科学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	SATOKO KOGANEMARU、RYOSUKE KITATANI、AYAKA MAEDA、MASAO MATSUHASHI、KATSUNORI IKOMA、TATSUYA MIMA
2. 発表標題	Recovery of balance and gait function induced by transcranial rhythmic current stimulation synchronized with gait rhythm in post-stroke patients
3. 学会等名	第41回日本神経科学大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	飛澤悠伊、小金丸聡子、仁宮慎一郎、井口大暢、西村宗一郎、美馬達哉、池田聡、生駒一憲
2. 発表標題	脊髄小脳変性症における小脳性連合性対刺激法による小脳機能の増強と運動機能の変化
3. 学会等名	第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	松橋眞生、文室知之、美馬達哉、福山秀直、池田昭夫
2. 発表標題	自己の運動意思の認識にかかわる脳活動
3. 学会等名	第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	桐本光、緒方勝也、中園寿人、鶴大輔、美馬達哉、飛松省三
2. 発表標題	静磁場刺激がタキストスコープによる線分分割課題の精度に及ぼす影響
3. 学会等名	第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 高松泰行、湯川喜裕、水口雅俊、下村亮太、美馬達哉
2. 発表標題 一次運動野に対する経頭蓋的静磁場刺激が対側一次運動野に与える影響
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 汪ゆみん、小金丸聡子、飛澤悠伊、仁宮慎一郎、井口大暢、美馬達哉、池田聡、生駒一憲
2. 発表標題 脊髄小脳変性症患者における小脳PASによる小脳抑制(CBI)の変化
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中島淑恵、美馬達哉、梶井文子
2. 発表標題 音楽を併用した随意運動での運動関連電位に影響を与える情動因子の検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飛澤 悠伊, 小金丸 聡子, 仁宮 慎一郎, 井口 大暢, 西村 宗一郎, 美馬 達哉, 池田 聡, 生駒 一憲
2. 発表標題 脊髄小脳変性症における小脳性連合性対刺激法による小脳機能の増強と運動機能の変化
3. 学会等名 第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nojima I, Watanabe T, Hirayama M, Sugata H, Ikeda T, Mima T.
2. 発表標題 Transcranial static magnetic stimulation over human primary motor cortex can modulate implicit motor learning
3. 学会等名 Society for Neuroscience, 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hikari Kirimoto
2. 発表標題 Modulation of somatosensory and nociceptive evoked potentials by the application of static magnetic fields
3. 学会等名 The 33rd Annual Meeting of Japan Biomagnetism and Bioelectromagnetics Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hikari Kirimoto
2. 発表標題 Neural basis of therapeutic effect of transcranial static magnetic field stimulation
3. 学会等名 The 12th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田巻弘之, 與谷謙吾, 荻田 太, 早尾啓志, 桐本 光, 大西秀明, 山本智章, 春日規克
2. 発表標題 刺激強度及び距離の異なる磁場刺激による骨内磁場強度の変化特性
3. 学会等名 第73回日本体力医学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 能村友紀, 桐本光
2. 発表標題 補足運動野に対する陽極経頭蓋直流電流刺激による高齢者の先行随伴性姿勢調節の改善
3. 学会等名 第52回日本作業療法学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hikari Kirimoto
2. 発表標題 Modulation of cortical somatosensory processing by the application of tSMS
3. 学会等名 The 1st International Workshop for Static Magnetic Stimulation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小金丸 聡子
2. 発表標題 rTMSを用いた上肢Hybrid-rehabilitationと機能特異的脳再構成
3. 学会等名 第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takano, K., Morita-Hayashi, N., Kansaku, K.
2. 発表標題 Utility of peripheral visual field in the SSVEP-based brain-computer interface.
3. 学会等名 Society for Neuroscience, 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kawase, T., Sato, Y., Kansaku, K
2. 発表標題 EMG-controlled robotic arm intended to be incorporated into body representation
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of Japan Neuroscience Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Okahara, Y., Takano, K., Nagao, M., Iwate, Y., Kansaku, K.
2. 発表標題 Operation of a SSVEP-based BMI in a patient who progressed to the completely locked-in state.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of Japan Neuroscience Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 櫻田武、神作憲司.
2. 発表標題 高周波点滅視覚刺激を用いたSSVEP型-BMIアシストロボットの実装.
3. 学会等名 第5回脳神経外科BMI懇話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kawase, T., Kono, K., Cho, K., Kato, E., Kansaku, K.
2. 発表標題 Body ownership and agency altered by a robotic arm controlled by electromyography of elbow muscles.
3. 学会等名 The 96th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takano, K., Kansaku, K
2. 発表標題 Decoder construction for MEG signals in a subitizing task.
3. 学会等名 The 96th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 神作憲司
2. 発表標題 脳情報の解析と利用
3. 学会等名 第48回千葉大学脳神経外科医会研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 神作憲司
2. 発表標題 脳からの情報を利用する：神経生理学に何が出来るか？
3. 学会等名 北海道大学大学院医学研究院・第129回ニューロサイエンス談話会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 神作憲司
2. 発表標題 神経難病領域における脳情報利用の試み
3. 学会等名 日本難病看護学会・企画セミナー/箱根病院・箱根で学ぶ神経難病看護シリーズ (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Gyoda T, Ishida K, Watanabe T, Nojima I
2. 発表標題 Reconsolidation task performed with untrained limb enhances motor skill acquisition
3. 学会等名 Society for Neuroscience, 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Essentials of Repetitive Transcranial Mgnetic Stimulation.
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Structures Activated by TMS and Stimulating Current Direction. Based on Own Human Experimental Data
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Cerebellar inhibition (CBI), Prism adaptation Eye-hand coordination.
3. 学会等名 The 9th International Symposium of the Society for Research on the Cerebellum and Ataxias (SRCA), (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Thermal sensation threshold of millimeter waves in Japan.
3. 学会等名 The Joint Annual Meeting of The Bioelectromagnetics Society and the European Bioelectromagnetics Association. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Key Note Lecture. QPS
3. 学会等名 BrainBox Initiative Conference 2018, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Mechanisms of Voluntary and Involuntary Movements in Humans.
3. 学会等名 NATIONAL SCIENTIFIC CONFERENCE PERDOSSI 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Myoclonus: etiology, pathophysiology, and treatment insights
3. 学会等名 Japanese Society of Neurology (JSN) and Malaysian Society of Neurosciences (MSN) Joint Sympsiun 2018, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Whrere does Parkinson's Disease Begin?
3. 学会等名 NATIONAL SCIENTIFIC CONFERENCE PERDOSSI 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Transcranial Magnetic Stimulation (TMS) application in Neurological Disorders: Central and Peripheral Disorders
3. 学会等名 Japanese Society of Neurology (JSN) and Malaysian Society of Neurosciences (MSN) Joint Sympsiun 2018, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ugawa Y, Sasaki T, Hamada M, Shiota Y
2. 発表標題 Differential effects on corticospinal excitability and adaptaion task by parred associative stimualtion (PAS) with disticnt pulse width.
3. 学会等名 3rd International Brain Stimulation Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akita T, Aoto K, Fukuda A, Matsumoto N, Saitsu H.
2. 発表標題 De novo CaMK / mutants causing neurodevelopmental disorders upregulate A-type voltage-dependent K+ currents in hippocampal neurons.
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sinha Adya S, Hosoi Y, Sohara E, Mutoh H, Akita T, Uchida S, Fukuda A.
2. 発表標題 WNK3 kinase regulates inwardly rectifying potassium current in layer V pyramidal neurons of the mouse prefrontal cortex.
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Watanabe M, Nabekura J, Fukuda A.
2. 発表標題 Temporally genetic expression of KCC2 in GnRH neurons in vivo causes impairment of fertility.
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mutoh, H., Fukuda, A.
2. 発表標題 The role of GABAergic interneuron - astrocyte interaction in epileptic seizures.
3. 学会等名 第1回山梨大学先端脳科学特別教育プログラム国際シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秋田天平, 青戸一司, 加藤光広, 椎名政昭, 武藤弘樹, 中島光子, 九鬼一郎, 岡崎伸, 眞柄慎一, 椎原隆, 横地健治, 相場佳織, 遠山潤, 大場ちひろ, 宮武聡子, 三宅紀子, 緒方一博, 福田敦夫, 松本直通, 才津浩智.
2. 発表標題 てんかん及び神経発達障害をもたらすCaMKII新生突然変異体の発見.
3. 学会等名 新学術領域(オシロロジー)2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡部美穂・鍋倉淳一・福田敦夫.
2. 発表標題 生殖腺刺激ホルモン放出ホルモン(GnRH)ニューロンの制御における興奮性GABA入力役割.
3. 学会等名 新学術領域(オシロロジー)2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武藤弘樹, 福田敦夫.
2. 発表標題 てんかん原性獲得過程における抑制性神経とグリア細胞の相互作用.
3. 学会等名 新学術領域(オシロロジー)2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wang T, Sinha Adya S, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1-heterozygotes selectively perturbs GABAergic neurogenesis, GABAergic synapse function and behavioral phenotypes.
3. 学会等名 新学術領域(オシロロジー)2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sinha Adya S, Hosoi Y, Sohara E, Mutoh H, Akita T, Uchida S, Fukuda, A.
2. 発表標題 Regulation of inwardly rectifying potassium current by WNK3 kinase in layer V pyramidal neurons of the mouse prefrontal cortex.
3. 学会等名 新学術領域(オシロロジー)2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田 敦夫
2. 発表標題 細胞発振現象と集団発振のモーダルシフト
3. 学会等名 新学術領域 ( オシロロジー ) 2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田 敦夫
2. 発表標題 GABA synaptic dynamics and astrocytic Cl <sup>-</sup> buffering underlying neural network oscillation.
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukuda, A.
2. 発表標題 A novel CRH secretory mechanism by an excitatory GABAergic input from the arcuate nucleus to the median eminence.
3. 学会等名 The 17th Hamamatsu-Kyungpook Joint Medical Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sinha Adya, S., Hosoi, Y., Sohara, E., Mutoh, H., Akita, T., Uchida, S., Fukuda, A.
2. 発表標題 Regulation of inwardly rectifying potassium current by WNK3 kinase in layer V pyramidal neurons of the mouse prefrontal cortex.
3. 学会等名 The 17th Hamamatsu-Kyungpook Joint Medical Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukuda, A. Wang, T., Sinha Adya, S., Yanagawa, Y., Kawai, T. and Hata, K.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1-heterozygotes perturbs GABAergic neurogenesis, GABAergic synapse formation and behavioral phenotypes.
3. 学会等名 Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Watanabe, M., Duan, J., Mansuri, M., Zhang, J., Fukuda, A. and Kahle, K.T.
2. 発表標題 Constitutive phosphomimetic inhibition of KCC2 at Thr906/Thr1007 causes GABA-dependent network excitability, seizure, and early postnatal death.
3. 学会等名 Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田敦夫, 渡部美穂, 秋田天平, Kahle, K.
2. 発表標題 KCC2 dysfunction underlying infantile and neonatal seizures in an animal model.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wang, T., Sinha Adya, S., Akita, T., Yanagawa, Y., Fukuda, A.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1- heterozygotes affects inhibitory synaptic transmission.
3. 学会等名 生理学研究所研究会「シナプス・神経回路機能の時空間制御」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wang T, Sinha AS, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K and Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1-heterozygotes perturbs development of brain and behavior by epigenetic mechanism.
3. 学会等名 第44回日本脳科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sinha Adya, S., Hosoi, Y., Sohara, E., Mutoh, H., Akita, T., Uchida, S. and Fukuda, A.
2. 発表標題 Regulation of inwardly rectifying potassium current by WNK3 kinase in layer V pyramidal neurons of the mouse prefrontal cortex.
3. 学会等名 第64回中部日本生理学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡部美穂, 鍋倉淳一, 福田敦夫.
2. 発表標題 生殖腺刺激ホルモン放出ホルモン(GnRH)ニューロン制御における興奮性GABA入力役割.
3. 学会等名 第64回中部生理学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武藤弘樹, 福田敦夫.
2. 発表標題 てんかん原性獲得過程における抑制性神経とグリア細胞の相互作用.
3. 学会等名 第64回中部生理学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukuda, A.
2. 発表標題 A novel CRH secretory mechanism by GABAergic input from the arcuate nucleus to the axon terminals of high [Cl <sup>-</sup> ] <sub>i</sub> .
3. 学会等名 Seminar of Center for Neuron-Glia Interaction, KIST(Korea Institute of Science and Technology) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hosoi, Y., Akita, T., Watanabe, M., Mutoh, H., Miyajima, H. and Fukuda, A.
2. 発表標題 Taurine depletion reduces postsynaptic GABA <sub>A</sub> receptors in layer 2/3 pyramidal neurons of the somatosensory cortex.
3. 学会等名 XXIII World Congress of Neurology (WCN2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田敦夫, 王天英, Sinha Adya S, 柳川右千夫, 河合智子, 秦健一郎.
2. 発表標題 母体ストレスとGABAが仔脳発達に与える病態生理学的影響.
3. 学会等名 第27回日本病態生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sinha Adya, S., Hosoi, Y., Sohara, E., Mutoh, H., Akita, T., Uchida, S. and Fukuda, A.
2. 発表標題 Regulation of inwardly rectifying potassium current by WNK3 kinase in layer V pyramidal neurons of the mouse prefrontal cortex.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Mutoh, H., Fukuda, A.
2. 発表標題 The role of GABAergic interneuron - astrocyte interaction in epileptic seizures.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukuda, A.
2. 発表標題 Cellular Mechanisms Underlying Status Epilepticus: what do animal models tell us?
3. 学会等名 The 19th Annual Meeting of Infantile Seizure Society International Symposium on Status Epilepticus in Infants and Children (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wang, T., Sinha Adya, S., Yanagawa, Y., Kawai, T., Hata, K. and Fukuda, A.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1-heterozygotes selectively perturbs parvalbumin (PV)-positive GABAergic neurogenesis, GABA synapses and social interaction behavior.
3. 学会等名 IBNS 26th Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柳川右千夫
2. 発表標題 オシレーションにおけるGABA の役割を解明するためのトランスジェニック動物の開発
3. 学会等名 新学術領域 (オシロロジー) 2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 江川 潔
2. 発表標題 Diverse deregulation of tonic inhibition in thalamo cortical networks of mice model of Angelman syndrome.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 ポストコンgresシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 江川 潔
2. 発表標題 アンジェルマン症候群モデルマウスにおける細胞内Cl <sup>-</sup> -制御
3. 学会等名 「オシロロジー」2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nobuhiko Hatanaka
2. 発表標題 GABAergic modulation of striatal neuron activity in behaving monkeys
3. 学会等名 2017 Yonsei-Korean-NIPS Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Atsushi Nambu
2. 発表標題 "Inhibitory center-excitatory surround" inputs from the motor cortex to the globus pallidus revealed by optogenetic stimulation
3. 学会等名 2017 Yonsei-Korean-NIPS Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Satomi Chiken
2 . 発表標題 Parkinson's disease as a network disorder
3 . 学会等名 International symposium, Neural Oscillation Conference 2017, Problems of Consciousness and Neuropsychiatric Disorders as Network Diseases (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Taku Hasegawa, Satomi Chiken, Kenta Kobayashi, Atsushi Nambu
2 . 発表標題 The chemo-genetic suppression of the primate subthalamic nucleus induces abnormal involuntary movements
3 . 学会等名 International symposium, Neural Oscillation Conference 2017, Problems of Consciousness and Neuropsychiatric Disorders as Network Diseases (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hiromi Sano, Kenta Kobayashi, Shigeki Sato, Satomi Chiken, Kazuto Kobayashi, Atsushi Nambu
2 . 発表標題 Cortico-striatal induced responses in the basal ganglia
3 . 学会等名 International symposium, Neural Oscillation Conference 2017, Problems of Consciousness and Neuropsychiatric Disorders as Network Diseases (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Atsushi Nambu, Mitsunori Ozaki, Hiromi Sano, Shigeki Sato, Mitsuhiro Ogura, Hajime Mushiake, Satomi Chiken, Naoyuki Nakao
2 . 発表標題 "Inhibitory center-excitatory surround" inputs from the motor cortex to the globus pallidus revealed by optogenetic stimulation
3 . 学会等名 International symposium, Neural Oscillation Conference 2017, Problems of Consciousness and Neuropsychiatric Disorders as Network Diseases (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 畑中伸彦
2. 発表標題 運動課題遂行中のマカクサルにおける線条体投射ニューロン活動のGABA作動性調節
3. 学会等名 第32回日本大脳基底核研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 橋 吉寿、南部 篤
2. 発表標題 我慢をする脳内メカニズムー視床下核の新たな機能を探るー
3. 学会等名 第32回日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小山内誠、菊田里美、谷平大樹、本間経康、中尾聡宏、小田佳奈子、笹岡俊邦、南部篤
2. 発表標題 qAIM-MRIによるD1ドーパミン受容体コンディショナルノックダウンマウスの全脳神経活動解析
3. 学会等名 第32回日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笹岡俊邦、佐藤朝子、知見聡美、大久保直、阿部学、川村名子、中尾聡宏、小田佳奈子、酒井清子、前田宣俊、神保幸弘、佐藤俊哉、藤澤信義、崎村建司、南部篤
2. 発表標題 D1/D2ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明
3. 学会等名 第32回日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Minoru Kimura, Satoshi Nomura, Kayo Nishizawa, Kazuto Kobayashi, Yutaka Sakai, Yasuo Kawaguchi, Atsushi Nambu, Ko Yamanaka, Yoshikazu Isomura
2 . 発表標題 Differential involvement of direct- and indirect-pathway spiny projection neurons in action valuation and update in the dorsomedial striatum
3 . 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (招待講演)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Atsushi Nambu
2 . 発表標題 Basal ganglia meet cerebellum: Introduction
3 . 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (招待講演)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2 . 発表標題 How do the basal ganglia and cerebellum control thalamocortical activity?
3 . 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (招待講演)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Toshikuni Sasaoka, Asako Sato, Satomi Chiken, Tadashi Okubo, Manabe Abe, Meiko Kawamura, Satohiro Nakao, Kanako Oda, Seiko Sakai, Yoshitaka Maeba, Yukihiro Jimbo, Minoru Tanaka, Yoshitaka Yamamoto, Toshiya Sato, Nobuyoshi, Fujisawa, Kenji Sakimura, Atsushi Nambu
2 . 発表標題 Elucidation of motor control mechanism using genetically mice harboring tetracycline-regulated expression of D1/D2 dopamine receptors
3 . 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoshihisa Tachibana, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Subthalamic neurons signal vigor of reward-seeking actions
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiromi Sano, Kenta Kobayashi, Shigeki Kato, Satomi Chiken, Kazuto Kobayashi, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Responses in the basal ganglia induced by cortico-striatal neurons
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nobuya Sano, Yoshihisa Nakayama, Eiji Hoshi, Satomi Chiken, Atsushi Nambu, Yukio Nishimura
2. 発表標題 Motor commands transferred from the deep cerebellar nuclei to the motor cortex
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2. 発表標題 How do the basal ganglia and cerebellum control thalamocortical activity?
3. 学会等名 International Workshop on Basal Ganglia Functions 2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 知見聡美、南部篤
2. 発表標題 大脳皮質 - 大脳基底核ループとパーキンソン病
3. 学会等名 生理研研究会「脳の階層的理解を目指して」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Basal ganglia and cerebellar control of tharamocortical activity
3. 学会等名 7th NIPS-CIN Joint Symosium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Satomi Chiken
2. 発表標題 Dopaminergic transmission maintains dynamic activity changes in the basal ganglia to control appropriate movements
3. 学会等名 Stockholm-Okazaki Workshop on "Multi-scale dynamics of basal ganglia in brain function and dysfunction" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Atsushi Nambu
2. 発表標題 Pathophysiology of dystonia
3. 学会等名 Stockholm-Okazaki Workshop on "Multi-scale dynamics of basal ganglia in brain function and dysfunction" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kenta Kobayash, Hiromi Sano, Shigeki Kato, Keisuke Kuroda, Shinichi Nakamuta, Tadashi Isa, Atsushi Nambu, Kozo Kaibuchi, Kazuto Kobayashi
2. 発表標題 Functional analysis of Rho/Rho-kinase signaling pathway in corticostriatal neuron survival using a new gene delivery system
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田由香、富永真琴、佐野裕美、小林憲太、南部篤、雑賀司珠也
2. 発表標題 マウス神経麻痺性角膜症モデルに対する三叉神経節でのTRPV4 強制発現による治療効果
3. 学会等名 第47回日本創傷治癒学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiromi Sano
2. 発表標題 Cortico-striatal neurons induced responses in the basal ganglia
3. 学会等名 NIPS-CIN Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiromi Sano, Kenji F Tanaka, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Concurrent activation of striatal medium spiny neurons induces involuntary movements similar to L-DOPA induced dyskinesia
3. 学会等名 International Symposium on Adaptive Circuit Shift 2017, Behavioral adaptation and functional recovery from pathological states (国際学会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Hiromi Sano
2. 発表標題 Information flow for motor control by striatal projection neurons
3. 学会等名 Stockholm-Okazaki Workshop on "Multi-scale dynamics of basal ganglia in brain function and dysfunction" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐野裕美
2. 発表標題 大脳皮質-線条体路の興奮誘導に対する大脳基底核の応答
3. 学会等名 2017年度 第3回 大脳基底核機能研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiromi Sano, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Physiological roles of striatal projection neurons revealed by optogenetics
3. 学会等名 第95回 日本生理学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀨織 大輔、南部 篤
2. 発表標題 マーモセット前頭皮質の神経生理学的マッピング
3. 学会等名 生理学研究所研究会@東北
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 纈織 大輔、南部 篤
2. 発表標題 マーモセットを用いた電気生理学的研究
3. 学会等名 マーモセット研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 纈織 大輔、南部 篤
2. 発表標題 マーモセットの線条体ドーパミンD1、D2受容体の選択的ノックダウン法を用いた大脳基底核神経回路の機能解析
3. 学会等名 大脳基底核機能研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Taku Hasegawa, Satomi Chiken, Kenta Kobayashi, Atsushi Nambu
2. 発表標題 The chemogenetic suppression of the primate subthalamic nucleus induces abnormal involuntary movements
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Dwi Wahyu Indriani, Hiromi Sano, Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Aberrant signalling of basal ganglia circuitry induces dyskinesia after chronic L-dopa administration in 6-hydroxydopamine mice
3. 学会等名 Stockholm-Okazaki Workshop on "Multi-scale dynamics of basal ganglia in brain function and dysfunction" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Woranan Wongmassang, Satomi Chiken, Taku Hasegawa, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Correlated activity in globus pallidus neurons of a macaque monkey during hand reaching movements
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Woranan Wongmassang, Satomi Chiken, Taku Hasegawa, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Correlated activity in globus pallidus neurons of a macaque monkey during hand reaching movements
3. 学会等名 生理学研究所研究会「脳の階層的理解を目指して」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Zlata Polyakova, Nobuhiko Hatanaka, Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Cortical control of monkey subthalamic nucleus
3. 学会等名 Tohoku-NIPS symposium
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Zlata Polyakova, Nobuhiko Hatanaka, Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Cortical control of monkey subthalamic nucleus
3. 学会等名 7th NIPS-CIN (Tuebingen University) symposium
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Zlata Polyakova, Nobuhiko Hatanaka, Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Cortical control of monkey subthalamic nucleus
3. 学会等名 95th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Atsushi Nambu
2. 発表標題 Cortico-basal ganglia loop and movement disorders
3. 学会等名 McGill-NISP symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳基底核と小脳の生理と病態：基礎医学の視点から
3. 学会等名 第11回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Atsushi Nambu
2. 発表標題 Cortico-basal ganglia loop and pathophysiology of movement disorders
3. 学会等名 15th Chinese Biophysics Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳皮質－大脳基底核ループとパーキンソン病
3. 学会等名 第2回Osaka Neurology Colloquim (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳皮質－大脳基底核ループと運動異常症の病態生理
3. 学会等名 徳島大学研究クラスター 重点クラスター・選定(脳科学)クラスター合同セミナー(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 ネットワーク異常としてのパーキンソン病
3. 学会等名 第6回ニューロカンファレンス和歌山(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 淡蒼球の機能解剖について
3. 学会等名 革新脳臨床G分科会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳皮質－大脳基底核投射について
3. 学会等名 平成29年度京都大学霊長類研究所共同利用研究会「先端技術の導入による霊長類脳科学の進展と新たな概念の創出」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Atsushi Nambu
2. 発表標題 Parkinson's disease as a network disorder
3. 学会等名 The 4th CiNet Conference, Neural oscillation and functional connectivity: from anatomy to perception (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chiken S, Kumar A, Nambu A, Spreize S
2. 発表標題 Increased variability in globus pallidus interna in Parkinson's disease.
3. 学会等名 The Nordic Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 知見 聡美
2. 発表標題 大脳基底核と小脳による視床－大脳皮質投射の活動制御メカニズム
3. 学会等名 2017年度 第3回 大脳基底核機能研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S. Nonomura, K. Nishizawa, K. Kobayashi, Y. Sakai, Y. Kawaguchi, A. Nambu, K. Yamanaka, K. Enomoto, Y. Isomura, M. Kimura
2. 発表標題 Action-specific reinforcement and update by direct- and indirect- pathway striatal projection neurons
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 How do we delineate the source of wide-band EEG data: Epileptic DC shifts and HF0?
3. 学会等名 Biomagnetic Sendai 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Intractable Focal Epilepsy
3. 学会等名 10th International Epilepsy Colloquium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Wide-band EEG by neurons and glia: from clinical observation in epilepsy
3. 学会等名 International Symposium: Neural Oscillation Conference 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 EEG and electrophysiological monitoring
3. 学会等名 15th Advanced International Epilepsy Course: Bridging Basic with Clinical Epileptology-6 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 What to do when nothing works Surgery and stimulation: Bridging Basic with Clinical Epileptology-6
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Update on progressive myoclonus epilepsy (PME)
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Can infraslow and DC shift improve epilepsy treatment ?
3. 学会等名 Beijing Epilepsy and Neurophysiology Summit (BENS2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Ictal Semiology For Accurate Diagnosis of Epilepsy
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Cortico-cortical evoked potentials & soeutral responses to probe connectivity and cortical excitability.
3. 学会等名 51st Annual Congress of the Japan Epilepsy Society (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Subdural recording in epilepsy. M08C: Clinical Neurophysiology - Invasive studies
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R, Usami K, Kikuchi T, Yoshida K, Ikeda A
2. 発表標題 Neural basis of altered consciousness during sleep: insights from effective connectivity and induced high gamma activities
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi K
2. 発表標題 Significance of state-of-the-art wide-band EEG analysis in pediatric epileptic encephalopathy
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R, Kobayashi K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Ikeda A
2. 発表標題 Novel surrogate biomarkers of epileptogenicity using wideband ECoG analyses.
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of the Japan Neurosurgery Society (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Introduction. Dual stream model of language - its function, connectivity and plasticity: insights from clinical neuroscience
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Neuroscience 2017) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Glial dysfunction and intractable epilepsy-from basic to clinical studies-Glia, DC shifts/red slow, and epilepsy (難治てんかん焦点におけるグリアの役割:臨床神経生理学からのアプローチ)
3. 学会等名 Annual congress of 60th Japanese Society for Neurochemistry (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳神経外科医のためのデジタル脳波講習会
3. 学会等名 第73回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん診療アップデート：新規薬と道路交通法
3. 学会等名 2017年度第14回生涯教育セミナー「レクチャー」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器，下竹昭寛，山尾幸広，菊池隆幸，國枝武治
2. 発表標題 てんかんの治療戦略：てんかん外科における言語機能温存へ向けた試み．シンポジウムII．高次脳機能障害の治療戦略．
3. 学会等名 第41回日本神経心理学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Daifu M, Inouchi M, Matsuhashi M, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Yoshida K, Kunieda T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Co-occurrence of slow and high frequency oscillations (HF0s) in invasively recorded, interictal state in epilepsy patients: Is it a 'Red slow'?
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsuhashi M
2. 発表標題 Ictal Semiology For Accurate Diagnosis of Epilepsy
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi K, Matsumoto R, Usami K, Matsuhashi M, Shimotake A, Nakae T, Takeyama H, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Safety of single-pulse electrical stimulation for cortico-cortical evoked potentials in epileptic human cerebral cortex
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ota M, Shimotake A, Matsumoto R, Sakamoto M, Daifu M, Nakae T, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Matthew L.R, Ikeda A
2. 発表標題 Compensatory semantic processing after resection of the anterior temporal lobe in epilepsy surgery
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murai T, Matsuhashi M, Hitomi T, Kobayashi K, Shimotake A, Inouchi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Invasive 3D source localization by wide-band electroencephalography findings
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sato K, Ohi T, Shozaki T, Kariya S
2. 発表標題 Cochlear implantation in a patient with superficial siderosis of the central nervous system
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsubishi M, Kinoshita M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Hattori N and Ikeda A
2. 発表標題 Inhibitory effects of electric cortical stimulation on interictal epileptiform discharges in human epileptic focus
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Neshige S, Matsubishi M, Sakurai T, Kobayashi K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Matsumoto R, Maruyama H, Takahashi R and Ikeda A
2. 発表標題 Efficacy of Wide-Band Electroencephalography(EEG) on Mapping of the Primary Sensori-Motor Area Compared with Electrical Cortical Stimulation (ECS)
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto M, Matsumoto R, Togawa J, Takeyama H, Hashi Y, Kobayashi K, Shimotake A, Leyboldt F, Wandinger K.P, Kondo T, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Proposal of a diagnostic algorithm for autoimmune epilepsy: a preliminary retrospective cohort study
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sultana S, Hitomi T, Daifu M, Matsuhashi M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Comparison in after-slow activity of epileptiform discharges and sharp transients among different time constant: further endorsement of operational definition of spike/sharp wave vs. sharp transients
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Higher-order motor cortices actively engage in motor inhibition: cortical stimulation and event-related potentials as an evidence from subdural electrodes
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Shimotake A, Kobayashi T, Kikuchi T, Yoshida K, Matsuhashi M, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Role of the negative motor area in praxis: A high frequency electrical cortical stimulation study
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hitomi T, Kobayashi K, Murai T, Sakurai T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Positive rate of giant somatosensory evoked potential (giant SEP) and C reflex in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 The XXX World Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi K, Akiyama T, Oka M, Endoh F, Akiyama M, Shibata T, Hanaoka Y, Yoshinaga H
2. 発表標題 Fast (40-150 Hz) oscillations are associated with positive slow waves in the scalp ictal EEGs of epileptic spasms in West syndrome
3. 学会等名 The 32nd International Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Daifu M, Matsumoto R, Shimotake A, Ota M, Sakamoto M, Nakae T, Kobayashi K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Lambon Ralph M, Ikeda A
2. 発表標題 Functional gradient of the ventral temporal area in reading Kanji and Kana words-A quantitative low-intensity cortical stimulation study
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Nakae T, Kobayashi K, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 The human entorhinal cortex is connected with the broad neocortical regions through the hippocampalthalamo-cortical pathway possible as the memory network: Results from electrical tract tracing and neuropsychological assessment
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 梶川駿介, 小林勝哉, 坂本光弘, 宇佐美清英, 笠井祥子, 本多正幸, 下竹昭寛, 人見建文, 松本理器, 池田明夫, 高橋良輔
2. 発表標題 前知謬 (promnesia) を呈したてんかん患者4例の検討
3. 学会等名 第31回てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Daifu M, Matsumoto R, Shimotake A, Ota M, Sakamoto M, Nakae T, Kobayashi K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Lambon Ralph M, Ikeda A
2. 発表標題 Functional gradient of the ventral temporal area in reading Kanji and kana words-A cortical stimulation study-
3. 学会等名 7th Kyoto Brain Function Seminar (第7回京都脳機能セミナー)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの診断と治療
3. 学会等名 第二回神経治療研修会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳電位解析からのグリア機能の解明：てんかん原性の臨床生理学的biomarker? (red slowはあるか?)
3. 学会等名 浜松医科大学大学院特別講演(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん診療の問題点と病診連携
3. 学会等名 山口・防府てんかん医療フォーラム 第1回 地域医療とてんかん(病診連携)(招待講演)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの病歴聴取：病歴・発作症候の記載は、臨床神経生理学を定性的に
3. 学会等名 Kinki 成人てんかんセミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 高齢者てんかんの特徴と診断、－発作時ビデオを交えて－
3. 学会等名 脳卒中とてんかんを考える研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん診療の基本と最新の話題，
3. 学会等名 第4 2回鹿児島てんかん研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 グリアとニューロンの視点からのWide band EEGの臨床的意義
3. 学会等名 第5回 Functional Neurosurgery Conference in Chiba
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん診療の基本と最新の話
3. 学会等名 第1回脳神経外科医の為のてんかん最新治療(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの分類と診断
3. 学会等名 サマーてんかんセミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 高齢者てんかんの診断と治療 update
3. 学会等名 高齢者てんかん講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 ビデオ脳波で学ぶてんかんと重積状態
3. 学会等名 第5回 千日前神経カンファレンス
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 てんかん実地診療での診療と治療
3. 学会等名 第110回 京都実地医家の会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 てんかん病態update:システム脳科学からのアプローチ
3. 学会等名 第34回奈良小児てんかん研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 ビデオから学ぶ てんかんの診断と治療
3. 学会等名 Dementia and Epilepsy Expert Meeting
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 脳機能マッピング
3. 学会等名 ふじさん・てんかん脳波ハンズオンセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 実地診療における抗てんかん薬の使い方-ペランパネルの可能性を含めて-
3. 学会等名 Neurology Conference
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 てんかんと自己免疫の関連
3. 学会等名 第14回臨床医のためのてんかんセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 高齢者てんかんの診断と治療update
3. 学会等名 第48回岐阜エPILEプシー研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 てんかんの脳波判読の基本とコツ
3. 学会等名 城南Epilepsy Forum
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 脳波判読の基本
3. 学会等名 和歌山Epilepsy Seminar
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 実地診療における抗てんかん薬の使い方-ペランパネルの可能性を含めて-
3. 学会等名 フィコンパ発売一周年記念講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 高齢者てんかんの診断と治療update
3. 学会等名 滋賀脳神経疾患治療研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 てんかん実地診療での治療戦略
3. 学会等名 社保・国保審査委員学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 言語ネットワークと機能可塑性 ~てんかん外科手術からの知見~
3. 学会等名 第27回京都診療所神経内科専門医会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 高齢者てんかんの診断と治療
3. 学会等名 第21回MCNN 港・中央ニューロネットワーク
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 人見健文
2. 発表標題 正常脳波の判読・法的脳死判定
3. 学会等名 第73回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会特別企画 「脳神経外科医のためのデジタル脳波講習会」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shimotake A, Matsumoto R, Kikuchi R, Yoshida K, Kunieda R, Ikeda A.
2. 発表標題 Role of the anterior temporal lobe in the ventral pathway: evidence from presurgical evaluations in epilepsy patient
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Neuron, glia and epilepsy: is it a paradigm shift?
3. 学会等名 Annual congress of 51th Japanese Epilepsy Society (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器、下竹昭寛、菊池隆幸、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 皮質脳波と高次脳機能ネットワーク
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器、下竹昭寛、山尾幸広、菊池隆幸、國枝武治
2. 発表標題 てんかんの治療戦略：てんかん外科における言語機能温存へ向けた試み．シンポジウムII．高次脳機能障害の治療戦略．
3. 学会等名 第41回日本神経心理学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Togawa J, Inouchi M, Matsumoto R, Matsuhashi M, Kobayashi K, Usami K, Hitomi T, Nakae T, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Spatio-temporal dynamics of interaction between slow and fast waves in humans during sleep
3. 学会等名 The 71st American Epilepsy Society Annual meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsubishi M, Kinoshita M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Hattori N and Ikeda A
2. 発表標題 Electric cortical stimulation inhibits interictal epileptiform discharge and related high frequency activity in human epileptic focus.
3. 学会等名 The 71st American Epilepsy Society Annual meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inada T, Kobayashi K, Matsumoto R, Nakae T, Shibata S, Yamao Y, Daifu M, Togawa J, Kikuchi T, Matsubishi M, Yoshida K, Kunieda T, Kobayashi K, Ikeda A, Miyamoto S.
2. 発表標題 Effects of natural sleep and general anesthesia with propofol upon interictal high frequency oscillations (HFOs)
3. 学会等名 71st American Epilepsy Society Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Active engagement of higher-order motor cortices in motor inhibition: Evidence from direct neural recording and stimulation during Go/No-Go paradigm
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Nakae T, Takeyama H, Kobayashi K, Shimotake A, Usami K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Functional connectivity from human superior parietal lobule and medial parietal lobe: A cortico-cortical evoked potential (CCEP) study
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Kinboshi M, Mukai T, Nagao Y, Shimizu S, Ito H, Ikeda A, Ohno Y.
2. 発表標題 Dysfunction of astrocytic Kir4.1 channels induces BDNF expression
3. 学会等名 第 23 回世界神経学会議 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Honda M, Matsumoto R, Shimotake A, Hashi Y, Sakamoto M, Fujii D, Kobayashi K, Kuzuya A, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Chronological Change in Mesial Temporal Structures and Whole Brain Volumetry in Patients with Anti-Voltage-Gated Potassium Channel Complex Antibodies Associated Limbic Encephalitis
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inada T, Kobayashi K, Matsumoto R, Nakae T, Shibata S, Yamao Y, Daifu M, Togawa J, Kikuchi T, Matsuhashi M, Yoshida K, Kunieda T, Kobayashi K, Ikeda A, Miyamoto S.
2. 発表標題 Effect of natural sleep and general anesthesia on interictal high frequency oscillations on the seizure onset zone
3. 学会等名 51st Annual Congress of the Japan Epilepsy Society
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sato K, Kinboshi M, I. Higor A, Mukai T, Matsuhashi M, Ikeda A, Ohno Y.
2. 発表標題 Wide-band EEG analysis of epileptic seizures during pilocarpine induced status epilepticus in rat
3. 学会等名 第51回てんかん総会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kinboshi M, Mukai T, Nagao Y, Shimizu S, Ito H, Ikeda A, Ohno Y.
2. 発表標題 Dysfunction of Kir4.1 channels facilitates BDNF production in astrocytes
3. 学会等名 第 51 回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kinboshi M, Mukai T, Nagao Y, Shimizu S, Ito H, Ikeda A, Ohno Y.
2. 発表標題 Dysfunction of Kir4.1 channels induces BDNF expression in astrocytes
3. 学会等名 第 40 回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamada-Otani M, Matsumoto R, Shimotake A, Uehara N, Demura A, Kinoshita M, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Jeavons syndrome can manifest paroxysmal alexia: a case report
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakatani M, Inouchi M, Togawa J, Murai T, Kobayashi K, Hitomi T, Hashimoto S, Inani M, Shiroku H, Kanazawa K, Watanabe Y, Usui N, Inoue Y, Maehara T and Ikeda A
2. 発表標題 Proposal of standard recording and analysis intracranial ictal DC shifts and HF0s.
3. 学会等名 The 51th Congress of the Japanese Epilepsy Society annual meeting.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Hattori N and Ikeda A
2. 発表標題 Inhibitory effects of electric cortical stimulation on interictal epileptiform discharges in human epileptic focus.
3. 学会等名 第40回日本神経科学学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Neshige S, Matsuhashi M, Kobayashi K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Matsumoto R, Maruyama H, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Scoring System of Combination of Movement-related Cortical Potential and Event-related Synchronization/De-synchronization for Functional Mapping of Primary Motor Areas Concordant with Electrical Cortical Stimulation
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oi K, Kobayashi K, Hitomi T, Shimotake A, Neshige S, Fujii D, Matsumoto R, Kasama S, Kanda M, Wada Y, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Effectiveness of perampanel against refractory cortical myoclonus
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue T, Kobayashi K, Matsumoto R, Inouchi M, Togo M, Togawa J, Usami K, Shimotake A, Matsuhashi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kawawaki H, Kunieda T, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Evidence for the engagement of cortico-cortical and cortico-subcortical networks in generation of epileptic spasms: a combined case study using CCEP and EEG-fMRI
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Functional brain mapping of higher-order motor cortices engaging in motor inhibition: A combined event-related potential and stimulation study
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inada T, Kobayashi K, Matsumoto R, Nakae T, Shibata S, Yamao Y, Daifu M, Togawa J, Kikuchi T, Matsuhashi M, Yoshida K, Kunieda T, Kobayashi K, Ikeda A, Miyamoto S.
2. 発表標題 Effects of natural sleep and general anesthesia with propofol upon interictal high frequency oscillations (HFOs) of the seizure onset zone (SOZ)
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Shimotake A, Kobayashi T, Kikuchi T, Yoshida K, Matsuhashi M, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Role of the Negative Motor Area in Praxis: A High Frequency Electrical Cortical Stimulation Study
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murai T, Hitomi T, Kawamura Y, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Matsumoto R, Kanda R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Clinical diversity of DC shift on scalp electroencephalography
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murai T, Hitomi T, Kawamura Y, Matsumoto R, Kanda R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Direct current shift on scalp electroencephalography recorded in time constant 2 sec
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murai T, Matsuhashi M, Hitomi T, Toho M, Kobayashi K, Shimotake A, Inouchi M, Kikuchi K, Yoshida K, Kunieda R, Matsumoto R, Kanda R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Source localization of seizure focus by wide-band stereoelectroencephalography
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坂本光弘, 松本理器, 十川純平, 武山博文, 端祐一郎, 小林勝哉, 下竹昭寛, F. Laypoldt, K.-P. Wandinger, 近藤誉之, 高橋良輔 and 池田昭夫
2. 発表標題 自己免疫性てんかんの診断アルゴリズムの提唱：網羅的な抗神経抗体測定からの検証
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大井由貴, 小林勝哉, 藤井大樹, 下竹昭寛, 山下博史, 葛谷聡, 松本理器, 池田昭夫 and 高橋良輔
2. 発表標題 皮質ミオクローヌスにペランパネルが著効したUnverricht-Lundborg病の1例
3. 学会等名 第108回日本神経学会近畿地方会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉, 松本理器, 宇佐美清英, 松橋眞生, 下竹昭寛, 中江卓郎, 武山博文, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 高橋良輔 and 池田昭夫
2. 発表標題 難治部分てんかん患者での単発皮質電気刺激の発作誘発率に関する安全性: 皮質皮質間誘発電位計測時の検討
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 梶川駿介, 小林勝哉, 中谷光良, 村井智彦, 金澤恭子, 松橋眞生, 下竹昭寛, 人見健文, 松本理器, 高橋良輔 and 池田昭夫
2. 発表標題 発作時直流緩電位 (Ictal DC shifts) の時定数10秒と2秒の記録・表示における相違: 臨床的意義の検討
3. 学会等名 日本てんかん学会第51回年次集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 濱口敏和, 松本理器, 坂本光弘, 本多正幸, 下竹昭寛, 高橋良輔 and 池田昭夫
2. 発表標題 抗VGKC複合体陽性脳炎患者の発作時脳波パターンの特徴
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 濱口敏和, 松本理器, 小林勝哉, 尾谷真弓, 本多正幸, 坂本光弘, 葛谷聡, 種田二郎, 高橋良輔 and 池田昭夫
2. 発表標題 臨床発作なくsubclinical EEZ seizure patternのみを呈した自己免疫性辺縁系脳炎の2例
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 真田悠希, 梶川駿介, 小林勝哉, 下竹昭寛, 葛谷聡, 松本理器, 池田昭夫 and 高橋良輔
2. 発表標題 非けいれん性てんかん重積によりカタトニア症状を呈した一例
3. 学会等名 第110回日本神経学会近畿地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲田拓, 菊池隆幸, 小林勝哉, 山尾幸広, 吉田和道, 國枝武治, 松本理器, 池田昭夫 and 宮本享
2. 発表標題 アンカーボルトを用いた定位的頭蓋内深部電極挿入術の国内への本格導入に向けてー単一施設での導入経験ー
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第 76 回学術總會
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲田拓, 菊池隆幸, 小林勝哉, 山尾幸広, 吉田和道, 國枝武治, 松本理器, 池田昭夫 and 宮本享
2. 発表標題 アンカーボルトを用いた定位的頭蓋内深部電極挿入術の初期経験ー課題の抽出と挿入精度向上の検討ー
3. 学会等名 第 41 回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤井大樹, 小林勝哉, 下竹昭寛, 金澤恭子, 菊池隆幸, 吉田和道, 松本理器, 國枝武治, 高橋良輔 and 池田昭夫
2. 発表標題 難治性部分てんかん患者での発作時高周波律動の時間的周波数変化と臨床相関
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 迎伸孝, 松本理器, 小林勝哉, 十河正弥, 松橋眞生, 中江卓郎, 武山博文, 下竹昭寛, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 飯原弘二, 高橋良輔 and 池田昭夫
2. 発表標題 皮質皮質間誘発電位における非典型波形の検討
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金星匡人, 向井崇浩, 松葉勇亮, 辻佳美, 田中志歩, 清水佐紀 and 大野行弘
2. 発表標題 Kir4.1 チャネルの阻害はアストロサイト BDNF 発現を促進する
3. 学会等名 第 132 回日本薬理学会近畿部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長野眞大, 尾谷真弓, 小林勝哉, 葛谷聡, 松本理器, 種田二郎, 米田誠, 池田昭夫 and 高橋良輔
2. 発表標題 くすぶり型辺縁系脳炎を呈した橋本脳症の一例
3. 学会等名 第109回日本神経学会近畿地方会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 下竹昭寛, 松本理器, 小林勝哉, 國枝武治, 三國信啓, 宮本亨, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 質電気刺激による行為関連ネットワークマッピング
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 下竹昭寛
2. 発表標題 マラソンレクチャー：vEEG 成人ケーススタディ (Long-term video EEG monitoring in adults)
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fujii D
2. 発表標題 Does temporal evolution occur in ictal high-frequency oscillations in patients with intractable partial epilepsy?: a concern about local field potentials vs. action potentials
3. 学会等名 Advanced ECoG/EEG Analysis in Epilepsy (Post-Congress 1 in the 51st Annual Congress of the Japan Epilepsy Society in KYOTO)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 フィコンパの既知の効果と今後の広がり 使用経験を含めて
3. 学会等名 京都フィコンパ発売一周年記念講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi K, Kajikawa S, Daifu M, Matsuhashi M, Hitomi T, Yamao Y, Kikuchi T, Kunieda T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Clinical significance of intracranially recorded ictal direct current shifts analyzed with time constant of 2 seconds
3. 学会等名 新学術領域オンコロジ-2017年度第2回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小板夏子, 佐伯龍之介, 福西愛, 小林勝哉, 山門穂高, 葛谷聡, 松本理器, 池田昭夫 and 高橋良輔
2. 発表標題 失調性歩行を呈した神経サルコイドーシスの一例
3. 学会等名 京都神経ケースカンファレンス
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小板夏子, 本多正幸, 小林勝哉, 眞木崇州, 山下博史, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔, 福谷優貴, 安彦郁 and 谷向仁
2. 発表標題 卵巣の未熟奇形腫に伴う抗NMDA受容体抗体脳炎の早期回復例
3. 学会等名 近畿免疫性疾患研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉
2. 発表標題 LCM (ビムパット) の使用が適切な患者像
3. 学会等名 ビムパット発売一周年記念講演会 in Kyoto
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉
2. 発表標題 ヒトてんかん脳でみられる脳律動 (オシレーション) と病態解明
3. 学会等名 次世代脳シンポジウム (新学術領域研究4領域合同若手シンポジウム)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉
2. 発表標題 てんかんケーススタディー
3. 学会等名 Kinki成人てんかんセミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉
2. 発表標題 知っておきたいてんかんの診断と治療
3. 学会等名 第37回京大連携わかさせミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉
2. 発表標題 高齢者てんかんのマネジメント
3. 学会等名 Epilepsy Seminar
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉
2. 発表標題 見逃し注意！認知症と間違われやすい高齢者てんかん
3. 学会等名 認知症とてんかんセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝哉, 大井和起, 人見健文, 音成秀一郎, 下竹昭寛, 藤井大樹, 松本理器, 笠間周平, 神田益太郎, 和田義明, 高橋良輔 and 池田昭夫
2. 発表標題 難治性皮膚ミオクローヌスに対するペランパネルの有用性; 18名での臨床症状と体性感覚誘発電位の検討
3. 学会等名 第59回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長野眞大, 尾谷真弓, 小林勝哉, 葛谷聡, 松本理器, 種田二郎, 池田昭夫 and 高橋良輔
2. 発表標題 くすぶり型辺縁系脳炎を呈した橋本脳症の一例
3. 学会等名 第5回アルツハイマー病とてんかんを考える会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hitomi T, Kobayashi K, Murai T, Sakurai T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Positive rate of giant somatosensory evoked potential (giant SEP) and C reflex in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME).
3. 学会等名 17th World Congress of Neurology
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 人見健文, 谷岡洸介, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 遠隔脳波判読。シンポジウム6遠隔医療（脳波とテレメディスン）
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 人見健文、谷岡洸介、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 日本の地域レベルでの遠隔脳波判読の取り組みの現状と問題点。シンポジウム It's a small world: remote reading system of digital EEG
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉、松本理器、宇佐美清英、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 皮質電気刺激を用いたてんかん原性評価と関連ネットワーク解析
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 実地診療における抗てんかん薬の使い方 -ペランパネルの症例を含めて-
3. 学会等名 第74回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 ランチョンセミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kiyohide Usami, Anna Korzeniewska, Riki Matsumoto, Kunieda Takeharu, Nobuhiro Mikuni, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, and Nathan E. Crone
2. 発表標題 Sleep exerts a change in network effective connectivity - Causality analysis of human brain network evoked by single-pulse electrical stimulation
3. 学会等名 AES 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 EEG Reading with Master (all diseases, all ages)
3. 学会等名 2017 EEG Master Class Agenda By TES and ASEPA (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 New onset epilepsy syndromes in elderly, Epilepsy across ages: Pediatrics to Geriatrics
3. 学会等名 19th Joint conference of Indian Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Adverse events of epilepsy management
3. 学会等名 19th Joint conference of Indian Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 デジタル脳波の遠隔判読診断の現状
3. 学会等名 京都大学第3回デジタルヘルスシンポジウムーPHRと情報銀行の今後の展望ー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん性異常と関連脳波所見(初級編)
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会関連講習会、第11回 脳波・筋電図セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳波の時間広域周波数帯域解析の入門
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会関連講習会、第11回 脳波・筋電図セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳波レポートの書き方
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会関連講習会、第11回 脳波・筋電図セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 1) てんかんを取り巻く世界の動き、2) てんかんって なーなに？
3. 学会等名 世界てんかんの日(IED)2018記念イベント
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 頭痛診療医に必要な てんかんの知識と鑑別診断：てんかんと片頭痛の興奮性の違いは？
3. 学会等名 頭痛フォーラム2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山尾 幸広、松本 理器、國枝 武治、荒川 芳輝、中江 卓郎、菊池 隆幸、吉田 和道、池田 昭夫、宮本 享
2. 発表標題 術中言語白質モニタリングにおける皮質-皮質間誘発電位への麻酔の影響の検討
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山尾 幸広、松本 理器、國枝 武治、荒川 芳輝、中江 卓郎、菊池 隆幸、吉田 和道、池田 昭夫、宮本 享
2. 発表標題 Anesthetic effect on cortico-cortical evoked potentials during intraoperative dorsal language pathway monitoring
3. 学会等名 Neuroscience 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山尾 幸広、松本 理器、國枝 武治、荒川 芳輝、菊池 隆幸、吉田 和道、池田 昭夫、Marco Catani, 宮本 享
2. 発表標題 皮質-皮質間誘発電位の機能的結合を基としたトラクトグラフィーでの一次運動野・一次感覚野間の機能的結合の同定
3. 学会等名 日本脳神経外科学会 第76回 学術総会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 小林 環、松本理器、下竹昭寛、十河正弥、高橋由紀、稲田拓、山尾幸広、菊池隆幸、荒川芳輝、吉田和道、池田昭夫、前田貴記、今水寛、宮本享
2. 発表標題 運動主体感における島皮質の役割: 島皮質切除症例での縦断の神経心理学的検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会 第76回学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林環、北浦弘樹、村井智彦、中谷光良、菊池隆幸、人見 健文、井内盛遠、松本理器、國枝武治、宮本享、白水洋史、井上有史、前原健寿、池田昭夫、柿田明美
2. 発表標題 発作時DC電位とその病理組織学的検討
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林 環、松本理器、下竹昭寛、十河正弥、荒川芳輝、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、池田昭夫、前田貴記、今水寛、宮本享
2. 発表標題 The role of the right insula in Sense of Agency: evidence from neurosurgical cases
3. 学会等名 第40回 日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児の脳波とてんかんへのアプローチ
3. 学会等名 第13回沖縄てんかん研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柴田敬、小林勝弘
2. 発表標題 頭皮脳波におけるてんかん性高周波活動
3. 学会等名 第59回日本小児神経学会総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸 山尾幸広 吉田和道 荒川芳輝 松本理器 國枝武治 宮本享
2. 発表標題 覚醒下手術における電気生理学的線維追跡法の応用 高次脳機能温存の試み
3. 学会等名 Awake Surgery学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kikuchi T, Inada T, Kobayashi K, Kunieda T, Matsumoto R, Ikeda A, Miyamoto S
2. 発表標題 Introduction of SEEG to a single institute in Japan -A case of Kyoto University Hospital-
3. 学会等名 日本てんかん学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 てんかんをめぐる病診連携 てんかん外科手術について てんかん診療における役割と実際
3. 学会等名 日本てんかん学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 脳動静脈奇形塞栓術に関わるエビデンス
3. 学会等名 日本脳神経血管内治療学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 ステント併用コイル塞栓術後のTOF-MRAによる晩期虚血イベントリスク評価
3. 学会等名 日本脳神経血管内治療学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 ハイブリッド手術室での血管病変に対する複合治療 術後拡散強調画像の検討
3. 学会等名 Stroke2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸 松本理器 小林勝哉 國枝武治 三國信啓 前原健寿
2. 発表標題 頭蓋内電極埋め込み中のMRI撮像についての国内の現状と今後の方策
3. 学会等名 日本脳神経外科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kikuchi T, Ishii A, Chihara H, Arai D, Ando M, Takenobu Y, Okada T, Takagi Y, Miyamoto S
2. 発表標題 Occlusion status on Magnetic Resonance Angiography is associated with risk of delayed ischemic events in cerebral aneurysms treated with stent-assisted coiling
3. 学会等名 WFITN (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 Embosphere導入前後の頭頸部腫瘍における術前塞栓術の効果と合併症
3. 学会等名 日本脳神経血管内治療学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 飛松 省三
2. 発表標題 視覚的気づきと認知 - その機序と障害 -
3. 学会等名 第8回札幌神経科学研究会. (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 デジタル脳波と神経生理検査: Up-to-date.
3. 学会等名 第26回日本神経学会 中国・四国地区生涯教育講演会. (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 飛松 省三
2. 発表標題 デジタル脳波判読のポイント どこに目をつけて読むのか
3. 学会等名 第12回日本てんかん学会 九州地方会.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 脳波の歴史
3. 学会等名 第3回脳波セミナー・アドバンスコース.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tobimatsu S
2. 発表標題 Functional significance of neural oscillations in humans.
3. 学会等名 6th International Conference on Cognitive Neurodynamics. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 飛松 省三
2. 発表標題 Digital EEG: Less is more.
3. 学会等名 WCN2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 飛松 省三
2. 発表標題 認知症の電気生理学的早期診断バイオマーカー.
3. 学会等名 第19回 感情・行動・認知(ABC)研究会.(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tobimatsu S
2. 発表標題 Algorithm for EEG reading.
3. 学会等名 AOCCN2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tobimatsu S
2. 発表標題 EEG Quiz.
3. 学会等名 AOCCN2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tobimatsu S
2. 発表標題 Use of MEG in exploring the pathophysiology of epilepsy.
3. 学会等名 AOCCN2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tobimatsu S
2. 発表標題 Magnetoencephalography: The state of art applications.
3. 学会等名 AOCCN2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tobimatsu S
2. 発表標題 Parallel visual processing in humans.
3. 学会等名 2017 CME International Conference on Complex Medical Engineering. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 飛松 省三
2. 発表標題 てんかん診療ガイドライン2018のポイント.
3. 学会等名 第12回成人のためのてんかん診療フォーラム.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飛松 省三
2. 発表標題 デジタル脳波診断.
3. 学会等名 長崎てんかんカンファレンス.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田 絵美
2. 発表標題 脳磁図を用いた視覚野の色・形態処理の反応特性の違い
3. 学会等名 第47回 日本臨床神経生理学会 学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中園 寿人
2. 発表標題 経頭蓋交流電気刺激は一次運動野に短時間のオフライン効果を与える
3. 学会等名 第11回日本作業療法研究学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中園 寿人
2. 発表標題 経頭蓋交流電気刺激によるVEPと 振動の調整
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 林隆太郎
2. 発表標題 輝度の異なるペアフラッシュ刺激はVEPを脱抑制する
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 林隆太郎
2. 発表標題 片側視覚野TMSによる一次運動野の可塑性誘導
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Teppei M
2. 発表標題 Enhanced transcallosal connectivity revealed by MEG in patients with cortical reflex myoclonus.
3. 学会等名 The 6th Biennial Meeting International Society for the Advancement of Clinical MEG
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Teppei M
2. 発表標題 A distinct difference in the spatial distribution of epileptic discharges between EEG and MEG.
3. 学会等名 The 32nd Annual Meeting Japan Biomagnetism and Bioelectromagnetic Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Teppei M
2. 発表標題 Altered neural synchronization to pure tone stimulation in mesial temporal lobe epilepsy: An MEG study.
3. 学会等名 71th Annual meeting American Epilepsy Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松原鉄平
2. 発表標題 単耳刺激聴覚定常状態反応によるてんかん側方性の推定：MEG study (第二報)
3. 学会等名 第41回てんかん外科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 てんかんのニューロイメージング
3. 学会等名 第239会福岡てんかん懇話会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 てんかんの薬物治療の最近の動向
3. 学会等名 第4回 日本心血管脳卒中学会学術集会・イブニングセミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 Electrocorticographic analysis of spontaneous brain activity in patients with epilepsy
3. 学会等名 神経オシレーションカンファレンス2017（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 てんかんと心因性非てんかん性発作の鑑別
3. 学会等名 第5回福岡 Epilepsy Conference (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 九州大学におけるてんかん診療の実際
3. 学会等名 第2回てんかん治療を考える会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Uehara T
2. 発表標題 Interindividual variability in the occurrence of sleep spindles induced by interictal epileptiform discharges: an electrocorticographic analysis
3. 学会等名 XXII world congress of neurology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 頭蓋内脳波による安静時ネットワークの解析とてんかん病態解明への応用
3. 学会等名 第5回アルツハイマー病とてんかんを考える会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 大規模機能的ネットワーク解析によるてんかんの病態解明
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 側頭葉てんかんの発作間欠期てんかん性放電で誘発される睡眠紡錘波：深部電極と頭皮上脳波同時記録による検討
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 てんかんの鑑別診断と薬剤選択のポイント
3. 学会等名 Stroke and epilepsy forum（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上原 平
2. 発表標題 新規抗てんかん薬の使い方
3. 学会等名 Fukuoka neurology conference（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 緒方勝也
2. 発表標題 痛み共感時の皮質領域間機能結合度: 脳磁図によるネットワーク解析
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会 学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 緒方勝也
2. 発表標題 波パワー値はMEP振幅を予測する: オンライン脳波-TMSによる研究
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会 学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 緒方 勝也
2. 発表標題 Amplitudes of motor evoked potentials are modulated by preceding $\beta$ band oscillations: a closed-loop EEG-TMS study
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (ICCN 2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Taniguchi N
2. 発表標題 Exploring lateralization of empathy for pain
3. 学会等名 ECCN 2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Aso T, Urayama S, Fukuyama H
2. 発表標題 Temporal variation of cerebrovascular transit time measured by BOLD-based time lag mapping
3. 学会等名 25rd Annual Meeting of International Society of Magnetic Resonance in Medicine (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiyoshi K, Aso T, Ueno T, Ueda K, Oishi N, Ikeda Y, Egawa M, Mandai M
2. 発表標題 Brain BOLD Signal-Based Blood Flow Tracking by fMRI with Menstrual Cycle on Healthy Women
3. 学会等名 18th Annual meeting of International society of Gynecological Endocrinology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aso T
2. 発表標題 Technical challenges in current functional MRI
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 麻生俊彦
2. 発表標題 血液由来の低周波オシレーションが脳機能マッピングに及ぼす影響
3. 学会等名 第20回日本ヒト脳機能マッピング学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 麻生俊彦、浦山慎一
2. 発表標題 脳のBOLD信号に内在する血流由来の時空間構造について
3. 学会等名 第45回日本磁気共鳴医学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 麻生俊彦
2. 発表標題 fMRI信号に含まれる血液灌流の情報
3. 学会等名 ヒト脳機能イメージング研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松橋 真生
2. 発表標題 Wide-band EEG 解析の原理・原則
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会年次学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsuhashi M
2. 発表標題 Wideband ECoG analysis and modeling of seizure generation
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会年次学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsuhashi M
2. 発表標題 Spectral and Time-frequency Analysis.
3. 学会等名 6th Asian-Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (AOCCN) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsuhashi M
2. 発表標題 Motor Mapping (Coherence Analysis and MRCF)
3. 学会等名 6th Asian-Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (AOCCN) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsuhashi M
2. 発表標題 Spectral and Time-frequency Analysis.
3. 学会等名 Automatic EEG Analysis and Report Writing (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉村佳織, 郡宏
2. 発表標題 実験データに基づく平面内細胞極性の細胞形状依存性の理論研究
3. 学会等名 日本物理学会2017年秋季大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 加藤由里子, 郡宏
2. 発表標題 同期するリズムミクな動作の数理モデル
3. 学会等名 日本物理学会2017年秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲垣志帆, 郡宏
2. 発表標題 振動子集団の時系列解析におけるフィルタの効果
3. 学会等名 日本物理学会2018年春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松尾早紀, 郡宏
2. 発表標題 概日的行動リズムを記述する多振動子モデル
3. 学会等名 日本物理学会2018年春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村山依子, 郡宏, 岩崎秀雄, 伊藤浩史
2. 発表標題 概日周期を持つ生化学反応系の温度変化による振動停止と共鳴
3. 学会等名 日本物理学会2017年秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigeyoshi Fujisawa
2. 発表標題 Theta oscillations support temporal coding for event sequences in the hippocampus
3. 学会等名 The 4th CiNet Conference: Neural oscillation and functional connectivity: from anatomy to perception (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigeyoshi Fujisawa
2. 発表標題 Temporal and rate coding in hippocampus and PFC for multimodal integration
3. 学会等名 Spring Hippocampal Research Conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kanao Taniguchi, Katsunori Kitano
2. 発表標題 Contribution of short-term plasticity of the bipolar-ganglion synapse to the activity both in the normal and the degenerating rd1 retina
3. 学会等名 26th Annual Computational Neuroscience Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nobuhiro Hinakawa, Katsunori Kitano
2. 発表標題 Robust and adaptable motor command representation by sparse coding
3. 学会等名 International Conference on Artificial Neural Networks 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kento Suzuki, Toshio Aoyagi, Katsunori Kitano
2. 発表標題 Direct estimation of the phase dynamics from spikes of realistically modeled neurons by Bayesian estimation
3. 学会等名 Society for Neuroscience Annual Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takayuki Onojima, Takahiro Goto, Hiroaki Mizuhara and Toshio Aoyagi
2. 発表標題 Estimation of phase coupling functions for cross-frequency synchronization in the EEG data
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 寺田裕, 伊藤慧吾, 青柳富誌生, 山口義幸
2. 発表標題 結合振動子系における外力と応答の位相差および臨界現象
3. 学会等名 日本物理学会 2017年秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 窪田修, 今井貴史, 青柳富誌生
2. 発表標題 平均振動数の異なる振動子集団の結合系で見られる間欠的な位相同期
3. 学会等名 日本物理学会 2017年秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 栴井啓貴, 青柳富誌生
2. 発表標題 振動子系における相互作用の有無が位相応答曲線の推定に与える影響について
3. 学会等名 日本物理学会 2017年秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 窪田修, 今井貴史, 青柳富誌生
2. 発表標題 位相振幅同期を呈するシンプルモデルのノイズ下での挙動
3. 学会等名 日本物理学会 第73回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀之内翔大, 合原一究, 青柳富誌生
2. 発表標題 位相振動子モデルに基づいたカエルの鳴き声の相互作用の解析
3. 学会等名 日本物理学会 第73回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栴井啓貴, 今井貴史, 青柳富誌生
2. 発表標題 時系列データを用いた位相応答曲線のベイズ推定について
3. 学会等名 日本物理学会 第73回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今井貴史, 柘井啓貴, 青柳富誌生
2. 発表標題 振動子間結合の推定を介した位相データの正規化手法
3. 学会等名 日本物理学会 第73回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 荒井貴光, 青柳富誌生
2. 発表標題 カオス遍歴時系列データの主成分分析
3. 学会等名 日本物理学会 第73回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳のリズムネットワークの基礎とリハビリテーション応用
3. 学会等名 第12回「脳神経科学名古屋セミナー」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳活動非線形ダイナミクスと脳情報処理の個人特性の操作的解明
3. 学会等名 生理学研究所「所長招聘セミナー」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳のネットワークダイナミクスの基礎とリハビリテーション応用
3. 学会等名 第11回「脳神経科学東京セミナー」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuji Mizuno, Masahiro Kawasaki, Masanori Shimono, Carlo Miniussi, Yuka O Okazaki, Kenichi Ueno, Chisato Suzuki, Takeshi Asamizuya, Kang Cheng, Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Individual differences in perception can be better explained by intrinsic effective connectivity than by functional connectivity
3. 学会等名 BrainSTIM meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡崎由香, 中川佑美, 水野佑治, 花川隆, 北城圭一
2. 発表標題 反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)による脳領域特異的な引き込み現象
3. 学会等名 平成29年度生理研研究会「第1回ヒト脳イメージング研究会」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Perturbational and computational approaches to nonlinear human brain dynamics
3. 学会等名 Satellite symposium "Human brain dynamics research in connectome era", (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Individual differences in nonlinear neural dynamics and human behavior
3. 学会等名 OIST seminar (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuka Okazaki, Yumi Nakagawa, Yuji Mizuno, Takashi Hanakawa, Keiichi Kitajo
2. 発表標題 Region specific entrainment by rTMS
3. 学会等名 The 4th CiNet Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keiichi Kitajo,
2. 発表標題 Perturbation approaches to variability in human brain dynamics.
3. 学会等名 Neural Mechanisms of the DLB Hallucinations and Mathematical Modeling (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Toward the interpretation of DLB hallucinations in terms of variational principle
3. 学会等名 Neural Mechanisms of the DLB Hallucinations and Mathematical Modelling (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 拘束条件付き自己組織化理論とその脳科学への応用
3. 学会等名 TFC Workshop, Emerging Perspective Program「互いに矛盾する分散制御と中枢制御の数理神経科学的融合」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Computational theory for constrained self-organization in neural systems and its applications
3. 学会等名 Advances in Neuroinformatics 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Namiki T, Tsuda I
2. 発表標題 Mathematical Structures in the Brain Dynamics of Epilepsy
3. 学会等名 Neuroinformatics 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 行木孝夫、田所智、津田一郎
2. 発表標題 Mathematical classification of brain dynamics in epilepsy
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 拘束条件付き自己組織化理論とその応用
3. 学会等名 第17回Kフォーラム「今のこれからのロボット・人工知能・脳科学」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Self-organization with constraints: The significance of invariant manifolds,
3. 学会等名 ICCN 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Constrained self-organization in neural systems
3. 学会等名 Computational Principles of the Nervous System: elucidated from the observations of neural population activity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 脳と心のダイナミクス: 数学、物理学、情報科学、生物学、認知科学が交差する複雑系科学の視点
3. 学会等名 第1回応用数学物理コロキウム(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 Self-organization with constraints and its application to insight into unstable brain activity
3. 学会等名 RIMS共同研究 「真に複雑な系における自己組織化の原理の探求」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Self-organization with constraints: Hermeneutics with variational model for visual hallucinations in DLB
3. 学会等名 Forum on Cognitive Neuroscience Frontier (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 T.Takahashi, Y.Maruyama, H.Ito and K.Miura
2. 発表標題 Assessing the impacts of correlated V1 activities with different mechanisms
3. 学会等名 40th Annual meeting of Japan Society of Neuroscience
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Y.Maruyama and H.Ito
2. 発表標題 What factors influence homogeneous samplings of orientation tuned cells in the cat primary visual cortex?
3. 学会等名 40th Annual meeting of Japan Society of Neuroscience
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 物部太夢、伊藤浩之
2. 発表標題 CNNを用いた多チャンネル脳波データからの視覚刺激弁別
3. 学会等名 電子情報通信学会NC研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤原正幸, 橋本敬, 李冠宏, 奥田次郎, 金野武司, 鯨島和行, 森田純哉
2. 発表標題 記号コミュニケーション課題におけるコミュニティ抽出法を用いた脳波位相同期ネットワーク構造の解析
3. 学会等名 第8回知識共創フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 橋爪秀典, 奥田次郎
2. 発表標題 二オイ提示による脳波応答の検討
3. 学会等名 日本人間工学会東海支部 2017 年研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤原正幸, 橋本敬, 李冠宏, 奥田次郎, 金野武司, 鯨島和行, 森田純哉
2. 発表標題 記号コミュニケーション課題における成功群と失敗群の同期の特徴と結合性
3. 学会等名 第27回日本神経回路学会全国大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Jiro Okuda
2. 発表標題 Interacting with information in the brain
3. 学会等名 2017 International Conference on Biometrics and Kansei Engineering (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森田純哉, 金野武司, 奥田次郎, 鯨島和行, 李冠宏, 藤原正幸, 橋本敬
2. 発表標題 コミュニケーションシステムの形成における意図せぬ模倣の役割
3. 学会等名 日本認知科学会第34回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takuya Kimura, Jiro Okuda
2. 発表標題 Behavioural and brain activity modulation through neurofeedback training using electroencephalography
3. 学会等名 The 6th International Conference on Cognitive Neurodynamics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masayuki Fujiwara, Takashi Hashimoto, Guanhong Li, Jiro Okuda, Takeshi Konno, Kazuyuki Samejima, Junya Morita
2. 発表標題 Changes in phase synchronization of EEG during development of symbolic communication systems
3. 学会等名 The 6th International Conference on Cognitive Neurodynamics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masayuki Fujiwara, Takashi Hashimoto, Guanhong Li, Jiro Okuda, Takeshi Konno, Kazuyuki Samejima, Junya Morita
2. 発表標題 Neural phase synchrony on understanding meanings of symbols
3. 学会等名 39th Annual Meeting of the Cognitive Science Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Junya Morita, Takeshi Konno, Jiro Okuda, Kazuyuki Samejima, Guanhong Li, Masayuki Fujiwara, Takashi Hashimoto
2. 発表標題 Implicit memory processing in the formation of a shared communication system
3. 学会等名 15th International Conference on Cognitive Modeling (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Namiki, Ichiro Tsuda
2. 発表標題 Mathematical structure of brain dynamics of epilepsy
3. 学会等名 Problems of consciousness and Neuropsychiatric Disorders as Network Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 行木孝夫、田所智、津田一郎、國枝武治、松橋眞生、松本理器、池田昭夫
2. 発表標題 てんかん脳波データの非線形時系列解析
3. 学会等名 Perspectives of Nonlinear Phenomena in Random and Non-autonomous Dynamics (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akihiro Yamaguchi, Yutaka Yamaguti, and Masao Kubo
2. 発表標題 Decomposition of Superimposed Chaotic Spike Sequences by using The Bifurcating Neuron
3. 学会等名 The 6th International Conference on Cognitive Neurodynamics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akihiro Yamaguchi, Yutaka Yamaguti, and Masao Kubo
2. 発表標題 Selective synchronization of the coupled bifurcating neurons for phase shift of background oscillation
3. 学会等名 The 2018 International Conference on Artificial Life and Robotics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoyuki Yano, Yoshitomo Goto, Tomoyuki Nagaya, Ichiro Tsuda, Shigetoshi Nara
2. 発表標題 A Pseudo-Neuron Device and Firing Dynamics of Their Networks Similar to Neural Synchronizing Phenomena between Far Local Fields in Brain
3. 学会等名 ICCN 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 虫明 元 松坂 義哉
2. 発表標題 前頭葉内側領域によるパフォーマンスモニタリングと行動調節
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大城 朝一 虫明 元
2. 発表標題 ラット脳における内因性光学信号の超低速律動は非アドレナリン非コリン性神経系によって制御を受ける
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 劉 越人 櫻木 繁雄 大城 朝一 虫明 元 八尾 寛
2. 発表標題 ラットパレル野2/3層ニューロン応答の時間依存性 - オプトジェネティクスによるウィスカ毛嚢のランダム時空間刺激実験
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 片倉 世雄 坂本 一寛 虫明 元
2. 発表標題 強化学習における動的行動価値関数
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小山内 実 大川 宜昭 坂本 一寛 三輪 秀樹 菊田 里美 田村 篤史 佐藤 正晃 大倉 正道 小島 太郎 幸村 裕治 中井 淳一 林 康 紀 柳川 右千夫 井ノ口 馨 本間 経康 虫明 元
2. 発表標題 脳機能イメージングのための極微細蛍光内視鏡イメージングシステム
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Muhammad Ali Haider Awan Hajime Mushiake Yoshiya Matsuzaka
2. 発表標題 Tactics-Action Transformation and Individual Roles played by Supplementary Motor Area, Pre-Supplementary Motor Area and Post Medial Prefrontal Cortex
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松坂 義哉 アワン ムハマド・アリ・ハイダー 虫明 元
2. 発表標題 サル内側前頭前野による刺激から行動戦術、アクションへの変換
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 片山 統裕 中澤 邑支朗 町田 祉永 中尾 光之 虫明 元
2. 発表標題 マウスにおける海馬シータ波と走行速度の相関と時間関係
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 虫明 元
2. 発表標題 人の多様性を支える脳の働き
3. 学会等名 第27回 日本医療社会福祉学会大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Hidenori Watanabe, Hajime Mushiake, Kazutaka Takahashi.
2. 発表標題 Phase Locking and Current Source Density Profiles of Oscillation in the Monkey Motor Cortical Areas with Chronic 3D Electrode Arrays
3. 学会等名 International symposium Neural Oscillation Conference 2017, 'Problems of Consciousness and Neuropsychiatric Disorders as Network Diseases' (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hidenori Watanabe, Kazutaka Takahashi, Hajime Mushiake.
2. 発表標題 Phase Locking of Oscillation in the Monkey Motor Cortical Areas with Chronic 3D Electrode Arrays.
3. 学会等名 National Institute for Physiological Sciences, Research Meeting at Tohoku.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto K, Kawaguchi N, Mushiake H.
2. 発表標題 Task-dependent modulation of the local field potentials in the dorsolateral prefrontal cortex of monkey.
3. 学会等名 第95回日本生理学会大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakamoto K.
2. 発表標題 Origins of LFP oscillation in monkey prefrontal and premotor cortices.
3. 学会等名 International symposium neural oscillation conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名	Osanai M, Ohkawa N, Sakamoto K, Miwa H, Kikuta S, Tamura A, Sato M, Ohkura M, Kojima T, Kohmura Y, Nakai J, Hayashi Y, Yanagawa Y, Inokuchi K, Homma N, Mushiake H.
2. 発表標題	Ultra-thin fluorescence endoscope imaging system for functional brain imaging.
3. 学会等名	The 40th annual meeting of the Japan Neuroscience Society. (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Katakura T, Sakamoto K, Mushiake H.
2. 発表標題	Dynamic action-value function in reinforcement learning.
3. 学会等名	The 40th annual meeting of the Japan Neuroscience Society. (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Sakamoto K, Kawaguchi N, Mushiake H.
2. 発表標題	Comparison of local field potentials patterns of monkey prefrontal cortex and premotor cortex during a shape-manipulation task.
3. 学会等名	第27回日本神経回路学会全国大会 (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Sakamoto K, Kawaguchi N, Mushiake H.
2. 発表標題	Comparison of local field potentials patterns of monkey prefrontal cortex and premotor cortex during a shape-manipulation task.
3. 学会等名	第27回日本神経回路学会全国大会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名 洞口学志, Janos Negyesi, 片山統裕, 虫明元, 坂本一寛
2. 発表標題 マウス用ヴァーチャル・リアリティ装置を用いた齧歯類の高次脳機能解明システムの開発.
3. 学会等名 第49回東北生理談話会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomokazu Ohshiro., Hajime Mushiake
2. 発表標題 Non-noradrenergic, non-cholinergic (NANC) control of the infra-slow oscillation of the optical intrinsic signal in the rat brain
3. 学会等名 日本神経科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomokazu Ohshiro, Yuchiyo Yanagawa., Hajime Mushiake
2. 発表標題 Chronic EEG recording from the rats using two different types of electrodes
3. 学会等名 日本てんかん学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomokazu Ohshiro., Hajime Mushiake
2. 発表標題 Chloride ion channels play an important role in the cerebral vasomotion underlying the infra-slow oscillation of EEG
3. 学会等名 日本生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryosuke Hosaka
2. 発表標題 Bistability generates highly irregular spike trains with weakly fluctuated inputs
3. 学会等名 国際会議 Neural Oscillation Conference
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryosuke Hosaka, Hidenori Watanabe, Toshi Nakajima, and Hajime Mushiake
2. 発表標題 Increased LFP theta power reflects memorization of movement in primate motor areas
3. 学会等名 国際会議 Neural Oscillation Conference 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryosuke Hosaka
2. 発表標題 On Modeling Postsynaptic Potentials of Plastic Neural Networks
3. 学会等名 国内会議 NOLTAソサイエティ大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryosuke Hosaka
2. 発表標題 Strange neuronal responses to fluctuated inputs
3. 学会等名 国際会議 International Conference on Mathematical Neuroscience
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue K, Fujiwara M, Uezono S, Tanabe S, Ishida H, Hoshi E, Takada M
2. 発表標題 Organization of multisynaptic inputs from the basal ganglia to the premotor cortex in macaque monkeys - Retrograde transneuronal dual tracing using rabies viral vectors.
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Asia Conference: Primate Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ninomiya T, Nagai Y, Inoue K, Hori Y, Kikuchi E, Lee J, Suhara T, Iriki A, Minamimoto T, Takada M, Isoda M, Matsumoto M, Mccairn K.W.
2. 発表標題 Phase-amplitude coupling in cerebro-basal ganglia-cerebellar networks: A new model of hypo- and hyperkinetic movement disorders.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue K, Fujiwara M, Uezono S, Tanabe S, Tsuge H, Nagaya N, Nagaya K, Ishida H, Hoshi E, Takada M
2. 発表標題 Organization of multisynaptic inputs from the basal ganglia to the dorsal and ventral premotor cortices in macaque monkeys: retrograde transneuronal dual tracing with fluorescent rabies viral vectors.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue K
2. 発表標題 Pathway-selective manipulation of neural circuits
3. 学会等名 NIMH Workshop "Neural Circuits: Gaps and Opportunities" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue K
2. 発表標題 Pathway-selective optogenetics for elucidating neural network function in primates.
3. 学会等名 Neuroscience 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue K, Fujiwara M, Uezono S, Tanabe S, Ishida H, Hoshi E, Takada M
2. 発表標題 Arrangement of multisynaptic inputs from the basal ganglia to the dorsal and ventral premotor cortical areas in macaques: retrograde transneuronal double labeling with fluorescent rabies viral vectors.
3. 学会等名 Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Amita H, Kim H.F, Inoue K, Takada M, Hikosaka O
2. 発表標題 Optogenetic modulation of saccade-controlling circuits in the monkey basal ganglia
3. 学会等名 Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上 謙一
2. 発表標題 霊長類における光遺伝学を利用した神経回路操作
3. 学会等名 日本学術振興会 光電相互変換第125委員会 第239回研究会 「光技術が切り開く新しいバイオサイエンス・テクノロジー」 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 美馬達哉・松橋眞生・小金丸聡子
2. 発表標題 Phase-dependent modulation of human gait induced by patterned brain stimulation
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小野健太郎・Daiki Yamasaki・Christian F Altmann・美馬達哉
2. 発表標題 The effect of scale illusion on mismatch negativity (MMN)
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小金丸聡子・池田聡・生駒一憲・美馬達哉
2. 発表標題 脳卒中後片麻痺の歩行機能における歩行同期型経頭蓋律動電流刺激 (otDCS) 併用歩行訓練の長期効果
3. 学会等名 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 神作憲司
2. 発表標題 医療福祉分野における脳情報の利用.
3. 学会等名 第13回 CHIBA NERURORESEARCH MEETING (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 神作憲司
2. 発表標題 ブレイン - マシン・インタフェースによるコミュニケーションと運動の補助.
3. 学会等名 第109回 ロボット工学セミナー・臨床応用から理解するリハビリテーション・ロボティクス(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Morita-Hayashi, N., Takano, K., Kansaku, K.
2. 発表標題 Peripheral visual field stimuli for SSVEP-based brain-machine interface.
3. 学会等名 The 95th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takano, K., Morita-Hayashi, N., Ora, H., Kansaku, K.
2. 発表標題 Decoded neurofeedback training for steady-state visual evoked field.
3. 学会等名 Real-time functional imaging and neurofeedback conference 2017. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Utsumi, K., Okahara, Y., Takano, K., Komori, T., Onodera, O., Kansaku, K.
2. 発表標題 P300-based brain-machine interface applied to patients with Duchenne muscular dystrophy.
3. 学会等名 Real-time functional imaging and neurofeedback conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年



1 . 発表者名 Morita-Hayashi, N., Takano, K., Ora, H., Kansaku, K.
2 . 発表標題 Decoded neurofeedback training for steady-state visual evoked field in patients with spinal cord injury.
3 . 学会等名 Real-time functional imaging and neurofeedback conference 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Sato, Y., Kawase, T., Takano, K., Kansaku, K.
2 . 発表標題 Effect of vision of arm posture on a crossed hands illusion task in an amputee.
3 . 学会等名 The 47th Annual Meeting of the Society for Neuroscience ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Okahara, Y., Takano, K., Odaka, K., Uchino, Y., Odaki, M., Iwadate, Y., Kansaku, K.
2 . 発表標題 An SSVEP-based brain-computer interface applied to patients with persistent vegetative state.
3 . 学会等名 The 47th Annual Meeting of the Society for Neuroscience ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Sato, Y., Kawase, T., Takano, K., Kansaku, K.
2 . 発表標題 Effect of synchronous movement of an EMG controlled robotic arm on robot hand illusion in amputees.
3 . 学会等名 The 40th Annual Meeting of Japan Neuroscience Society ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawase, T., Koike, Y., Kansaku, K.
2. 発表標題 A BMI-based robotic exoskeleton for neurorehabilitation and daily actions: hybrid control based on EMG and SSVEP for elbow and wrist.
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of Japan Neuroscience Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masaaki Hayashi, Shohei Tsuchimoto, Nobuaki Mizuguchi, Shoko Kasuga, Junichi Ushiba
2. 発表標題 Decoding of muscle contraction level from EEG signals using dimensionality-reduction based regression
3. 学会等名 The 47th Annual Meeting of the Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Junichi Ushiba
2. 発表標題 Decoding and manipulating sensorimotor cortex activity for neurorehabilitation in humans and non-human primates
3. 学会等名 real-time functional imaging and neurofeedback conference 2017 (rtFIN 2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 Central motor conduction studies in humans.
3. 学会等名 Taiwan Society of Clinical Neurophysiology 2017, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 Central motor conduction studies in humans.
3. 学会等名 Taiwan Society of Clinical Neurophysiology 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 Cerebello-motor cortical connection in human: cerebellar stimulation and prism adaptation
3. 学会等名 2nd International Taiwanese Congress of Neurolog (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 Myoclonus: Etiology, Pathophysiology and Treatment.
3. 学会等名 21st International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 TMS study in Parkinson's disease and other movement disorders
3. 学会等名 MDS Basic Scientists Summer School. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 TMS treatment of Parkinson's disease.
3. 学会等名 23rd World Congress of Neurology, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 Eye movements in Parkinson's disease - Focus on saccadic intrusions.
3. 学会等名 142th Annual Meeting of The American Neurological Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 plasticity induction in human brain.
3. 学会等名 6th Asian-Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (AOCCN), (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 Connectivity studies by TMS.
3. 学会等名 6th Asian-Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (AOCCN), (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 Proximal peripheral nerve conduction studies by TMS in patients with neuropathy.
3. 学会等名 6th Asian-Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (AOCCN), (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇川義一
2. 発表標題 Cerebellar dysfunction: Magnetic cerebellar stimulation and prism adaptation.
3. 学会等名 12th Biennial Convention of ASEAN Neurological Association and 39th Annual Conveition of Philippine Neurological Association (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳皮質-大脳基底核ループとパーキンソン病
3. 学会等名 宮城パーキンソン病フォーラム(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Watanabe, M., Nabekura, J. and Fukuda, A.
2. 発表標題 The role of excitatory action of GABA in the regulation of reproduction.
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Kakizawa, K. and Fukuda, A.
2 . 発表標題 A novel role of GABA in the release of CRH in the hypothalamic-pituitary pathway.
3 . 学会等名 第94回日本生理学会大会
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hosoi, Y., Akita, T., Watanabe, M., Mutoh, H., Miyajima, H. and Fukuda, A.
2 . 発表標題 Taurine depletion reduces postsynaptic GABA <sub>A</sub> receptors in layer 2/3 pyramidal neurons of the somatosensory cortex.
3 . 学会等名 第94回日本生理学会大会
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Akita, T., Saitsu, H., Watanabe, M., Matsumoto, N. and Fukuda, A.
2 . 発表標題 Mild functional impairment of neuronal K <sup>+</sup> -Cl <sup>-</sup> cotransporter KCC2 by biallelic mutations causes migrating focal seizures and severe developmental delay.
3 . 学会等名 第94回日本生理学会大会
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Sinha Adya, S., Hosoi, Y., Sohara, E., Mutoh, H., Akita, T., Uchida, S. and Fukuda, A.
2 . 発表標題 Excitatory roles of WNK3 in layer V pyramidal neurons in the prefrontal cortex
3 . 学会等名 第94回日本生理学会大会
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Wang, T., Sinha adya, S., Yanagawa, Y., Hata, K. and Fukuda, A.
2. 発表標題 Maternal stress causes loss of parvalbumin neurons and alterations of extracellular glycans in the mPFC of GAD67-GFP knock-in mouse.
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田敦夫, 古川智範, 熊田達郎.
2. 発表標題 胎仔脳内タウリンがニューロンの細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度と膜電位の振動に与える影響とその生理的意義.
3. 学会等名 第3回国際タウリン研究会日本部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kakizawa K, Watanabe M, Mutoh H, Okawa Y, Yamashita M, Yanagawa Y, Itoi K, Suda T, Oki Y and Fukuda A.
2. 発表標題 Excitatory GABAergic input from the arcuate nucleus promotes CRH release from axon terminals with NKCC1-driven high [Cl <sup>-</sup> ] <sub>i</sub> as a novel secretory mechanism at median eminence.
3. 学会等名 2016 International Symposium on Neurodegenerative Diseases (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Adya Saran Sinha, Yasushi Hosoi, Eisei Sohara, Hiroki Mutoh, Tenpei Akita, Shinichi Uchida, Atsuo Fukuda
2. 発表標題 Excitatory roles of WNK3 in layer V pyramidal neurons in the prefrontal cortex.
3. 学会等名 第63回中部日本生理学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 細井泰志, 秋田天平, 武藤弘樹, 渡部美穂, 伊藤崇志, 福田敦夫.
2. 発表標題 タウリン欠乏は生後の大脳皮質感覚野錐体細胞への抑制性シナプス入力を減少させる.
3. 学会等名 第63回中部日本生理学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 渡部美穂, 秋田天平, 才津浩智, 松本直通, 福田敦夫.
2. 発表標題 乳児焦点移動性部分発作はSLC12A5遺伝子の両アレル変異によるカリウム-クロライド共役担体(KCC2)機能の低下により引き起こされる.
3. 学会等名 第63回中部日本生理学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 視床下部ストレス応答におけるGABA作用の多様性とそのメカニズム.
3. 学会等名 第43回日本神経内分泌学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 Dynamics of inhibitory synaptic function underlying epileptogenesis.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 脳発達障害モデルにおけるGABA作用と母体-胎仔間シグナル.
3. 学会等名 福井大学医学系研究科大学院セミナー (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 マルチモーダルなGABAの作用.
3. 学会等名 第96回北海道医学大会生理系分科会・日本生理学会北海道地方会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 てんかん原性におけるCl <sup>-</sup> - ホメオダイナミクス仮説: 理論から症例まで.
3. 学会等名 札幌医科大学医学部神経科学講座特別セミナー (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fukuda, A., Kakizawa, K., Watanabe, M., Mutoh, H., Okawa, Y., Yamashita, M., Yanagawa, Y., Itoi, K., Suda, T. and Oki, Y.
2. 発表標題 A novel excitatory GABAergic input from the arcuate nucleus to the median eminence involved in CRH release.
3. 学会等名 The 13th Korea-Japan Joint Symposium of Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscle Sciences (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akita, T., Saito, H., Matsumoto, N. and Fukuda A.
2. 発表標題 De novo mutations in Kv2.1 channels found in infantile epileptic patients inhibit repetitive neuronal firing.
3. 学会等名 The 13th Korea-Japan Joint Symposium of Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscle Sciences (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Watanabe, M., Akita, T., Saito, H., Matsumoto, N. and Fukuda, A.
2. 発表標題 Impaired neuronal KCC2 function by biallelic SLC12A5 mutations in migrating focal seizures and severe developmental delay.
3. 学会等名 The 13th Korea-Japan Joint Symposium of Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscle Sciences (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 母仔相関に關与する液性シグナルとGABA - Cl-ホメオスタシスに基づく脳発達障害モデル.
3. 学会等名 第5回日本DOHaD研究会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fukuda, A., Wang, T., Yanagawa, Y., Kawai, T. and Hata, K.
2. 発表標題 Prenatal stress causes loss of GABAergic interneurons and perineuronal nets in the cerebral cortex of GAD67-GFP knock-in mouse offspring.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hosoi, Y., Akita, T., Mutoh, H., Ito, T., Miyajima, H. and Fukuda, A.
2. 発表標題 Taurine depletion reduces postnatal inhibitory synaptic inputs into layer 2/3 pyramidal neurons in the somatosensory cortex.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Watanabe, M., Akita, T., Saito, H., Matsumoto, N. and Fukuda, A.
2. 発表標題 Partial loss of neuronal KCC2 function by biallelic SLC12A5 mutations causes migrating focal seizures and developmental delay
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sinha saran, A., Hosoi, Y., Sohara, E., Mutoh, H., Akita, T., Uchida, S., Fukuda, A.
2. 発表標題 Excitatory roles of WNK3 in layer V pyramidal neurons in the prefrontal cortex.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hayasaki, H., Fukuda, A., Sohma, Y.
2. 発表標題 An immunocytochemical study for the local glutamatergic system in rat trigeminal ganglion.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fukuda, A.
2. 発表標題 The excitatory GABA action at the median eminence maintains the steady-state release of corticotropin-releasing hormone.
3. 学会等名 10th FENS Forum of Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 ゾニサミドによるドーパミン作動性ニューロンの保護作用
3. 学会等名 カテコールアミンと神経疾患研究会2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Atsushi Nambu
2. 発表標題 Abnormal basal ganglia activity in movement disorders
3. 学会等名 Multi-scale structure & dynamics of the basal ganglia (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 ネットワーク異常としてパーキンソン病を考える
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Atsushi Nambu
2. 発表標題 Somatotopy in the Basal Ganglia
3. 学会等名 6th Joint CIN-NIPS Symposium (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nambu A
2. 発表標題 Parkinson's disease as a network disorder
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳基底核23の問題
3. 学会等名 平成28年度京都大学霊長類研究所共同利用研究会「集団的フロネシスの発現と創発の解明を目指して (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南部 篤
2. 発表標題 大脳皮質-大脳基底核ループと大脳基底核疾患
3. 学会等名 第37回 Neuroscience Seminar Tokushima (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Atsushi Nambu, Mitsunori Ozaki, Hiromi Sano, Shigeki Sato,
2. 発表標題 "Inhibitory center-excitatory surround" inputs from the motor cortex to the globus pallidus revealed by optogenetic stimulation
3. 学会等名 12th International Basal Ganglia Society Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoshihisa Tachibana, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Subthalamic neurons signal vigor of reward-seeking actions
3. 学会等名 12th International Basal Ganglia Society Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hirokazu Iwamuro, Yoshihisa Tachibana, Yoshikazu Ugawa, Nobuhito Saito, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Somatotopic organizations of motor cortical inputs to the subthalamic nucleus and globus pallidus of monkeys
3. 学会等名 12th International Basal Ganglia Society Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 畑中 伸彦
2. 発表標題 GABAergic modulation of the striatal neuron activity in behaving monkeys
3. 学会等名 Japan-Sweden Joint Program Symposium "Computational Basal Ganglia" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiromi Sano
2. 発表標題 Molecular Genetic Approaches to Understanding the Physiological Roles of the Basal Ganglia
3. 学会等名 Stockholm-Okazaki Symposium "'Multi-scale Structure & Dynamics on the Basal Ganglia'" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiromi Sano, Kenji F Tanaka, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Concurrent activation of striatonigral and striatopallidal neurons facilitates movements
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐野裕美、知見聡美、長谷川拓、堀江正男、 竹林浩秀、吉木淳、長谷川一子、 Pullanipally Shashidharan、南部篤
2. 発表標題 運動異常症モデルげっ歯類・霊長類が示す運動症状
3. 学会等名 第31回日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiromi Sano
2. 発表標題 Physiological Roles of Cortico-striatal Neurons in the Basal Ganglia
3. 学会等名 6th Joint CIN-NIPS Synposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiromi Sano, Kenji F Tanaka, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Concurrent activation of striatonigral and striatopallidal neurons facilitates motor activity
3. 学会等名 The 47th NIPS International Symposium "Decoding Synapses" (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiromi Sano, Kenji F Tanaka, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Motor control by striatal projection neurons
3. 学会等名 Japan-Sweden Joint Program Symposium "Computational Basal Ganglia" (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐野裕美
2. 発表標題 線条体投射ニューロンによる運動調節機構の解明
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム「適応回路シフト」「記憶ダイナミズム」「マイクロ精神病態」三領域合同若手シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐野裕美
2. 発表標題 遺伝子改変マウスを用いた大脳基底核の機能と運動異常症の病態に関する研究
3. 学会等名 第6回生理研 - 霊長研 - 新潟脳研合同シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Hiromi Sano, Kenta Kobayashi, Shigeki Kato, Satomi Chiken, Kazuto Kobayashi, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Cortico-striatal induced responses in the basal ganglia
3. 学会等名 12th International Basal Ganglia Society Meeting
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Indriani Dwi Wahyu, Hiromi Sano, Satomi Chiken, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Mechanism of L-dopa induced dyskinesia: increased movement facilitation and decreased movement termination by the basal ganglia
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Dwi Wahyu Indriani
2. 発表標題 Mechanism Underlying L-Dopa Induced Dyskinesia in Parkinson's Disease Model Mice
3. 学会等名 第63回中部日本生理学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Dwi Wahyu Indriani
2. 発表標題 Electrophysiological study of a L-dopa-induced dyskinesia mouse model
3. 学会等名 生理研研究会「行動を制御する神経ネットワーク機能の解明に向けて」(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Dwi Wahyu Indriani
2. 発表標題 Electrophysiological study of L-dopa-induced dyskinesia model mice. Mini international symposium on computational basal ganglia.
3. 学会等名 Japan-Sweden Joint Program Symposium "Computational Basal Ganglia" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daisuke Koketsu & Atsushi Nambu
2. 発表標題 Neurophysiological and Anatomical Studies of Marmoset Motor-Sensory Cortices
3. 学会等名 Japan-Sweden Joint Program Symposium "Computational Basal Ganglia" (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 長谷川拓
2. 発表標題 化学遺伝学的手法によるマカクザル視床下核の神経活動制御
3. 学会等名 第63回中部日本生理学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Taku Hasegawa, Chiken Satom, Kenta Kobayashi, Atsushi Nambu
2. 発表標題 The chemogenetic suppression of the primate STN induces abnormal involuntary movement
3. 学会等名 12th International Basal Ganglia Society Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masahiro Wakabayashi, Nobuhiko Hatanaka, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Thalamic oscillatory activity and tremor
3. 学会等名 Multi-scale structure & dynamics of the basal ganglia (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masahiro Wakabayashi, Nobuhiko Hatanaka, Atsushi Nambu
2. 発表標題 Thalamic oscillatory activity and tremor
3. 学会等名 Japan-Sweden Joint Program Symposium "Computational Basal Ganglia" (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masahiro Wakabayashi
2. 発表標題 Tremor-related thalamic activity in a parkinsonian model marmoset.
3. 学会等名 生命科学リトリート2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Satomi Chiken
2. 発表標題 Basal ganglia & cerebellar control of thalamocortical activity.
3. 学会等名 Stockholm-Okazaki Symposium "Multi-scale structures & dynamics of the basal ganglia" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐野裕美、知見聡美、長谷川拓、堀江正男、竹林浩秀、吉木淳、長谷川一子、 Shashidharan P、 南部篤
2. 発表標題 運動異常症モデルげっ歯類、霊長類が示す運動症状
3. 学会等名 第31回日本大脳基底核研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Satomi Chiken, Atushi Nambu
2. 発表標題 How do the basal ganglia control thalamocortical activity?
3. 学会等名 Satellite Symposium of Neuroscience 2016 “Basal Ganglia in Health and Disease” (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Satomi Chiken, Atushi Nambu
2. 発表標題 Dopaminergic transmission maintains dynamic activity changes in the basal ganglia to appropriately control movements.
3. 学会等名 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society Symposium (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 知見聡美、南部篤
2. 発表標題 パーキンソン病の病態生理：モデルサルにおける神経活動の記録
3. 学会等名 名古屋大学・生理学研究所合同シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 知見聡美、佐藤朝子、笹岡俊邦、高田昌彦、南部篤
2. 発表標題 大脳基底核内情報伝達と運動制御におけるドーパミンの機能
3. 学会等名 第6回生理研 - 霊長研 - 脳研合同シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Satomi Chiken, Atushi Nambu
2. 発表標題 Abnormal incormation flow through the cortico-basal ganglia pathways in MPTP-treated parkinsonian monkeys.
3. 学会等名 12th International Basal Ganglia Society Meeting IBAGS-XII (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A, Matsumoto R, Kobayashi K, Kunieda T
2. 発表標題 Cortico-cortical Evoked Potentials-a practical review
3. 学会等名 Annual meeting of American Clinical Neurophysiology Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Interictal slow shifts by macroinvasive electrode, Consensus for recording and analysis of wide-band EEG in clinical epilepsy
3. 学会等名 Annual meeting of American Clinical Neurophysiology Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Probing Dorsal and Ventral Language Networks by Integrated InvasiveNeurophysiology
3. 学会等名 11th International Workshop on Advances in Electrocortigraphy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Cortico-cortical evoked potentials: methods, its research and clinical perspectives
3. 学会等名 Seminar at Laboratory of Behavioral & Cognitive Neuroscience (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 EEG biomarker of epilepsy
3. 学会等名 CAOA-AOEC Joint Symposium at the 10th AESC, 10th Asian Epilepsy Surgery Congress (AESC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A, Matsumoto R, Kunieda T, Yamao Y, Kikuchi T
2. 発表標題 Intraoperative, higher cortical function monitoring
3. 学会等名 Intraoperative neuromonitoring (IONM) Satellite Symposium, 2016 Annual Meeting of Korean Neurological Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Glia, DC shifts/red slow, and epilepsy
3. 学会等名 2016 Annual Meeting of Korean Neurological Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Probing dynamics of cortico-cortical connectivity with direct cortical stimulation in physiological and pathologic states
3. 学会等名 Symposium: Network disruption in brain disorders, Biomag 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hitomi T, Kobayashi K, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Updates of Neurophysiological Biomarkers in the Genetic Generalized Epilepsy
3. 学会等名 The 9th KES-JES Joint Symposium, 21st Korean Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 HF0 synchronization and epilepsy network
3. 学会等名 11th Asian and Oceanian Epilepsy Congress (AOEC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Exploring the mysteries of EEG: Can infraslow and DC shift improve epilepsy treatment?, The Masakazu Seino Memorial Lecture
3. 学会等名 11th Asian and Oceanian Epilepsy Congress (AOEC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Advanced techniques in HFO analysis. Workshop HFOs and the Epileptogenic Zone
3. 学会等名 11th Asian and Oceanian Epilepsy Congress (AOEC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 When should patients be referred to psychiatrists?
3. 学会等名 The ILAE Neuropsychiatry Commission Symposium "Depression in patients with epilepsy: how could neurologists, psychiatrists and neurosurgeons co-work and how much do our colleagues acknowledge it?" (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R, Kobayashi K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Epileptogenicity and related network: Approach from "interventional" clinical neurophysiology. Translatability between basic&clinical studies for the pathophysiology of epilepsy: Approach from Oscillology
3. 学会等名 The 94th Annual meeting of the Physiological Society of Japan
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 神経救急としてのてんかん重積状態（教育講演34）
3. 学会等名 第42回日本脳卒中学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 神経疾患治療トレンド考2：てんかん
3. 学会等名 平成28年度日本神経学会東海北陸地区生涯教育講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器，藤井大樹，本多正幸，小林勝哉，下竹昭寛，吉田健司，加藤竹雄，井内盛遠，人見健文，松橋眞生，菊池隆幸，吉田和道，國枝武治，岡田知久，村井俊哉，宮本享，高橋良輔，池田昭夫
2. 発表標題 厚生労働省てんかん地域診療連携整備事業を実施していない施設：てんかんセンターとしての現状，シンポジウムてんかん地域診療連携整備事業の1年を振り返って
3. 学会等名 全国てんかんセンター協議会総会JEPICA 2017 in Nara
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 皮質電気刺激によるヒト脳内ネットワークの可視化：着想から臨床応用への道のり（指名講演1）
3. 学会等名 平成28年度名古屋大学脳とこころの研究センターシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 臨床てんかん病態におけるグリア機能の臨床的意義
3. 学会等名 第40回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器, 小林勝哉, 菊池隆幸, 國枝武治, 池田昭夫
2. 発表標題 CCEPのオフライン解析と解釈 (ワークショップ2 CCEPのskills workshop: clinical practice parameter (臨床実践指標) を目指して)
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器, 下竹昭寛, 吉田和道, 松橋眞生, 國枝武治, 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの臨床神経生理学と硬膜下電極 (エキスパートレクチャー12)
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん原性の臨床生理学的biomarker: red slowはあるか? (教育講演11)
3. 学会等名 第42回日本臨床神経生理学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 頭痛診療医に必要なてんかんの知識と鑑別診断：症例を通じて（てんかんと片頭痛の興奮性の違いは？）（ランチョンセミナー3）
3. 学会等名 第44回日本頭痛学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 認知症とてんかん（アドバンスドコース11）
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 臨床てんかん学におけるwide-band EEGの概要と有用性
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小林勝哉，人見健文，松本理器，池田昭夫
2. 発表標題 ミオクロームスを有するてんかん症候群とJME
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 JESスカラシップ、Sponsored awardの意義(企画セッション10 てんかん学研修システムを考える)
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治
2. 発表標題 単発電気刺激による脳内ネットワークの可視化: 着想から臨床応用への道のり(特別企画4 機能ネットワーク解明から治療への応用)
3. 学会等名 第75回日本脳神経外科学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん原性の臨床生理学的biomaker:red slowはあるか?
3. 学会等名 第12回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Hands-on 3「脳波」
3. 学会等名 日本神経学会学術大会第13回生涯教育セミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 Hands-on 3「脳波」
3. 学会等名 日本神経学会学術大会第13回生涯教育セミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Uncommon, but important causes of epilepsy and seizure
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会 (International Educational Session 03 How to Manage Seizures)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 自己免疫性てんかんと関連
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 非けいれん性てんかん重積 (NSCE) : 診断と治療
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 成人てんかんとオシロロギー (シンポジウム15 オシロロギーからみた神経疾患の病態と治療)
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉村元, 松本理器, 池田昭夫, 幸原伸夫
2. 発表標題 高齢者てんかん重積状態の臨床的特徴と治療 (シンポジウム 治るてんかん: 高齢者てんかんの診断と治療)
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daifu M, Matsumoto R, Shimotake A, Kobayashi K, Ota M, Sakamoto M, Nakae T, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Lambon Ralph MA, Ikeda A
2. 発表標題 The ventral part of the anterior temporal lobe actively engages in Kanji word processing: a direct cortical stimulation study
3. 学会等名 70th American Epilepsy Society Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kobayashi K, Hitomi T, Matsumoto R, Watanabe M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Clinical core symptoms are rather homogeneous in nationwide survey of benign adult familial myoclonus epilepsy
3. 学会等名 70th American Epilepsy Society Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名	Ota M, Shimotake A, Matsumoto R, Sakamoto M, Daifu M, Nakae T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Lambon-Ralph MA, Ikeda A
2. 発表標題	Kanji word processing in the ventral anterior temporal lobe: a postoperative neuropsychological study in patients with temporal lobe epilepsy,
3. 学会等名	Annual Meeting of Society for Neuroscience (Neuroscience 2016) (国際学会)
4. 発表年	2016年

1. 発表者名	Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kunieda T, Miyamoto S, Hattori N, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題	Repeated, cortical stimulation can modify the wideband cortical activity correlates of interictal epileptiform discharge
3. 学会等名	第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年	2016年

1. 発表者名	Neshige S, Sakurai T, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Matsumoto R, Hitomi T, Matsumoto M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題	Functional brain mapping of primary sensorimotor cortex by means of MRCP and ERS/ERD comparing with CSM
3. 学会等名	第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年	2016年

1. 発表者名	Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Hattori N, Ikeda A
2. 発表標題	Repeated, cortical stimulation inhibits cortical epileptic excitability in human epileptic focus
3. 学会等名	第50回てんかん学会学術集会
4. 発表年	2016年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Sakamoto M, Togawa J, Kanazawa K, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Takahashi Y, Watanabe O, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 The clinical features of elderly onset, temporal lobe epilepsy
3. 学会等名 第50回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Murai T, Matsuhashi M, Hitomi T, Kobayashi K, Shimotake A, Inouchi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda, T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Invasive 3D source localization by wide-band EEG finding
3. 学会等名 第50回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sultana S, Hitomi T, Daifu M, Matsuhashi M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Comparison in afterslow activity of epileptiform discharges and sharp transients among different time constant
3. 学会等名 第50回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daifu M, Matsumoto R, Shimotake A, Sakamoto M, Ota M, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Lambon Ralph MA, Ikeda A
2. 発表標題 Ventral part of the anterior temporal lobe actively engages in Kanji reading: Evidence from direct cortical stimulation of the basal temporal language area
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 Shimotake A, Matsumoto R, Kobayashi K, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Functional mapping of praxis: Electrical cortical stimulation study
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Human motor inhibition network as revealed by epicortical ERP, CCEP and high frequency cortical stimulation
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakae T, Matsumoto R, Kunieda T, Arakawa Y, Kobayashi T, Inada T, Takahashi Y, Nishida S, Inano R, Kobayashi K, Shimotake A, Matsushashi M, Kikuchi T, Takahashi R, Ikeda A, Miyamoto S
2. 発表標題 Antero-posterior gradients exist in functional connections between human inferior frontal gyrus and middle and posterior temporal gyri: An intraoperative cortico-cortical evoked potential study
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Takeyama H, Kobayashi K, Shimotake A, Usami K, Inouchi M, Nakae T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Functional connectivity from medial parietal cortex and superior parietal lobule: a cortico-cortical evoked potential study
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ota M, Shimotake A, Matsumoto R, Sakamoto M, Daifu M, Nakae T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Lambon-Ralph MA, Ikeda A
2. 発表標題 Compensatory mechanisms of semantic- and kanji / kana word processing after resection of the anterior temporal lobe (in epilepsy surgery)
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kinboshi M, Mukai T, Tokudome K, Kunisawa N, Higor A. Iha, Shimizu S, Serikawa T, Ito H, Ikeda A, Ohno Y
2. 発表標題 Expressional analysis of astrocytic Kir4.1 channels in audiogenic seizure-susceptible Lgi1L385R/+ mutant rats
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshinaga K, Matsuhashi M, Hanakawa T, Ikeda A
2. 発表標題 Phase angle has information on temporal relationship of signals in functional connectivity study in human brain magnetoencephalography analysis
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kunieda T, Miyamoto S, Hattori N, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Repeated, cortical stimulation inhibits epileptic excitability in human epileptic focus
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto M, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Which areas inhibit motor responses? Direct evidence from subdural recordings
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Togawa J, Inouchi M, Matsumoto R, Matsuhashi M, Kobayashi K, Usami K, Hitomi T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Enhancement of coupling between slow waves and high gamma activities during slow wave sleep in human
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daifu M, Inouchi M, Kanazawa K, Matsuhashi M, Inoue T, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Matsumoto R, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Surrogate marker of intracranially recorded ictal DC shifts and HFOs in human focal epilepsy
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Neshige S, Sakurai T, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Matsumoto R, Hitomi T, Matsumoto M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Wide-band Electrocorticographic (ECoG) data analysis in primary sensorimotor (SI-MI) area
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shimotake A, Matsumoto R, Togo M, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Functional mapping of praxis network: Electrical cortical stimulation study.
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Embodied-Brain Systems Science (EMBOSS2016)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sakamoto M, Matsumoto R, Shimotake A, Nakae T, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Role of left ventral precentral gyrus in apraxia of speech: documents with electrical cortical stimulation and focal resection
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Embodied-Brain Systems Science (EMBOSS2016)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Shimotake A, Inouchi M, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Functional connectivity from human superior parietal lobule and medial parietal lobe: a cortico-cortical evoked potential (CCEP) study
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Embodied-Brain Systems Science (EMBOSS2016)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 齊藤景子, 松橋真生, 粟屋智就, 加藤竹雄, 美馬達哉, 池田昭夫, 福山秀直, 平家俊男
2. 発表標題 聴覚刺激のピッチ変化方向の異同は前意識下で検出されている
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大封昌子, 松本理器, 下竹昭寛, 太田真紀子, 坂本光弘, 中江卓郎, 小林勝哉, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 高橋良輔, Lambon Ralph MA, 池田昭夫
2. 発表標題 日本語読みにおける側頭葉底面の前後方向の機能の相違：高頻度皮質刺激による研究
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 谷岡洸介, 佐藤和明, 音成秀一郎, 塚田剛史, 藤井大樹, 井上岳司, 吉村元, 小林勝哉, 下竹昭寛, 人見健文, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん病診連携システムを介して大学病院を受診した患者のサンプル調査
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 下竹昭寛, 松本理器, 坂本光弘, 中谷光良, 太田真紀子, 小林勝哉, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 宮本享, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 呼称課題を用いた低刺激強度皮質電気刺激の言語機能マッピングの有用性
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坂本光弘, 松本理器, 十川純平, 武山博文, 端祐一郎, 小林勝哉, 下竹昭寛, 近藤誉之, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 自己免疫性てんかんの診断における、診療症状・検査所見の有用性の検討
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大封昌子, 井内盛遠, 松橋眞生, 金澤恭子, 小林勝哉, 下竹昭寛, 人見健文, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 発作間欠期皮質脳波における徐波と高周波律動の共起: 自動検出のための解析方法についての検討
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 太田真紀子, 松本理器, 下竹昭寛, 坂本光弘, 大封昌子, 中江卓郎, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 宮本享, 高橋良輔, Lambon Ralph MA, 池田昭夫
2. 発表標題 側頭葉底面前方領域切除による意味記憶の変容と機能可塑性の解明
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 谷岡汎介, 渡辺雅子, 池田昭夫, 兼子直, 田中達也, 大澤真木子
2. 発表標題 日本てんかん学会の教育研究事業としての助成金の成果の検討
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 音成秀一郎, 松本理器, 小林勝哉, 下竹昭寛, 人見健文, 井内盛遠, 丸山博文, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 意識が保持され, 全身けいれん発作が群発するMRI陰性症例
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤井大樹, 谷岡洸介, 佐藤啓, 井上岳司, 村原貴史, 小林勝哉, 下竹昭寛, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 アセタゾラムドが著効する難治性てんかん患者の臨床的特徴の検討
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 酒井克也, 矢澤省吾, 杉本晶子, 中尾紘一, 鶴田和仁, 鈴木由紀子, 松橋眞生
2. 発表標題 症候性てんかんで顕在化した神経梅毒症例での脳波・脳磁図および脳糖代謝所見の検討
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菅野彩, 大川聡史, 江夏怜, 越智さと子, 松橋眞生, 三國信啓
2. 発表標題 皮質-皮質間誘発電位を用いた側頭葉てんかんの焦点検索
3. 学会等名 第75回日本脳神経外科学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坂本光弘, 松本理器, 下竹昭寛, 太田真紀子, 中谷光良, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 池田昭夫
2. 発表標題 左中心前回中・下部に局限した腫瘍切除後にanarthriaを呈した1例
3. 学会等名 第40回日本神経心理学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 本多正幸, 下竹昭寛, 坂戸勇介, 引網亮太, 藤井大樹, 小林勝哉, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 食事中の大きな笑いにより強直発作様の意識消失を呈した73歳男性例
3. 学会等名 第12回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坂本光弘, 松本理器, 十川純平, 武山博文, 端祐一郎, 小林勝哉, 下竹昭寛, 近藤誉之, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 自己免疫機序が関与するてんかん症候群の診断アルゴリズム構築の試み
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村井智彦, 人見健文, 小林勝哉, 下竹昭寛, 岡田知久, 松本理器, 富樫かおり, 澤本伸克, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 BAFMFにおけるPET画像上の特徴
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 谷岡洸介, 人見健文, 松本理器, 飛松省三, 犬塚貴, 吉良潤一, 楠進, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 脳波判読セミナーのアンケート調査からの脳波教育の現状解析; 過去5年間の実態とニーズ
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 人見健文, 小林勝哉, 井内盛遠, 櫻井健世, Shamima Sultana, 佐藤啓, 井上岳司, 下竹昭寛, 松本理器, 陳和夫, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんにおけるてんかん性放電の睡眠による変容
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 十河正弥, 人見健文, 村井智彦, 松橋眞生, 松本理器, 幸原伸夫, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 低酸素脳症の頭皮上脳波における脳波所見と超低周波活動 (infraslow activity) の検討
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 端祐一郎, 坂本光弘, 十川純平, 岡田洋一郎, 藤井ちひろ, 越智博文, 中川正法, 水野敏樹, 下竹昭寛, 松本理器, 漆谷真, 池田昭夫, 高橋良輔, 近藤誉之
2. 発表標題 自己免疫性てんかんにおける末梢血リンパ球の表面抗原解析
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 三橋賢大, 北村彰浩, 小林勝哉, 上村紀仁, 葛谷聡, 山下博文, 澤本伸克, 近藤誉之, 漆谷真, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 脊髄サルコイドーシスの治療に関する臨床的検討
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岡田信久, 和田隆史, 樽野陽亮, 眞木崇州, 吉藤元, 丹治正大, 三橋賢大, 山門穂高, 上田紗希帆, 前川嵩太, 引網亮太, 木下久徳, 綾木孝, 山下博文, 澤本伸克, 漆谷真, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 再発性多発軟骨炎に伴う脳炎2症例の検討
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤啓, 人見健文, 葛谷聡, 武地一, 木下彩栄, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 認知症鑑別診断への脳波利用の試み
3. 学会等名 第113回日本内科学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器 國枝武治
2. 発表標題 てんかん病態下の脳内ネットワーク：システム神経科学的手法による包括的解明（褒賞報告）
3. 学会等名 てんかん治療研究振興財団第28回研究報告会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器, 小林勝哉, 宇佐美清英, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治 池田昭夫
2. 発表標題 単発皮質電気刺激で誘発される高ガンマ律動計測によるてんかん原性評価法の確立（研究助成報告）
3. 学会等名 てんかん治療研究振興財団第28回研究報告会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 頭痛診療医に必要なてんかんの知識と鑑別診断：てんかんと片頭痛の興奮性の違いは？
3. 学会等名 頭痛フォーラム2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Non-structural evidence of seizure focus: The role of functional imaging
3. 学会等名 31st International Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Ictal and interictal slow combined with HFO: Is it red slow?
3. 学会等名 Beijing Epilepsy and Neurophysiology Summit (BENS 2015) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Wide-band EEG in clinical epilepsy: slow shifts and HFO: How to record and analyze slow shifts in epilepsy
3. 学会等名 The 15th European Congress on Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ugawa Y.
2. 発表標題 Basic principles of TMS Repetitive and patterned studies
3. 学会等名 The 15th European Congress on Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ugawa Y.
2. 発表標題 Quadripulse stimulation Less variable? Why?
3. 学会等名 The 15th European Congress on Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Okuyama S, Mushiake H.
2. 発表標題 Two types of representations for numerosity 'zero' in the Parietal Cortex of the Monkey
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Matsuzaka Y, Sasagawa A, Mushiake H.
2. 発表標題 Representational transition from behavioral tactics into action by neurons in primate posterior
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Okuyama S, Mushiake H.
2. 発表標題 Two types of representations for numerosity 'zero' in the parietal cortex of the monkey
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ugawa Y.
2. 発表標題 Motor cortical plasticity in movement disorders and the influence of dopamine
3. 学会等名 22nd World Congress of Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Woranan W, Chiken S, Nambu A.
2. 発表標題 Correlated pallidal activity during voluntary reaching movements in a macaque monkey
3. 学会等名 8th FAPOS Congress (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Mushiake H.
2. 発表標題 Maintenance and updating of behavior in the medial frontal areas
3. 学会等名 NTNU-Tohoku Univ. Brain Science (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Matsumoto R.
2. 発表標題 The ventral language network - its function, connectivity and plasticity: insights from direct cortical stimulation and ECoG recordings
3. 学会等名 Special Seminar at Cognitive Neurophysiology and Brain-Machine Interface Laboratory (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Fujisawa S.
2. 発表標題 Spatial representations for self and other in the hippocampus
3. 学会等名 40th Winter Conference on Learning and Memory (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Goto T, Koyama K, Aoyagi T.
2. 発表標題 Sparse estimation of oscillator network from fluctuating rhythmic data
3. 学会等名 Neuro data analysis workshop (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Ictal and interictal infraslow with HFO in human epilepsy: Is it red slow ?
3. 学会等名 Fondazione IRCCS Istituto Neurologico Carlo Besta (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Is there only one kind of HFO? Ictal DC and HFO, and beyond that ? Is it red slow ?
3. 学会等名 2nd International Workshop on High Frequency Oscillations in Epilepsy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kobayashi K.
2. 発表標題 Scalp HFOs in various childhood epilepsies
3. 学会等名 2nd International Workshop on High Frequency Oscillations in Epilepsy (A scientific and teaching workshop) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ugawa Y.
2. 発表標題 Overview of pathomechanisms underlying voluntary and involuntary movements
3. 学会等名 5th Asia-Oceanian Congress of Parkinson's disease and movement disorders (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshimura H, Matsumoto R, Ishii J, Kono T, Hoshi T, Todo K, Kawamoto M, Ariyoshi K, Ikeda A, Kohara N
2. 発表標題 Status epilepticus in the elderly in the super-aging society: clinical and EEG features and prognostic factors
3. 学会等名 31st International Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kato A, Morita K.
2. 発表標題 Potential mechanistic account for the suggested relationship between the ramping dopamine signal and sustained motivational drive: a study of reinforcement learning model
3. 学会等名 Bernstein Conference 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kondo M, Morishima M, Kawaguchi Y, Morita K.
2. 発表標題 Multi-compartmental models of corticopontine and crossed-corticostriatal neurons of Rat frontal cortex
3. 学会等名 Bernstein Conference 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Hagiwara K.
2. 発表標題 A somatosensory evoked magnetic field study on textural processing using a novel textural stimulator
3. 学会等名 The 15th European Congress on Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Hagiwara K.
2. 発表標題 Comparative study between intra-epidermal electric stimulation and laser stimulation-Do we stimulate the same A /C-fibers?
3. 学会等名 The 15th European Congress on Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2015年



1. 発表者名 Onojima T, Ota K, Mizuhara H, Aoyagi T.
2. 発表標題 Estimation of multi-frequency coupling among neural oscillations
3. 学会等名 Cell symposia Engineering the brain (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Sano H, Kobayashi K, Chiken S, Kato S, Kobayashi K, Nambu A.
2. 発表標題 Cortically induced responses in the basal ganglia through the cortico-striatal neurons
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 緒方勝也
2. 発表標題 Cortical EEG oscillations can predict the variable MEP amplitudes
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tanaka M.
2. 発表標題 Electrophysiological correlates of subliminal affective face priming
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Nakazono H.
2. 発表標題 Differential off-line effects of 10 Hz and 20 Hz transcranial alternating current stimulation on motor cortical excitability
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 ( 国際学会 )
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Takamiya N.
2. 発表標題 Right hemispheric superiority in the conscious face processing: A high-density ERP study with hemifield stimulation
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 ( 国際学会 )
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Takeda A.
2. 発表標題 Neural oscillations and illusory rotatory motion: spatiotemporal analysis of neuromagnetic activities related to unusual visual perception
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 ( 国際学会 )
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Sato T, Sugiya T, Fuse T, Uchida K, Sugimoto N, Abe M, Yamazaki M, Fukuda A, Sakimura K, Itoi K.
2. 発表標題 Dual effects of serotonergic inputs on the local circuits regulating the corticotropin-releasing factor neurons in the paraventricular nucleus of the hypothalamus: an electrophysiological study using the CRF-Venus Neo mouse
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 ( 国際学会 )
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Sato Y, Kawase T, Kansaku K.
2. 発表標題 A rubber hand experiment using an EMG controlled robotic arm in amputee participants
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ora H, Kansaku K.
2. 発表標題 Neurofeedback training improves decoding accuracy in MEG/SSVEF
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Chiken S, Sato A, Sasaoka T, Nambu A.
2. 発表標題 Dopamine D1 receptor activation maintains information flow through the cortico-basal ganglia direct pathway to release movements
3. 学会等名 International Symposium on Prediction and Decision Making (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Hayakawa T, Aoyagi T.
2. 発表標題 A Candidate Neural Mechanism for the Exploration of Environment: from the Viewpoint of Statistical Physics
3. 学会等名 International Symposium on Prediction and Decision Making (国際学会)
4. 発表年 2015年

1 . 発表者名 Chiken S, Nambu A.
2 . 発表標題 Pallidal and cerebellar control of thalamocortical activity
3 . 学会等名 5th NIPS-CIN Joint Symposium ( 国際学会 )
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 Chiken S, Sano H, Kawaguchi Y, Kimura M, Nambu A.
2 . 発表標題 Basal ganglia and cerebellar control of thalamocortical activity
3 . 学会等名 8th FAPOS Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 Nambu A, Koketsu D, Chiken S, Hisatsune T, Miyachi S.
2 . 発表標題 Functions of the cortico-subthalamic hypedirect pathway investigated by a photodynamic technique
3 . 学会等名 8th FAPOS Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 Egawa K, Balena T, Lillis K, Dzhala V, Shiraishi H, Staley K.
2 . 発表標題 Mechanisms of seizures and edema after brain injury: Photolysis of a single neuron alters the cytoplasmic Cl <sup>-</sup> in neighboring neurons
3 . 学会等名 69th Annual Meeting of the American Epilepsy Society ( 国際学会 )
4 . 発表年 2015年

1. 発表者名 Kobayashi K, Akiyama T, Oka M, Endoh F, Yoshinaga H
2. 発表標題 A storm of fast (40-150 Hz) oscillations during hypsarrhythmia in West syndrome
3. 学会等名 69th Annual Meeting of the American Epilepsy Society (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kunieda T.
2. 発表標題 Influence of cerebral collateral circulation on preoperative evaluation of speech and memory dominance estimated by intracarotid propofol test
3. 学会等名 69th Annual Meeting of the American Epilepsy Society (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Sano H, Tanaka KF, Nambu A.
2. 発表標題 Physiological roles of striatal projection neurons in voluntary movements
3. 学会等名 ACS2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daifu M, Inouchi M, Kanazawa K, Matsuhashi M, Inoue T, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Matsumoto R, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Intracranially recorded ictal DC shifts and HFOs as surrogate markers of epileptogenicity in human focal epilepsy
3. 学会等名 2nd International Workshop on High Frequency Oscillations in Epilepsy (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 津田一郎
2. 発表標題 自己組織化再考 第二種自己組織化の可能性
3. 学会等名 京都大学基礎物理学研究所研究会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 意識障害・脳波レポートの書き方
3. 学会等名 第1回脳波セミナー・アドバンストコース（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 伊藤浩之, P. Maldonado, C. M. Gray
2. 発表標題 ネコ外側膝状体における同期振動発火の非定常性ダイナミクス
3. 学会等名 視覚科学フォーラム第19回研究会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 中嶋浩平, 茶碗谷毅, 青柳富誌生
2. 発表標題 Strange Non-chaotic Attractorの情報処理能力について
3. 学会等名 日本物理学会 2015年秋季大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 柿沢圭亮, 渡部美穂, 大川雄太, 大石敏弘, 山下美保, 柳川右千夫, 沖 隆, 福田敦夫.
2. 発表標題 CRHニューロン制御におけるGABAの新たな役割についての検討
3. 学会等名 第42回日本神経内分泌学会・第23回日本行動神経内分泌研究会・合同学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 中嶋浩平, 青柳富誌生
2. 発表標題 水面のダイナミクスを用いて実時間計算を実装する
3. 学会等名 日本物理学会 2015年秋季大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 大脳皮質-大脳基底核ループとパーキンソン病
3. 学会等名 第5回パーキンソン病QOL懇話会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 篠崎淳, 齊藤秀和, 村原貴史, 長濱宏史, 櫻井佑樹, 長峯隆, 松本博志
2. 発表標題 飲酒後の中枢神経に及ぼす影響 fMRIを用いた解析
3. 学会等名 第50回日本アルコール・薬物医学会・第27回日本依存神経精神科学会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 國枝武治
2. 発表標題 皮質 皮質間誘発電位を用いた、言語機能の術中モニタリング
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第74回学術総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 幻視の生理学的機序：視覚認知の観点から
3. 学会等名 第9回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 福田敦夫
2. 発表標題 出生前ストレス曝露による生後大脳皮質におけるGABA細胞とペリニューラルネットの減少
3. 学会等名 第13回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 臨床神経生理学的所見とグリア機能のオーバービュー (シンポジウム3)
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2015年



1. 発表者名 池田昭夫, Bayasgalan Borgil, 松橋眞生, 文室知之, 中野直樹, 飯田幸治, 片桐匡弥, 松本理器, 國枝武治, 加藤天美, 高橋良輔
2. 発表標題 VNSの効果作動機構の検討(シンポジウム4)
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 人見健文, 小林勝哉, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん(BAFME)の発症の予測因子の検討
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 下竹昭寛, 松本理器, 太田真紀子, 國枝武治, 三國信啓, 宮本亨, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 側頭葉底部前方領域での意味認知機能 マッピング: 事象関連電位の皮質記録の検討
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝哉, 松本理器, 宇佐美清英, 國枝武治, 池田昭夫
2. 発表標題 睡眠と前頭葉てんかん
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Kobayashi K, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Functional connectivity of the human entorhinal cortex: a cortico-cortical evoked potential study
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 飛松 省三
2. 発表標題 てんかんの臨床神経生理学
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 國枝武治
2. 発表標題 プロボフォルを用いた和田テストによる言語・記憶評価
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 Central Visual System and Epilepsy
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 てんかんの臨床神経生理学：発作間欠期脳波の判読と賦活法について
3. 学会等名 日本てんかん学会第10回てんかん学研修セミナー（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 松本理器，國枝武治，池田昭夫
2. 発表標題 皮質・皮質間誘発電位（CCEP）記録・解析の実際
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会（ワークショップ4）（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 人見健文，小林勝哉，櫻井健世，Shamima Sultana，佐藤啓，井上岳司，下竹明寛，松本理器，高橋良輔，池田昭夫
2. 発表標題 睡眠が良性成人型家族性ミオクローヌステんかん(BAFME)のてんかん性放電に与える影響
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝哉，松本理器，國枝武治，池田昭夫
2. 発表標題 慢性電極留置におけるてんかん原性評価
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 デジタル脳波判読の思考過程
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 頭皮脳波における高周波振動検出のスキル
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会（シンポジウム11）（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児脳波研究の最前線
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会（エキスパートレクチャー19）（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 長峯隆
2. 発表標題 脳磁図による運動機能検索
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小野島隆之, 太田絵一郎, 後藤貴宏, 水原啓暁, 青柳富誌生
2. 発表標題 脳波データにおける位相振動子ネットワークの推定
3. 学会等名 複雑コミュニケーションサイエンス研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 中嶋浩平, 青柳富誌生
2. 発表標題 流体計算機の記憶容量について
3. 学会等名 複雑コミュニケーションサイエンス研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 福田敦夫, 柿沢圭亮, 渡部美穂, 大川雄太, 大石敏弘, 山下美保, 柳川右千夫, 沖隆
2. 発表標題 CRH放出機構における新規GABA作用の発見
3. 学会等名 第42回日本脳科学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 成人てんかん治療: 薬剤と生理学的手法の可能性
3. 学会等名 第42回日本脳科学学会てんかんシンポジウム宮崎2015 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 てんかんのデジタル脳波診断
3. 学会等名 第42回日本脳科学学会てんかんシンポジウム宮崎2015 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 霊長類のパーキンソン病モデルにおける神経ネットワーク活動の解析と新規治療法への展望
3. 学会等名 CREST合同ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 江川 潔, 鳴神雅史, 伊藤智城, 山本啓之, 白石秀明
2. 発表標題 精神運動発達遅滞を示す乳児における、突発的な不機嫌, 反復する吸気性喘鳴に対する臨床脳波学的検討
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 システム神経科学がめざすもの
3. 学会等名 生理学研究所研究会「行動システム脳科学の新展開」 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 大脳基底核の機能からパーキンソン病を理解する
3. 学会等名 ハッピーフェイスセミナー（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 ネットワーク異常としてパーキンソン病を考える
3. 学会等名 第20回システム神経科学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 江川潔
2. 発表標題 GABA作動性抑制のダイナミクスと神経機能障害への関与
3. 学会等名 第72回東海てんかん集談会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松原鉄平
2. 発表標題 海馬 - 聴覚野連関に注目したてんかん焦点の側方性に関する脳磁図研究
3. 学会等名 筑波脳神経外科研究会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 科学と社会 科学への信用、信頼
3. 学会等名 科学知の総合化シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 栃谷史郎, 古川智範, 伊藤崇志, 松島芳隆, 小島俊男, 松崎秀夫, 福田敦夫.
2. 発表標題 発生期マウス大脳皮質においてGABAA受容体と母体由来タウリンは神経前駆細胞の時系列的性質変化を制御する
3. 学会等名 第2回国際タウリン研究会日本部会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松原鉄平
2. 発表標題 単耳刺激による聴覚ミスマッチ反応の皮質脳波・脳磁図同時記録
3. 学会等名 ヒト脳機能マッピング学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 南部篤
2. 発表標題 パーキンソン病の病態生理について
3. 学会等名 京大霊長研共同利用研究会「霊長類脳科学の新しい展開とゲノム科学の融合」(招待講演)
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 飛松省三
2. 発表標題 ここに目をつける 脳波判読ナビ
3. 学会等名 平成27年度日本神経学会九州地区生涯教育講演会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児難治てんかん－病態生理の新たな視点－
3. 学会等名 第46回 中国・四国點頭てんかん研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 後藤貴宏, 小山和輝, 青柳富誌生
2. 発表標題 リズムデータから相互作用を推定するための自然な正則化項
3. 学会等名 日本物理学会 第71回年次大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊藤慧吾, 寺田裕, 青柳富誌生, 山口義幸
2. 発表標題 非対称な自然振動数分布を持つ蔵本モデルにおける転移現象
3. 学会等名 日本物理学会 第71回年次大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 寺田裕, 青柳富誌生
2. 発表標題 リズムを持つ素子間におけるトランスファーエントロピー
3. 学会等名 日本物理学会 第71回年次大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 今井貴史, 青柳富誌生
2. 発表標題 位相記述が破綻する摂動強度を予測するための基盤的方法
3. 学会等名 日本物理学会 第71回年次大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中嶋浩平, 青柳富誌生
2. 発表標題 流体タイマー：時間の情報を空間の情報としてエンコードする
3. 学会等名 日本物理学会 第71回年次大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 酒向美帆
2. 発表標題 性質の異なる二つの興奮性媒質の接触面での特異性
3. 学会等名 日本物理学会 第71回年次大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 美馬達哉
2. 発表標題 Non-invasive human brain stimulation and its clinical application
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Egawa K, Fukuda A.
2. 発表標題 Aberrant oscillation property of Perkinje cells is caused by decreased tonic inhibition in granule cells in mice model of Angelman syndrome
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akita T, Saito H, Matsumoto N, Fukuda A.
2. 発表標題 De novo Kv21 mutants causing infantile generalized seizures and psychomotor developmental delay inhibit repetitive neuronal firing
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Chiken S, Nambu A.
2. 発表標題 Parkinson's disease as a network disorder
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中嶋浩平, 青柳富誌生
2. 発表標題 流体計算機：水面のダイナミクスを用いた実時間計算の実装
3. 学会等名 日本神経回路学会 第25回全国大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Matsushita S, Masaki N, Kondo T, Takei S, Akatsu H, Akita T, Sugiyama E, Fukuda A, Yao I, Setou M.
2. 発表標題 Taurine concentration and distribution in brain of frontotemporal lobar degeneration patients
3. 学会等名 第40回日本医用マスメクトル学会年会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 宮田淳司, 中嶋浩平, 青柳富誌生
2. 発表標題 入力に誘導された力学系の分岐現象とその情報処理容量について
3. 学会等名 日本物理学会 2015年秋季大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 中江卓郎, 國枝武治, 松本理器, 荒川芳輝, 西田誠, 稲野理賀, 高橋由紀, 稲田拓, 下竹昭寛, 菊池隆幸, 吉田和道, 高木康志, 池田昭夫, 宮本享
2. 発表標題 意味認知の機能可塑性：側頭葉腫瘍切除症例における神経心理学的検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第74回学術総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Murai T, Hitomi T, Inoue T, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Inouchi M, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Analysis of scalp-recorded, ictal direct current shift:its sensitivity and specificity
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 井上岳司, 酒井達也, 小林勝哉, 下竹昭寛, 井内盛遠, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 Levetiracetam により U カーブ状の paradoxical effect を認めた 3 例
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉村元, 松本理器, 藤原悟, 上田哲大, 引網亮太, 村瀬翔, 石井淳子, 河野智之, 星拓, 藤堂謙一, 川本未知, 有吉孝一, 池田昭夫, 幸原伸夫
2. 発表標題 高齢者のてんかん重積状態における頭部MRI拡散強調画像：臨床・脳波所見との相関
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Daifu M, Inouchi M, Inoue T, Kanazawa K, Matsuhashi M, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Matsumoto R, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Co-occurrence of slow shifts and high frequency oscillations(HFOs) in invasively recorded, interictal state: Is it called 'Red slow'?
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 緒方勝也
2. 発表標題 皮質脳波活動は MEP振幅に影響するか? : 開閉眼および刺激強度との関連
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 山崎貴男
2. 発表標題 自閉症スペクトラムにおける腹側視覚路の機能変化 : VEPとERPによる検討
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 十河正弥, 松本理器, 武山博文, 小林勝哉, 下竹昭寛, 宇佐美清英, 中江卓郎, 國枝武治, 宮本享, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 ヒト内側頭頂葉の機能的結合性 : 皮質 皮質間誘発電位を用いた検討
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 栃谷史郎, 古川智範, 伊藤崇志, 小島俊男, 松崎秀夫, 福田敦夫
2. 発表標題 Taurine is involved in the temporal regulation of the properties of neural progenitors in the mouse developing cortex
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会合同大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 後藤貴宏, 太田絵一郎, 青柳富誌生
2. 発表標題 リズムを内在するデータ間の力学系に基づく相互作用推定的手法
3. 学会等名 経済物理学 2015 : 新たな方向性を求めて
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 知見聡美, 南部篤
2. 発表標題 パーキンソン病モデルサルにおける大脳皮質 - 大脳基底核路の情報伝達異常
3. 学会等名 次ステージ機能生命科学の展望
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐々木健史, 長峯隆, 松山清治
2. 発表標題 ラット脳損傷後の姿勢調節障害の特徴: 大脳皮質感覚運動野と小脳虫部の比較
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hasegawa T, Chiken S, Kobayashi K, Nambu A.
2. 発表標題 Chemogenetic Control of Neuronal Activity in the Primate Subthalamic Nucleus
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計150件

1. 著者名 南部 篤	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 1172
3. 書名 大脳皮質と大脳基底核 in 標準生理学第9版	

1. 著者名 本多 正幸, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 若年ミオクロノーてんかん Current Desicion Support(今日の疾患辞典電子版)	

1. 著者名 本多 正幸, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 Current Desicion Support(今日の疾患辞典電子版)	

1. 著者名 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 1480
3. 書名 筋けいれん . 第10章/14 けいれん性疾患、機能的疾患/1 けいれん . 新臨床内科学第10版(矢崎義雄編)	



1. 著者名 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 1480
3. 書名 半側顔面けいれん . 第10章/14 けいれん性疾患、機能的疾患/1 けいれん . 新臨床内科学第10版(矢崎義雄編)	

1. 著者名 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 1481
3. 書名 全般てんかん . 第10章/14 けいれん性疾患、機能的疾患/1 けいれん . 新臨床内科学第10版(矢崎義雄編)	

1. 著者名 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 1482
3. 書名 部分てんかん 1. 側頭葉てんかん、前頭葉てんかん . 第10章/14 けいれん性疾患、機能的疾患/3 局在関連性てんかん . 新臨床内科学第10版(矢崎義雄編)	

1. 著者名 音成 秀一郎, 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 株式会社南江堂	5. 総ページ数 879-881
3. 書名 第7章<神経・筋> 心窩部不快感と物忘れを訴える高齢者/診療力を上げる! 症例問題集. 臨床雑誌「内科」	

1. 著者名 梶川 駿介, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 けいれん. Current Desicion Support(今日の間診票電子版)	

1. 著者名 宇佐美 清英, 菊池 隆幸, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社 じほう	5. 総ページ数 4(p67-70)
3. 書名 薬剤抵抗性でありながら外科治療適応が考慮されない1/月刊薬事 61(1):	

1. 著者名 濱口 敏和, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 薬剤血中濃度(レベチラセタム、ラモトリギン、トピラマート、ガバペン). Current Desicion Support(今日の間診票電子版)	

1. 著者名 村岡 範裕, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 薬剤血中濃度(ゾニサミド). Current Desicion Support(今日の間診票電子版)	

1. 著者名 吉村 元, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 1568
3. 書名 てんかん/私の治療2019-20年度版, 監修 猿田享男, 北村惣一郎	

1. 著者名 十河 正弥, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本臨牀社	5. 総ページ数 7(p306-312)
3. 書名 日本臨牀2019年増刊「医薬品副作用学(第3版)上巻 - 薬剤の安全使用アップデート -	

1. 著者名 行木 孝夫, 田所 智, 津田 一郎, 國枝 武治, 松橋 眞生, 松本 理器, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 京都大学数理解析研究所	5. 総ページ数 -
3. 書名 てんかん脳波データと非線形時系列解析/数理解析研究所講究録	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本てんかん協会	5. 総ページ数 6(p2-8)
3. 書名 てんかん地域診療連携体制整備事業への取り組み	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 エーザイ	5. 総ページ数 7(p8-14)
3. 書名 ガイドラインに基づくてんかん診療	

1. 著者名 吉村 元, 松本 理器, 池田 昭夫, 幸原 伸夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本神経生理学会	5. 総ページ数 6(p47-52)
3. 書名 高齢者の意識障害の脳波: 特集テーマ: 脳波が主役: 意識障害・神経救急の診断学/臨床神経生理学	

1. 著者名 下竹 昭寛, 松本 理器, 人見 健文, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本神経生理学会	5. 総ページ数 7(p40-46)
3. 書名 代謝性・中毒性脳症の脳波、特集テーマ: 脳波が主役: 意識障害・神経救急の診断学/臨床神経生理学	

1. 著者名 濱口 敏和, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 科学評論社	5. 総ページ数 90, 369-373
3. 書名 抗てんかん薬とGABA作性神経伝達, 抑制性神経伝達物質?基礎と臨床,/脳神経内科	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 今日の疾患辞典	

1. 著者名 飯田 真太郎, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医薬情報研究所	5. 総ページ数 No.9, 77-81
3. 書名 指定難病最前線 Volume93/新薬と臨床	

1. 著者名 北川 泰久, 池田 昭夫, 寺田 清人, 前原 健寿, 三牧 正和	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本医師会雑誌	5. 総ページ数 第148巻 1685-1697
3. 書名 【座談会】てんかん診療の進歩と今後の課題、特集「てんかん診療の最前線」	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本医師会雑誌	5. 総ページ数 132
3. 書名 111個別の指定難病 神経・筋系 S132 80 カナバン病【指定難病307】	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本医師会雑誌	5. 総ページ数 132
3. 書名 111個別の指定難病 神経・筋系 S132 82 進行性ミオクロームスてんかん【指定難病308】、指定難病ペディア2019	

1. 著者名 池田 昭夫, 人見 健文, 松橋 眞生, 音成 秀一郎, 十河 正弥, 梶川 駿介	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 13(1), 41-16
3. 書名 Epilepsy 12回AOEC報告と、13回(2020年)の日本での開催に向けて	

1. 著者名 池田 昭夫, 赤松 直樹, 神 一敬, 岡 明, 高橋 孝雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 科学評論社	5. 総ページ数 91(2) : 270-277
3. 書名 結節性硬化症、一疾患の正しい理解と適切な診療連携・移行医療(トランジション)を目指してー/脳神経内科	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 (第48集)107-120
3. 書名 辺縁系脳炎(自己免疫介在性脳炎)とてんかん, 小児神経学の進歩	

1. 著者名 中谷 光良, 井内 盛遠, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 pp239-248
3. 書名 ワイドバンド脳波：低周波成分の発生機構・記録・判読、日本臨床神経生理学会編、モノグラフ 臨床脳波を基礎から学ぶ人のために 改訂第2版	

1. 著者名 人見 健文, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 pp64-71
3. 書名 所見の解釈と脳波レポートの作成、日本臨床神経生理学会編、モノグラフ 臨床脳波を基礎から学ぶ人のために 改訂第2版	

1. 著者名 十川 純平, 池田 昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 1050
3. 書名 日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE 2020-2021	

1. 著者名 Riki Matsumoto, Sasha Dionisio, Martin Staudt, Juan Bulacio, Dileep R Nair.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Lippincott Williams&Wilkins	5. 総ページ数 -
3. 書名 Mapping with Neurophysiologic Techniques In: Wyllie E, Gidal B, Goodkin H, Loddenkemper T, Jehi L. Wyllie's Treatment of Epilepsy 7th edition,	

1. 著者名 十河 正弥, 菊池 隆幸, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本医師会雑誌	5. 総ページ数 1720
3. 書名 硬膜下電極記録. (特集: てんかん診療の最前線)	

1. 著者名 松本 理器, 酒田 あゆみ	4. 発行年 2019年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 p47-55
3. 書名 デジタル脳波の基本的使い方. モノグラフ 臨床脳波を基礎から学ぶヒトのために (第2版). 編集 日本臨床神経生理学会	

1. 著者名 松本 理器, 下竹 昭寛, 吉村 元	4. 発行年 2019年
2. 出版社 臨床病理 日本臨床検査医学会	5. 総ページ数 764-774
3. 書名 脳波 up to date: 意識障害の脳波学	

1. 著者名 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 エーザイ	5. 総ページ数 673:446-451,
3. 書名 脳波診断における課題と工夫 クリニツ	



1. 著者名 松本 理器, 菊池 隆幸, 山尾 幸広, 中江 卓郎, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 吉田 和道, 國枝 武治, 池田 昭夫, 宮本 享	4. 発行年 2019年
2. 出版社 脳神経外科ジャーナル	5. 総ページ数 28:316-325
3. 書名 てんかん外科における最新のてんかん診断学・特集「てんかん外科と機能的脳神経外科」	

1. 著者名 武山 博文, 池田 昭夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文光堂	5. 総ページ数 -
3. 書名 高齢者のてんかんは、若年成人と異なる特徴がある。知っておきたいことア・ラ・カルト 内科月刊誌 Medical Practice,2020,3	

1. 著者名 池田 昭夫, 稲垣 真澄, 太田 克也, 長田 美智子, 志賀 哲也, 入戸野 宏, 原 悦子, 平田 幸一, 文室 知之, 松橋 眞生, 矢部 博興	4. 発行年 2019年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 pp71-86
3. 書名 事象関連電位(ERP)、誘発電位測定マニュアル2019	

1. 著者名 小林 勝哉	4. 発行年 2020年
2. 出版社 北隆館&ニュー・サイエンス社	5. 総ページ数 2月号pp856-859
3. 書名 Medical Science Digest/ヒト生理からみたてんかん原性	

1. 著者名 十河 正弥, 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 -
3. 書名 脳神経外科/脳神経外科診療に役立つ薬物療法の知識	

1. 著者名 十河 正弥, 森本 耕平, 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 -
3. 書名 BRAIN and NERVE/脳波 特集: 神経疾患の診断における落とし穴 誤診を避けるために	

1. 著者名 十河 正弥, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 -
3. 書名 てんかん、早わかり！診療アルゴリズムと病態別アトラス/発作症状をマスターする	

1. 著者名 宇佐 美清英, 菊池 隆幸, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 じほう	5. 総ページ数 61(1): 67-70
3. 書名 薬剤抵抗性でありながら外科治療適応が考慮されない/月間薬事	

1. 著者名 坂本 光弘, 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 270:555-561
3. 書名 自己免疫性てんかん/医学のあゆみ	

1. 著者名 松本 理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 278:37:00
3. 書名 はじめに(特集 てんかん:診断と治療の現在、松本理器編)/医学の歩み	

1. 著者名 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ワールドプランニング	5. 総ページ数 31:101-106
3. 書名 認知症とてんかんの関係について. 抗てんかん薬の使い方、BPSDへの影響と対応/老年精神医学雑誌	

1. 著者名 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 北隆館&ニュー・サイエンス社	5. 総ページ数 46(2): 74-78
3. 書名 てんかん研究の最近の進歩(特集 てんかんの進歩、松本理器編/Medical Science Digest	

1. 著者名 原 敦, 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 5009:46:00
3. 書名 松本理器. けいれん. 私の治療 第3版. 総監修 猿田享男, 北村惣一郎/日本医事新報	

1. 著者名 有村公良, 飛松省三	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 257
3. 書名 ここからはじめる! 神経伝導検査・筋電図ナ	

1. 著者名 飛松省三, 重藤寛史	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 269
3. 書名 脳波の行間を読む デジタル脳波判読術	

1. 著者名 中島秀之, 浅田稔, 松原仁, 橋田浩一, 山川宏, 栗原聡, 松尾豊 (津田一郎担当: pp.238-241)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 近代科学社	5. 総ページ数 400
3. 書名 AI事典第3版	

1. 著者名 津田一郎 (担当: pp.153-157)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 風媒社	5. 総ページ数 217
3. 書名 ARENA2020特別号「新しい科学の考え方を求めて」	

1. 著者名 津田一郎 (担当: pp.120-121)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社リクルート	5. 総ページ数 234
3. 書名 スタディサプリ進路 学問探求BOOK	

1. 著者名 虫明 元	4. 発行年 2019年
2. 出版社 共立出版	5. 総ページ数 253
3. 書名 前頭葉のしくみ: からだ・心・社会をつなぐネットワーク	

1. 著者名 Akio Ikeda	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 14(p312-325)
3. 書名 Subdural EEG in frontal lobe epilepsy. Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy.	

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 23(p431-453)
3. 書名 Chapter 32 ?Cortico-cortical evoked potential mapping (Section 4: Human Brain Mapping). /In: Lhato S, Kahane P, L?ders H, eds. Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy.	

1. 著者名 本多正幸, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 若年ミオクロニーてんかん 今日の疾患辞典(仮)	

1. 著者名 本多正幸, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 ウンフェルリヒト・レントボルク病 今日の疾患辞典(仮)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 -
3. 書名 筋けいれん . 第10章 / 14 けいれん性疾患、機能的疾患 / 1けいれん . 新内科学第10版(矢崎義雄編)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 -
3. 書名 半側顔面けいれん . 第 1 0 章 / 1 4 けいれん性疾患、機能性疾患 / 1 けいれん . 新内科学第10版 ( 矢崎義雄編 )	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 -
3. 書名 強直間代発作 . 第 1 0 章 / 1 4 けいれん性疾患、機能性疾患 / 2 全般てんかん . 新内科学第10版 ( 矢崎義雄編 )	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 -
3. 書名 単純部分発作 1 . 側頭葉てんかん、前頭葉てんかん . 第 1 0 章 / 1 4 けいれん性疾患、機能性疾患 / 3 局在関連性てんかん . 新内科学第10版 ( 矢崎義雄編 )	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 -
3. 書名 複雑部分発作 1 . 側頭葉てんかん、前頭葉てんかん . 第 1 0 章 / 1 4 けいれん性疾患、機能性疾患 / 3 局在関連性てんかん . 新内科学第10版 ( 矢崎義雄編 )	

1. 著者名 音成秀一郎, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社南江堂	5. 総ページ数 574
3. 書名 第7章<神経・筋> 心窩部不快感と物忘れを訴える高齢者/診療力を上げる! 症例問題集. 臨床雑誌「内科」	

1. 著者名 梶川駿介, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 けいれん. 今日の問診票.	

1. 著者名 宇佐美清英, 菊池隆幸, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社 じほう	5. 総ページ数 4(p67-70)
3. 書名 薬剤抵抗性でありながら外科治療適応が考慮されない/月刊薬事 61(1):	

1. 著者名 濱口敏和, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 薬剤血中濃度(レベチラセタム、ラモトリギン、トピラマート、ガバベン). 今日の問診票.	



1. 著者名 村岡範裕, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 -
3. 書名 薬剤血中濃度(ゾニサミド). 今日の問診票.	

1. 著者名 武山博文, 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社 ライフ・サイエンス	5. 総ページ数 4(p225-228)
3. 書名 認知症との併存と鑑別のポイント. /Geriatric medicine (老年医学)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 4(p949-952)
3. 書名 第15章 神経・筋疾患 てんかんの内科治療. 今日の治療指針 2018年版-私はこちら治療している.	

1. 著者名 吉村元, 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 11(p306-316)
3. 書名 III 各種疾患 11. 機能性疾患 1 てんかんの新規治療薬. Annual Review 神経 2018	

1. 著者名 梶川駿介、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 6(p43-48)
3. 書名 第51回てんかん学会学術集会：特別講演1 「Samuel Wiebe先生特別講演：てんかんにおける個別化医療」 聴講記/Epilepsy	

1. 著者名 中谷 光良, 井内 盛遠, 前原 健寿, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 15(p339-353)
3. 書名 第4章, Wide-band EEGを用いた焦点診断?グリアとニューロン両者からのアプローチ./機能的脳神経外科最新の動向/脳神経外科	

1. 著者名 十河 正弥, 池田 昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 フジメディカル出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 抗てんかん薬/向精神薬と高齢者 注意点と副作用をふまえた安全な処方のために/認知症の最新医療	

1. 著者名 村井 智彦, 人見 健文, 竹島 多賀夫, 池田 昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 一般社団法人 日本神経生理学会	5. 総ページ数 8(p25-32)
3. 書名 てんかん発作と片頭痛の共通点と相違点・臨床神経生理学の新しい視点から./臨床神経生理学	

1. 著者名 音成 秀一郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 -
3. 書名 てんかんの病態と病型/てんかん up to date/臨床検査	

1. 著者名 音成 秀一郎, 池田 昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社 ライフ・サイエンス	5. 総ページ数 7(p208-214)
3. 書名 特集：日常診療で増えてきた高齢者のてんかん：総説 1. 高齢者てんかん, てんかん発作の現状 /Geriatric Medicine (老年医学)	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 2(p7-8)
3. 書名 特集、てんかん診療update/Pharma Medica.	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社 ライフ・サイエンス	5. 総ページ数 3(p205-207)
3. 書名 特集：日常診療で増えてきた高齢者のてんかん/Geriatric Medicine (老年医学)	

1. 著者名 十川純平、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 8(p509-516)
3. 書名 てんかん/日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北隆館	5. 総ページ数 106
3. 書名 てんかんを巡る最近の話題：小児から高齢者まで/Bio Clinica	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北隆館	5. 総ページ数 2(p2018-2019)
3. 書名 総論：てんかんはすべての年齢層に起こる国民病/てんかんを巡る最近の話題：小児から高齢者まで/Bio Clinica	

1. 著者名 金星匡人, 大野行弘, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 先端医学社	5. 総ページ数 16(p1-16)
3. 書名 てんかん発症におけるイオンチャネルおよび受容体の機能異常/ペランパネルによるてんかん治療ストラテジー	

1. 著者名 吉村元, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 -
3. 書名 てんかん/私の治療2019-20年度版, 監修 猿田享男, 北村惣一郎	

1. 著者名 十河正弥, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本臨牀社	5. 総ページ数 -
3. 書名 日本臨牀2019年増刊「医薬品副作用学(第3版)上巻 - 薬剤の安全使用アップデート -	

1. 著者名 池田昭夫, 小林勝哉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本神経治療学会	5. 総ページ数 4(p17-20)
3. 書名 日本てんかん学会/神経治療を目指す医師のキャリアパス/神経治療学	

1. 著者名 三枝隆博, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 2(p56-57)
3. 書名 質疑応答臨床一般 / 法律・雑件、神経内科、てんかん発作への対応、特に使用薬剤は？ / 日本医事新報	

1. 著者名 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ワールドプランニング	5. 総ページ数 2(p103-104)
3. 書名 てんかんの分類と診断, /老年精神医学雑誌	

1. 著者名 行木孝夫, 田所智, 津田一郎, 國枝武治, 松橋真生, 松本理器, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 京都大学数理解析研究所	5. 総ページ数 -
3. 書名 てんかん脳波データと非線形時系列解析/数理解析研究所講究録	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本てんかん協会	5. 総ページ数 6(p2-8)
3. 書名 てんかん地域診療連携体制整備事業への取り組み/ 波	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 エーザイ	5. 総ページ数 7(p8-14)
3. 書名 ガイドラインに基づくてんかん診療/Clinician	

1. 著者名 吉村元, 松本理器, 池田昭夫, 幸原伸夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 一般社団法人 日本神経生理学	5. 総ページ数 6(p47-52)
3. 書名 高齢者の意識障害の脳波: 特集テーマ: 脳波が主役: 意識障害・神経救急の診断学/臨床神経生理学	

1. 著者名 下竹昭寛, 松本理器, 人見健文, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 一般社団法人 日本神経生理学	5. 総ページ数 7(40-46)
3. 書名 代謝性・中毒性脳症の脳波、特集テーマ: 脳波が主役: 意識障害・神経救急の診断学/臨床神経生理学	

1. 著者名 濱口敏和, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 科学評論社	5. 総ページ数 -
3. 書名 抗てんかん薬とGABA作性神経伝達, 抑制性神経伝達物質?基礎と臨床, /神経内科	

1. 著者名 十河正弥, 十川純平, 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 エルゼビア・ジャパン株式会社	5. 総ページ数 10(p684-693)
3. 書名 第60章 脳の活動状態: 睡眠, 脳波, てんかん, 精神病, 認知症, /ライオン生理学 原著第13版	

1. 著者名 村井智彦、人見健文、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 4(p75-78)
3. 書名 進行性ミオクローヌステんかん-成人, / 希少てんかんの診療指標	

1. 著者名 坂本光弘、松本理器、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 4(p146-149)
3. 書名 自己免疫介助性脳炎・脳症, / 希少てんかんの診療指標	

1. 著者名 Kobayashi K, Akiyama T, Go C	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 349
3. 書名 Oohashi T, Tsukahara H, Ramirez F, Barber CL, Otsuka F, Eds. Human Pathobiochemistry from Clinical Studies to Molecular Mechanisms.	

1. 著者名 飛松省三	4. 発行年 2018年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 203
3. 書名 脳波に慣れる! デジタル脳波入門 脳波超速ラーニング	



1. 著者名 鈴木則宏 (シリーズ監修) 吉良潤一 (編集)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 446
3. 書名 中枢脱髄性疾患	

1. 著者名 Ichiro Tsuda	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Springer Dordrecht Heidelberg New York London	5. 総ページ数 4
3. 書名 Self-organization with constraints The significance of invariant manifolds. Advances in Cognitive Neurodynamics (VI)	

1. 著者名 T. Yano, Y. Goto, T. nagaya, I. Tsuda, and S. Nara	4. 発行年 2018年
2. 出版社 J. M. Delgado-Garcia et al. eds. Springer Nature Singapore Pte Ltd.	5. 総ページ数 9
3. 書名 A pseudo-neuron device and firing dynamics of their networks similar to neural synchronizing phenomena between far local fields in the brain. Advances in Cognitive Neurodynamics (VI)	

1. 著者名 虫明元	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店(岩波科学ライブラリー)	5. 総ページ数 126
3. 書名 学ぶ脳 ぼんやりにかそ意味がある	

1. 著者名 虫明元	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東北大学民院同窓会	5. 総ページ数 -
3. 書名 研究室の百年の歴史を振り返って	

1. 著者名 Ikeda A	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford University Press (London)	5. 総ページ数 550
3. 書名 Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy	

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford University Press (London)	5. 総ページ数 550
3. 書名 Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy	

1. 著者名 村井智彦, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルレビュー社(東京)	5. 総ページ数 184
3. 書名 てんかんの教科書	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 新興医学出版社	5. 総ページ数 141
3. 書名 てんかんフロンティア、未来へのnew trend	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2192
3. 書名 今日の治療指針 2018年版-私はこう治療している	

1. 著者名 吉村元, 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 344
3. 書名 Annual Review 神経 2018	

1. 著者名 坂本光弘, 松本理器, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社(東京)	5. 総ページ数 259
3. 書名 稀少てんかんの診療指標, 井上有史他編	

1. 著者名 村井智彦, 人見健文, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社(東京)	5. 総ページ数 259
3. 書名 稀少てんかんの診療指標, 井上有史他編	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2017年
2. 出版社 エーザイ	5. 総ページ数 138
3. 書名 クリニシアン65	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日経BP社(東京)	5. 総ページ数 224
3. 書名 日経DIクイズ 精神・神経疾患編 編集 日経ドラッグインフォメーション	

1. 著者名 田中智貴, 松本理器, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本医師会	5. 総ページ数 346
3. 書名 脳血管障害診療のエッセンス	

1. 著者名 吉村元、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本医事新報社(東京)	5. 総ページ数 1734
3. 書名 専門家による私の治療2017-2018年度版	

1. 著者名 三枝隆博、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 株式会社 中山書店(東京)	5. 総ページ数 271
3. 書名 臨床神経生理検査入門	

1. 著者名 下竹昭寛、松本理器	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 288
3. 書名 臨床神経生理検査入門	

1. 著者名 人見 健文、池田 昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 176
3. 書名 てんかん用語辞典	

1. 著者名 金星匡人、大野行弘、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 448
3. 書名 神経疾患治療ストラテジー	

1. 著者名 十川純平、音成秀一郎、十河正弥、池田 昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 エルセビア・ジャパン	5. 総ページ数 1100
3. 書名 ガイトン生理学	

1. 著者名 鶴紀子、田中達也、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 新興医学出版社	5. 総ページ数 144
3. 書名 てんかんフロンティア、未来へのnew trend	

1. 著者名 十川純平、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 1064
3. 書名 日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE 2018-2019	

1. 著者名 飛松 省三	4. 発行年 2017年
2. 出版社 新興医学出版社	5. 総ページ数 144
3. 書名 てんかんフロンティア -未来への New Trend	

1. 著者名 飛松 省三	4. 発行年 2017年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 266
3. 書名 ここに気をつける! 誘発電位ナビ はじめの一步から臨床と研究のヒントまで	

1. 著者名 飛松 省三	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 226
3. 書名 ベッドサイドの臨床神経生理学.	

1. 著者名 飛松 省三	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 280
3. 書名 臨床神経生理検査入門.	

1. 著者名 飛松 省三	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 176
3. 書名 てんかん学用語辞典. 改訂第2版.	

1. 著者名 林 隆太郎, 飛松省三	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 446
3. 書名 神経内科Clinical Questions & Pearls. 中枢脱髄性疾患.	

1. 著者名 Shigeyoshi Fujisawa	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 793
3. 書名 The Physics of the Mind and Brain Disorders: Integrated Neural Circuits Supporting the Emergence of Mind	

1. 著者名 福田 敦夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 成山堂書店	5. 総ページ数 195
3. 書名 読んで効くタウリンのはなし	



1. 著者名 十川純平, 松本理器、大封昌子, 松本理器、井上岳司, 池田昭夫、下竹昭寛, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 225
3. 書名 ここが知りたい! 臨床神経生理	

1. 著者名 人見健文, 寺田清人, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 308
3. 書名 運動の診断と治療 (改訂第2版)	

1. 著者名 塚田剛史, 井上岳司, 池田昭夫、藤井大樹, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本医学出版	5. 総ページ数 706
3. 書名 内科診療実践マニュアル第2版	

1. 著者名 吉村元, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 1
3. 書名 JMEDIJ治療法便覧2016 ~私の治療~	

1. 著者名 池田昭夫, 田中達也	4. 発行年 2016年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 197
3. 書名 てんかん白書	

1. 著者名 田中達也, 池田昭夫、加藤元博	4. 発行年 2016年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 99
3. 書名 日本てんかん学会50周年記念誌	

1. 著者名 飛松省三	4. 発行年 2016年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 232
3. 書名 神経内科外来シリーズ てんかん外来	

1. 著者名 飛松省三	4. 発行年 2016年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 968
3. 書名 臨床神経内科学(改訂6版)	

1. 著者名 Tobimatsu S & Kakigi R	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 330
3. 書名 Clinical Applications of Magnetoencephalography.	

1. 著者名 飛松 省三	4. 発行年 2016年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 180
3. 書名 ここに目をつける! 脳波判読ナビ	

1. 著者名 飛松 省三	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 226
3. 書名 ここが知りたい! 臨床神経生理	

1. 著者名 津田一郎	4. 発行年 2016年
2. 出版社 共立出版	5. 総ページ数 150
3. 書名 脳のなかに数学を見る	

1. 著者名 清家 篤	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 206
3. 書名 金融ジェロントロジー 「健康寿命」と「資産寿命」をいかに伸ばすか	

1. 著者名 福田敦夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 GABAとその受容体, 臨床てんかん学	

1. 著者名 飛松省三	4. 発行年 2016年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 968
3. 書名 脳波と脳磁図(第1章), 電気生理学的検査(第4章). In 臨床神経内科学(改訂6版)	

1. 著者名 Tsuda I	4. 発行年 2015年
2. 出版社 World Scientific	5. 総ページ数 476
3. 書名 Logic dynamics for deductive inference - Its stability and neural basis (Chapter 17). In Chaos, Information Processing and Paradoxical Games: The legacy of John S Nicolis (eds. G. Nicolis and V. Basions)	

1. 著者名 Tsuda I	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 249
3. 書名 Self-organization of the Second Kind: A Variational Approach (Chapter 20). In Cognitive Phase Transitions in the Cerebral Cortex-Enhancing the Neuron Doctrine by Modeling Neural Fields (Studies in Systems, Decision and Control Volume 39)	

1. 著者名 津田一郎	4. 発行年 2015年
2. 出版社 (株)文芸春秋	5. 総ページ数 218
3. 書名 心はすべて数学である	

〔出願〕 計3件

産業財産権の名称 能力判定装置、能力判定方法、及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体	発明者 飛松省三、山崎貴男	権利者 九州大学
産業財産権の種類、番号 特許、2019-101022	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 セラミックガイド、セラミックガイド装置およびセラミックガイドモジュール	発明者 大城朝一 虫明元 駒田大輔	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、特願2018-15924	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 ラット脳内光誘発けいれんモデル	発明者 大沢紳一郎、岩崎真樹、虫明元、	権利者 東北大学
産業財産権の種類、番号 特許、特許第6108469号	出願年 2017年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計2件

産業財産権の名称 BMI運動補助装置	発明者 神作憲司、川瀬利弘	権利者 公益財団法人 ヒューマンサイ エンス振興財団
産業財産権の種類、番号 特許、特許第6340528号	取得年 2018年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 脳における電気的活動取得装置及びその利用	発明者 南部篤、知見聡美、 西村幸男、高良沙幸	権利者 大学共同利用機 関法人自然科学 研究機構
産業財産権の種類、番号 特許、特許第6300208号	取得年 2018年	国内・外国の別 国内

〔その他〕

非線形発振現象を基盤としたヒューマンネイチャーの理解「オシロロジー」web site  
<https://www.nips.ac.jp/oscillology/>  
 生理学研究所 生体システム研究部門 web site  
<https://www.nips.ac.jp/sysnp/>  
 浜松医科大学医学部神経生理学講座ホームページ  
<https://www.hama-med.ac.jp/education/fac-med/dept/neurophysiology/index.html>  
 ICHIRO TSUDA Science of Complex Systems  
<http://www.isc.chubu.ac.jp/tsuda/index.html>  
 大脳皮質から大脳基底核へ情報が伝わる様子を、光を使って解明  
[http://www.nips.ac.jp/release/2017/09/post\\_349.html](http://www.nips.ac.jp/release/2017/09/post_349.html)  
 免疫応答の重要因子を介した薬物依存の新しいメカニズムを発見  
<https://www.hama-med.ac.jp/08b4c12fc801847439b1f4f693461197.pdf>  
 出来事の順序を記憶する仕組みの発見  
[http://www.riken.jp/pr/press/2017/20170609\\_1/](http://www.riken.jp/pr/press/2017/20170609_1/)  
 他者の空間位置を認識する仕組みを発見  
[http://www.riken.jp/pr/press/2018/20180112\\_1/](http://www.riken.jp/pr/press/2018/20180112_1/)  
 郡研究室ホームページ  
[http://www.is.ocha.ac.jp/~kori\\_lab/](http://www.is.ocha.ac.jp/~kori_lab/)

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	美馬 達哉  (Mima Tatsuya)  (20324618)	立命館大学・先端総合学術研究科・教授     (34315)	